

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

| | |
|-------------------------|--------------|
| 柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料 | |
| 資料番号 | KK7補足-015改12 |
| 提出年月日 | 2020年06月26日 |

工事計画に係る説明資料

(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)

2020年 6月

東京電力ホールディングス株式会社

補足説明資料目次

1. 溢水影響評価
 - 1.1 機能喪失高さについて
 - 1.2 防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備について
2. 没水影響評価について
 - 2.1 溢水伝播経路概念図
 - 2.2 溢水伝播経路モデル図
 - 2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について
 - 2.4 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 2.5 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価結果（重大事故等対処設備）
 - 2.6 消火栓からの放水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 2.7 消火栓からの放水による没水影響評価結果（重大事故等対処設備）
 - 2.8 地震に起因する溢水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 2.9 地震に起因する溢水による没水影響評価結果（重大事故等対処設備）
3. 被水影響評価について
 - 3.1 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価
 - 3.2 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 3.3 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）
 - 3.4 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 3.5 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）
4. 蒸気影響評価
 - 4.1 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 4.2 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）
 - 4.3 地震に伴い発生する溢水による蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備）
 - 4.4 地震に伴い発生する溢水による蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）
5. 想定破損による溢水影響評価について
 - 5.1 想定破損により生じる溢水影響評価における溢水源リスト
 - 5.2 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について
 - 5.3 低エネルギー配管の応力評価について
 - 5.4 想定破損における減肉の考慮について
6. 消火水の放水による溢水影響評価について
 - 6.1 消火水の放水による溢水に対する評価の概要について
 - 6.2 消火水の放水による溢水に対する評価例
7. 地震起因による溢水影響評価について
 - 7.1 地震に起因する溢水源について
 - 7.2 耐震B,Cクラス機器の耐震工事の内容
 - 7.3 溢水防護に係る設備の耐震評価対象設備・部位の代表性及び網羅性について
 - 7.4 使用済燃料貯蔵プールのスロッシングによる溢水量の算出

8. その他の溢水による溢水影響評価
 - 8.1 タービン建屋内で発生する溢水の溢水影響評価について
 - 8.2 屋外タンクからの溢水影響評価について
 - 8.3 地下水の溢水による影響について
 - 8.4 淡水貯水池の溢水による影響について
 - 8.5 その他漏えい事象に対する確認について

9. 全般

- 9.1 溢水防護区画毎における機能喪失高さ
- 9.2 ケーブル被水影響評価について
- 9.3 没水評価における床勾配について
- 9.4 貫通部止水処置に関する健全性について
- 9.5 浸水防護施設の止水性について
- 9.6 蒸気防護カバーの耐蒸気性能について
- 9.7 地下水排水設備について
- 9.8 放射性物質を含む液体の管理区域外漏えい防止評価について
- 9.9 床ドレンラインからの排水に期待する区画について
- 9.10 流下開口を考慮した没水高さについて
- 9.11 鉄筋コンクリート壁の水密性について
- 9.12 経年劣化事象と保全内容
- 9.13 エキспанションジョイント止水板の性能について
- 9.14 溢水流量算出式における損失係数の妥当性について
- 9.15 水密扉の開閉状態の監視について
- 9.16 床ドレンラインの応力評価について

別紙（1）工認添付資料と設置許可まとめ資料との関係【溢水防護に関する施設】

別紙（2）添付V-1-1-9の各資料と工認補足説明資料との関係【溢水防護に関する施設】

工認添付資料と設置許可まとめ資料との関係【溢水防護に関する施設】

| 工認添付資料 | | 許可まとめ資料 | | | 引用内容 |
|-----------------|----------------------|---------|-------|-------------|-------------|
| 添付資料 V-1-1-9 | 発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書 | DB | 第 9 条 | 溢水による損傷の防止等 | 資料そのものを概ね引用 |

添付V-1-1-9の各資料と工認補足説明資料との関係【溢水防護に関する設備】

| 工認添付資料 | | 工認補足説明資料 |
|-----------|-----------------|--|
| V-1-1-9-1 | 溢水等による損傷防止の基本方針 | — |
| V-1-1-9-2 | 防護すべき設備の設定 | 1.1 機能喪失高さについて 1.2 防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備について |
| V-1-1-9-3 | 溢水評価条件の設定 | 2.1 溢水伝播経路概念図 2.2 溢水伝播経路モデル図 3.1 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価 5.1 想定破損により生じる溢水影響評価における溢水源リスト 5.2 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について 5.3 低エネルギー配管の応力評価について 5.4 想定破損における減肉の考慮について 6.1 消火水の放水による溢水に対する評価の概要について 7.1 地震に起因する溢水源について 7.2 耐震 B, C クラス機器の耐震工事の内容（個別機器） 7.3 溢水防護に係る設備における耐震評価対象設備・部位の代表性及び網羅性について 7.4 使用済燃料貯蔵プールのスロッシングによる溢水量の算出 8.5 その他漏えい事象に対する確認について 9.10 流下開口を考慮した没水高さについて |
| | | 9.14 溢水流量算出式における損失係数の妥当性について |
| V-1-1-9-4 | 溢水影響に関する評価 | 2.3 想定破損により生じる没水評価について 2.4 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価結果（溢水防護対象設備） 2.5 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価結果（重大事故等対処設備） |

添付V-1-1-9の各資料と工認補足説明資料との関係【溢水防護に関する設備】

| 工認添付資料 | | 工認補足説明資料 |
|---------------------------------|------------|---|
| V-1-1-9-4 | 溢水影響に関する評価 | 2.6 消火栓からの放水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備） |
| | | 2.7 消火栓からの放水による没水影響評価結果（重大事故等対処設備） |
| | | 2.8 地震に起因する溢水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備） |
| | | 2.9 地震に起因する溢水による没水影響評価結果（重大事故等対処設備） |
| | | 3.2 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備） |
| | | 3.3 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備） |
| | | 3.4 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備） |
| | | 3.5 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備） |
| | | 4.1 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備） |
| | | 4.2 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備） |
| | | 4.3 地震に伴い発生する溢水による蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備） |
| | | 4.4 地震に伴い発生する溢水による蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備） |
| | | 6.2 消火水の放水による溢水に対する評価例 |
| | | 8.1 タービン建屋内で発生する溢水の溢水影響評価について |
| | | 8.2 屋外タンクからの溢水影響評価について |
| | | 8.3 地下水による溢水影響について |
| 8.4 淡水貯水池の溢水による影響について | | |
| 9.3 没水評価における床勾配について | | |
| 9.8 放射性物質を含む液体の管理区域外漏えい防止評価について | | |

添付V-1-1-9の各資料と工認補足説明資料との関係【溢水防護に関する設備】

| 工認添付資料 | | 工認補足説明資料 |
|-----------|----------------|------------------------------|
| V-1-1-9-4 | 溢水影響に関する評価 | 9.13 エキスパンションジョイント止水板の性能について |
| V-1-1-9-5 | 溢水防護に係る施設の設計方針 | 9.4 貫通部止水処置に関する健全性について |
| | | 9.5 浸水防護施設の止水性について |
| | | 9.6 蒸気防護カバーの耐蒸気性能について |
| | | 9.7 地下水排水設備について |
| | | 9.9 床ドレンラインからの排水に期待する区画について |
| | | 9.16 床ドレンラインの応力評価について |

1.1 機能喪失高さについて

1. 概要

本資料は、原子炉の高温停止、冷温停止及びその維持に必要な設備、放射性物質の閉じ込め機能及びその維持に必要な設備並びに使用済燃料貯蔵プールの冷却機能及び使用済燃料貯蔵プールへの給水機能を維持するために必要な設備として抽出された溢水防護対象設備及び、溢水評価対象として抽出された重大事故等対処設備について、溢水影響により要求される機能を損なうおそれのある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）を明確にする。また、抽出された溢水防護対象設備及び重大事故等対処設備が設置される溢水防護区画を明確にする。

2. 機能喪失高さの考え方

各機器の機能喪失高さの考え方を第 1.1-1 表に示し、機能喪失高さ（例）第 1.1-1 図～第 1.1-6 図に示す。

なお、保守的に機能喪失高さを設定し、評価した機器（ポンプ／電動機、盤及びラック）については、評価結果に応じて機器個別の機能喪失高さを再設定する。

3. 溢水防護対象設備リスト及び重大事故等対処設備リストの整理

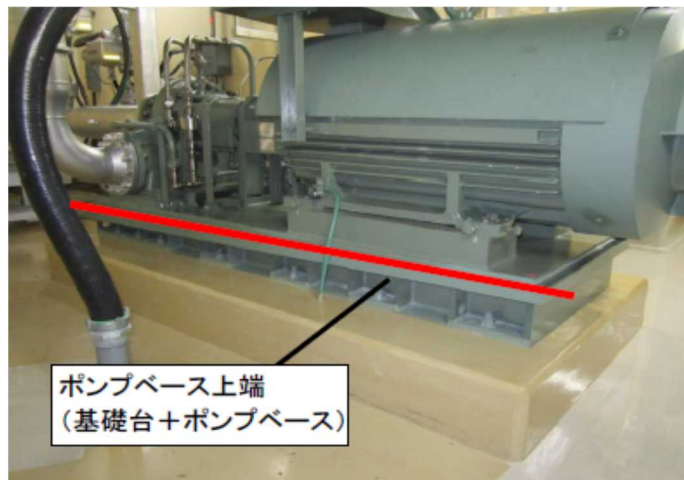
抽出された溢水防護対象設備を第 1.1-2 表、重大事故等対処設備を第 1.1-3 表に設置高さ、機能喪失高さ並びに溢水防護区画を示す。

なお、溢水防護対象設備及び重大事故等対処設備のうち、溢水影響により機能を喪失しない設備（アクセスが必要な設備として抽出された設備又は他の設備で代替できることを確認するために抽出された設備）については、“-”を記載する。

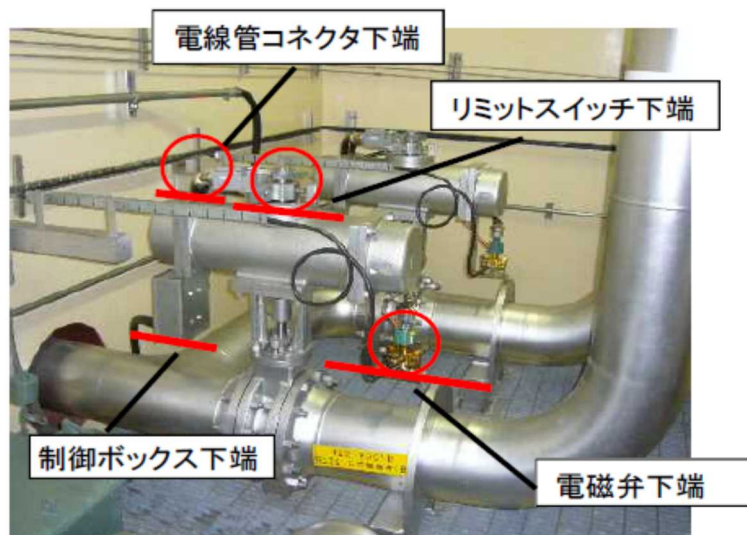
第 1.1-1 表 機能喪失高さの考え方

| 設備 | 機能喪失高さの評価部位 |
|---------|--|
| ポンプ／電動機 | ① ポンプベース上端（基礎台＋ポンプベース）※ ② 動力ケーブルコネクタ下端 |
| 空気作動弁 | ① 電線管コネクタ下端 ② 制御ボックス下端 ③ 電磁弁下端 ④ リミットスイッチ下端 |
| 電動弁／電磁弁 | ① 電線管コネクタ下端 ② 制御ボックス下端 |
| 盤 | ① 盤下端（チャンネルベース上端）※ ② 盤内計器類の下端 |
| ラック | ① ラック下端（チャンネルベース上端）※ ② 電線管コネクタ下端 ③ ラック内端子台下端 ④ 計器本体下端 |
| 計器 | ① 電線管コネクタ下端 ② 計器本体下端 |

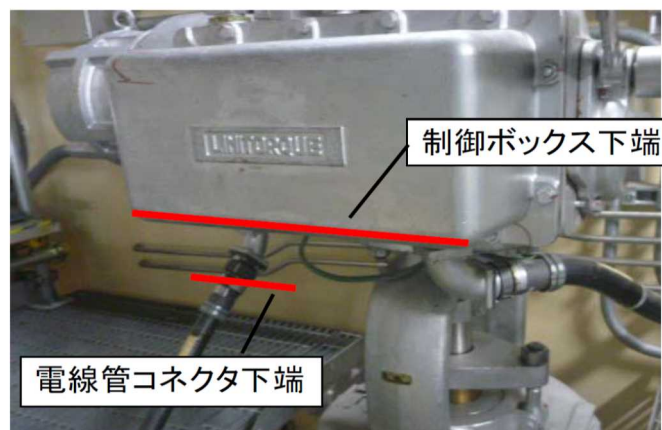
※保守的に機能喪失すると仮定した部位



第 1.1-1 図 機能喪失高さ (ポンプの例)



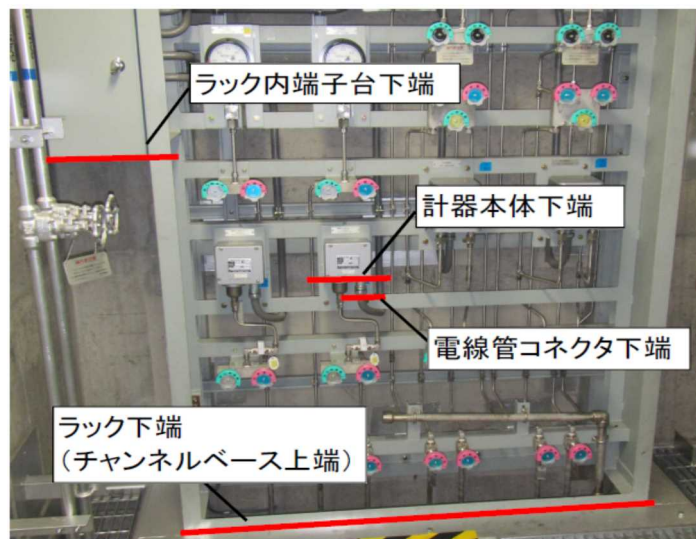
第 1.1-2 図 機能喪失高さ (AO 弁の例)



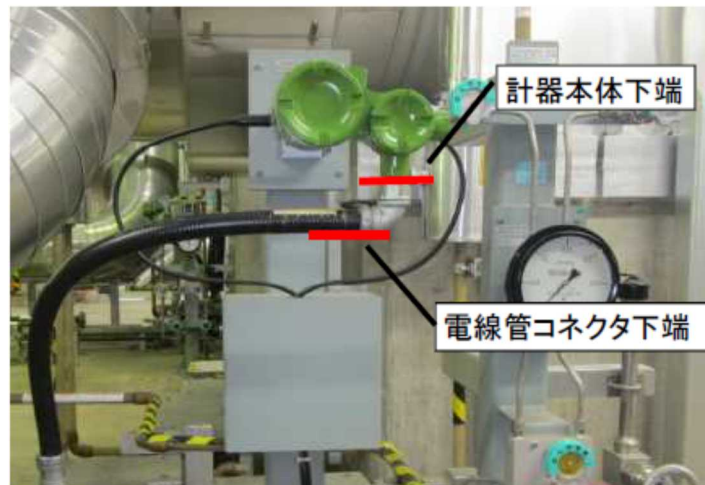
第 1.1-3 図 機能喪失高さ (MO 弁の例)



第 1.1-4 図 機能喪失高さ（盤の例）



第 1.1-5 図 機能喪失高さ（ラックの例）



第 1.1-6 図 機能喪失高さ（計器の例）

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------|------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.03 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003D) | R-B1-11 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003E) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003F) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.03 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003G) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003H) | R-B1-11 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (燃料域) (B21-LT-006A) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (燃料域) (B21-LT-006B) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 原子炉系 | 原子炉圧力 (B21-PT- 007A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉圧力 (B21-PT- 007B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.03 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------|------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉系 | 原子炉圧力 (B21-PT-007C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 原子炉系 | 原子炉圧力 (B21-PT-007D) | R-B1-11 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 制御棒駆動系 | 水圧制御ユニット (C12-D004) | R-B3-3 | 原子炉建屋 | -8200 | — |
| 制御棒駆動系 | 水圧制御ユニット (C12-D004) | R-B3-10 | 原子炉建屋 | -8200 | — |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系ポンプ (C41-C001A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.46 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系ポンプ (C41-C001B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.46 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプ (C41-C002A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.46 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプ (C41-C002B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.46 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F001A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.09 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F001B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.10 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F006A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.75 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F006B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.83 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------|------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内水素濃度 (D23- H2E-001A) | R-M4F-1 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内水素濃度 (D23- H2E-001B) | R-M4F-2 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F004A) | R-2F-2 共 3 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.15 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F004B) | R-2F-2 共 2 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.13 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F005A) | R-2F-2 共 3 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.15 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F005B) | R-2F-2 共 2 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.13 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F006A) | R-B-14 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.98 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F006B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.02 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F007A) | R-B-14 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.28 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F007B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.34 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F008A) | R-B-14 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.99 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F008B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.02 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内酸素濃度 (D23- 02E-003A) | R-M4F-1 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内酸素濃度 (D23- 02E-003B) | R-M4F-2 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RAM- 005A) | R-1F-4 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.79 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RAM- 005B) | R-1F-7 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.72 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RAM- 006A) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.82 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RAM- 006B) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.89 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RE- 005A) | R-1F-2p1 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.94 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RE- 005B) | R-1F-2p4 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.95 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RE- 006A) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.80 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RE- 006B) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.95 |
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F001A) | R-2F-12 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.22 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------|-------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 格納容器内雰 囲気モニタ系 | 格納容器雰囲気モニタ系弁 (D23-F001B) | R-2F-2 共 2 | 原子炉建屋 | 18100 | 1. 21 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系ポンプ (E11- C001A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 0. 34 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系ポンプ (E11- C001B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 0. 34 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系ポンプ (E11- C001C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 0. 34 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11- F016A) | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | — |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11- F016B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11- F016C) | R-1F-9 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008A-2) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0. 74 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008B-2) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 0. 54 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008C-2) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 0. 55 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11- F001A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 2. 23 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11- F001B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 2. 00 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|--------|---------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F001C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.24 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F004A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 4.03 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F004B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.23 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F004C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.32 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F005A) | R-1F-10 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.37 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F005B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.07 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F005C) | R-1F-9 | 原子炉建屋 | 12300 | 3.04 |
| 残留熱除去系 | | R-B2-3 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 残留熱除去系 | | R-B2-5 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 残留熱除去系 | | R-B2-4 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F011A) | R-1F-1 | 原子炉建屋 | 12300 | 3.18 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F011B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.18 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|--------|---------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F011C) | R-1F-9 | 原子炉建屋 | 12300 | 3.18 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F012A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.77 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F012B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.83 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F012C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.06 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F013A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.25 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F013B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.20 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F013C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.17 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F014A) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.26 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F014B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.37 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F014C) | R-B-14 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.33 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F015) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.39 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F017B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.94 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------|-----------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F017C) | R-1F-9 | 原子炉建屋 | 12300 | 3.00 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F018B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.77 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F018C) | R-1F-9 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.81 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F019B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.68 |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F019C) | R-B-14 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.72 |
| 残留熱除去系 | | R-B2-3 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 残留熱除去系 | | R-B2-5 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 残留熱除去系 | | R-B2-4 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系ポンプ (E22-C001B) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系ポンプ (E22-C001C) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系系統流量 (E22-FT-007B-2) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.16 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系系統流量 (E22-FT-007C-2) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.16 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------|------------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 高压炉心注水系 | サプレッションチェンバプ ール水位 (E22-LT-010A) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 高压炉心注水系 | サプレッションチェンバプ ール水位 (E22-LT-010B) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 高压炉心注水系 | サプレッションチェンバプ ール水位 (E22-LT-010C) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 高压炉心注水系 | サプレッションチェンバプ ール水位 (E22-LT-010D) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F001B) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.94 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F001C) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.04 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F003B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.92 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F003C) | R-1F-9 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.89 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F006B) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.98 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F006C) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.03 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F010B) | R-B2-5 | 原子炉建屋 | -1700 | 1.63 |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22- F010C) | R-B2-4 | 原子炉建屋 | -1700 | 1.62 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------------|--------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F031) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.33 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F032) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.32 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系系統流 量 (E51-FT-006) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.74 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F401) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.80 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F001) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.90 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B1-13 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F006) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.59 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-B2-3 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F012) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.46 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | | R-1F-1 | 原子炉建屋 | 12300 | |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F037) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.04 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F400) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.17 |
| 原子炉隔離時 冷却系 | 原子炉補機冷却水系弁 (G31-F003) | R-1F-11 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.76 |
| 燃料プール冷 却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系ポン プ（設計基準対象施設とし てのみ 1, 2, 5, 7 号機共用） (G41-C001A) | R-2F-4 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.34 |
| 燃料プール冷 却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系ポン プ（設計基準対象施設とし てのみ 1, 2, 5, 7 号機共用） (G41-C001B) | R-2F-4 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.34 |
| 燃料プール冷 却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F030) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | — |
| 燃料プール冷 却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F032) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | — |
| 燃料プール冷 却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F005A) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.12 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------------|--------------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F013) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.26 |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F021A) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.05 |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F021B) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.06 |
| サブプレッショ ンプール浄化 系 | サブプレッショ ンプール浄化 系ポンプ (G51-C001) | R-B3-13 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.32 |
| サブプレッショ ンプール浄化 系 | サブプレッショ ンプール浄化 系弁 (G51-F015) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 3.26 |
| 盤類 | | R-B1-12 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 盤類 | | R-B1-12 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 盤類 | 可燃性ガス濃度制御系制御 盤 (H21-P026A) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 可燃性ガス濃度制御系制御 盤 (H21-P026B) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | ほう酸水注入系操作盤 (H21-P027A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.00 |
| 盤類 | ほう酸水注入系操作盤 (H21-P027B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.99 |
| 盤類 | | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----|---|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機制御盤 (H21- P371A) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.05 |
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機制御盤 (H21- P371B) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.04 |
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機制御盤 (H21- P371C) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.05 |
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機制御盤 (H21- P371D) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.04 |
| 盤類 | | R-1F-4 | 原子炉建屋 | 12300 | |
| 盤類 | | R-1F-7 | 原子炉建屋 | 12300 | |
| 盤類 | | R-1F-4 | 原子炉建屋 | 12300 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----|----|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----|-----------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-9 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | | R-2F-10 上 | 原子炉建屋 | 18100 | |
| 盤類 | 原子炉系計装ラック (H22-P001) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 盤類 | 原子炉系計装ラック (H22-P002) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.03 |
| 盤類 | 原子炉系計装ラック (H22-P003) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 盤類 | 原子炉系計装ラック (H22-P004) | R-B1-11 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 盤類 | 格納容器内雰囲気モニタラック (H22-P390) | R-M4F-1 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 盤類 | 格納容器内雰囲気モニタラック (H22-P391) | R-M4F-2 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 盤類 | 格納容器内雰囲気モニタ校正ラック (H22-P392) | R-M4F-1 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.49 |
| 盤類 | 格納容器内雰囲気モニタ校正ラック (H22-P393) | R-M4F-2 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.49 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機計装ラック (H22- P400) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.57 |
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機計装ラック (H22- P401) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.56 |
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機計装ラック (H22- P402) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.56 |
| 盤類 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機計装ラック (H22- P403) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.56 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P600) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.18 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P601) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.14 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P602) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.18 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P603) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.25 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P604) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.26 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P605) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.25 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P606) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.16 |
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P607) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.12 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----|----------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | 非常用ディーゼル発電設備 計装ラック (H22-P608) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.17 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-1) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-2) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-3) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-4) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-5) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-6) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-7) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-8) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001A-9) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-1) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-2) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----|-----------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-3) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-4) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-5) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-6) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-7) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-8) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001B-9) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001C-1) | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001C-2) | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001C-3) | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001C-4) | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001C-5) | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-----|---------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 盤類 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001D) | R-B1-9 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 電気盤 | | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 電気盤 | | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 電気盤 | | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-1-1 | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-1-2 | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-1-3 | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-1-4 | R-3F-2 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.01 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-1-6 | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-1-7 | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7C-2-1 | T-1F-2 | タービン建屋 | 12300 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-1-1 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-----|-------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-1-2 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-1-3 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-1-4 | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-1-6 | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-1-7 | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7D-2-1 | T-B1-4b2 | タービン建屋 | 4900 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7E-1-1A | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7E-1-1B | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7E-1-2 | R-3F-3 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.05 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7E-1-3 | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 電気盤 | モータコントロールセンタ 7E-2-1 | T-MB2-1 | タービン建屋 | -1100 | 0.00 |
| 電気盤 | | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-----------|----|---|---------|-----------------------|-----------------|
| 電気盤 | | T-1F-2 | タービン建屋 | 12300 | |
| 電気盤 | | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 電気盤 | | T-B1-4b2 | タービン建屋 | 4900 | |
| 電気盤 | | R-B1-7 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 電気盤 | | T-MB2-1 | タービン建屋 | -1100 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | T-B2-2 | タービン建屋 | -5100 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | T-B2-2 | タービン建屋 | -5100 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | 原子炉補機冷却水系サージ タンク水位 (P21-LT- 022A) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-----------|---|------------|--------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系サージ タンク水位 (P21-LT- 022B) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 0.52 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系サージ タンク水位 (P21-LT- 022C) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.50 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F007A) | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | 1.19 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F007B) | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | 1.20 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F007C) | T-B2-2 | タービン建屋 | -5100 | 1.31 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F007D) | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | 1.19 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F007E) | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | 1.20 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F007F) | T-B2-2 | タービン建屋 | -5100 | 1.32 |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------------------|---------------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F048A) | R-2F-9 下 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.95 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F048B) | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.16 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F048C) | R-2F-10 下 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.03 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F048D) | R-2F-9 下 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.97 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F048E) | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.96 |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F048F) | R-2F-10 下 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.02 |
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水 ポンプ (P25-C001A) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.29 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-----------------------|----------------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 ポンプ (P25-C001B) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.29 |
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 ポンプ (P25-C001C) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.29 |
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 ポンプ (P25-C001D) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.29 |
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機 (P25-D001A) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.17 |
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機 (P25-D001B) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.16 |
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機 (P25-D001C) | C-B2-2 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.17 |
| 換気空調補機 非常用冷却水 系 | 換気空調補機非常用冷却水 系冷凍機 (P25-D001D) | C-B2-3 | コントロール 建屋 | -2700 | 0.16 |
| 原子炉補機冷 却海水系 | | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷 却海水系 | | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷 却海水系 | | T-B1-2C | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷 却海水系 | | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | |
| 原子炉補機冷 却海水系 | | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----------------|---------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉補機冷 却海水系 | | T-B1-2C | タービン建屋 | 4900 | |
| 高圧窒素ガス 供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F003A) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 1.26 |
| 高圧窒素ガス 供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F003B) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 1.34 |
| 高圧窒素ガス 供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F012A) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.99 |
| 高圧窒素ガス 供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F012B) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 0.39 |
| 直流電源設備 | | C-MB2-3 | コントロール 建屋 | 1000 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-4 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|--------|---------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 直流電源設備 | | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-4 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-4 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 直流電源設備 | 直流 125V 原子炉建屋 MCC 7A (R42-P010) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7A-1-1 (R42-P011A-1) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7A-1-2A (R42-P011A-2A) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7A-1-2B (R42-P011A-2B) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------|---------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7B-1-1 (R42-P011B-1) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7B-1-2A (R42-P011B-2A) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7B-1-2B (R42-P011B-2B) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7C-1-1 (R42-P011C-1) | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7C-1-2B (R42-P011C-2B) | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7D-1 (R42-P011D) | C-B1-4 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤 7A-2-1 (R42-P012A-1) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | ディーゼル機関 (R43- C001A) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.17 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 発電機 (R43-C001A) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.17 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | ディーゼル機関 (R43- C001B) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.15 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 発電機 (R43-C001B) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.15 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | ディーゼル機関 (R43- C001C) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.16 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------|-------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 発電機 (R43-C001C) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.16 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ (R43- C006A) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.49 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ (R43- C006B) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.48 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ (R43- C006C) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.49 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 潤滑油補給ポンプ (R43- C011A) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.35 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 潤滑油補給ポンプ (R43- C011B) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.33 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 潤滑油補給ポンプ (R43- C011C) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.34 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F059A) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.03 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F059B) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.05 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F059C) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.07 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F063A) | R-1F-3 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.51 |
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F063B) | R-1F-6 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.52 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------------|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 非常用ディー ゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F063C) | R-1F-5 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.53 |
| バイタル交流 電源設備 | バイタル交流電源装置 (R46-P001A) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| バイタル交流 電源設備 | バイタル交流電源装置 (R46-P001B) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| バイタル交流 電源設備 | バイタル交流電源装置 (R46-P001C) | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| バイタル交流 電源設備 | バイタル交流電源装置 (R46-P001D) | C-B1-4 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| バイタル交流 電源設備 | 交流 120V バイタル分電盤 7A-1 (R46-P003A-1) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| バイタル交流 電源設備 | 交流 120V バイタル分電盤 7B-1 (R46-P003B-1) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.12 |
| バイタル交流 電源設備 | 交流 120V バイタル分電盤 7C-1 (R46-P003C-1) | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.12 |
| バイタル交流 電源設備 | 交流 120V バイタル分電盤 7D-1 (R46-P003D-1) | C-B1-4 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 計測制御用電 源設備 | 交流 120V 中央制御室計測 用分電盤 7A-1 (R47-P002A- 1) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 計測制御用電 源設備 | 交流 120V 中央制御室計測 用分電盤 7B-1 (R47-P002B- 1) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.11 |
| 計測制御用電 源設備 | 交流 120V 中央制御室計測 用分電盤 7C-1 (R47-P002C- 1) | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.12 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------------|---|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御用電 源設備 | 交流 120V 中央制御室計測 用主母線盤 7A (R47- P009A) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 計測制御用電 源設備 | 交流 120V 中央制御室計測 用主母線盤 7B (R47- P009B) | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 計測制御用電 源設備 | 交流 120V 中央制御室計測 用主母線盤 7C (R47- P009C) | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22- F001A) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 3.04 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22- F001B) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 3.02 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系排風機 (T22-C001A) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.80 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系排風機 (T22-C001B) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.80 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系乾燥装置 (T22-D001A) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.33 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系乾燥装置 (T22-D001B) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.33 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系フィルタ 装置 (T22-D002) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.34 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22- F002A) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.63 |
| 非常用ガス処 理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22- F002B) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.62 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|------------|--------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22-F004A) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.63 |
| 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22-F004B) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.64 |
| 不活性ガス系 | 格納容器内圧力 (T31-PT-026A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.27 |
| 不活性ガス系 | 格納容器内圧力 (T31-PT-026B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.99 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置 (T49-A001A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置 (T49-A001B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器 (T49-B001A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器 (T49-B001B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置冷却器 (T49-B002A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置冷却器 (T49-B002B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ (T49-C001A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ (T49-C001B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----------------|--|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結 合装置気水分離機 (T49- D001A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系再結 合装置気水分離機 (T49- D001B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.42 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F001A) | R-1F-2p2 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.86 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F001B) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.86 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F002A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.03 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F002B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.02 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F003A) | R-1F-2p2 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.91 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F003B) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.92 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F004A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.90 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F004B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.92 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F006A) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.98 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F006B) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.96 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|----------------|-------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F007A) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 3.69 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F007B) | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 3.60 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F008A) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 3.66 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F008B) | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 3.65 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F010A) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.54 |
| 可燃性ガス濃 度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F010B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.11 |
| 換気空調系 | 残留熱除去系ポンプ室空調 機 (U41-B103) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 換気空調系 | 残留熱除去系ポンプ室空調 機 (U41-B104) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 換気空調系 | 残留熱除去系ポンプ室空調 機 (U41-B105) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 換気空調系 | 高圧炉心注水系ポンプ室空調 機 (U41-B106) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 換気空調系 | 高圧炉心注水系ポンプ室空調 機 (U41-B107) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.34 |
| 換気空調系 | 非常用ガス処理系室空調機 (U41-B109) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.33 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 換気空調系 | 非常用ガス処理系室空調機 (U41-B110) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.33 |
| 換気空調系 | 可燃性ガス濃度制御系再結 合装置室空調機 (U41- B111) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.33 |
| 換気空調系 | 可燃性ガス濃度制御系再結 合装置室空調機 (U41- B112) | R-1F-12 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.32 |
| 換気空調系 | 燃料プール冷却浄化系ポン プ室空調機 (U41-B113) | R-2F-2 共 2 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.33 |
| 換気空調系 | 燃料プール冷却浄化系ポン プ室空調機 (U41-B114) | R-2F-2 共 2 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.33 |
| 換気空調系 | サブレーションプール浄化 系ポンプ室空調機 (U41- B115) | R-B3-13 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.33 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域送風機 (U41-C201A) | R-M4F-4A | 原子炉建屋 | 27200 | 0.18 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域送風機 (U41-C201B) | R-M4F-4A | 原子炉建屋 | 27200 | 0.18 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域排風機 (U41-C202A) | R-3F-2 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.18 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域排風機 (U41-C202B) | R-3F-2 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.18 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 非常用送風機 (U41- C203A) | R-2F-6 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.22 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 非常用送風機 (U41- C203B) | R-2F-6 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.23 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------|--|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域送風機 (U41-C211A) | R-M4F-5B | 原子炉建屋 | 27200 | 0.16 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域送風機 (U41-C211B) | R-M4F-5B | 原子炉建屋 | 27200 | 0.16 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域排風機 (U41-C212A) | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.17 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域排風機 (U41-C212B) | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.16 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 非常用送風機 (U41- C213A) | R-2F-8 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.12 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 非常用送風機 (U41- C213B) | R-2F-8 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.12 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域送風機 (U41-C221A) | R-M4F-4C | 原子炉建屋 | 27200 | 0.17 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域送風機 (U41-C221B) | R-M4F-4C | 原子炉建屋 | 27200 | 0.17 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域排風機 (U41-C222A) | R-4F-2C | 原子炉建屋 | 31700 | 0.17 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 区域排風機 (U41-C222B) | R-4F-2C | 原子炉建屋 | 31700 | 0.17 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 非常用送風機 (U41- C223A) | R-2F-7 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.13 |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備 非常用送風機 (U41- C223B) | R-2F-7 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.13 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------|-------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 換気空調系 | 中央制御室送風機 (6, 7 号機共用) (U41-C601A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.13 |
| 換気空調系 | 中央制御室送風機 (6, 7 号機共用) (U41-C601B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.12 |
| 換気空調系 | 中央制御室排風機 (6, 7 号機共用) (U41-C602A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.12 |
| 換気空調系 | 中央制御室排風機 (6, 7 号機共用) (U41-C602B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.13 |
| 換気空調系 | 中央制御室再循環送風機 (6, 7 号機共用) (U41-C603A) | C-1F-7 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.13 |
| 換気空調系 | 中央制御室再循環送風機 (6, 7 号機共用) (U41-C603B) | C-1F-7 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.13 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域送風機 (U41-C611A) | C-MB2-2② | コントロール 建屋 | 1000 | 0.17 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域送風機 (U41-C611B) | C-MB2-2② | コントロール 建屋 | 1000 | 0.17 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域排風機 (U41-C612A) | C-MB2-2② | コントロール 建屋 | 1000 | 0.17 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域排風機 (U41-C612B) | C-MB2-2② | コントロール 建屋 | 1000 | 0.17 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域送風機 (U41-C621A) | C-1F-4B | コントロール 建屋 | 12300 | 0.15 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域送風機 (U41-C621B) | C-1F-4B | コントロール 建屋 | 12300 | 0.15 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------|---|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御 電源盤区域排風機 (U41- C622A) | C-1F-4B | コントロール 建屋 | 12300 | 0.16 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御 電源盤区域排風機 (U41- C622B) | C-1F-4B | コントロール 建屋 | 12300 | 0.15 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御 電源盤区域送風機 (U41- C631A) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.15 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御 電源盤区域送風機 (U41- C631B) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.15 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御 電源盤区域排風機 (U41- C632A) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.17 |
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御 電源盤区域排風機 (U41- C632B) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.16 |
| 換気空調系 | 中央制御室換気空調系給気 処理装置 (U41-D601A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.01 |
| 換気空調系 | 中央制御室換気空調系給気 処理装置 (U41-D601B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.00 |
| 換気空調系 | 中央制御室再循環フィルタ 装置 (6, 7 号機共用) (U41- D603) | C-1F-7 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.13 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41- F001A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.83 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41- F001B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.82 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41- F002A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 3.24 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------|---------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F002B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 3.23 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F003A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.03 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F003B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 2.53 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F004A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.76 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F004B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.69 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F011A) | R-4F-2C | 原子炉建屋 | 31700 | 3.76 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F011B) | R-4F-2C | 原子炉建屋 | 31700 | 1.23 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F021A) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 2.93 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-F021B) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 2.93 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-DAM603A (K6)) | C-1F-2 | コントロール 建屋 | 17300 | 2.44 |
| 換気空調系 | 換気空調系弁 (U41-DAM603B (K6)) | C-1F-2 | コントロール 建屋 | 17300 | 2.45 |
| 中央制御室 | 中央制御室 (6, 7 号機共用) | C-2F-2 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.00 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-------------|---|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 下部中操 | 下部中央制御室 | C-1F-6 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.00 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水位 (G41-LS-001) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 燃料プール監 視 | スキマサージタンク水位計 (G41-LT-003A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.66 |
| 燃料プール監 視 | スキマサージタンク水位計 (G41-LT-003B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.66 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-1) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-2) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-3) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-4) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-5) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-6) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-7) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監 視 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-8) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------|---------------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) (G41-TE-103) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE101) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE102) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE104) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE106) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE108) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE110) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE111) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE112) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE113) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE114) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------|---------------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE115) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE116) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE118) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-L/TE119) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) (G41-TE120) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール (広域) 水位監視現場盤 (H21-P055) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.06 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (U51-ITV-No. IRSFP) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 7.44 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール温度 (G41-TE-002) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 燃料プール監視 | 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度 (G41-TE-004) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | 2.97 |
| 燃料プール監視 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 (E11-TE-006A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.38 |
| 燃料プール監視 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 (E11-TE-006B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.40 |
| 燃料プール監視 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 (E11-TE-006C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.40 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|---------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 燃料プール監視 | 燃料取替エリア排気放射線 モニタ (D11-RE-066A) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.76 |
| 燃料プール監視 | 燃料取替エリア排気放射線 モニタ (D11-RE-066B) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.76 |
| 燃料プール監視 | 燃料取替エリア排気放射線 モニタ (D11-RE-066C) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.75 |
| 燃料プール監視 | 燃料取替エリア排気放射線 モニタ (D11-RE-066D) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.76 |
| 燃料プール監視 | R/B 4F 北西側エリア放射 線モニタ (D21-RE-001) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.33 |
| 燃料プール監視 | 燃料貯蔵プールエリア(A) 放射線モニタ (D21-RE- 002) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.31 |
| 燃料プール監視 | 燃料貯蔵プールエリア(B) 放射線モニタ (D21-RE- 003) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.31 |
| 燃料プール監視 | 原子炉区域(A)放射線モニ タ (D21-RE-004) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.31 |
| 燃料プール監視 | 原子炉区域(B)放射線モニ タ (D21-RE-005) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.31 |
| 燃料プール監視 | R/B 4F 南東側エリア放射 線モニタ (D21-RE-006) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.52 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール放射 線モニタ (高レンジ) (D21-RE-036) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.99 |
| 燃料プール監視 | 使用済燃料貯蔵プール放射 線モニタ (低レンジ) (D21-RE-035) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 6.01 |

第 1.1-2 表 溢水防護対象設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ* [m] |
|-----------------|---|------------|--------|-----------------------|-----------------|
| プロセス放射 線モニタ系 | 気体廃棄物処理系設備エリ ア排気放射線モニタ (D11- RE-037A) | T-B1-3 | タービン建屋 | 4900 | 4.36 |
| プロセス放射 線モニタ系 | 気体廃棄物処理系設備エリ ア排気放射線モニタ (D11- RE-037B) | T-B1-3 | タービン建屋 | 4900 | 4.36 |
| プロセス放射 線モニタ系 | 気体廃棄物処理系設備エリ ア排気放射線モニタ (D11- RE-037C) | T-1F-3 | タービン建屋 | 12300 | 5.50 |
| プロセス放射 線モニタ系 | 気体廃棄物処理系設備エリ ア排気放射線モニタ (D11- RE-037D) | T-1F-3 | タービン建屋 | 12300 | 5.51 |

注記* : 水上高さ (0.075m) を考慮

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 燃料プール冷却浄化系ポン プ（設計基準対象施設とし てのみ 1, 2, 5, 7 号機共用） (G41-C001A) | R-2F-4 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.34 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 燃料プール冷却浄化系ポン プ（設計基準対象施設とし てのみ 1, 2, 5, 7 号機共用） (G41-C001B) | R-2F-4 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.34 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 可搬型スプレイヘッダ (6, 7 号機共用) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | — |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール可搬 式接続口（屋内南） | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール可搬 式接続口（南） | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度（SA 広域）(G41- L/TE101) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度（SA 広域）(G41- L/TE102) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度（SA 広域）(G41- L/TE104) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度（SA 広域）(G41- L/TE106) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度（SA 広域）(G41- L/TE108) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度（SA 広域）(G41- L/TE110) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE111) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE112) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE113) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE114) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE115) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE116) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE118) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- L/TE119) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-1) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-2) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-3) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-4) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-5) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-6) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-7) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 102-8) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA) (G41-TE- 103) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 1.29 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール水 位・温度 (SA 広域) (G41- TE120) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.87 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ (U51-ITV- No. IRSFP) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 7.44 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ用空冷装置 (U51-D- 001) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.26 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ用空冷装置 (U51-D- 002) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.28 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ用空冷装置 (U51-D- 003) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.26 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------------------|--|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ空冷装置変圧器 (U51-TR-001) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.04 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ空冷装置変圧器 (U51-TR-002) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.05 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ空冷装置変圧器 (U51-TR-003) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.04 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ通信ボックス | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 1.12 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ電源端子箱 (1) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.78 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ電源端子箱 (2) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 1.57 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 使用済燃料貯蔵プール監視 カメラ電源端子箱 (3) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.78 |
| 核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F017) | R-2F-1 | 原子炉建屋 | 18100 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F005A) | R-1F-10 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.37 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F005B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.07 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F017B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.94 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F018B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 2.77 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------------|----------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F019B) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.68 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F032A) | R-1F-10 | 原子炉建屋 | 12300 | 8.12 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F032B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.98 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F061) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.32 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系弁 (E11- F062) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.54 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧 力 (E11-PT-005A) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧 力 (E11-PT-005B) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.04 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧 力 (E11-PT-005C) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.04 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器入口 温度 (E11-TE-006A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.38 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器入口 温度 (E11-TE-006B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.40 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器入口 温度 (E11-TE-006C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.40 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器出口 温度 (E11-TE-007A) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.17 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器出口 温度 (E11-TE-007B) | R-B3-11 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.33 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------------|-------------------------------------|------------|-------------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器出口 温度 (E11-TE-007C) | R-B3-8 | 原子炉建屋 | -8200 | 3.40 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系温度 (代替循 環冷却) (E11-TE-009B) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.42 |
| 原子炉冷却系 統施設 | | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | |
| 原子炉冷却系 統施設 | | R-1F-1 | 原子炉建屋 | 12300 | |
| 原子炉冷却系 統施設 | 高压炉心代替注水系弁 (E61-F004) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.89 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水移送ポンプ (P13- C001A) | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 0.28 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水移送ポンプ (P13- C001B) | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 0.28 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水移送ポンプ (P13- C001C) | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 0.28 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁 (P13-F019) | W-B3-1 | 廃棄物処理建 屋 | -6100 | 0.62 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁 (P13-F020) | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 0.62 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁 (P13-F136) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁 (P13-F137) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁 (P13-F141) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------------|--|------------|-------------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系流量（格納容 器下部注水流量）（P13-FT- 025） | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 0.65 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁（P13-F094） | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 0.77 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 補給水系弁（P13-F095） | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 0.01 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水移送ポンプ吐出圧力 （P13-PT-011A） | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 1.11 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水移送ポンプ吐出圧力 （P13-PT-011B） | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 1.10 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水移送ポンプ吐出圧力 （P13-PT-011C） | W-B3-1 | 廃棄物処理 建屋 | -6100 | 1.11 |
| 原子炉冷却系 統施設 | | T-1F-4① | タービン建屋 | 12300 | |
| 原子炉冷却系 統施設 | | T-1F-4① | タービン建屋 | 12300 | |
| 原子炉冷却系 統施設 | 原子炉補機冷却水系弁 （P21-F147） | T-1F-3 | タービン建屋 | 12300 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 原子炉補機冷却水系弁 （P21-F148） | T-1F-3 | タービン建屋 | 12300 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 原子炉補機冷却水系系統流 量（P21-FT-009A） | T-B1-2A | タービン建屋 | 4900 | 0.75 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 原子炉補機冷却水系系統流 量（P21-FT-009B） | T-B1-4b1 | タービン建屋 | 4900 | 0.88 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------------|---|------------|--------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉冷却系 統施設 | 原子炉補機冷却水系系統流 量 (P21-FT-009C) | T-B2-2 | タービン建屋 | -5100 | 0.93 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器入口 冷却水流量 (P21-FT- 010A) | R-B3-4 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.06 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器入口 冷却水流量 (P21-FT- 010B) | R-B3-4 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.03 |
| 原子炉冷却系 統施設 | 残留熱除去系熱交換器入口 冷却水流量 (P21-FT- 010C) | R-B3-4 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.04 |
| 原子炉冷却系 統施設 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉冷却系 統施設 | | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | |
| 原子炉冷却系 統施設 | 可搬型代替注水ポンプ屋内 用 20m ホース | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 使用済燃料貯蔵プール接続 口 (東) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 使用済燃料貯蔵プール接続 口 (北) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系可搬式接続口 (東) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系接続口 (南) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系接続口 (南) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------------|--|------------|-------|-----------------------|------------------|
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系接続口 (北) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系接続口 (北) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系可搬式接続口 (屋内東) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 原子炉冷却系 統施設 | 復水補給水系可搬式接続口 (屋内北) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | — |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.03 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003D) | R-B1-11 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (広帯域) (B21-LT-003F) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.03 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (燃料域) (B21-LT-006A) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (燃料域) (B21-LT-006B) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 計測制御系統 施設 | 代替制御棒挿入 (原子炉水 位低 (レベル 2)) (B21-LT- 023A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.04 以上 に設置*2 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------|--|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御系統 施設 | 代替制御棒挿入 (原子炉水位低 (レベル 2)) (B21-LT-023B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.03 以上に設置*2 |
| 計測制御系統 施設 | 代替制御棒挿入 (原子炉水位低 (レベル 2)) (B21-LT-023C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.04 以上に設置*2 |
| 計測制御系統 施設 | 代替制御棒挿入 (原子炉水位低 (レベル 2)) (B21-LT-023D) | R-B1-11 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.03 以上に設置*2 |
| 計測制御系統 施設 | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ(1) (原子炉水位低 (レベル 3)) (B21-LT-022A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.04 以上に設置*2 |
| 計測制御系統 施設 | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ(1) (原子炉水位低 (レベル 3)) (B21-LT-022B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.03 以上に設置*2 |
| 計測制御系統 施設 | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ(1) (原子炉水位低 (レベル 3)) (B21-LT-022C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.04 以上に設置*2 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉圧力 (B21-PT-007A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉圧力 (B21-PT-007B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.03 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉圧力 (B21-PT-007C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉圧力 (SA) (B21-PT-012A) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.43 |
| 計測制御系統 施設 | 代替制御棒挿入 (原子炉圧力高) (B21-PT-012B) | R-B1-10 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.42 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------|------------------------------------|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御系統 施設 | 代替制御棒挿入 (原子炉圧 力高) (B21-PT-012C) | R-B1-6 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F043) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.16 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F044) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.42 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F047) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.43 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F048A) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.72 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F048B) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.73 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F049A) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.72 |
| 計測制御系統 施設 | 制御棒駆動系弁 (C12- F049B) | R-B3-9 | 原子炉建屋 | -8200 | 2.74 |
| 計測制御系統 施設 | ほう酸水注入系ポンプ (C41-C001A) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.46 |
| 計測制御系統 施設 | ほう酸水注入系ポンプ (C41-C001B) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.46 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内水素濃度 (D23- H2E-001A) | R-M4F-1 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内水素濃度 (D23- H2E-001B) | R-M4F-2 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内酸素濃度 (D23- O2E-003A) | R-M4F-1 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内酸素濃度 (D23- 02E-003B) | R-M4F-2 | 原子炉建屋 | 27200 | 0.12 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RAM- 005A) | R-1F-4 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.79 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RAM- 005B) | R-1F-7 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.72 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RAM- 006A) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.82 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RAM- 006B) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.89 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RE- 005A) | R-1F-2p1 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.94 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (D/W) (D23-RE- 005B) | R-1F-2p4 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.95 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RE- 006A) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.80 |
| 計測制御系統 施設 | 格納容器内雰囲気放射線モ ニタ (S/C) (D23-RE- 006B) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.95 |
| 計測制御系統 施設 | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008A-2) | R-B3-2 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.74 |
| 計測制御系統 施設 | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008B-2) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.54 |
| 計測制御系統 施設 | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008C-2) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.55 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------|---|------------|-------------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御系統 施設 | 復水補給水系流量 (RHR A 系代替注水流量) (E11-FT- 013A) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 1.06 |
| 計測制御系統 施設 | 復水補給水系流量 (RHR B 系代替注水流量) (E11-FT- 013B) | R-1F-8 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.73 |
| 計測制御系統 施設 | 高压炉心注水系ポンプ吐出 圧力 (E22-PT-004B) | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.83 |
| 計測制御系統 施設 | 高压炉心注水系ポンプ吐出 圧力 (E22-PT-004C) | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.05 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉隔離時冷却系系統流 量 (E51-FT-006) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.74 |
| 計測制御系統 施設 | 高压代替注水系系統流量 (E61-FT-006) | R-B2-2H | 原子炉建屋 | -1700 | 0.23 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (SA) (E61-LT- 021) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.04 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉水位 (SA) (E61-LT- 022) | R-B2-2H | 原子炉建屋 | -1700 | 0.24 |
| 計測制御系統 施設 | 復水貯蔵槽水位 (SA) (E61-LT-025) | W-B3-1 | 廃棄物処理建 屋 | -6100 | 0.76 |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54-F003A) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 1.26 |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54-F003B) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 1.34 |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54-F012A) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.99 |

第 1. 1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54-F012B) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 0. 39 |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54- A001A, C, E, G, J, L, N, Q, S, U) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54- A001B, D, F, H, K, M, P, R, T, V) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54- F001A, C, E, G, J, L, N, Q, S, U) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54- F001B, D, F, H, K, M, P, R, T, V) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54-F002A, C) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 計測制御系統 施設 | 高压窒素ガス供給系弁 (P54-F002B, D) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | — |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-001A) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 17. 31 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-001B) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 17. 61 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-001C) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 2. 55 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-003A) | R-2F-2 共 3 | 原子炉建屋 | 18100 | 3. 70 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-003B) | R-2F-3 | 原子炉建屋 | 18100 | 3. 70 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-003C) | R-B1-2 | 原子炉建屋 | 4800 | 2. 80 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|--------------|---|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-003D) | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 3.42 |
| 計測制御系統 施設 | 原子炉建屋水素濃度 (P91- H2E-003E) | R-B2-2 | 原子炉建屋 | -1700 | 3.42 |
| 計測制御系統 施設 | 携帯型音声呼出電話設備 (携帯型音声呼出電話機) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | 1.06 |
| 計測制御系統 施設 | 携帯型音声呼出電話設備 (携帯型音声呼出電話機) | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.30 |
| 計測制御系統 施設 | 携帯型音声呼出電話設備 (携帯型音声呼出電話機) | R-B1-4 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.69 |
| 計測制御系統 施設 | 携帯型音声呼出電話設備 (携帯型音声呼出電話機) | R-B1-5 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.40 |
| 計測制御系統 施設 | 携帯型音声呼出電話設備 (携帯型音声呼出電話機) | R-B3-5 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.02 |
| 計測制御系統 施設 | 携帯型音声呼出電話設備 (携帯型音声呼出電話機) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.21 |
| 計測制御系統 施設 | 安全パラメータ表示システ ム (SPDS) | C-1F-8 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.00 |
| 計測制御系統 施設 | 中央制御室 (6,7号機共 用) | C-2F-2 | コントロール 建屋 | 17900 | 0.00 |
| 計測制御系統 施設 | 下部中央制御室 | C-1F-6 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.00 |
| 計測制御系統 施設 | 5号機屋外緊急連絡用イン ターフォン (インターフォ ン) (6,7号機共用) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.52 |
| 放射線管理施 設 | 耐圧強化ベント系放射線モ ニタ (D11-RAM-091A) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 0.57 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 放射線管理施設 | 耐圧強化ベント系放射線モニタ (D11-RAM-091B) | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 0.57 |
| 放射線管理施設 | 耐圧強化ベント系放射線モニタ (D11-RE-091A) | R-4F-1 | 原子炉建屋 | 31700 | 3.41 |
| 放射線管理施設 | 耐圧強化ベント系放射線モニタ (D11-RE-091B) | R-4F-1 | 原子炉建屋 | 31700 | 3.41 |
| 放射線管理施設 | フィルタ装置出口放射線モニタ (D11-RE-099A) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 30.05 |
| 放射線管理施設 | フィルタ装置出口放射線モニタ (D11-RE-099B) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 28.30 |
| 放射線管理施設 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (低レンジ) (D21-RAM-035) | R-4F-2C | 原子炉建屋 | 31700 | 0.60 |
| 放射線管理施設 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ) (D21-RAM-036) | R-4F-2C | 原子炉建屋 | 31700 | 0.60 |
| 放射線管理施設 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (低レンジ) (D21-RE-035) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 6.01 |
| 放射線管理施設 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ) (D21-RE-036) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.99 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-F001A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.83 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-F001B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.82 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-F002A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 3.24 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-F002B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 3.23 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-F003A) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.03 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-F003B) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 2.53 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-DAM601A (K6)) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 4.04 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-DAM601B (K6)) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 4.04 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-DAM602A (K6)) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.82 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-DAM602B (K6)) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.82 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-DAM604A (K6)) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 2.48 |
| 放射線管理施設 | 換気空調系弁 (U41-DAM604B (K6)) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 2.48 |
| 放射線管理施設 | 中央制御室可搬型陽圧化空調機 (フィルタユニット) (6,7号機共用) | C-1F-4B | コントロール 建屋 | 12300 | 0.13 |
| 放射線管理施設 | 中央制御室可搬型陽圧化空調機 (ファン) (6,7号機共用) | C-1F-4B | コントロール 建屋 | 12300 | 0.12 |
| 放射線管理施設 | 中央制御室可搬型陽圧化空調機 (フィルタユニット) (6,7号機共用) | C-1F-10 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.13 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 放射線管理施設 | 中央制御室可搬型陽圧化空調機（ファン）（6,7号機共用） | C-1F-10 | コントロール 建屋 | 12300 | 0.12 |
| 放射線管理施設 | 中央制御室待避室陽圧化換気空調系弁（6,7号機共用） | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | — |
| 放射線管理施設 | 中央制御室待避室陽圧化換気空調系弁（6,7号機共用） | W-1F-1 | 廃棄物処理 建屋 | 12300 | — |
| 放射線管理施設 | 5号機原子炉建屋内緊急時対策所（5号機原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機（ファン））（6,7号機共用） | K5TSC | 5号機原子炉 建屋 | 27800 | 0.00 |
| 放射線管理施設 | 5号機原子炉建屋内緊急時対策所（5号機原子炉建屋内緊急時対策所（待避場所）可搬型陽圧化空調機（ファン））（6,7号機共用） | K5TSC | 5号機原子炉 建屋 | 27800 | 0.00 |
| 放射線管理施設 | 5号機原子炉建屋内緊急時対策所（5号機原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型外気取入送風機）（6,7号機共用） | K5TSC | 5号機原子炉 建屋 | 27800 | 0.00 |
| 放射線管理施設 | 5号機原子炉建屋内緊急時対策所（5号機原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機（フィルタユニット））（6,7号機共用） | K5TSC | 5号機原子炉 建屋 | 27800 | 0.00 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|---|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 放射線管理施設 | 5号機原子炉建屋内緊急時 対策所（5号機原子炉建屋 内緊急時対策所（待避場 所）可搬型陽圧化空調機 （フィルタユニット） （6,7号機共用） | K5TSC | 5号機原子炉 建屋 | 27800 | 0.00 |
| 原子炉格納施設 | 高压炉心注水系系統流量 （E22-FT-007B-2） | R-B3-12 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.16 |
| 原子炉格納施設 | 高压炉心注水系系統流量 （E22-FT-007C-2） | R-B3-7 | 原子炉建屋 | -8200 | 1.16 |
| 原子炉格納施設 | 高压代替注水系ポンプ （E61-C001） | R-B2-2H | 原子炉建屋 | -1700 | 0.34 |
| 原子炉格納施設 | 高压代替注水系ポンプ（タ ービン部）（E61-C001） | R-B2-2H | 原子炉建屋 | -1700 | 0.34 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系排風機 （T22-C001A） | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.80 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系排風機 （T22-C001B） | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.80 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系乾燥装置 （T22-D001A） | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.33 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系乾燥装置 （T22-D001B） | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.33 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系フィルタ 装置（T22-D002） | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.34 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系弁（T22- F004A） | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.63 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|--------------------------------|-------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系弁 (T22-F004B) | R-3F-4 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.64 |
| 原子炉格納施設 | 非常用ガス処理系弁 (T22-F511) | R-4F-1 | 原子炉建屋 | 31700 | 2.92 |
| 原子炉格納施設 | 不活性ガス系弁 (T31-F019) | R-2F-3 | 原子炉建屋 | 18100 | 1.27 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T31-F019 エクステンション) | R-2F-11 | 原子炉建屋 | 18100 | — |
| 原子炉格納施設 | 不活性ガス系弁 (T31-F022) | R-B-15 | 原子炉建屋 | 8500 | 1.06 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T31-F022 エクステンション) | R-B1-16 | 原子炉建屋 | 4800 | — |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T31-F600 エクステンション) | R-M4F-5B | 原子炉建屋 | 27200 | — |
| 原子炉格納施設 | サブプレッションチェーンバブル水位 (T31-LT-033) | R-B3-6 | 原子炉建屋 | -8200 | 0.45 |
| 原子炉格納施設 | 不活性ガス系弁 (T31-F070) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 4.62 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T31-F070 エクステンション) | R-M4F-5B | 原子炉建屋 | 27200 | — |
| 原子炉格納施設 | 不活性ガス系弁 (T31-F072) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 2.44 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T31-F072 エクステンション) | R-M4F-5 共 2 | 原子炉建屋 | 27200 | — |
| 原子炉格納施設 | 格納容器内圧力 (S/C) (T31-PT-030) | R-1F-2 共 | 原子炉建屋 | 12300 | 0.97 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|-----------------------------------|-------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉格納施設 | 格納容器内圧力 (D/W) (T31-PT-034) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.28 |
| 原子炉格納施設 | 原子炉格納容器フィルタベ ント系弁 (T61-F001) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 5.80 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T61- F001 エクステンション) | R-M4F-5 共 2 | 原子炉建屋 | 27200 | — |
| 原子炉格納施設 | 原子炉格納容器フィルタベ ント系弁 (T61-F002) | R-3F-1 共 | 原子炉建屋 | 23500 | 1.84 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T61- F002 エクステンション) | R-M4F-5 共 2 | 原子炉建屋 | 27200 | — |
| 原子炉格納施設 | ドレン移送ポンプ (T61- C002A) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.00 |
| 原子炉格納施設 | ドレン移送ポンプ (T61- C002B) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.00 |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T61- F209 エクステンション) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T61- F501 エクステンション) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉格納施設 | 遠隔手動弁操作設備 (T61- F521 エクステンション) | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置入口圧力 (T61-PT-001) | R-M4F-5B | 原子炉建屋 | 27200 | 1.22 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置金属フィルタ 差圧 (T61-DPT-005A) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 3.43 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置金属フィルタ 差圧 (T61-DPT-005B) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 3.43 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|---|------------|-------|-----------------------|-----------------|
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置水素濃度 (T61-H2E-104) | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.12 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置水素濃度 (T61-H2E-134) | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.15 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置水位 (T61- LT-002A) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 3.43 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置水位 (T61- LT-002B) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 3.74 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置スクラバ水 pH (T61-PHE-173) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.11 |
| 原子炉格納施設 | 静的触媒式水素再結合器動 作監視装置 (T71-TE- 001A) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.22 |
| 原子炉格納施設 | 静的触媒式水素再結合器動 作監視装置 (T71-TE- 001B) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 5.27 |
| 原子炉格納施設 | 静的触媒式水素再結合器動 作監視装置 (T71-TE- 002A) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 6.24 |
| 原子炉格納施設 | 静的触媒式水素再結合器動 作監視装置 (T71-TE- 002B) | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 6.29 |
| 原子炉格納施設 | 静的触媒式水素再結合器 | R-4F-3 | 原子炉建屋 | 31700 | 0.95 |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置補給用接続口 | 屋外 | 屋外 | 12000 | — |
| 原子炉格納施設 | 燃料取替床ブローアウトパ ネル閉止装置 | 屋外 | 屋外 | 12000 | 29.02 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|-------------------------------|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 非常用電源設備 | AM 用 MCC 7B-1A, 7B-1B, 7B-1C | R-4F-2B | 原子炉建屋 | 31700 | 0.06 |
| 非常用電源設備 | AM 用直流 125V 充電器 (R42-P006) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.03 |
| 非常用電源設備 | AM 用直流 125V 蓄電池 (R42-J002) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.21 |
| 非常用電源設備 | AM 用動力変圧器 (R23-P740) | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-1-1 | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-1-2 | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-1-3 | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.01 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-1-4 | R-3F-2 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.01 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-1-6 | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-1-7 | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7C-2-1 | T-1F-2 | タービン建屋 | 12300 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-1-1 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-1-2 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-1-3 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-1-4 | R-3F-5 | 原子炉建屋 | 23500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-1-6 | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-1-7 | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | モータコントロールセンタ 7D-2-1 | T-B1-4b2 | タービン建屋 | 4900 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 非常用電源設備 | | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 非常用電源設備 | 緊急用断路器 (6, 7 号機共用) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.32 |
| 非常用電源設備 | 緊急用電源切替箱接続装置 7A (H25-P800) | R-2F-10 下 | 原子炉建屋 | 18100 | 0.04 |
| 非常用電源設備 | 緊急用電源切替箱接続装置 7B (H25-P803) | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | 0.05 |
| 非常用電源設備 | 緊急用電源切替箱断路器 (R53-P002) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.03 |
| 非常用電源設備 | 第一ガスタービン発電機 (6, 7 号機共用) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.13 |
| 非常用電源設備 | 第一ガスタービン発電機用 燃料移送ポンプ (A 系) (6, 7 号機共用) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.33 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|--|------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 非常用電源設備 | 第一ガスタービン発電機用 燃料移送ポンプ (B 系) (6, 7 号機共用) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.33 |
| 非常用電源設備 | 直流 125V HPAC MCC (R42- P010-1) | R-4F-2A | 原子炉建屋 | 31700 | 0.08 |
| 非常用電源設備 | | C-MB2-3 | コントロール 建屋 | 1000 | |
| 非常用電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 非常用電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 非常用電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 非常用電源設備 | | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 非常用電源設備 | | C-B1-3 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 非常用電源設備 | | C-B1-2 | コントロール 建屋 | 6500 | |
| 非常用電源設備 | | R-B1-3 | 原子炉建屋 | 4800 | |
| 非常用電源設備 | R-B1-8 | 原子炉建屋 | 4800 | | |
| 非常用電源設備 | 125V 同時投入防止用切替盤 (R42-P009) | C-B1-5 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.04 |

第 1.1-3 表 重大事故等対処設備の設置高さ及び機能喪失高さ

| 系統 | 設備 | 溢水防護 区画 | 設置建屋 | 設置高さ (T. M. S. L.) | 機能喪失 高さ*1[m] |
|---------|---|----------------|--------------|-----------------------|-----------------|
| 非常用電源設備 | 号炉間電力融通ケーブル (6号機用) | C-2F-1 | コントロール 建屋 | 17300 | 1.14 |
| 非常用電源設備 | 号炉間電力融通ケーブル (7号機用) | C-2F-3 | コントロール 建屋 | 17300 | 0.82 |
| 非常用電源設備 | AM用MCC 7B-1D | W-1F-1 (電品) | 廃棄物処理 建屋 | 12300 | 0.06 |
| 非常用電源設備 | AM用操作盤 7C | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.00 |
| 非常用電源設備 | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | R-B1-4 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.05 |
| 非常用電源設備 | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 (6,7号機共用)(予備) | R-B1-16 | 原子炉建屋 | 8500 | 0.05 |
| 非常用電源設備 | 5号機原子炉建屋内緊急時 対策所用可搬型電源設備 (6,7号機共用) | 屋外 | 屋外 | 12000 | 0.01 |
| 非常用電源設備 | 5号機原子炉建屋内緊急時 対策所用6/7号機電源切替 盤(6,7号機共用) | C-B1-6 | コントロール 建屋 | 6500 | 0.07 |
| 緊急時対策所 | 5号機原子炉建屋内緊急時 対策所 | K5TSC | 5号機原子炉 建屋 | 27800 | 0.00 |

注記*1：水上高さ(0.075m)を考慮

*2：現場未設置の為設計要求を記載

1.2 防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備について

1. 概要

本資料は、技術基準規則第 12 条、第 54 条及びその解釈並びに内部溢水影響評価ガイドを踏まえ、「V-1-1-9-2 防護すべき設備の設定」に基づき抽出した防護すべき設備のうち、溢水影響評価対象外とした防護すべき設備と選定フローを示す。

2. 防護すべき設備のうち、溢水影響評価対象外とする設備の選定について

防護すべき設備として抽出された設備のうち、2.1 に示す考えに基づきスクリーニングを実施する。防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備の選定フローを第 1.2-1 図に、スクリーニングにより溢水影響評価対象外とした溢水防護対象設備を第 1.2-1 表に重大事故等対処設備を第 1.2-2 表に示す。

2.1 溢水影響評価対象外とするスクリーニングの考え方について

①. 溢水により機能喪失しない機器

構造が単純で外部から動力の供給を必要としない容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、配管等は、溢水の影響を受けても安全機能を損なわない。

②. 原子炉格納容器内耐環境仕様の機器

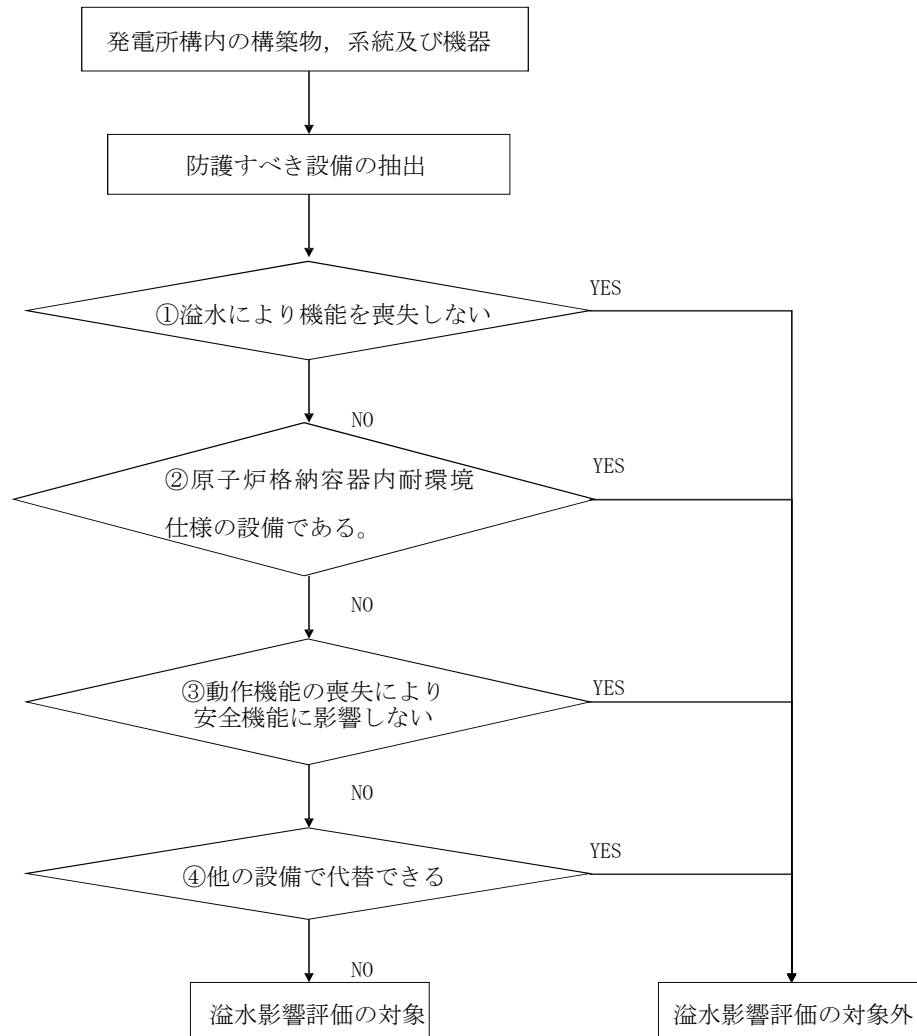
原子炉格納容器内の機器のうち、温度・圧力条件及び溢水影響を考慮した耐環境仕様の機器は、溢水により機能喪失しない。

③. 動作機能の喪失により安全機能に影響しない機器

フェイルセーフ設計となっている機器は、動作機能が喪失しても安全機能に影響しない（通常待機時から機能遂行時にかけて動作要求がない機器等を含む。）

④. 他の機器で代替できる機器

他の機器により要求機能が代替できる機器は機能喪失しても安全機能に影響しない。（代表する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る。）



第 1.2-1 図 防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備の選定フロー

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------|--|-------|
| 原子炉系 | 主蒸気隔離弁用アキュムレータ (B21-A001A~D) | ① |
| 原子炉系 | 主蒸気隔離弁用アキュムレータ (B21-A002A~D) | ① |
| 原子炉系 | 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ (B21-A003A, C, F, H, L, N, R, T) | ① |
| 原子炉系 | 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ (B21-A004A~H, J~N, P, R~U) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-A0-F003A~D) | ③ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-A0-F051A, B) | ③ |
| 原子炉系 | 排気管 (B21-D003A~H, J~N, P, R~U) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F021A~H, J~N, P, R~U) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F022A~H, J~N, P, R~U) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F026A, C, F, H, L, N, R, T) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F052A, B) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F053A, B) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F056A, B) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F070A, B) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F700A~D) | ④ |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------|-----------------------|-------|
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F701A~D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F702A~D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F703A~D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F704A~D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F705A~D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F709, 711) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F710, 712) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F713A~D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F714A~D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F715A~D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F716A~D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F717A~D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F718A~D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F719A~D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F720A~D) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------|-------------------------------------|-------|
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F723A～D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F724A～D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F725A～D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F726A～D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F729A～D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F730A～D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F731A～D) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-F732A～D) | ① |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-M0-F005) | ② |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-M0-F006) | ④ |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-N0-F001A～H, J～N, P, R～U) | ② |
| 原子炉系 | 原子炉系弁 (B21-N0-F002A～D) | ② |
| 原子炉系 | 原子炉水位 (B21-Z-LS-601A-1～D-1) | ③ |
| 原子炉系 | 原子炉圧力 (B21-Z-PS-607A-1～D-1) | ③ |
| 原子炉系 | ドライウェル圧力 (B21-Z-PS-625A-1～D-1) | ③ |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------------|---------------------------------------|-------|
| 原子炉冷却材再循環系 | 原子炉冷却材再循環系弁 (B31-F008A~H, J, K) | ① |
| 原子炉冷却材再循環系 | 原子炉冷却材再循環系弁 (B31-F009A~H, J, K) | ① |
| 制御棒操作監視系 | 制御棒引抜監視装置 (C11-E001) | ② |
| 制御棒駆動系 | 制御棒駆動機構 (C12-D005) | ② |
| 制御棒駆動系 | 制御棒駆動系弁 (C12-F101, 140) | ① |
| 制御棒駆動系 | 制御棒駆動系充てん水ライン圧力 (C12-Z-PS-611A-2~D-2) | ③ |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系貯蔵タンク (C41-A001) | ① |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ (C41-B001, 002) | ③ |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F002A, B) | ① |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F004A, B) | ① |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F005A, B) | ① |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系弁 (C41-F007, 008, 015~018) | ① |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入系貯蔵タンク温度 (C41-TE-301, 302) | ③ |
| 原子炉核計装系 | 原子炉核計装系弁 (C51-F015) | ① |
| 原子炉核計装系 | 原子炉核計装系弁 (C51-M0-F005A~C) | ③ |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|--------------|--|-------|
| 原子炉核計装系 | 起動領域モニタ (C51-NE-SRNM(A)～(H), (J), (L)) | ② |
| 原子炉核計装系 | 起動領域モニタ計数率, ペリオド, 動作(C51-NTS-601A～H, J, L) | ③ |
| 原子炉核計装系 | 平均出力領域モニタ, TPM動作, 炉心流量(C51-NTS-603A～D) | ③ |
| 原子炉核計装系 | 原子炉核計装系弁 (C51-S0-F014) | ④ |
| 原子炉緊急停止系 | 水平/鉛直方向地震加速度検出器 (C71-VBS-D001A～D) | ③ |
| 原子炉緊急停止系 | 水平/鉛直方向地震加速度検出器 (C71-VBS-D002A～D) | ③ |
| 原子炉緊急停止系 | 水平方向地震加速度検出器 (C71-VBS-D003A～D) | ③ |
| プロセス放射線モニタ系 | 主蒸気管放射線モニタ (D11-RIS-670A～D) | ③ |
| プロセス放射線モニタ系 | ドライウェルドレン放射線モニタ (D11-RTS-089, 090) | ③ |
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-F021A, B) | ① |
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-F024A, B) | ① |
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-F025A, B) | ① |
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-F026A, B) | ① |
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-F027A, B) | ① |
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-F028A, B) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|--------------|---------------------------------------|-------|
| 格納容器内雰囲気モニタ系 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-S0-F009, 012, 013) | ③ |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-A0-F006A~C) | ③ |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-A0-F036A) | ③ |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系熱交換器 (E11-B001A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系封水ポンプ (E11-C002A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系吸込ストレーナ (E11-D001A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F002A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F003A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F007B, C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F009A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F020A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F022A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F023A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F024A~C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F025A~C) | ① |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|---------|---------------------------|-------|
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F033A～C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F039A～C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F040A～C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F041A～C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F042A～C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F048) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-F051A～C) | ① |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F010A～C) | ② |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F029A～C) | ③ |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F031A～C) | ③ |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-N0-F006B, C) | ③ |
| 残留熱除去系 | 残留熱除去系弁 (E11-N0-F036B, C) | ③ |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F002B, C) | ① |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F005B, C) | ① |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F007B, C) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|---------|---|-------|
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F012B, C) | ① |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F015B, C) | ① |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F020B, C) | ① |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-F028~030) | ① |
| 高压炉心注水系 | 復水貯蔵槽水位 (E22-LT-009A~D) | ③ |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-M0-F008B, C) | ③ |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-M0-F009B, C) | ③ |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-N0-F004B, C) | ② |
| 高压炉心注水系 | 高压炉心注水系弁 (E22-N0-F019B, C) | ③ |
| 漏えい検出系 | 漏えい検出系弁 (E31-A0-F403, 406) | ③ |
| 漏えい検出系 | 漏えい検出系弁 (E31-F003, 004) | ④ |
| 漏えい検出系 | 主蒸気管流量 (E31-Z-DPS-602A~H, J~N, P, R, S) | ③ |
| 漏えい検出系 | 主蒸気管トンネル室温度 (E31-Z-TS-701A-1~D-1) | ③ |
| 漏えい検出系 | 主蒸気管トンネル室温度 (E31-Z-TS-721A-1~D-1) | ③ |
| 漏えい検出系 | 主蒸気管トンネル室温度 (E31-Z-TS-722A-1~D-1) | ③ |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------|---------------------------------------|-------|
| 漏えい検出系 | 主蒸気管トンネル室温度 (E31-Z-TS-723A-1~D-1) | ③ |
| 漏えい検出系 | 主蒸気管トンネル室温度 (E31-Z-TS-724A-1~D-1) | ③ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系真空タンク (E51-A001) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系セパレータ (E51-A002) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系油タンク (-) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ用油タンク (E51-A005) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-A0-F005, 026) | ③ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系バロメトリックコンデンサ (E51-B001) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系蒸気タービン用潤滑油冷却器 (E51-B002) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ用潤滑油冷却器 (E51-B003) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | サプレッションプール排気管 (E51-D005) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系ラプチャーディスク (E51-D014) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系ドレンポット (E51-D019, 020) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系蒸気タービン用主油ポンプサクシヨンスターナ (-) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ用潤滑油冷却器オイルフィルタ (E51-D057) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------|--|-------|
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F002, 003, 007, 014～018, 023, 038, 046, 063, 301, 303, 405, 407, 451～453, 654) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F730A～D) | ④ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F731A～D) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F732A～D) | ④ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-F733A～D) | ① |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-M0-F008, 009) | ③ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-M0-F035) | ② |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-M0-F039, 047) | ③④ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-M0-F048) | ③ |
| 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-PCV-F013, 450, 454) | ③ |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-A0-F072) | ③ |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-F001, 018, 500) | ① |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-F700A, B) | ④ |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-F701A, B) | ④ |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-F702A, B) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------------|-------------------------------|-------|
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-F703A, B) | ① |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-M0-F002) | ② |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-M0-F017, 026) | ③ |
| 燃料プール冷却浄化系 | スキマサージタンク (G41-A001A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (G41-B001A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 使用済燃料貯蔵プール散水管 (G41-D008A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F001) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F002A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F003A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F004A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F014A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F015A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F016, 017) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F019A, B) | ① |
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F020A, B) | ① |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|----------------|---|-------|
| 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-F022, 031～034, 510, 511) | ① |
| サブプレッションプール浄化系 | サブプレッションプール浄化系弁 (G51-A0-F005) | ③ |
| サブプレッションプール浄化系 | サブプレッションプール浄化系弁 (G51-F003, 004, 011～014, 018) | ① |
| サブプレッションプール浄化系 | サブプレッションプール浄化系弁 (G51-M0-F001, 002, 008～010) | ③ |
| 盤類 | 格納容器内雰囲気モニタ校正ガスボンベラック (H22-P394, 395) | ① |
| 放射性ドレン移送系 | 放射性ドレン移送系弁 (K11-M0-F003, 103) | ② |
| 放射性ドレン移送系 | 放射性ドレン移送系弁 (K11-M0-F004, 104) | ④ |
| タービン主蒸気系 | 主蒸気管圧力 (N11-Z-PS-605A～D) | ③ |
| タービン制御系 | 主蒸気止め弁開度 (N32-POS-102A～D) | ③ |
| タービン制御系 | タービン主蒸気加減弁急速閉電磁弁位置 (N32-POS-106A～D) | ③ |
| タービン制御系 | 蒸気加減弁急速閉 (N32-PS-100A～D) | ③ |
| 抽気系 | 復水器真空度 (N36-Z-PS-626A～D) | ③ |
| 純水補給水系 | 純水補給水系弁 (P11-F082) | ① |
| 復水補給水系 | 復水貯蔵槽 (P13-A001) | ① |
| 復水補給水系 | 復水貯蔵槽漏えい検出樋 (P13-A002) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------|-------------------------------|-------|
| 復水補給水系 | 復水補給水系弁 (P13-F019) | ① |
| 復水補給水系 | 純水補給水系弁 (P13-M0-F095) | ③ |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系サージタンク (P21-A001A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-A0-F014A~F) | ③ |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系熱交換器 (P21-B001A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F001A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F002A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F003A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F004A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F005A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F006A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F008A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却系弁 (P21-F009A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却系水弁 (P21-F010A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却系水弁 (P21-F012A~C) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------|---------------------------|-------|
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却系水弁 (P21-F013A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却系水弁 (P21-F015A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F030A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F038A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F039A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F041A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F044A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F045A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F046B, C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F047B, C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F050A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F051A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F052A~D) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F053A~D) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F055A~D) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------|---------------------------|-------|
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F056A~D) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F057A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F058A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F059A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F060A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F061A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F062A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F066A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F068A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F069A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F070A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F078A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F106A~C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F109~112) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F131A, B) | ① |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------|------------------------------|-------|
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F132A, B) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F143, 144) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F201A～C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F202A～C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F205B, C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F206B, C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F221A～F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F222A～F) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F250A～C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-F251A～C) | ① |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F029A, B) | ④ |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F035A, B) | ② |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F036A, B) | ④ |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F054A～D) | ③ |
| 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-TCV-F011A～C) | ③ |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|---------------|--|-------|
| 換気空調補機常用冷却水系 | 換気空調補機常用冷却水系弁 (P24-F151) | ① |
| 換気空調補機常用冷却水系 | 換気空調補機常用冷却水系弁 (P24-M0-F150) | ④ |
| 換気空調補機常用冷却水系 | 換気空調補機常用冷却水系弁 (P24-M0-F156) | ② |
| 換気空調補機常用冷却水系 | 換気空調補機常用冷却水系弁 (P24-M0-F157) | ④ |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F001A~D) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F002A~D) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F003A~D) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F004A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F005A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F007A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F008A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F009A~D) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F010~014, 016~022, 024, 025) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F026A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F028A, B) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|---------------|--|-------|
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F029A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F031A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F036A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F067A, B) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-F110~114, 116~122, 124, 125) | ① |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-PCV-F027A, B) | ③ |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-TCV-F006A, B) | ③ |
| 換気空調補機非常用冷却水系 | 換気空調補機非常用冷却水系弁 (P25-TCV-F015, 023, 115, 123) | ③ |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系ストレーナ (P41-D001A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-F001A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-F002A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-F005A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-F009A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-F014A~F) | ① |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-F017A~F) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------------|---|-------|
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-MO-F004A~F) | ③ |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-MO-F006A~F) | ③ |
| 原子炉補機冷却海水系 | 原子炉補機冷却海水系弁 (P41-MO-F016A~C) | ③ |
| 所内用圧縮空気系 | 所内用圧縮空気系弁 (P51-F131) | ① |
| 計装用圧縮空気系 | 計装用圧縮空気系弁 (P52-F224) | ① |
| 計装用圧縮空気系 | 計装用圧縮空気系弁 (P52-MO-F223) | ④ |
| 高圧窒素ガス供給系 | 窒素ガスボンベラック (P54-E001A, B) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F004A, B) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F006A, B) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F008A, B) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F009A, C, F, H, L, N, R, T) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F010A, B) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-F011A, B) | ① |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-MO-F007A, B) | ③ |
| 高圧窒素ガス供給系 | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-PCV-005A, B) | ③ |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-----------------------|-------------------------------|-------|
| 所内蒸気・所内蒸気戻り系 | 所内蒸気系弁 (P61-F204) | ① |
| 弁グランド部漏えい処理系 | 弁グランド部漏えい処理系弁 (P71-F201) | ① |
| 弁グランド部漏えい処理系 | 弁グランド部漏えい処理系弁 (P71-M0-F202) | ④ |
| タンクベント処理系 | タンクベント処理系弁 (P72-A0-F001, 002) | ③ |
| 試料採取系, 事故後サンプリング設備 | 試料採取系弁 (P91-A0-F002~005) | ③ |
| 試料採取系, 事故後サンプリング設備 | 試料採取系弁 (P91-F006) | ④ |
| 試料採取系, 事故後サンプリング設備 | 試料採取系弁 (P91-M0-F007, 011) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 軽油タンク (R43-A001A, B) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 清水膨張タンク (R43-A002A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 空気だめ (R43-A004A-1~C-1) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 燃料ディタンク (R43-A005A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 潤滑油補給タンク (R43-A007A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 潤滑油冷却器 (R43-B002A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 清水冷却器 (R43-B003A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 清水加熱器 (R43-B004A~C) | ③ |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|--------------|----------------------------------|-------|
| 非常用ディーゼル発電設備 | 潤滑油加熱器 (R43-B005A～C) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 発電機軸受潤滑油冷却器 (R43-B006A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 清水加熱器ポンプ (R43-C002A～C) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 潤滑油プライミングポンプ (R43-C004A～C) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 機関ターニング装置 (R43-C010A～C) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 機関付潤滑油フィルタ (R43-D003A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 機関始動空気入口 Y形ストレーナ (R43-D005A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 機関始動空気入口 Y形ストレーナ (R43-D006A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 燃料フィルタ (R43-D008A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ入口 Y形ストレーナ (R43-D100A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 潤滑油補給ポンプ入口 Y形ストレーナ (R43-D018A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F002A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F006A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F007A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F008A～C) | ① |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|--------------|------------------------------|-------|
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F009A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F010A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F021A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F023A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F024A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F025A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F026A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F027A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F028A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F030A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F031A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F032A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F057A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F058A～C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F060A～C) | ① |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|--------------|------------------------------|-------|
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F061A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F062A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F064A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F066A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F067A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F081A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F082A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F083A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F084A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F085A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F086A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F087A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F088A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F104A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 弁 (R43-F112A~C) | ① |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|---------------|--|-------|
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F113A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F114A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F115A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-F116A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ吐出積算流量 (R43-FQT-042A~C) | ① |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-S0-F068A~C) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-TCV-F001A~C) | ③ |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備弁 (R43-TCV-F022A~C) | ③ |
| 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系弁 (T22-M0-F511) | ③ |
| 格納容器耐圧漏えい試験設備 | 格納容器耐圧漏えい試験設備系弁 (T25-F005, 006) | ① |
| 不活性ガス系 | 不活性ガス系弁 (T31-A0-F002, 003, 010~012, 019~024) | ③ |
| 不活性ガス系 | 不活性ガス系ラプチャーディスク (T31-D010) | ① |
| 不活性ガス系 | 不活性ガス系弁 (T31-F730~743, 750~777, 822~825) | ③ |
| 不活性ガス系 | 不活性ガス系弁 (T31-M0-F070) | ③ |
| 不活性ガス系 | 不活性ガス系弁 (T31-S0-F720A, B) | ③ |

第 1.2-1 表 7号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|------------------|--|-------|
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F005A, B) | ① |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F009) | ① |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F011A, B) | ① |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F013A, B) | ① |
| 可燃性ガス濃度制御系 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-F014) | ① |
| サプレッションプール水温度監視系 | サプレッションプール水温度 (T53-TE-001A, B, E, F, J, K, N, P) | ② |
| サプレッションプール水温度監視系 | サプレッションプール水温度 (T53-TE-002A, B, E, F, J, K, N, P) | ② |
| サプレッションプール水温度監視系 | サプレッションプール水温度 (T53-TE-003A, B, E, F, J, K, N, P) | ② |
| サプレッションプール水温度監視系 | サプレッションプール水温度 (T53-TE-004A, B, E, F, J, K, N, P) | ② |
| サプレッションプール水温度監視系 | サプレッションプール水温度 (T53-TE-005A, B, E, F, J, K, N, P) | ② |
| サプレッションプール水温度監視系 | サプレッションプール水温度 (T53-TE-006A, B, E, F, J, K, N, P) | ② |
| 換気空調系 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ室空調機 (U41-B108) | ③ |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備区域給気処理装置 (U41-D201, 211, 221) | ① |
| 換気空調系 | 非常用ディーゼル発電設備非常用給気処理装置 (U41-D202, 212, 222) | ① |
| 換気空調系 | 熱交換器区域非常用給気エアフィルタ (U41-D511, 521, 531) | ① |

第 1.2-1 表 7 号機溢水影響評価上の溢水防護対象設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※ |
|-------|---|-------|
| 換気空調系 | コントロール建屋計測制御電源盤区域給気処理装置 (U41-D611, 621, 631) | ① |

※ 1 : 2.1 「溢水影響評価対象外とするスクリーニングの考え方について」にて定める理由

第 1.2-2 表 7 号機溢水影響評価上の重大事故等対処設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※1 |
|------------------|---|--------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 | 燃料プール冷却浄化系熱交換器 | ① |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 | 使用済燃料プール | ① |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 | 燃料プール冷却浄化系スキマサージタンク | ① |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 | 常設スプレイヘッダ | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 残留熱除去系熱交換器 | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 原子炉補機冷却水系熱交換器 | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 原子炉補機冷却系サージタンク | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 原子炉隔離時冷却系ストレーナ | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 原子炉補機冷却海水系ストレーナ | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 高圧炉心注水系ストレーナ | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 防火水槽 | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 淡水貯水池 | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 復水貯蔵槽 | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | ほう酸水注入系貯蔵タンク | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 主蒸気逃がし安全弁 (B21-F001A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U) | ① |
| 原子炉冷却系統施設 | 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ | ① |
| 原子炉格納施設 | フィルタ装置 | ① |
| 原子炉格納施設 | よう素フィルタ | ① |

第 1.2-2 表 7 号機溢水影響評価上の重大事故等対処設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※1 |
|---------|-------------------|--------|
| 原子炉格納施設 | ラプチャーディスク | ① |
| 原子炉格納施設 | ドレンタンク | ① |
| 原子炉格納施設 | フィルタベント遮蔽壁 | ① |
| 原子炉格納施設 | 配管遮蔽 | ① |
| 原子炉格納施設 | 格納容器スプレイヘッド | ① |
| 原子炉格納施設 | コリウムシールド | ① |
| 原子炉格納施設 | サプレッションチェンバ | ① |
| 原子炉格納施設 | 原子炉建屋ブローアウトパネル | ① |
| 非常用電源設備 | 軽油タンク | ① |
| 非常用電源設備 | 軽油タンク出口ノズル | ① |
| 非常用電源設備 | 6号機軽油タンク | ① |
| 非常用電源設備 | 6号機軽油タンク出口ノズル | ① |
| 非常用電源設備 | 燃料ディタンク | ① |
| 非常用電源設備 | 第一ガスタービン発電機用燃料タンク | ① |
| 非常用取水設備 | 海水貯留堰 | ① |
| 非常用取水設備 | 6号機海水貯留堰 | ① |
| 非常用取水設備 | スクリーン室 | ① |
| 非常用取水設備 | 6号機スクリーン室 | ① |

第 1.2-2 表 7 号機溢水影響評価上の重大事故等対処設備から除外した設備

| 系統 | 設備 | 除外理由※1 |
|---------|------------|--------|
| 非常用取水設備 | 取水路 | ① |
| 非常用取水設備 | 6号機取水路 | ① |
| 非常用取水設備 | 補機冷却用海水取水路 | ① |
| 非常用取水設備 | 補機冷却用海水取水槽 | ① |
| — | 配管（流路） | ① |
| — | 弁（流路） | ③ |

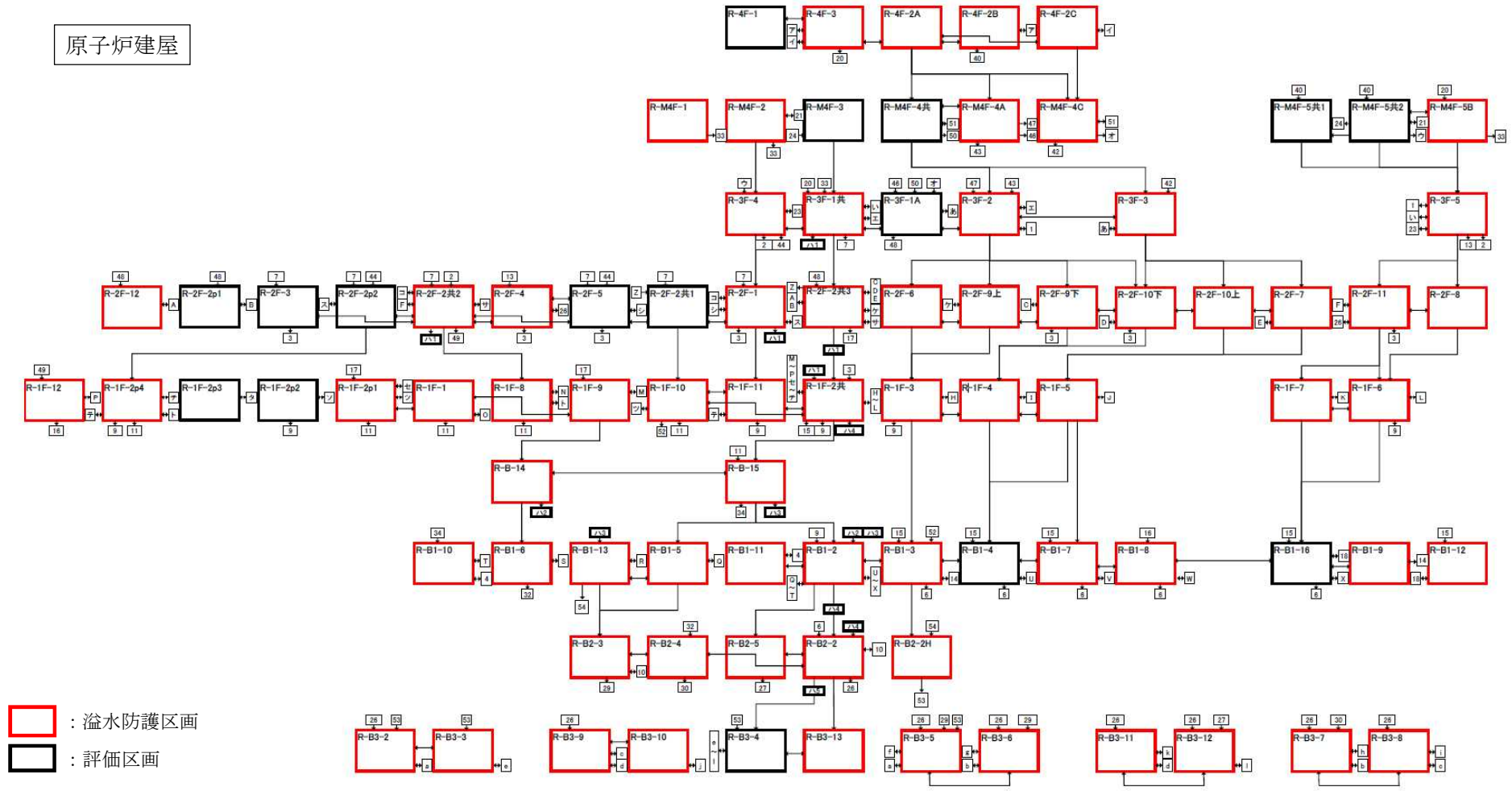
※1：2.1「溢水影響評価対象外とするスクリーニングの考え方について」にて定める理由

2.1 溢水伝播経路概念図

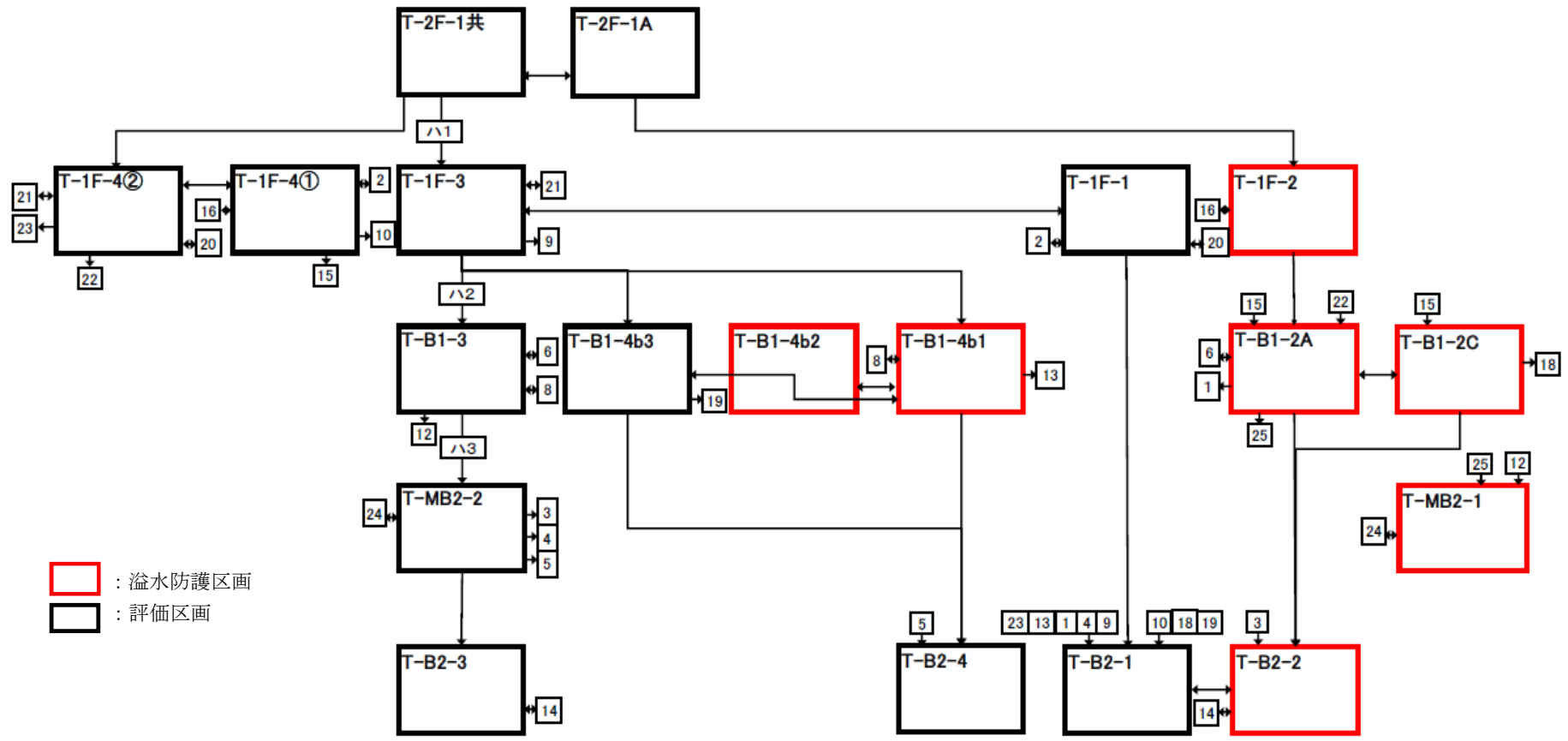
各建屋における溢水伝播経路の概念図を以下に示す。

原子炉建屋

資料 1-2.1-1

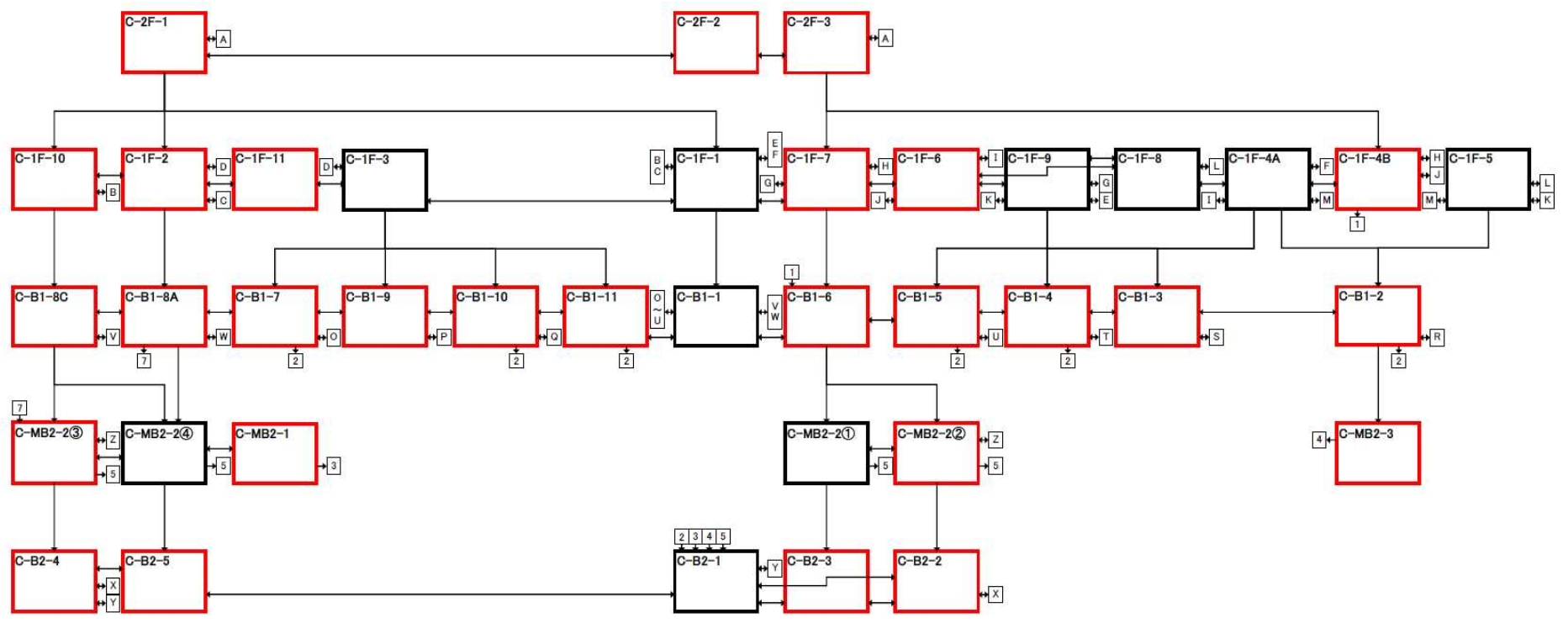


タービン建屋



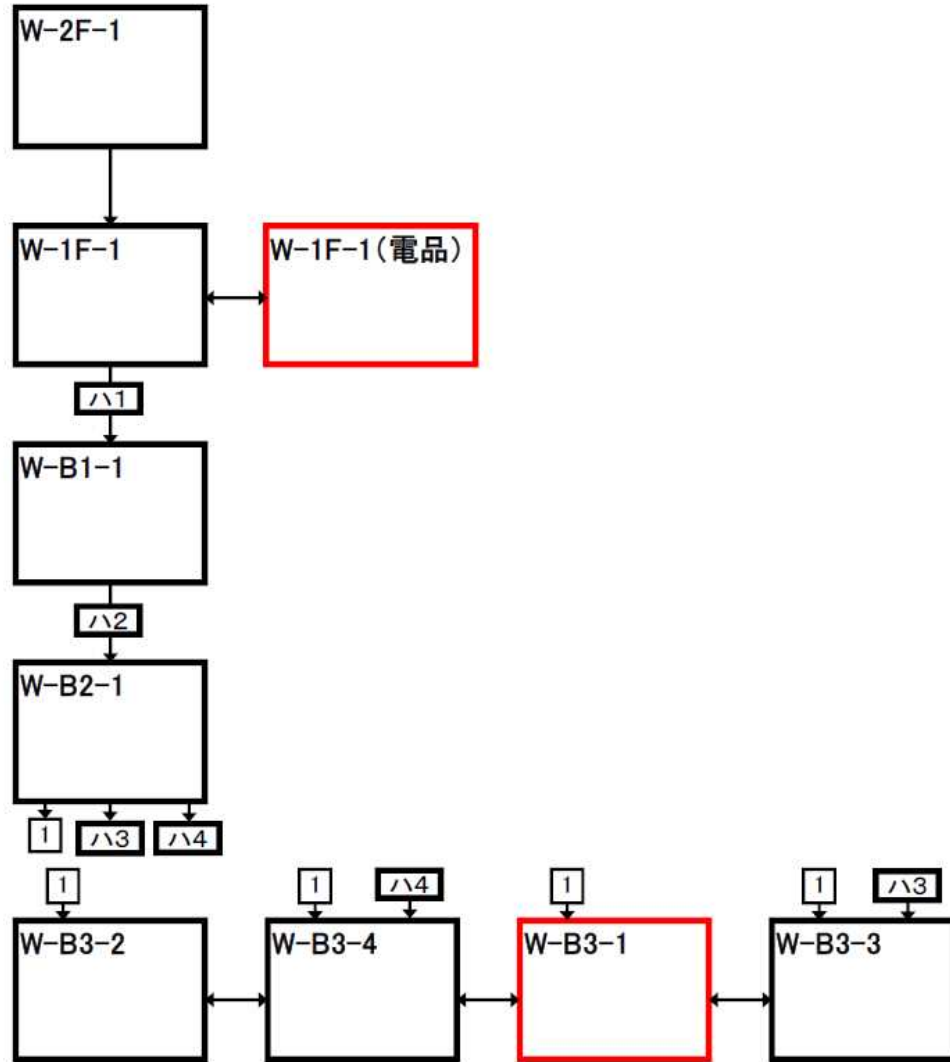
資料 1-2.1-2

コントロール建屋



- : 溢水防護区画
- : 評価区画

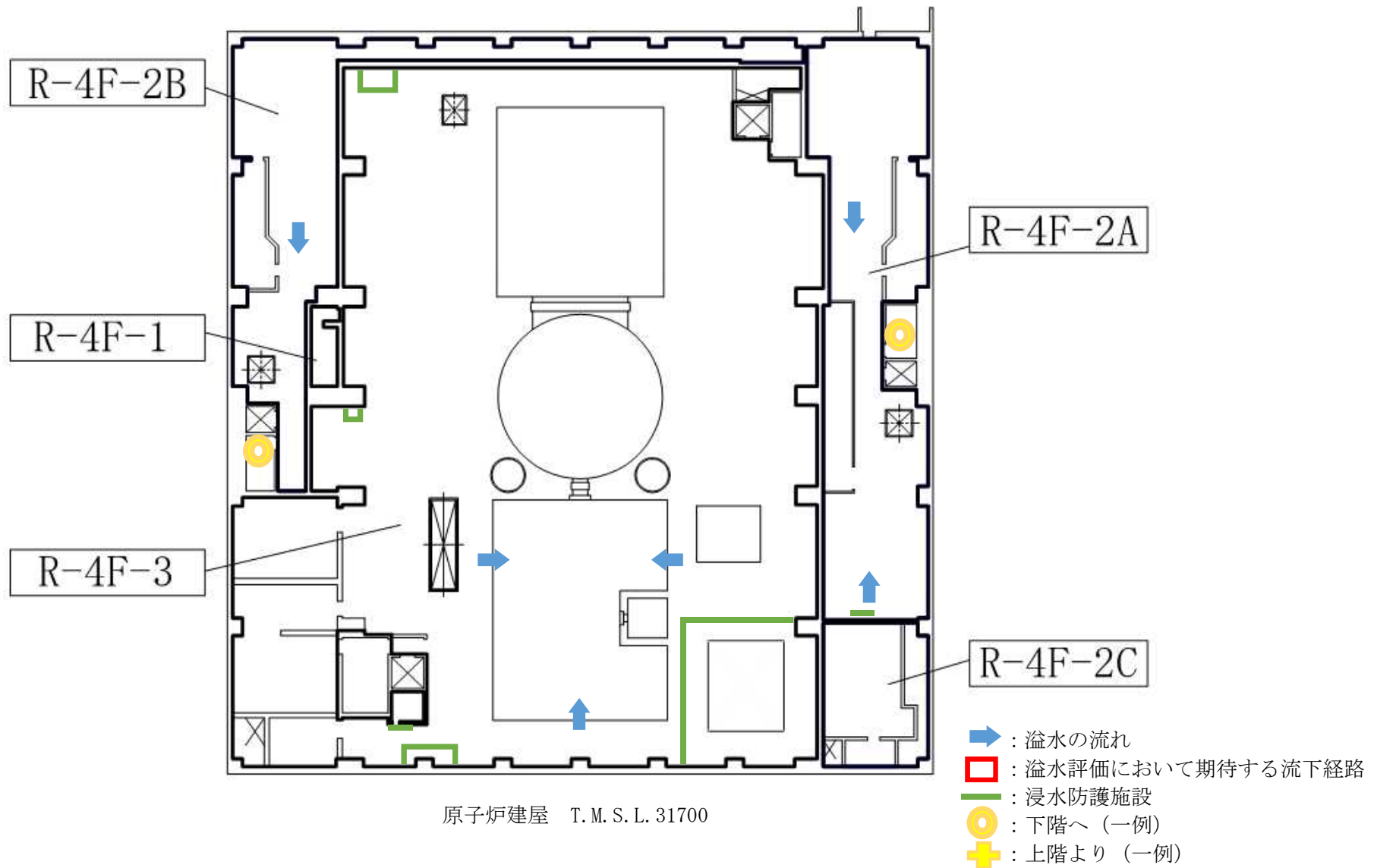
廃棄物処理建屋



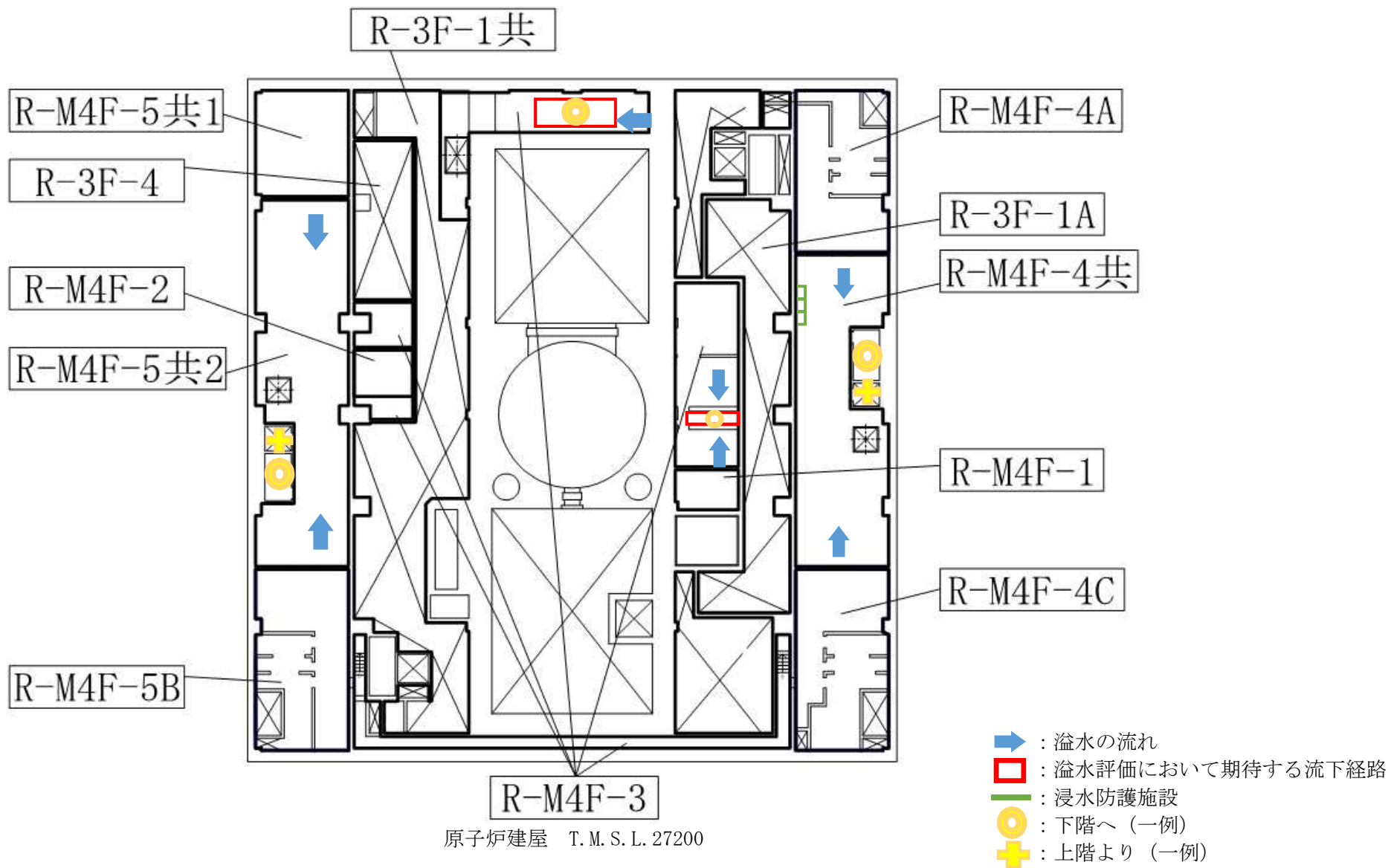
2.2 溢水伝播経路モデル図

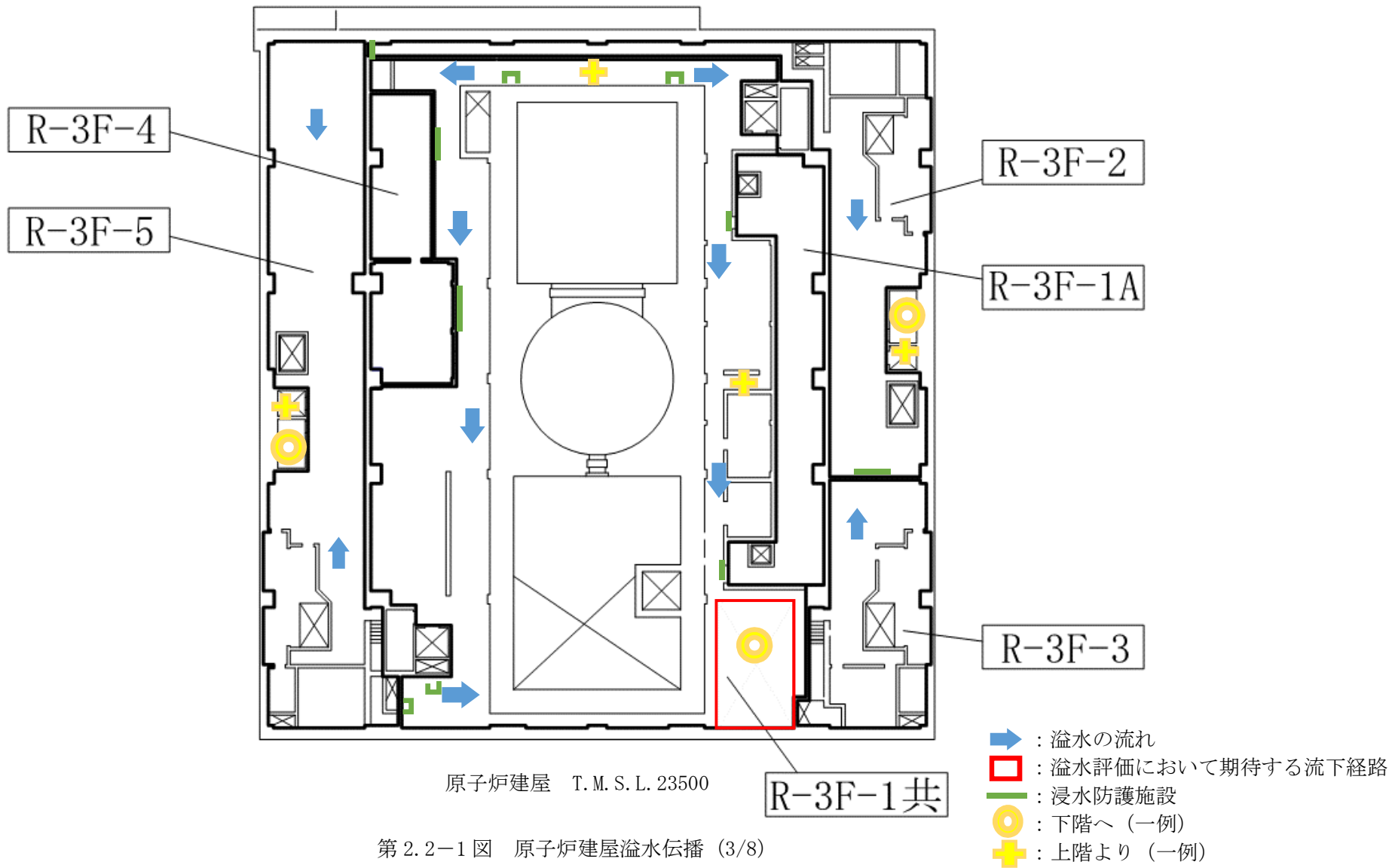
溢水の発生を想定する建屋について、発生を想定する溢水が最地下階まで流下し、滞留するまでの経路を建屋毎に示す。

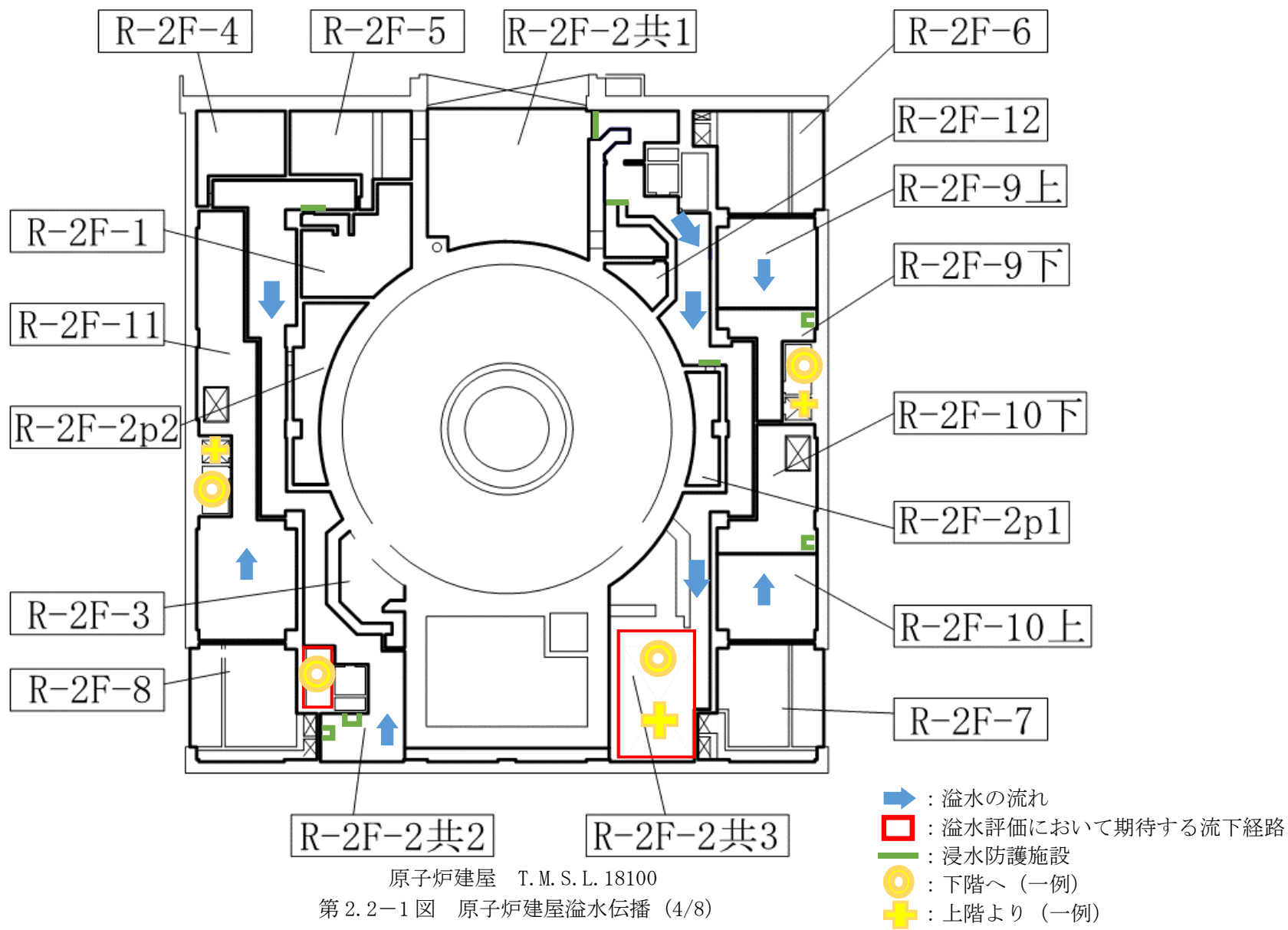
- ・ 原子炉建屋
- ・ タービン建屋
- ・ コントロール建屋
- ・ 廃棄物処理建屋

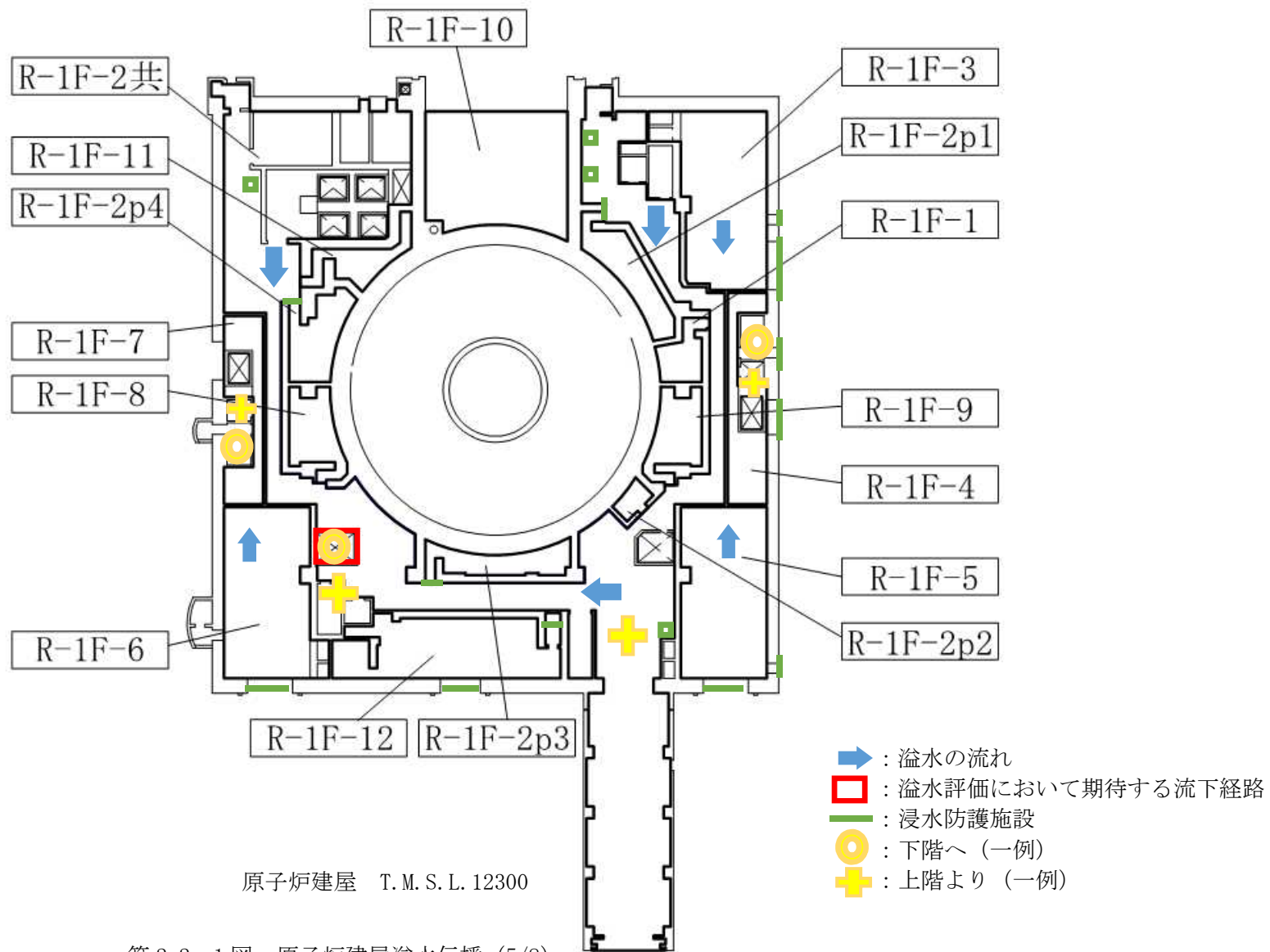


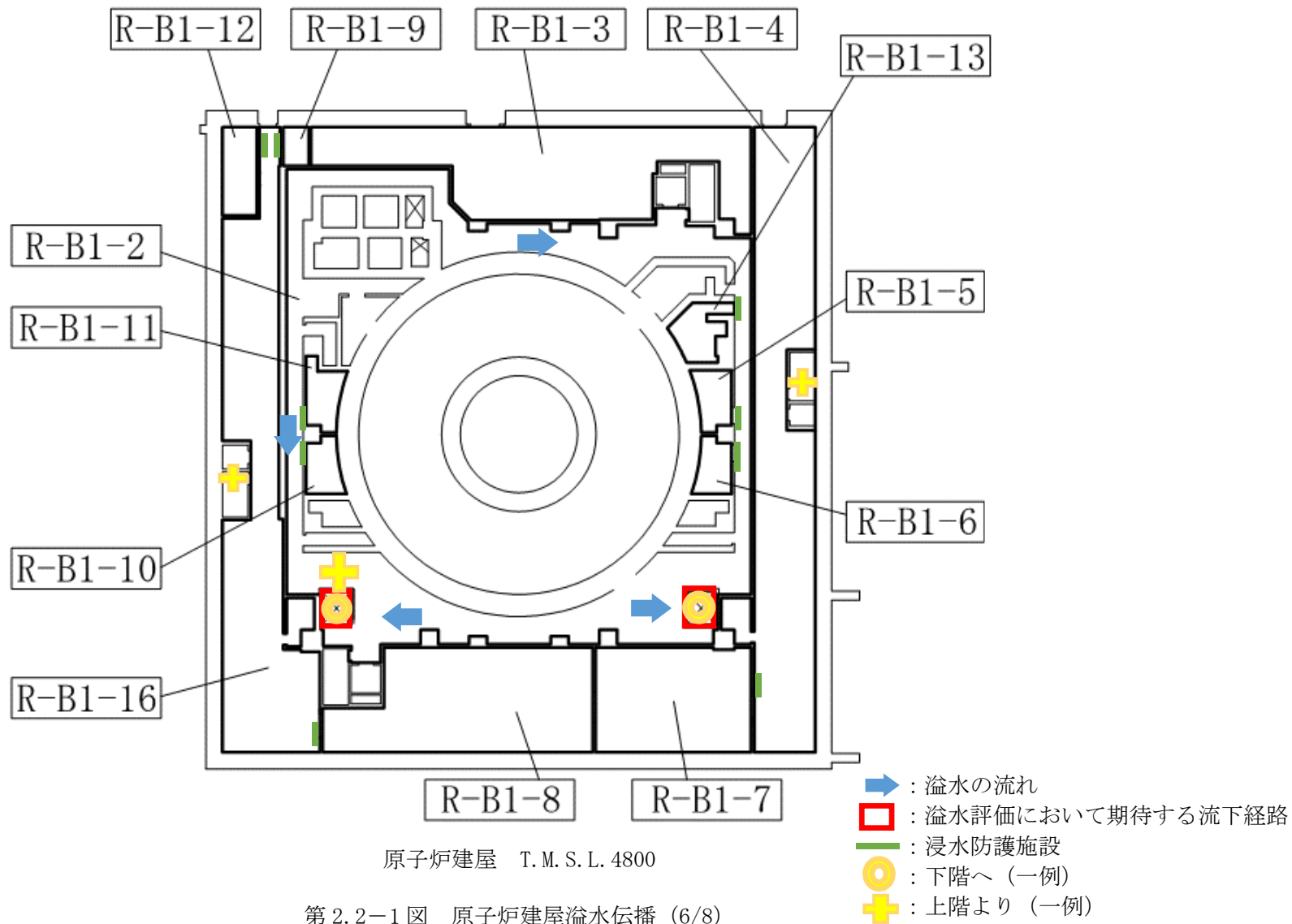
第 2.2-1 図 原子炉建屋溢水伝播 (1/8)

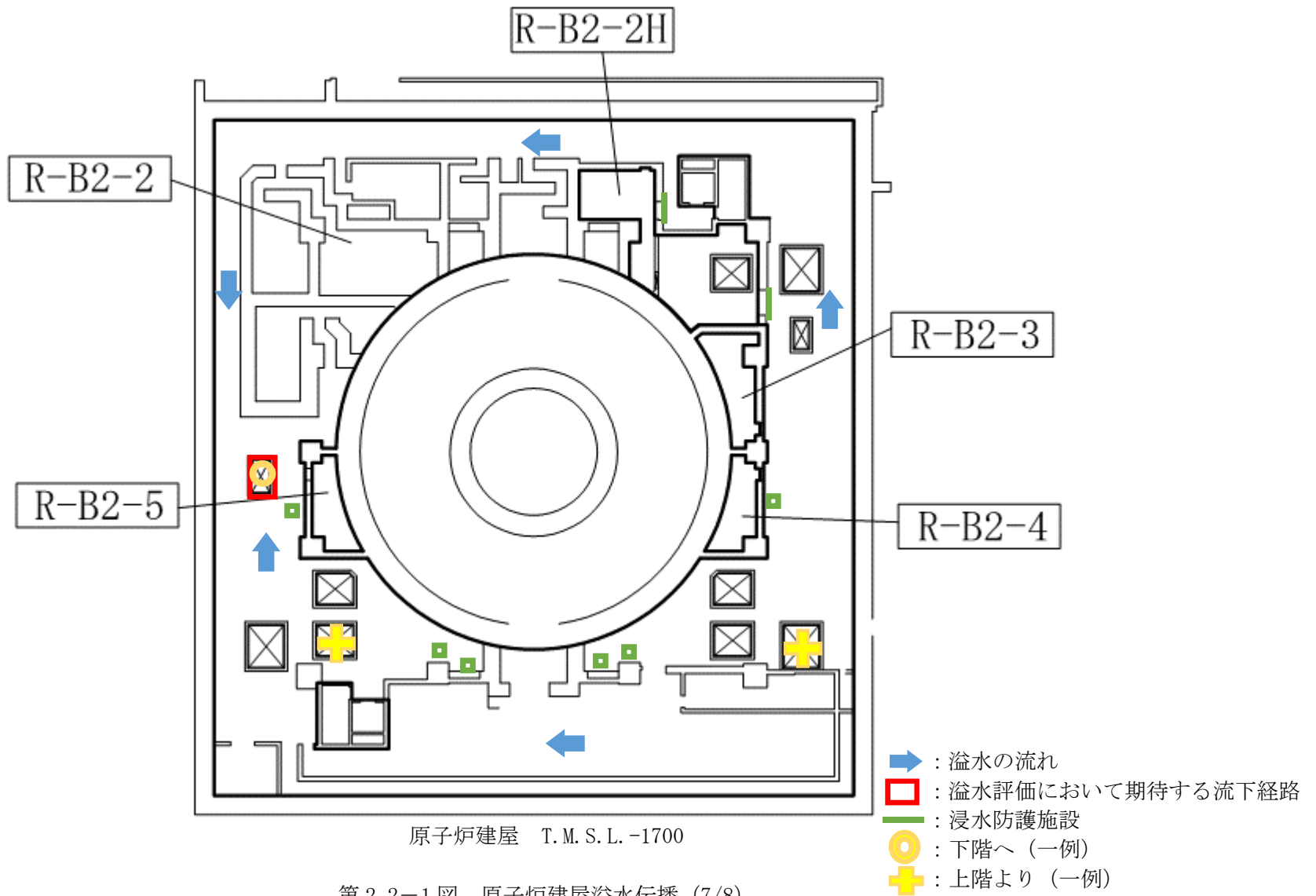


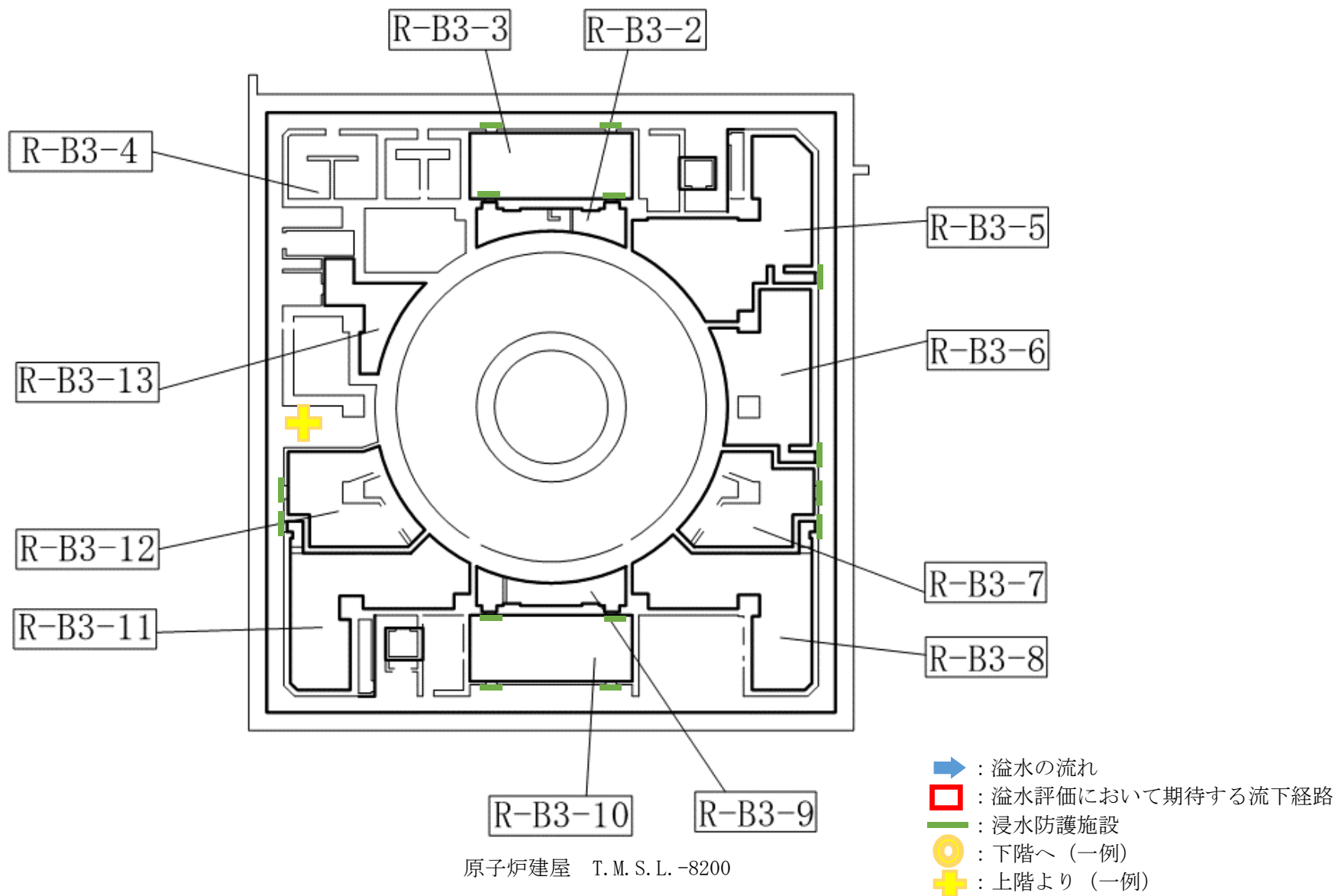


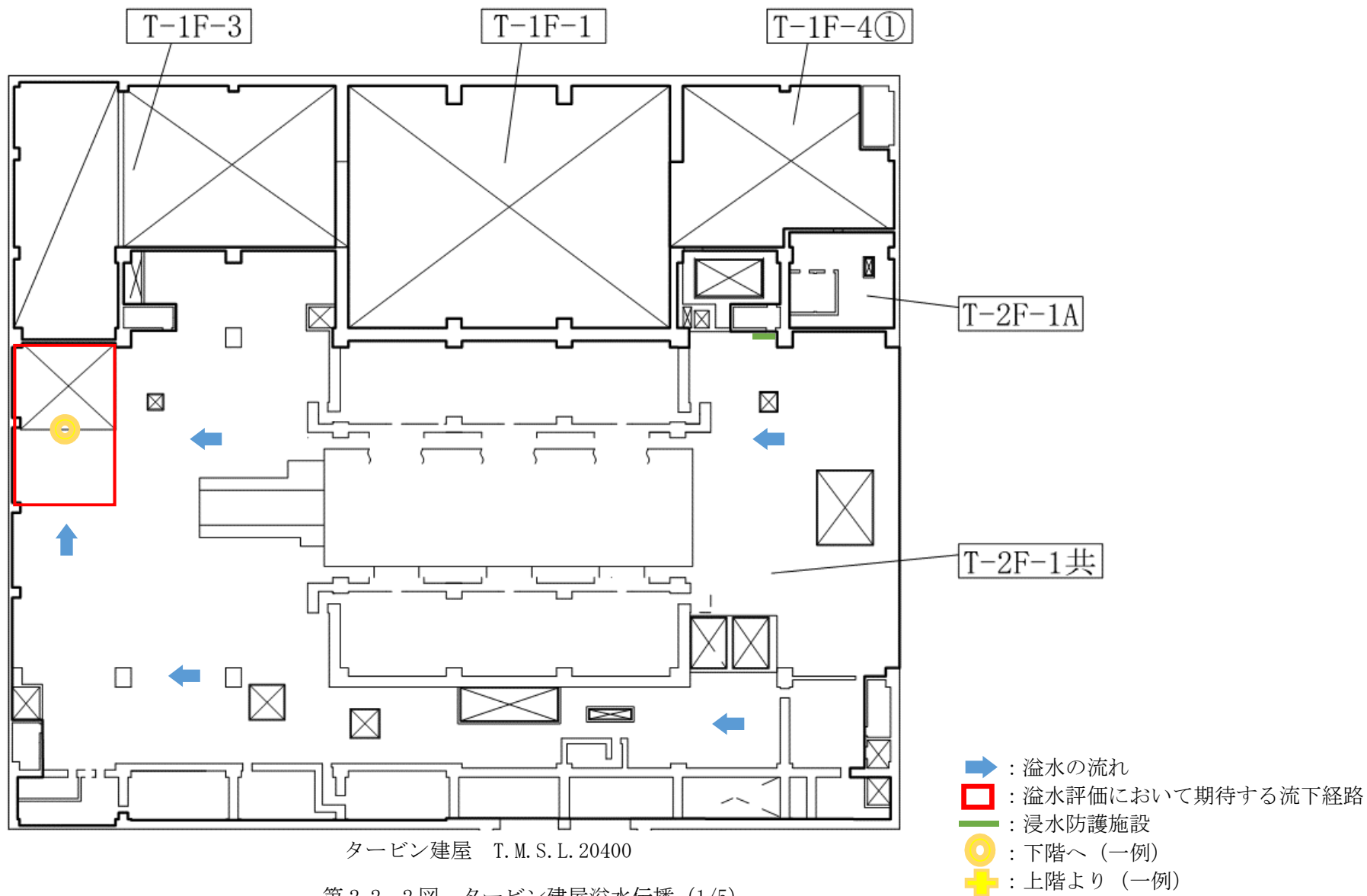


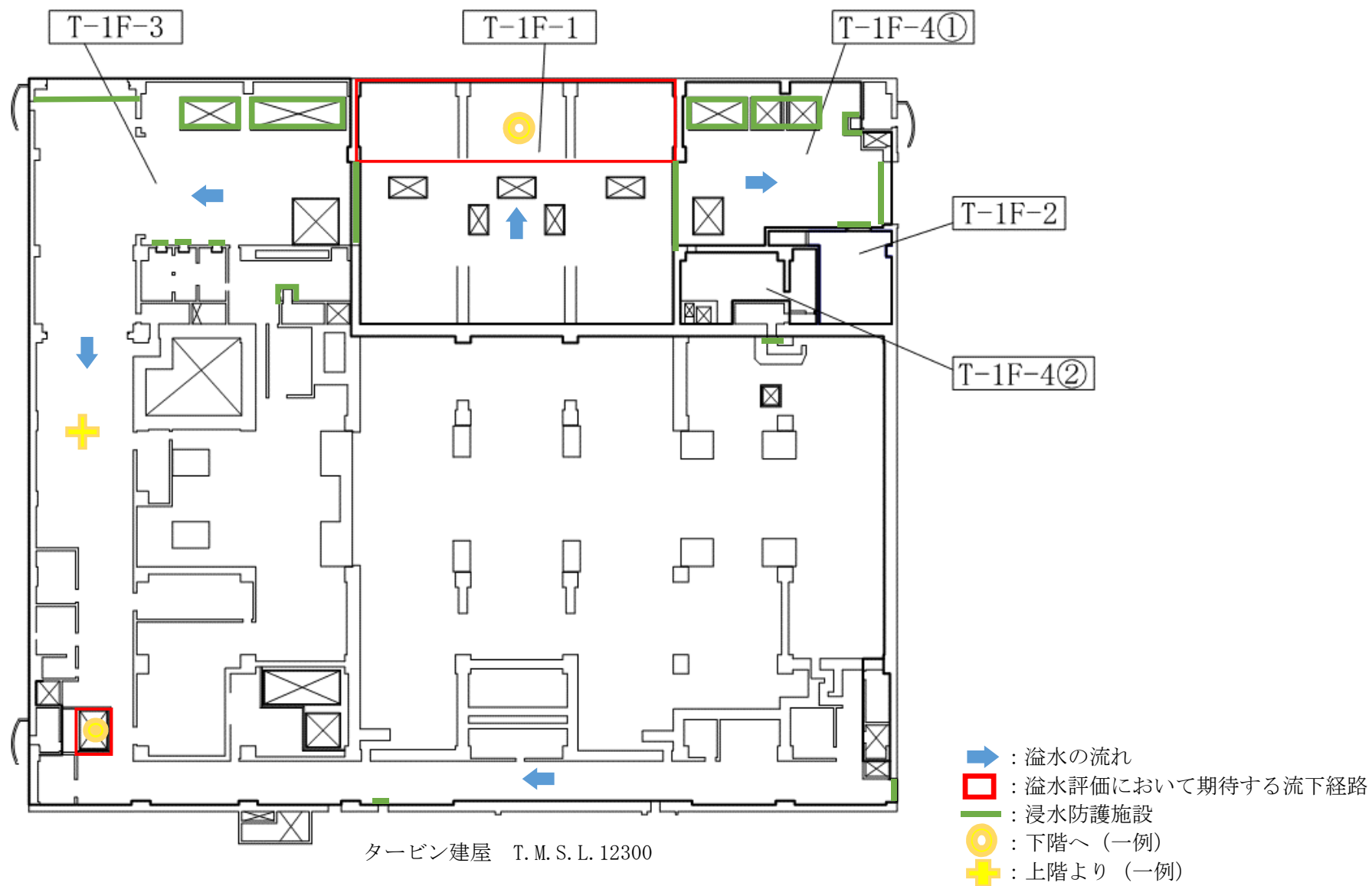




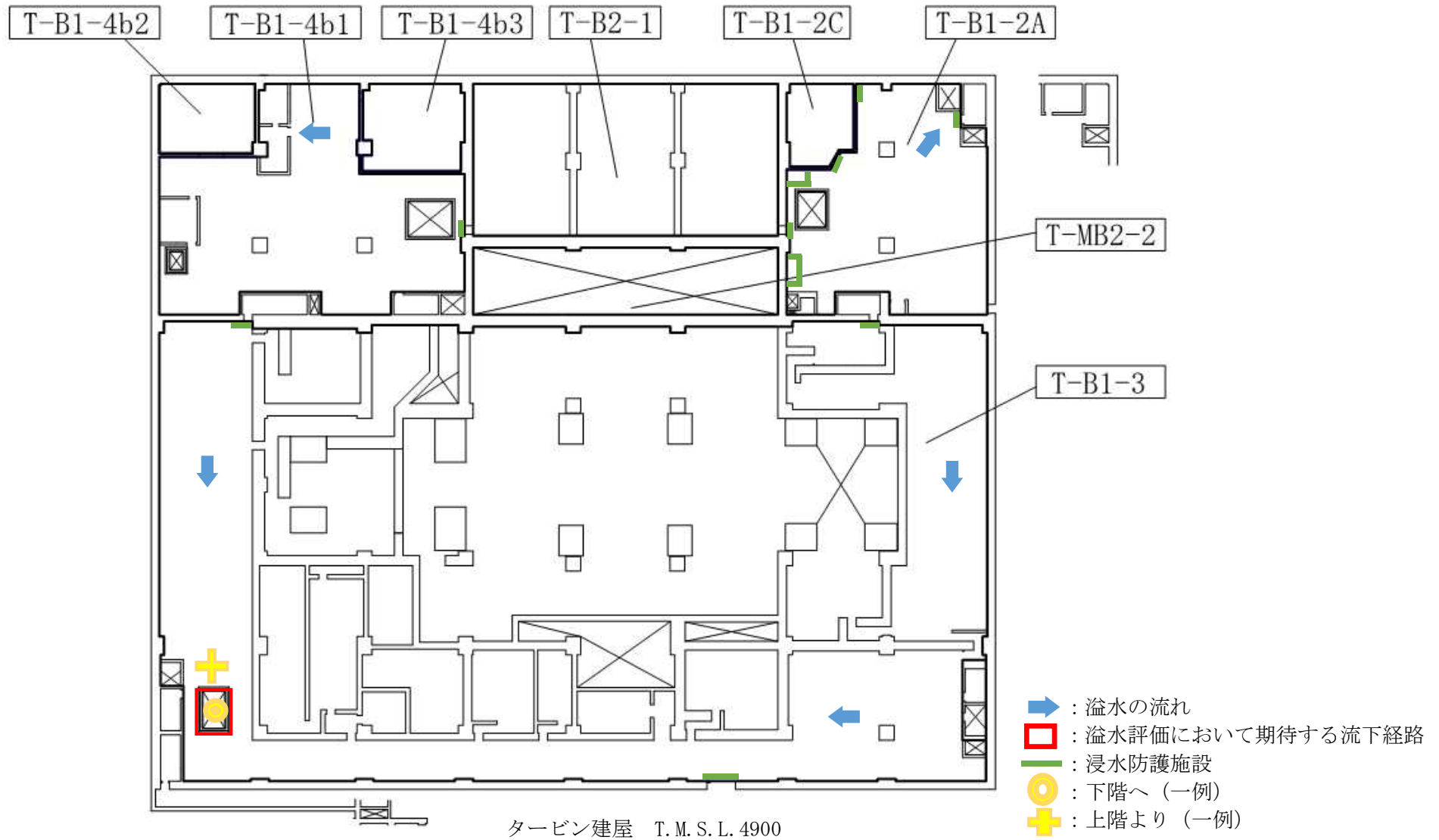




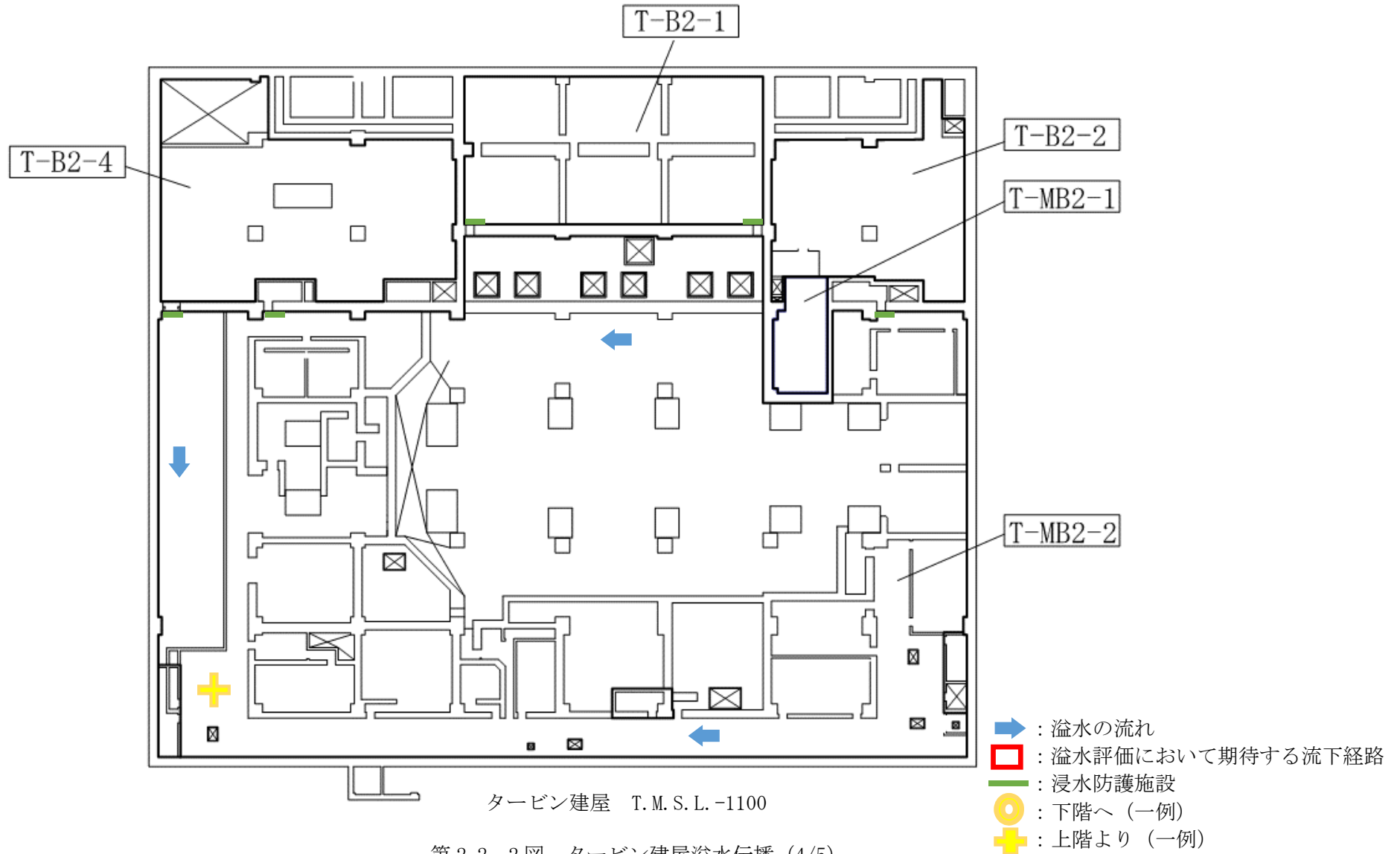


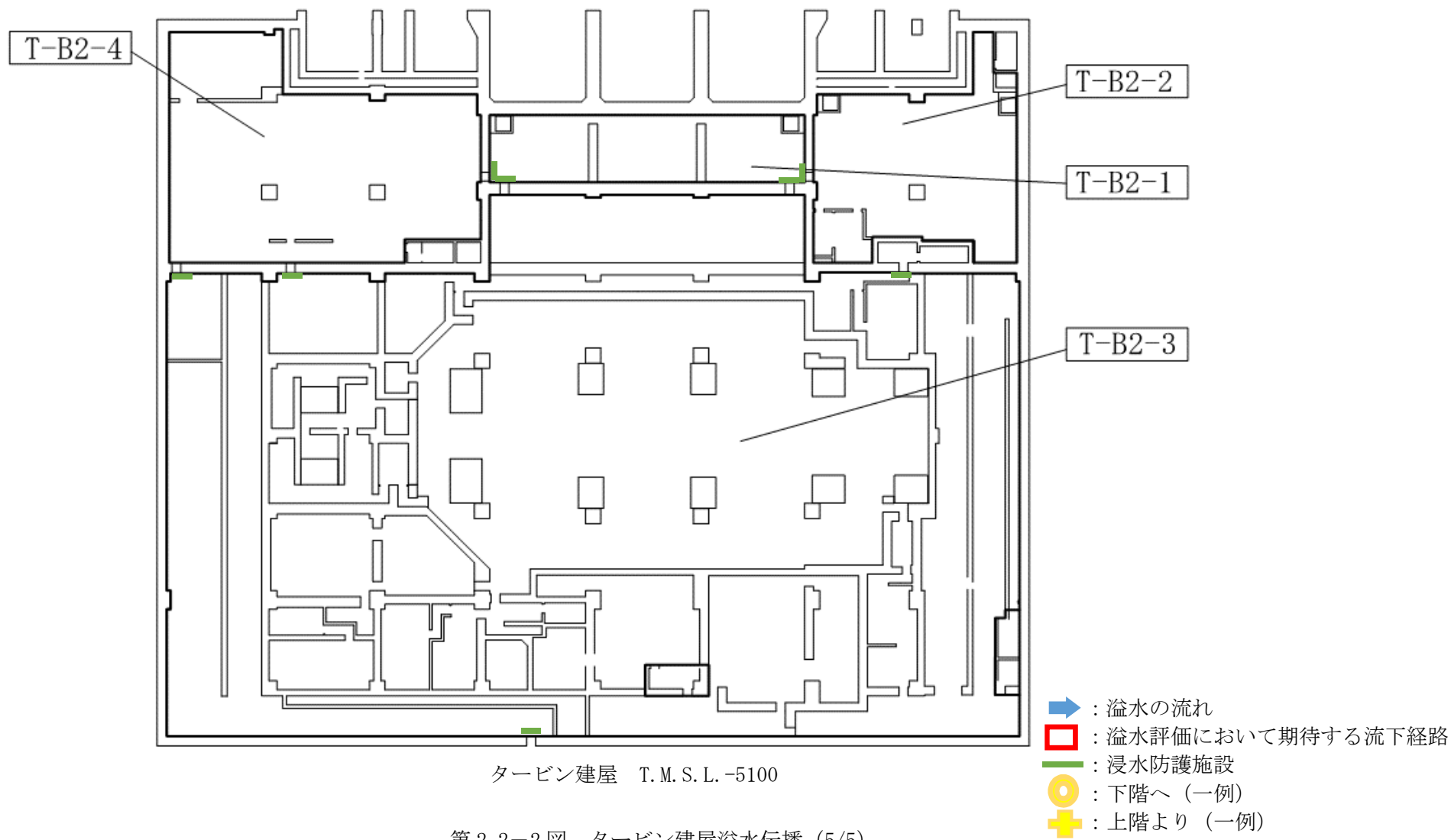


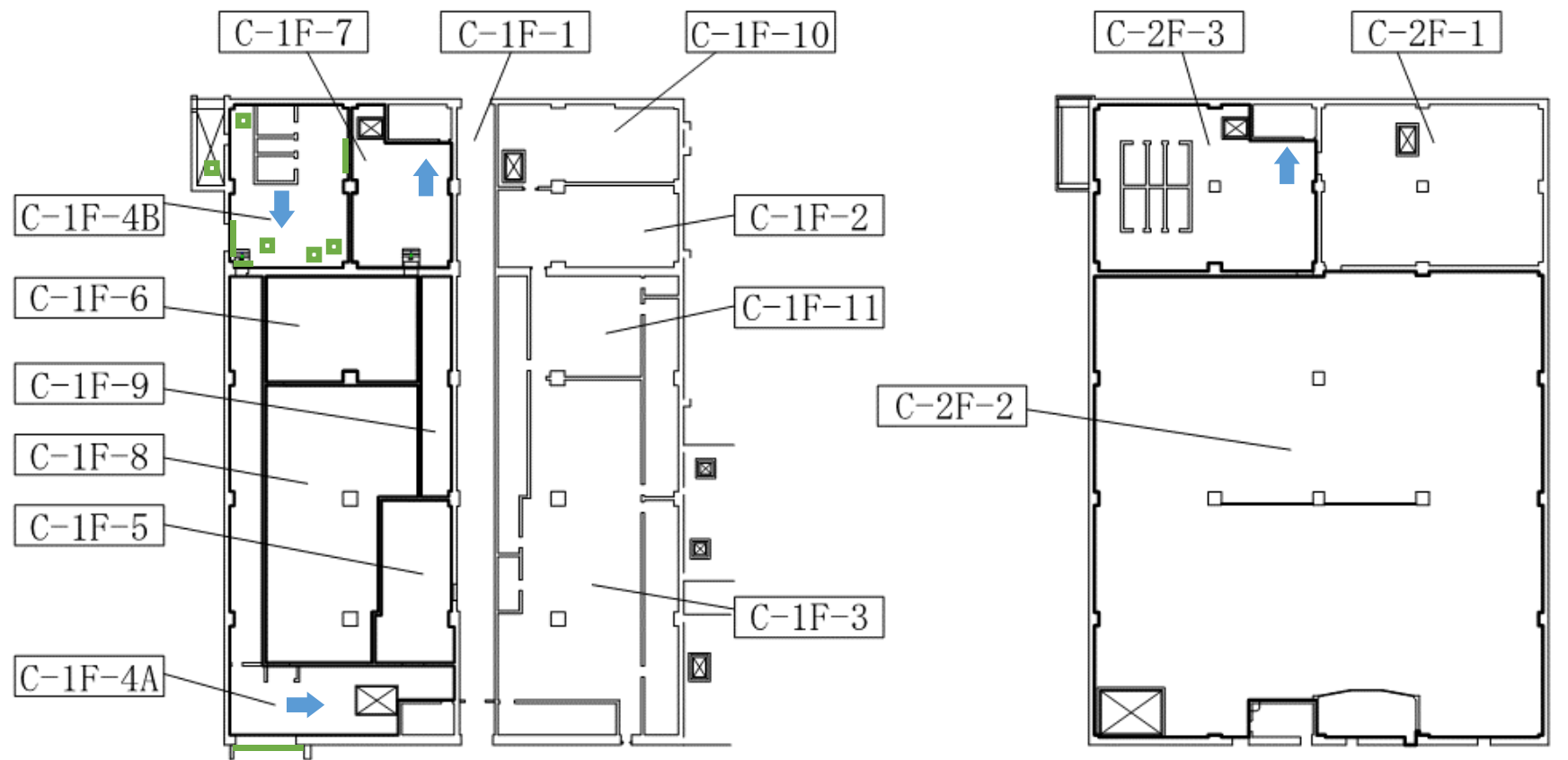
第 2.2-2 図 タービン建屋溢水伝播 (2/5)



第 2.2-2 図 タービン建屋溢水伝播 (3/5)












コントロール建屋 T.M.S.L. 12300






コントロール建屋 T.M.S.L. 17300

-  : 溢水の流れ
-  : 溢水評価において期待する流下経路
-  : 浸水防護施設
-  : 下階へ (一例)
-  : 上階より (一例)

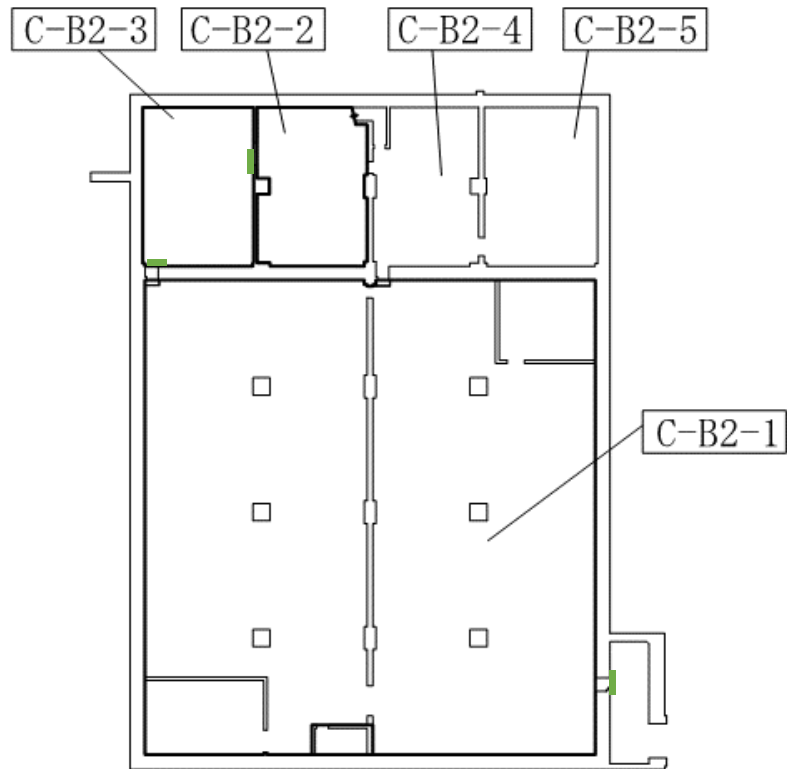
第 2.2-3 図 コントロール建屋溢水伝播 (1/3)



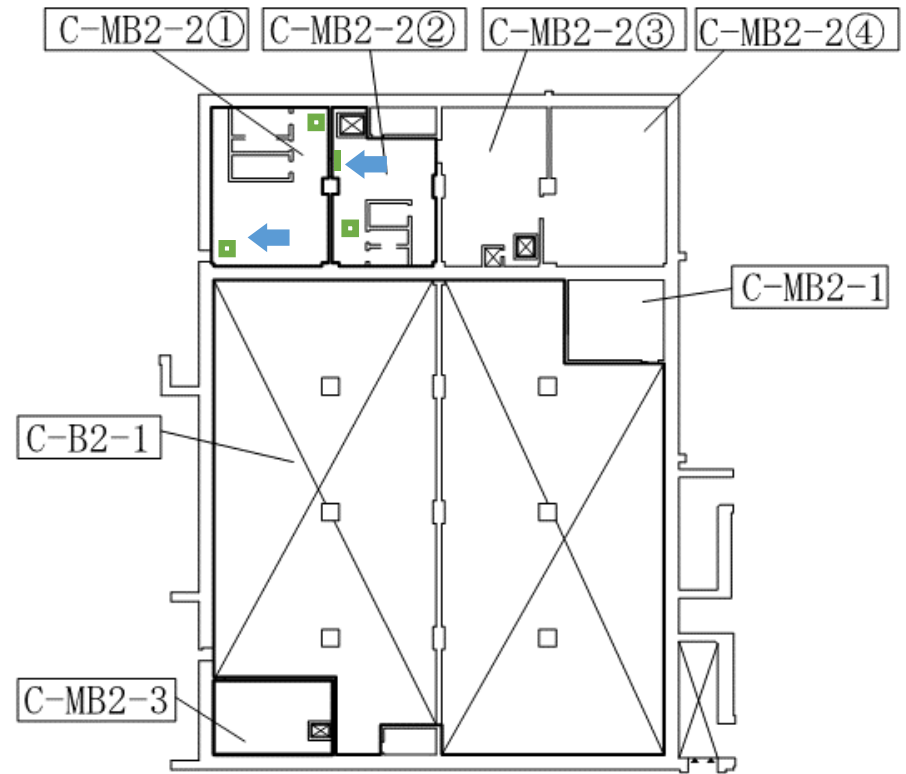
コントロール建屋 T.M.S.L. 6500

-  : 溢水の流れ
-  : 溢水評価において期待する流下経路
-  : 浸水防護施設
-  : 下階へ (一例)
-  : 上階より (一例)

第 2.2-3 図 コントロール建屋溢水伝播 (2/3)



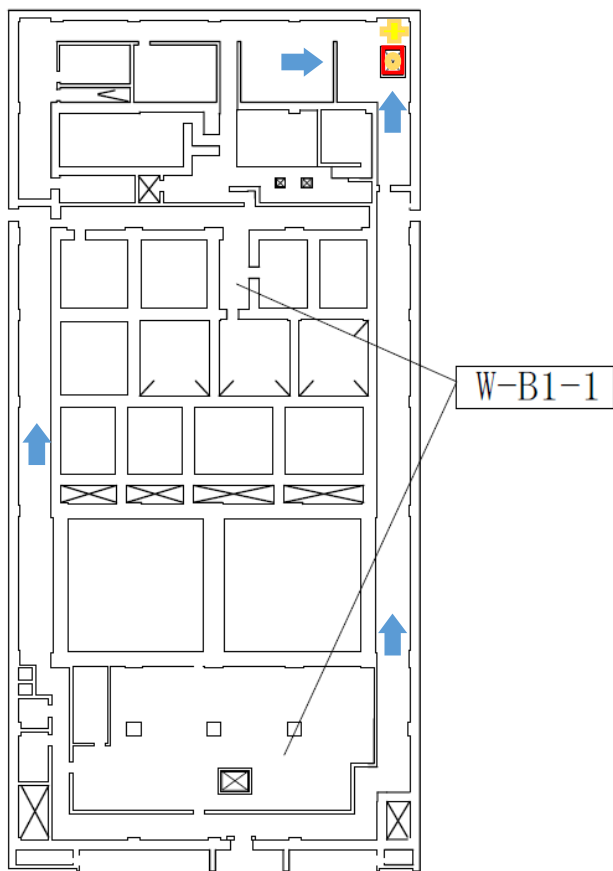
コントロール建屋 T.M.S.L. -2700



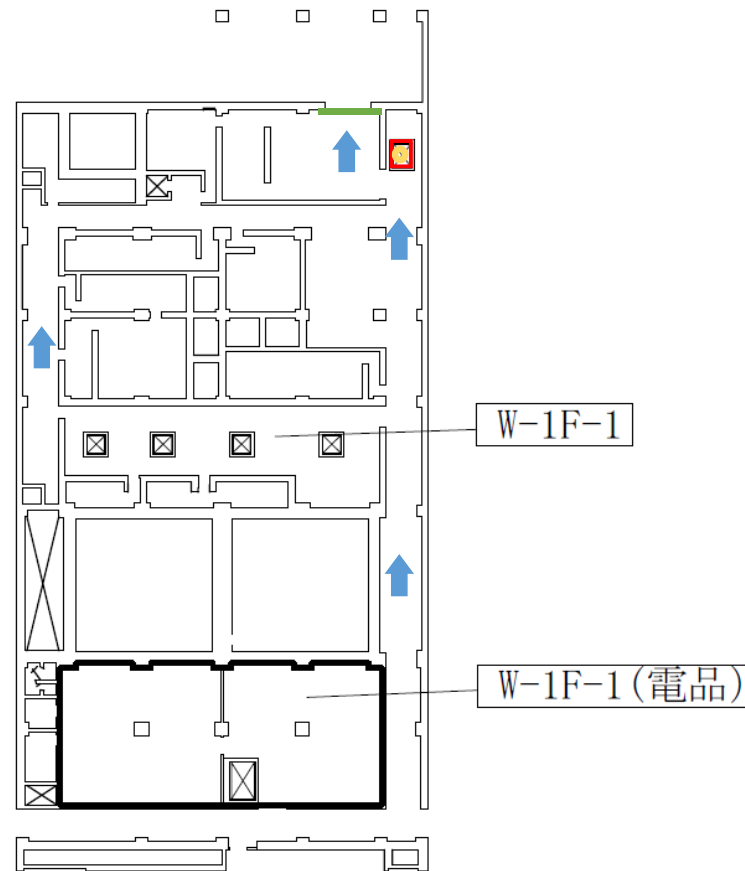
コントロール建屋 T.M.S.L. 1000

- ➡ : 溢水の流れ
- : 溢水評価において期待する流下経路
- : 浸水防護施設
- : 下階へ (一例)
- + : 上階より (一例)






第 2.2-3 図 コントロール建屋溢水伝播 (3/3)



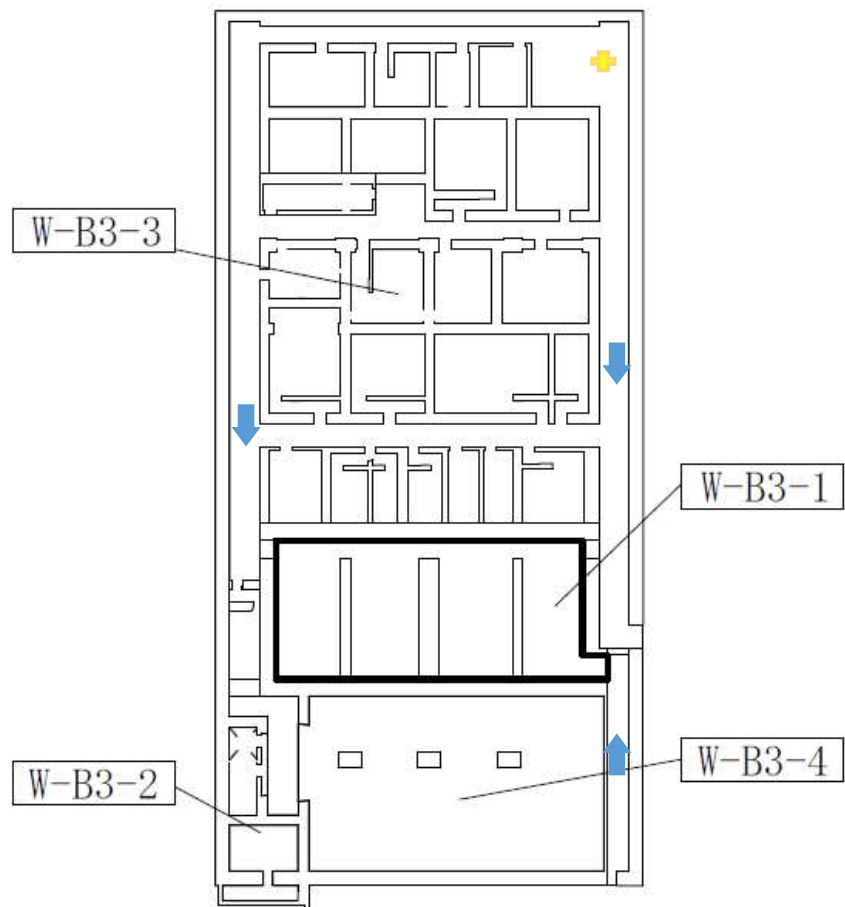
廃棄物処理建屋 T.M.S.L. 6500



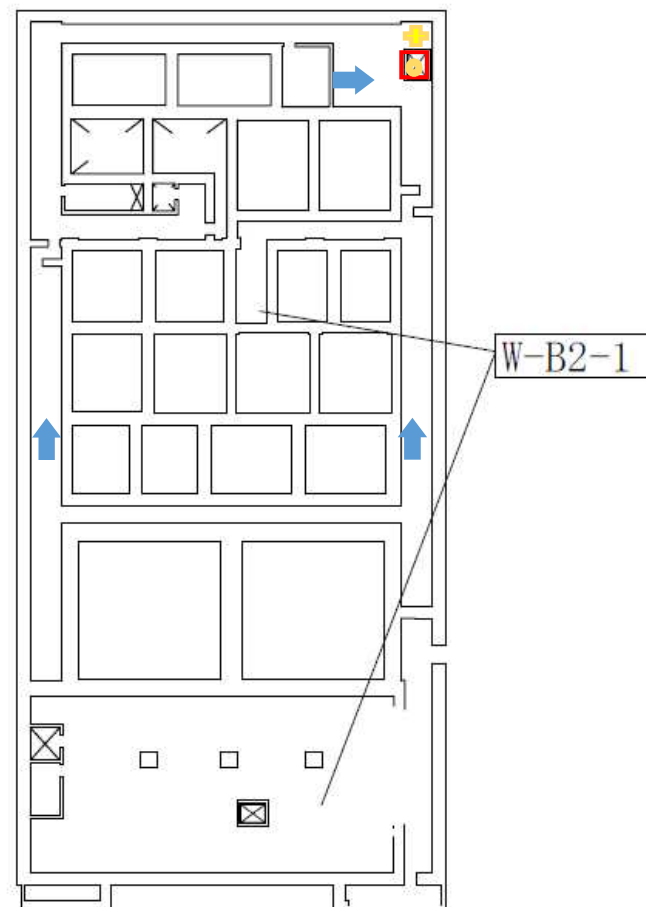
廃棄物処理建屋 T.M.S.L. 12300

-  : 溢水の流れ
-  : 溢水評価において期待する流下経路
-  : 浸水防護施設
-  : 下階へ (一例)
-  : 上階より (一例)






第 2.2-4 図 廃棄物処理建屋溢水伝播 (1/2)



廃棄物処理建屋 T.M.S.L. -6100



廃棄物処理建屋 T.M.S.L. -1100

-  : 溢水の流れ
-  : 溢水評価において期待する流下経路
-  : 浸水防護施設
-  : 下階へ (一例)
-  : 上階より (一例)

第 2.2-4 図 廃棄物処理建屋溢水伝播 (2/2)

2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について

1. 防護すべき設備（設計基準対象施設）に対する防護方針

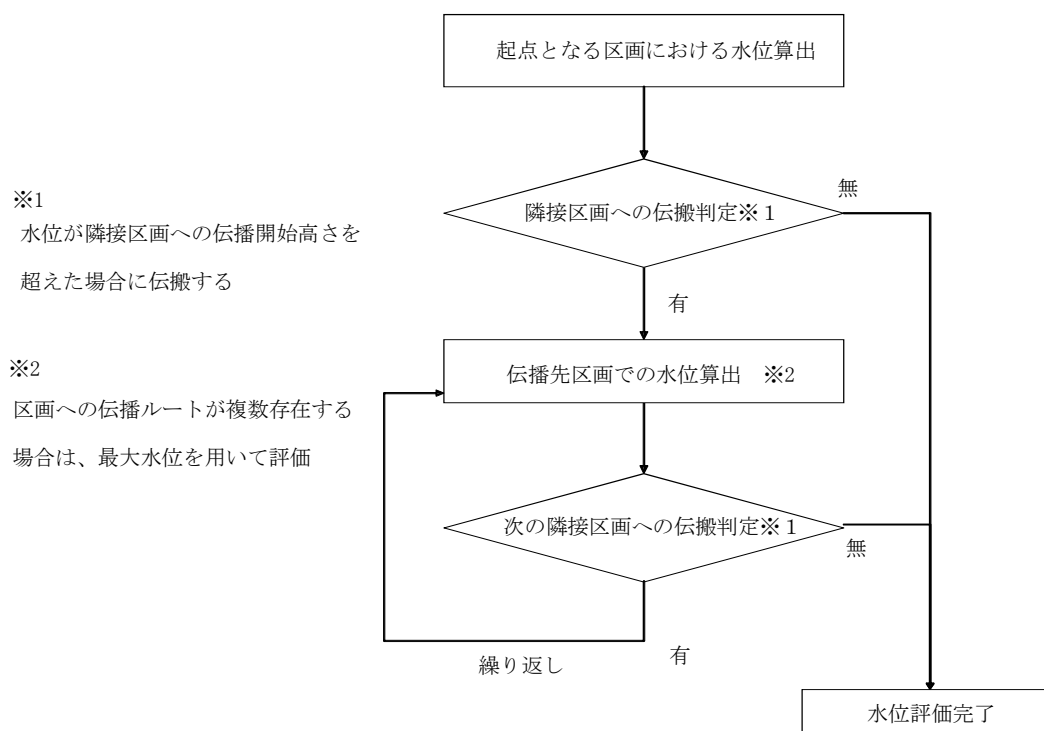
単一の機器の破損により生じる溢水箇所を起点とし、溢水経路を經由して最終的な滞留箇所
に到達するまでを一つの評価ケースと定め、溢水経路に位置する全ての溢水防護区画における
溢水水位を算定した。算定した溢水水位と当該区画内の防護対象設備の機能喪失高さとを比較
することにより、当該設備の機能への影響を評価し、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性
物質の閉じ込め機能、並びに使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されるかを判定
する。

この一連の評価を、想定される全ての単一の機器の破損ケース毎に実施し、結果として全て
の評価ケースにおいて、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持さ
れること、使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認する。

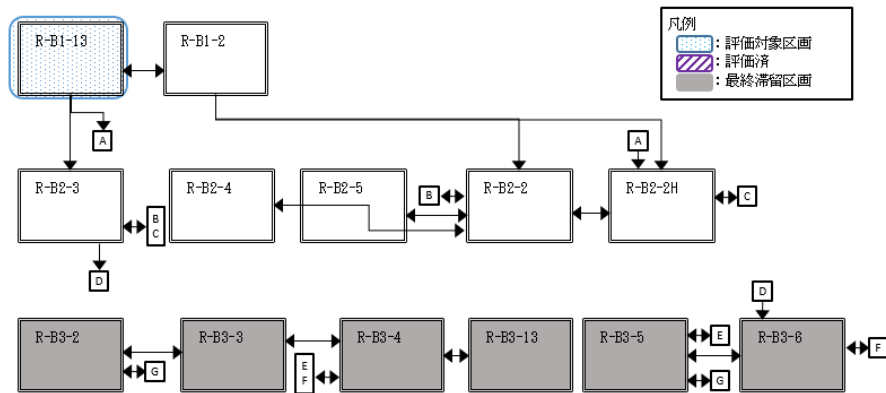
第2.3-1図に溢水伝播における水位の算定フローを示す。

防護すべき設備（設計基準対象施設）の想定破損により生じる没水影響評価結果を次ページ
以降に示す。

なお、溢水量の算出は破損を想定する系統ごとに行い、その系統内のうち最大溢水量となる
破損場所について評価する。



第2.3-1図 溢水伝播における水位の算定フロー



第 2.3-2 図 溢水伝播範囲 (代表例: 1/5)

| 一次伝播評価 | | | | | |
|---|----------------------|-------|------------|-----|----|
| 評価対象区画 | ②面積[m ²] | | | | |
| R-B1-13 | 19 | | | | |
| ①溢水量[m ³] | ③溢水水位[m] | | | | |
| 252 | 13.27 (水位は切り上げて表記) | | | | |
| 溢水の発生区画。他の区画への流出がないものと仮定して、溢水量を面積で割り、溢水水位を算出。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | ④伝播開始高さ[m] | ⑤伝播 | 備考 |
| R-B1-2 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | |
| R-B1-5 | 横貫通部 | 天井 | — | 無 | |
| R-B2-2H | 縦貫通部 | 無 | 0.125 | 有 | |
| R-B2-3 | 縦貫通部 | 無 | 0.125 | 有 | |

【水位算出方法 (例示)】

(1) 評価対象区画の溢水水位を導出する。

$$\text{③溢水水位 (13.27m}^*\text{)} \simeq \text{①溢水量 (252m}^3\text{)} / \text{②面積 (19m}^2\text{)}$$

※: 水位は切り上げて表記

(2) 評価対象区画から接続区画への伝播の有無を判定する。

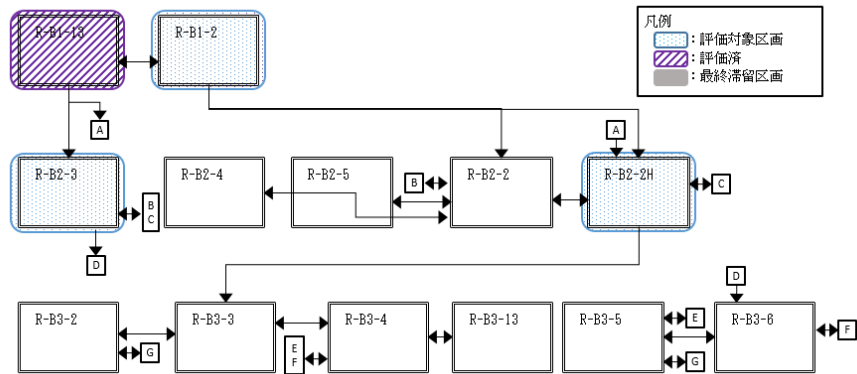
⑤伝播「有」; ④伝播開始高さ < ③溢水水位

⑤伝播「無」; ④伝播開始高さ \geq ③溢水水位

※止水「天井」の場合、天井面までの全ての貫通部に対し想定される水位に応じた止水処置を実施しているため、伝播「無」となる。

(3) (2) 接続区画への伝播有無判定で伝播「有」となった区画を次段階の評価対象区画として選定する。

(例) 二次伝播評価対象区画は、一次伝播評価で「⑤伝播」判定が「有」となっている R-B1-2, R-B2-2H, R-B2-3 を対象として評価 (次ページ※部)。



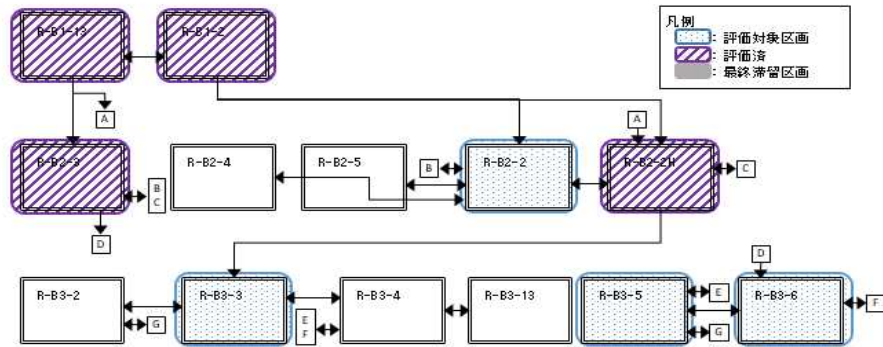
第 2.3-2 図 溢水伝播範囲 (代表例: 2/5)

| 二次伝播評価 | | | | | |
|---|---------------------|-------|-----------|----|----|
| 評価対象区画 | 面積[m ²] | | | | |
| ※R-B1-2 | 370 | | | | |
| 溢水量[m ³] | 溢水水位[m] | | | | |
| (252) | 0.30 | | | | |
| R-B1-13 から扉を介した伝播のため、全溢水量を R-B1-13 との合計面積で割った平均水位 (0.65m) を算出。ただし、床開口部が存在するため、その堰高さ以上の溢水水位とはならないため、溢水水位は、0.30m となる。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B2-2 | 床開口部 | 無 | 0.2 | 有 | |
| R-B1-5 | 扉 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B1-3 | 横貫通部 | 0.3 | 0.875 | 無 | |
| R-B1-4 | 横貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B1-6 | 扉 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B1-7 | 横貫通部 | 0.3 | 0.875 | 無 | |
| R-B1-8 | 横貫通部 | 0.3 | 0.875 | 無 | |
| R-B1-10 | 扉 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B1-11 | 扉 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B1-16 | 横貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B2-5 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |

| 評価対象区画 | 面積[m ²] | | | | |
|---|---------------------|-------|-----------|----|----------------|
| ※R-B2-3 | 25 | | | | |
| 溢水量[m ³] | 溢水水位[m] | | | | |
| 252 | 10.08 | | | | |
| R-B1-13 から縦貫通部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B2-2 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | 三次評価に包含されるため省略 |
| R-B2-4 | 横貫通部 | 10.1 | 10.1 | 無 | |
| R-B3-5 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 有 | |
| R-B3-6 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 有 | |

| 評価対象区画 | 面積[m ²] | | | | |
|---|---------------------|-------|-----------|----|----------------|
| ※R-B2-2H | 71 | | | | |
| 溢水量[m ³] | 溢水水位[m] | | | | |
| 252 | 3.55 | | | | |
| R-B1-13 から縦貫通部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B2-2 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | 三次評価に包含されるため省略 |
| R-B3-3 | 縦貫通部 | 無 | 0.125 | 有 | |
| R-B3-4 | 縦貫通部 | 無 | 0.125 | 有 | 五次評価に包含されるため省略 |
| R-B3-5 | 縦貫通部 | 無 | 0.125 | 有 | 三次評価に包含されるため省略 |

(4) 以降、同様に(1)～(3)の評価を繰り返し、全伝播区画の溢水水位を算定する。



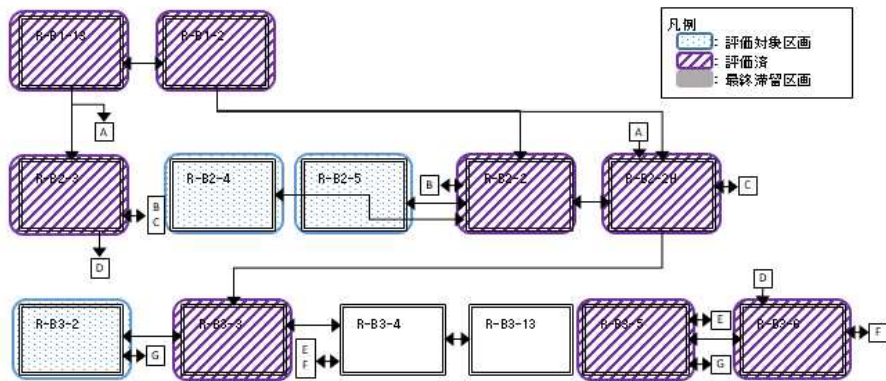
第 2.3-2 図 溢水伝播範囲 (代表例: 3/5)

| 三次伝播評価 | | | | | |
|---------------------------------------|------|---------------------|-----------|----|----------------|
| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
| R-B2-2 | | 1259 | | | |
| 溢水量[m ³] | | 溢水水位[m] | | | |
| 252 | | 0.20 | | | |
| R-B1-2 から床開口部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考える。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B2-2H | 扉 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B2-3 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | 二次評価に包含されるため省略 |
| R-B2-4 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | |
| R-B2-5 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | |
| R-B3-2 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-4 | 床開口部 | 無 | 0.2 | 有 | 五次評価に包含されるため省略 |
| R-B3-5 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-6 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-7 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-8 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-9 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-11 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-12 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |
| R-B3-13 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |

| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
|---|------|---------------------|-----------|----|----------------|
| R-B3-3 | | 52 | | | |
| 溢水量[m ³] | | 溢水水位[m] | | | |
| 252 | | 4.85 | | | |
| R-B2-2H から縦貫通部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B3-2 | 横貫通部 | 無 | 0.65 | 有 | |
| R-B3-4 | 横貫通部 | 無 | 0.1 | 有 | 五次評価に包含されるため省略 |

| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
|--|------|---------------------|-----------|----|----------------|
| R-B3-5 | | 113 | | | |
| 溢水量[m ³] | | 溢水水位[m] | | | |
| 252 | | 2.24 | | | |
| R-B2-3 から縦貫通部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B3-2 | 横貫通部 | 無 | 0.65 | 有 | |
| R-B3-4 | 横貫通部 | 無 | 0.1 | 有 | 五次評価に包含されるため省略 |

| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
|--|------|---------------------|-----------|----|----------------|
| R-B3-6 | | 85 | | | |
| 溢水量[m ³] | | 溢水水位[m] | | | |
| 252 | | 2.97 | | | |
| R-B2-3 から縦貫通部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B3-4 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | 五次評価に包含されるため省略 |
| R-B3-5 | 床ドレン | 無 | 0.0 | 有 | 三次評価に包含されるため省略 |
| R-B3-7 | 横貫通部 | 3.1 | 3.1 | 無 | |

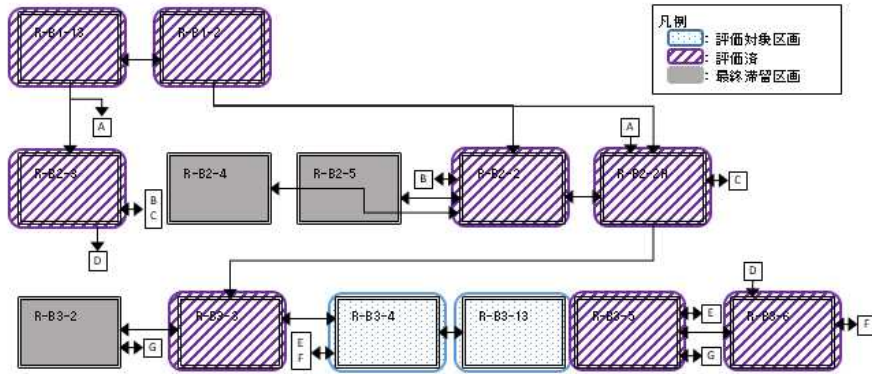


第 2.3-2 図 溢水伝播範囲 (代表例: 4/5)

| 四次伝播評価 | | | | | |
|---|------|---------------------|-----------|----|----|
| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
| R-B2-4 | | 19 | | | |
| 溢水量[m ³] (252) | | 溢水水位[m] 0.20 | | | |
| R-B2-2 から扉を介した伝播のため、全溢水量を R-B2-2 との合計面積で割った平均水位を算出。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B2-3 | 横貫通部 | 天井 | — | 無 | |
| R-B3-7 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |

| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
|---|------|---------------------|-----------|----|----|
| R-B2-5 | | 19 | | | |
| 溢水量[m ³] (252) | | 溢水水位[m] 0.20 | | | |
| R-B2-2 から扉を介した伝播のため、全溢水量を R-B2-2 との合計面積で割った平均水位を算出。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B3-12 | 縦貫通部 | 0.3 | 0.3 | 無 | |

| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
|---|------|---------------------|-----------|----|----|
| R-B3-2 | | 26 | | | |
| 溢水量[m ³] (252) | | 溢水水位[m] 1.82 | | | |
| R-B3-5 から横貫通部を介した伝播であり、貫通部高さは 0.65m となっている。この場合は R-B3-5 及び R-B3-2 の平均水位 (1.82m) と、貫通部の上積を R-B3-2 に移行させた場合の水位 (9.70m) とを比較し、より現実的な値 (*) を使用する。 | | | | | |
| (*) 伝播先の R-B3-2 では、伝播元である R-B3-5 の水位 2.24m (三次伝播評価参照) を上回ることはないと考えられるため、本ケースでは、平均水位 1.82m を採用する。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B3-3 | 扉 | 3.1 | 3.1 | 無 | |



第 2.3-2 図 溢水伝播範囲（代表例：5/5）

| 六次評価 | |
|---|---------------------|
| 評価対象区画 | 面積[m ²] |
| R-B3-13 | 31 |
| 溢水量[m ³] (252) | 溢水水位[m] 0.43 |
| R-B3-4 から扉を介した伝播のため、全溢水量を R-B3-4 との合計面積で割った平均水位を算出。 | |

| 五次評価 | | | | | |
|--|------|---------------------|-----------|----|----|
| 評価対象区画 | | 面積[m ²] | | | |
| R-B3-4 | | 557 | | | |
| 溢水量[m ³] 252 | | 溢水水位[m] 0.46 | | | |
| B2F 以上の床ドレンが、本区画内のドレンサンプに流入することから、全溢水量を面積で割り水位を算出。 | | | | | |
| 接続区画への伝播有無判定 | | | | | |
| 接続区画 | 伝播経路 | 止水[m] | 伝播開始高さ[m] | 伝播 | 備考 |
| R-B3-13 | 扉 | 無 | 0.1 | 有 | |
| R-B3-3 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-5 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-6 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-7 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-8 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-10 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-11 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |
| R-B3-12 | 扉 | 2.5 | — | 無 | |

防護対象設備の機能喪失判定

上記にて実施した溢水伝播評価の結果をもとに、各防護対象設備の機能喪失判定を以下の第2-4-1表に示す。

第2.3-1表 没水影響評価結果

| 溢水防護区画 | 溢水防護対象設備 | 区分 | 溢水水位(m) | 機能喪失高さ(m) | 判定 | |
|---------|---------------------------|-----|-------------------------------|-----------|----|------------------|
| | | | | | 没水 | 被水 ^{※1} |
| R-B1-13 | 原子炉隔離時冷却系弁(E51-MO-F004) | I | 13.27 | 4.26 | × | — |
| R-B1-2 | 可燃性ガス濃度制御系弁(T49-MO-F007A) | I | 0.30 (0.35 ^{※2}) | 3.61 | ○ | ○ |
| | 可燃性ガス濃度制御系弁(T49-MO-F008A) | I | | 3.58 | ○ | ○ |
| R-B2-2 | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F037A) | I | 0.20 (0.25 ^{※2}) | 1.20 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F042A) | I | | 1.09 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F016A) | I | | 1.26 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F037B) | II | | 4.29 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F042B) | II | | 1.53 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F016B) | II | | 4.28 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F037C) | III | | 1.40 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F042C) | III | | 1.73 | ○ | ○ |
| | 原子炉補機冷却系弁(P21-MO-F016C) | III | | 1.39 | ○ | ○ |
| | 可燃性ガス濃度制御系弁(T49-MO-F007B) | II | | 3.52 | ○ | ○ |
| | 可燃性ガス濃度制御系弁(T49-MO-F008B) | II | | 3.57 | ○ | ○ |
| R-B2-3 | 原子炉隔離時冷却系弁(E51-MO-F011) | I | 10.08 | 3.75 | × | ○ |
| | 残留熱除去系弁(E11-MO-F021A) | I | | 0.56 | × | ○ |
| | 残留熱除去系弁(E11-MO-F008A) | I | | 2.92 | × | ○ |
| R-B2-4 | 高压炉心注水系弁(E22-MO-F010C) | III | 0.20 | 1.54 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系弁(E11-MO-F021C) | | | 2.09 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系弁(E11-MO-F008C) | | | 4.09 | ○ | ○ |
| R-B2-5 | 高压炉心注水系弁(E22-MO-F010B) | II | 0.20 | 1.55 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系弁(E11-MO-F021B) | II | | 1.92 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系弁(E11-MO-F008B) | II | | 4.33 | ○ | ○ |

第2.3-1表 没水影響評価結果

| 溢水防護区画 | 溢水防護対象設備 | 区分 | 溢水水位 (m) | 機能喪失高さ (m) | 判定 | |
|--------------------------|----------------------------------|----|----------|------------|----|------------------|
| | | | | | 没水 | 被水 ^{※1} |
| R-B3-2 | 原子炉水位 (B21-LT-006A) | — | 3.24 | 0.46 | × | ○ |
| | 残留熱除去系系統流量 (E11-FT-008A-2) | I | | 0.66 | × | ○ |
| | サプレッションプール水位 (E22-LT-010A) | — | | 0.46 | × | ○ |
| | サプレッションプール水位 (E22-LT-010D) | — | | 0.46 | × | ○ |
| R-B3-5 | 残留熱除去系ポンプ (A) (E11-C001A) | I | 2.24 | 0.26 | × | ○ |
| | 残留熱除去系弁 (E11-MO-F001A) | | | 2.15 | × | ○ |
| | 残留熱除去系弁 (E11-MO-F012A) | | | 1.69 | × | ○ |
| | 残留熱除去系弁 (E11-MO-F013A) | | | 3.17 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系弁 (E11-MO-F004A) | | | 3.95 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系熱交換器入口温度 (E11-TE-006A) | | | 2.30 | ○ | ○ |
| | 残留熱除去系ポンプ (A) 室空調機 (U41-B103) | | | 0.26 | × | ○ |
| R-B3-6 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ (E51-C001) | I | 2.97 | 1.01 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系蒸気タービン用主油ポンプ (E51-C005) | | | 1.01 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン (E51-C002) | | | 1.05 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系復水ポンプ (E51-C003) | | | 0.18 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系真空ポンプ (E51-C004) | | | 0.18 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-MO-F012) | | | 1.38 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出流量 (E51-FT-006) | | | 0.66 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-MO-F037) | | | 2.96 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-MO-F400) | | | 2.09 | × | ○ |
| 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-MO-F001) | 3.82 | ○ | ○ | | | |

第2.3-1表 没水影響評価結果

| 溢水防護区画 | 溢水防護対象設備 | 区分 | 溢水水位(m) | 機能喪失高さ(m) | 判定 | |
|---------|--------------------------------|----|---------|-----------|----|------------------|
| | | | | | 没水 | 被水 ^{※1} |
| R-B3-6 | 原子炉隔離時冷却系弁(E51-M0-F006) | I | 2.97 | 1.51 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系弁(E51-A0-F031) | | | 0.25 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系弁(E51-A0-F032) | | | 0.24 | × | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系弁(E51-H0-F401) | | | 1.72 | × | ○ |
| R-B3-13 | サプレッションプール浄化系ポンプ(G51-C001) | I | 0.43 | 0.24 | × | ○ |
| | サプレッションプール浄化系ポンプ室空調機(U41-B115) | I | | 0.25 | × | ○ |

※1：上階からの溢水伝播がある場合は被水による影響も評価する。無い場合は評価不要とし、「-」で示す。

※2：通路部においては、ゆらぎの効果(0.05m)も考慮する。

2. 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針

重大事故等対処設備に対する防護方針を以下に整理する。なお、重大事故等対処設備に対する没水影響評価は、2.3.1 防護すべき設備（設計基準対象施設）と同じ各区画の水位を用いて重大事故等対処設備に対する評価を実施する。さらに、運転員等による各種対応操作*1に関しても、溢水による影響を考慮の上、期待することとする。また、スロッシングに伴う溢水の影響に関しては、以下の方針とは独立に重大事項等対処設備の安全機能を損なわない方針とする。

方針Ⅰ【独立性】

: 重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと

方針Ⅱ【修復性】

: 重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること

方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】

: 内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能*2 が損なわれる恐れのないこと

*1 対応操作例：溢水の影響により一時的に電動弁の遠隔操作機能が喪失した場合に、現場の環境状況を考慮の上、運転員等が現場へアクセスし、手動にて弁操作を実施する、等

*2 主要な機能：“未臨界移行”，“燃料冷却”，“格納容器除熱”，及び“使用済燃料プール注水”機能とする

2.1 方針への適合性確認の流れ

2.にて示した防護方針への適合性の確認においては、まず、設置許可基準規則第四十三条～六十二条の各条文に該当する重大事故等対処設備を抽出し、それらを“防止設備”，“緩和設備”，及び“防止でも緩和でもない設備”に分類する。これらの分類を行った上で、方針Ⅰ及びⅡへの適合性を確認する一次評価と、方針Ⅲへの適合性を確認する二次評価の、二つの段階にて確認する。

(a) 方針Ⅰへの適合性の確認（一次評価）

方針Ⅰへの適合について確認すべき対象は、“防止設備”に分類された設備であり、以下のような流れでその適合性を確認する。

①：各条文の防止設備が、溢水による影響でその安全機能を維持できるか

②：①にて維持できない場合は、同一の溢水により対応する設計基準対象施設の安全機能が同時に喪失していないか

③：②にて同時に喪失していた場合は、各種対応を実施する

(b) 方針Ⅱへの適合性の確認（一次評価）

方針Ⅱへの適合性について確認すべき対象は、“緩和設備”及び“防止でも緩和でもない設備”に分類された設備であり、以下のような流れでその適合性を確認する。

①：各条文の緩和設備又は防止でも緩和でもない設備が、溢水による影響でその安全機能を維持できるか

②：①にて維持できない場合は、修復性等を考慮したできる限りの頑健性を確保する

(c) 方針Ⅲへの適合性の確認（二次評価）

方針Ⅲへの適合性については、以下のような流れでその適合性を確認する。

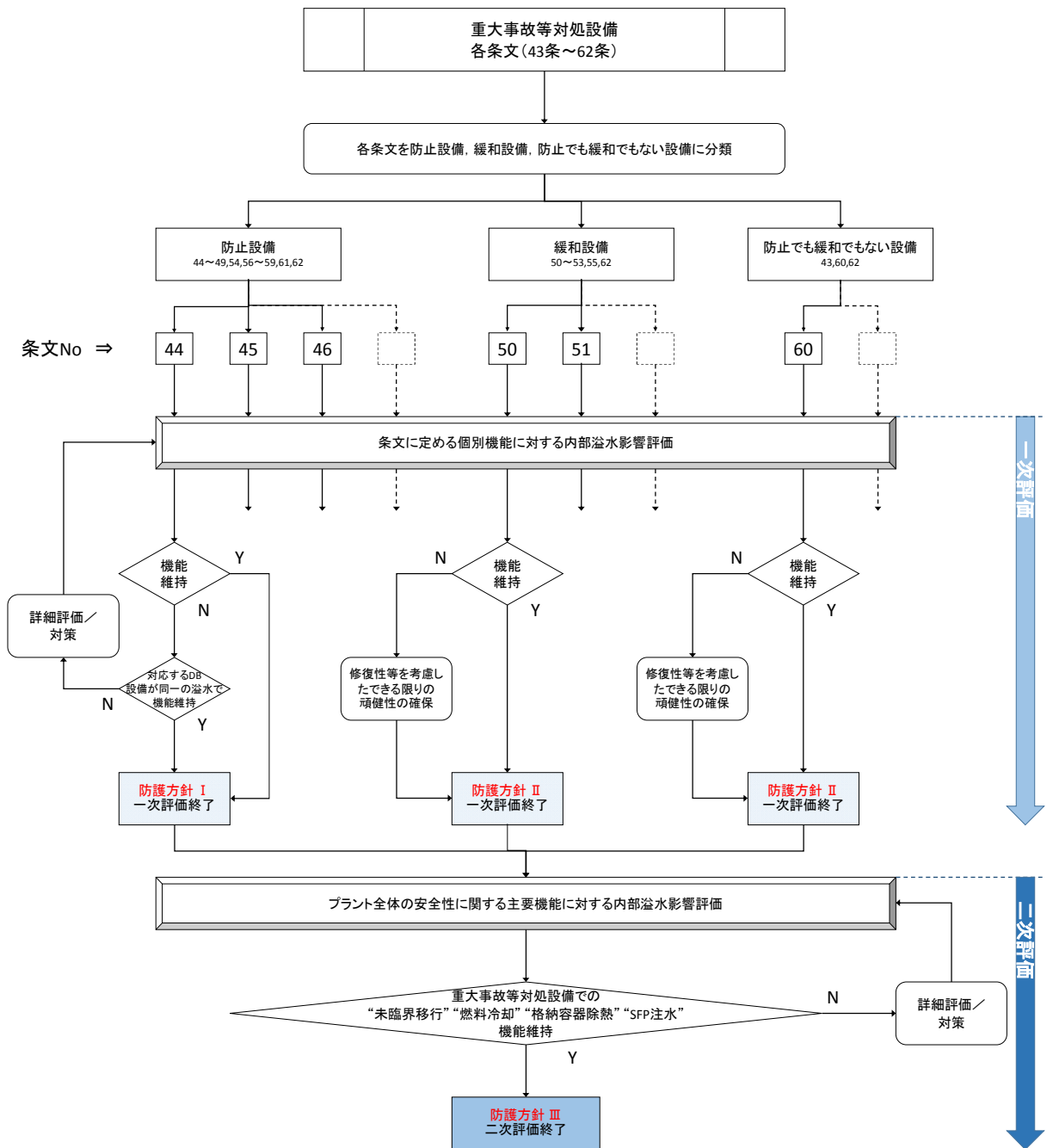
①：溢水による影響を考慮した上で、設計基準対象施設の機能に期待せず、重大事故等対処設備によって“未臨界移行”，“燃料冷却”，“格納容器除熱”，及び“使用済燃料プール注水”機能が維持できるか

②：①にて維持できない場合は、各種対応を実施する

2.2 方針への適合性確認の流れ

上記を踏まえ、方針への適合性確認フローを第2.3-3図に示す。

没水による重大事故等対処設備の機能喪失を踏まえたプラントの安全機能維持が確認されていることを確認した結果を「2.5 想定破損により生じる没水影響評価結果（重大事故等対処設備）」に示す。なお、大湊側高台（大湊側高台に設置する設備）については、溢水の影響がないことから機能喪失しないことは明らかである。



第 2.3-3 図 方針への適合性確認フロー

2.4 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では、想定破損により生じる溢水からの没水影響評価に関して、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」にて示した評価方針により、全ての想定破損ケースにおける防護すべき設備（溢水防護対象設備）に対する評価結果を示す。なお、溢水量の算出に当たっては、任意の区画内において、破損を想定する系統内のうち、最大溢水量を用いて評価する。

防護すべき設備（溢水防護対象設備）を内包する建屋は以下の通り。

- ・原子炉建屋
- ・タービン建屋
- ・コントロール建屋

原子炉建屋の評価結果を第 2.4-1 表、タービン建屋の評価結果を第 2.4-2 表及びコントロール建屋の評価結果を第 2.4-3 表に示す。

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-4F-1 | |
| 溢水源； MUWP | B |
| 溢水量 (m3)； 4 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|----------|----------|----------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 自動減圧系統 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-4F-2A | |
| 溢水源； RCW(A) | B |
| 溢水量 (m3)； 42 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-----------------|--------|--------|------|------------|--------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-4F-2B | |
| 溢水源； RCW (B) | B |
| 溢水量 (m3)； 42 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------|------|-------|------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-4F-3 | |
| 溢水源； MUWC | A |
| 溢水量 (m3)； 154 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|--------|-------------|--------|------------|--------|-------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-M4F-1 | |
| 溢水源； RCW (A) | B |
| 溢水量 (m3)； 44 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|------------|--------|-----------------|------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (D) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-M4F-2 | |
| 溢水源； RCW (B) | B |
| 溢水量 (m3)； 35 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-------------|--------|-------|----------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------------|-----------------|---------------|------------|-------|------------|--------|---------------|--------|------|---------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | プールへの給水 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | プールへの給水 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-M4F-3 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 154 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高压炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|------------|--------|---------------|--------|-------|------|------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 判定 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-M4F-4A | |
| 溢水源； RCW (A) | B |
| 溢水量 (m3)； 44 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 事故時計装 | | | | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-M4F-4C | |
| 溢水源； RCW (C) | B |
| 溢水量 (m3)； 44 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|----------------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレッド冷却系 (D/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|--------|-----------------|--------|------------|--------|-----------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-M4F-5B | |
| 溢水源； RCW (B) | B |
| 溢水量 (m3)； 44 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|--|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|------------|--------------|------------|--------|---------------|------------|------|--|--|
| 分類 | g. サポート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 換気空調補機非常用冷却系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-3F-1共 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 154 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------------|--------|--------|---------------|------------|--------|--------|---------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-3F-1A | |
| 溢水源； HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 86 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------|---|---------------------------------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 中央制御室換気空調系 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|--------|------------|-------------|------------|--------|------------|-------------|-------|------|------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 冷却機能 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 監視機能 | 監視機能 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 冷却機能 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 監視機能 | 監視機能 | 注水機能 | 監視機能 | 監視機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-3F-2 | |
| 溢水源； HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 86 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|-------|---------|------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|--------------|---------|------------|--------|--------|--------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | e. プール冷却 | | f. プールへの給水 | | e. f. | | e. f. | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器冷却系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-3F-3 | |
| 溢水源； MUWP | B |
| 溢水量 (m3)； 33 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|--------|--------|-----------------|------------|------------|--------|-----------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-3F-5 | |
| 溢水源； HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 86 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------|------|-------|------|------------|--------|--------|-----------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-1 | |
| 溢水源； RHR (B) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-2共1 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 154 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|----------------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレッド冷却系 (D/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|--------|-----------------|--------|-------|------|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | e. プール冷却 | | f. プールへの給水 | | e. f. | | |
| 機能判定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-2共3 | |
| 溢水源； RHR (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|---------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-3 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 154 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|------------|--------|---------------|--------|-------|------|------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 判定 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-4 | |
| 溢水源； HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 102 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|------------|--------|---------------|--------|-------|------|------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 判定 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-5 | |
| 溢水源； HNCW | A |
| 溢水量 (m3)； 102 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-6 | |
| 溢水源； HECW(A) | B |
| 溢水量 (m3)； 53 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッションプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|------------|--------|----------------|------|------|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-9下 | |
| 溢水源； RCW (A) | B |
| 溢水量 (m3)； 57 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-----------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-10上 | |
| 溢水源； RCW(C) | B |
| 溢水量 (m3)； 57 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 非常用ガス処理系 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|------|------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-10下 | |
| 溢水源； RCW(C) | B |
| 溢水量 (m3)； 57 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------|------|-------|------|------------|--------|-----------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-11 | |
| 溢水源； RCW (B) | B |
| 溢水量 (m3)； 57 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------------|--------|-----------------|--------|------|-----|-----|-----|---|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-12 | |
| 溢水源； SPCU | B |
| 溢水量 (m3)； 116 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッションプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|------------|-------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|--------|----------------|--------|------------|------------|--------|----------------|--------|------|------|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※1
A：基本評価（流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量）
B：詳細評価（流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮）

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-1 | |
| 溢水源； RHR (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|--|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|------|------------|--------|---------------|--------|------|--|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-2共 | |
| 溢水源； RHR (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|-------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 自動減圧系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|--------------|------------|---------|------------|------------|--------|---------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-2p1 | |
| 溢水源； HPAC | A |
| 溢水量 (m3)； 123 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------|------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 系統機器 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-2p4 | |
| 溢水源； MUWP | B |
| 溢水量 (m3)； 103 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|--------|-----------------|--------|-----------------|------|--------|------------|-------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | f. プールへの給水 | e. f. |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 系統機器 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-3 | |
| 溢水源； MUWP | B |
| 溢水量 (m3)； 103 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|----------|--------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|--------|-----------------|--------|------------|--------|--------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-4 | |
| 溢水源； FP | B |
| 溢水量 (m3)； 130 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|--------|-----------------|--------|--------|-----------------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-5 | |
| 溢水源； MUWP | B |
| 溢水量 (m3)； 103 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-----------------|--------|------|------|------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 機能判定 | 安全機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 機能判定 | 安全機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-6 | |
| 溢水源； HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 140 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------|------|-------|------|------------|--------|--------|-----------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-7 | |
| 溢水源； HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 140 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|----------|--------------|---------|------------|------------|------------|-----------------|-----------------|--------|------|---|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-8 | |
| 溢水源； HPCF(B) | B |
| 溢水量 (m3)； 285 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|---------------------------|------------------|---------------------|-----------------|----------|------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 安全機能 | 機能判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A)(B) | (C) | (B) | (C) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------|------------|------------|-----------------|--------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 機能判定 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 区分 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-9 | |
| 溢水源； HPCF(C) | B |
| 溢水量 (m3)； 285 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|------------|-----------|------------|--------|-----------------|--------|------------|--------|-----------------|--------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-10 | |
| 溢水源； FDW_C | B |
| 溢水量 (m3)； 697 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------|------|-------|------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-11 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 175 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|-----------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|----------|----------|------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 高圧炉心注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B-14 | |
| 溢水源； HPCF(C) | B |
| 溢水量 (m3)； 287 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|--------|-------|----------|------------------|------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|---------|--|--|--|--|--|
| 分類 | g. サボート系 | | | 直接関連系 | | 事故時状態把握 | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|-------------------------------------|---------------------|-------|--|--|--|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | f. プールへの給水 | | | e. f. | | | | |
| | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 <td>残留熱除去系 <td>残留熱除去系 <td>サブレーションプール浄化系 <td>残留熱除去系 <td>注水機能 <td>監視機能 </td></td></td></td></td></td> | 残留熱除去系 <td>残留熱除去系 <td>サブレーションプール浄化系 <td>残留熱除去系 <td>注水機能 <td>監視機能 </td></td></td></td></td> | 残留熱除去系 <td>サブレーションプール浄化系 <td>残留熱除去系 <td>注水機能 <td>監視機能 </td></td></td></td> | サブレーションプール浄化系 <td>残留熱除去系 <td>注水機能 <td>監視機能 </td></td></td> | 残留熱除去系 <td>注水機能 <td>監視機能 </td></td> | 注水機能 <td>監視機能 </td> | 監視機能 | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | | | | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B-15 | |
| 溢水源； HPCF(B) | B |
| 溢水量 (m3)； 287 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-BI-2 | |
| 溢水源； RHR (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|--------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブレーションプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|------------|--------|---------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B1-4 | |
| 溢水源； MUIWP | B |
| 溢水量 (m3)； 97 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-------------|---------|--------|------------------------|-------------------|-------------------|-------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|--|--|--|--|--|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 事故時計装 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|--------|--------|------------|-------------|-------------|-------|------|--|--|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | f. プールへの給水 | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | | | |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |

※1
A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-BI-5 | |
| 溢水源； MUIP | B |
| 溢水量 (m3)； 97 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|------------|--------|-----------------|------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B1-6 | |
| 溢水源； MUIP | B |
| 溢水量 (m3)； 97 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|--------|------------|--------|-----------------|------------|--------|-----------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 冷却機能 | 注水機能 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-BI-10 | |
| 溢水源； MUIP | B |
| 溢水量 (m3)； 97 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------|----------------------|--------------------------------------|---------------------|----------|----------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用電源/直流電源/非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 中央制御室換気空調系 | 非常用換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用電源/直流電源/非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (D) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|------|-----|------------|------|------------|--------|-----------------|--------|------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価（流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量）
B：詳細評価（流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮）

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-BI-11 | |
| 溢水源； MUIP | B |
| 溢水量 (m3)； 97 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高压炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|------|------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックを考慮した保有水量，隔離時間；又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-BI-13 | |
| 溢水源； RHR (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-----------------|--------|-----|-----|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-BI-16 | |
| 溢水源； RCW (B) | B |
| 溢水量 (m3)； 157 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|--|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 原子炉施設 | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|------|-------|
| 分類 | e. プール冷却 | | f. プールへの給水 | | e. f. |
| | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B2-2 | |
| 溢水源； HPCF(B) | B |
| 溢水量 (m3)； 290 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|------------|--------------------|----------------------|--------------------|----------|----------|------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 自動減圧系統 | 残留熱除去系統 | 格納容器隔離冷却系統 | 格納容器スプレイ冷却系統 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系統 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系統 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|--------|--------|------|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B2-2H | |
| 溢水源； RCW (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 178 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-----------------|-----------------|--------|------|------------|--------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B2-3 | |
| 溢水源； RHR (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 252 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------------|--------|---------------|--------|------------|------------|---------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B2-4 | |
| 溢水源； HPCF(C) | B |
| 溢水量 (m3)； 290 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 非常用ガス処理系 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|-------|------------|--------|--------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B2-5 | |
| 溢水源； HPCF(B) | B |
| 溢水量 (m3)； 290 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-----------------------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------|------------|------------|-------------|--------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックを考慮した保有水量，隔離時間；又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-2 | |
| 溢水源； SPCU | A |
| 溢水量 (m3)； 94 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------|-------|------|------------|--------|---------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-3 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 253 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可溶性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|------|------|------------|--------|-----------------|--------|------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-4 | |
| 溢水源； HPCF(B) | A |
| 溢水量 (m3)； 338 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-5 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 253 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|----------|----------|------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 自動減圧系統 | 残留熱除去系統 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|--------|--------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-6 | |
| 溢水源； RCW (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 245 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------------|--------|---------------|--------|------------|------------|---------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-7 | |
| 溢水源； HPCF(C) | A |
| 溢水量 (m3)； 338 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|----------|----------|------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性情質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高压注水系統 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|------------|--------|------------|--------|--------|---------------|--------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-8 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 253 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-----------------|------------|--------|-----------------|--------|-----|----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-9 | |
| 溢水源； CRD | A |
| 溢水量 (m3)； 70 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|---------------|------------|--------|---------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-10 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 253 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|-----------|----------|-------|----------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 高圧炉心注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|------------|---------|------------|--------|-----------------|--------|------|-----|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-11 | |
| 溢水源； MUWC | B |
| 溢水量 (m3)； 253 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-12 | |
| 溢水源； HPCF(B) | A |
| 溢水量 (m3)； 338 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|----------|----------|------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御係 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-13 | |
| 溢水源； RCW (A) | A |
| 溢水量 (m3)； 245 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-2F-1共 | |
| 溢水源； HD | A |
| 溢水量 (m3)； 4194 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-1 | |
| 溢水源； TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 447 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|-------------|-------|---------|--------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブレーションプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------|-------|------|------------|--------|---------------|--------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-3 | |
| 溢水源； HD | A |
| 溢水量 (m3)； 4194 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|-----------------------------|--------------------|----------------------|-----------------|-----------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高压注水系統 | 残留熱除去系統 | 自動減圧系統 | 残留熱除去系統 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系統 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系統 (W/W) | 非常用ガス処理系統 | 非常用ガス処理系統 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---|------------|-----------------|------------|--------|-----------------|--------|------------|--------|------|------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系統 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 区分 | 判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (D) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-4① | |
| 溢水源； FP | B |
| 溢水量 (m3)； 130 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|-------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|--------|-------|------|------|------|------|------|-----|-----|---|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※1

A：基本評価（流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量）

B：詳細評価（流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮）

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-4② | |
| 溢水源； TCW | B |
| 溢水量 (m3)； 130 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|----------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|--------------------------------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--------|------------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B1-2A | |
| 溢水源； FP | A |
| 溢水量 (m3)； 271 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------------|--------|-----------------|--------|------|------|------|------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時挙動計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-BI-2C | |
| 溢水源； RSW (C) | B |
| 溢水量 (m3)； 247 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|------------|--------|---------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価（流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量）

B：詳細評価（流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮）

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-BI-3 | |
| 溢水源； HD | A |
| 溢水量 (m3)； 4194 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|--------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高压注水系統 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブレーションプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|--------|------|------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-BI-4b1 | |
| 溢水源； TSW | A |
| 溢水量 (m3)； 542 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------|------------|--------|-----------------|------|------------|------------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 注水機能 | f. プールへの給水 | e. f. 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 安全機能 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 注水機能 | f. プールへの給水 | e. f. 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B1-4b3 | |
| 溢水源； TSW | A |
| 溢水量 (m3)； 542 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-------------|--------|-----|-----|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 区分 | 判定 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-MB2-2 | |
| 溢水源； HD | A |
| 溢水量 (m3)； 4194 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------|-------|------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-1 | |
| 溢水源； TSW | A |
| 溢水量 (m3)； 542 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|------------|-------|---|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------------|--------|-----------------|------------|------------|--------|-----------------|--------|------|------|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※1
A：基本評価（流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量）
B：詳細評価（流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮）

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-2 | |
| 溢水源； FP | A |
| 溢水量 (m3)； 271 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|---------|--------------|-------------|---------|--------|---------|---------------------------|------------------|------------------|---------------------------|------------------|------------------|-------------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 隔離時冷却系 | 高压炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 放射線物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 高压炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|--------|------------|-----------------|-----------------|--------|--------|--------|-------|-----|-----|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 注水機能 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-3 | |
| 溢水源； HD | A |
| 溢水量 (m3)； 4194 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-4 | |
| 溢水源； TSW | A |
| 溢水量 (m3)； 542 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|---------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-----------------|--------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-1F-1 | |
| 溢水源； K6 TCW | B |
| 溢水量 (m3)； 168 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|--------|-------|----------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------|--|---------------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系/非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用電源/直流電源/非常用換気空調系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 中央制御室換気空調系 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|------------|------------|---------------|--------|------|------|-------|------|------------|--------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | f. プールへの給水 | | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-1F-4B | |
| 溢水源； HECW(B) | B |
| 溢水量 (m3)； 53 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|---------------------------|------------------|------------------|---------------------|-----------------|------------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|------------|-----------|------|------|------|-------|------------|--------|-----------------|--------|------|------|------|------|-----|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-1F-10 | |
| 溢水源； K6 HECW | B |
| 溢水量 (m3)； 60 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|---------|---------------|------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|----------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器除熱機能 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | サブプレッシャー冷却モード | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|-----------|---|-----------------|--------------|------------|-----------|-----------|------------|--------------|------------|-------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 原子炉補機冷却水系 | 非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|--------|--------|-------------|--------|------|-------|-----|--|--|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | f. プールへの給水 | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 安全機能 | 注水機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-BI-1 | |
| 溢水源； K6 FP | B |
| 溢水量 (m3)； 111 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--------|------------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B1-6 | |
| 溢水源； MUWP | B |
| 溢水量 (m3)； 72 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|------|------|------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 機能判定 | 機能判定 | 機能判定 |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 | 系統機器 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|--------|---------------|-------|------------|--------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | 機能判定 | ○ | ○ | ○ | 機能判定 | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B1-8A | |
| 溢水源； K6 飲料水系 | A |
| 溢水量 (m3)； 22 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------|-----------|--------------------------------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 中央制御室換気空調系 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - | (A) | (D) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|------------|--------|---------------|--|------|------|-------|------|------------|--------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 <td>注水機能</td> <td>監視機能</td> <td>安全機能</td> <td>冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>残留熱除去系</td> <td>監視機能</td> | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|----|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B1-8C | |
| 溢水源； K6 FP | B |
| 溢水量 (m3)； 111 | ※1 |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|----------|--------|------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|------------|---------|-------------|--------|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-MB2-2① | |
| 溢水源； HECW(A) | B |
| 溢水量 (m3)； 53 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|-------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 圧力逃がし機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|----------|----------|----------|-----------|-----------------|------------|--------------|------------|----------|------------|----------|---------------|----------|----------|----------|----------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-MB2-2② | |
| 溢水源； HECW(A) | B |
| 溢水量 (m3)； 50 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|------------|----------|------|------|------|------------|------------|--------|-----------------|--------|------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価(流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価(流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-MB2-2③ | |
| 溢水源； K6 HNCW | B |
| 溢水量 (m3)； 96 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|--------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------|------|-------|------|------------|--------|--------|----------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレーション/プール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレーション/プール浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-MB2-2④ | |
| 溢水源； K6 HECW | B |
| 溢水量 (m3)； 60 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|-----------|-------------|--------|---------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性情質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 高圧炉心注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|------------|----------------|------------|--------|--------|------|------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | サブプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B2-1 | |
| 溢水源； FP | B |
| 溢水量 (m3)； 122 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-------------|--------|-------|----------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | - | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---|--------------|--------------|------------|-------|--|--|--|--|--|
| 分類 | g. サポート系 | | | 事故時状態把握 | | | | | | | |
| | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源 / 直流電源 / 非常用計測制御用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | - | | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------------|--------|---------------|--------|------------|--|--|--|--|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | f. プールへの給水 | | e. f. 監視機能 | | | | | |
| | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B2-2 | |
| 溢水源； FP | B |
| 溢水量 (m3)； 122 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|--------------|-------------|---------|----------|--------|----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレッド冷却系 (D/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------------|-----------------|-----------|--------------|------------|---------|------------|--------|------------|--------|------------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (D) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B2-3 | |
| 溢水源； FP | B |
| 溢水量 (m3)； 122 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|----------|----------|------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処理系 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|------------|--------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B2-4 | |
| 溢水源； K6 FP | B |
| 溢水量 (m3)； 116 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高压注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高压注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可燃性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------|-----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------|----------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 | 非常用換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (D) | (A) | (B) | |
| 判定 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|------------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1
A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はフアンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； C-B2-5 | |
| 溢水源； K6 HECW | A |
| 溢水量 (m3)； 60 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---------|-----------------|-------|---------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|------------|-------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 機能判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|------------|--------|-------------|--------|------------|------|------|------|-----|----|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | | | f. プールへの給水 | | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-2F-1 | |
| 溢水源； TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 447 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------|-----------|--------------------------------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 中央制御室換気空調系 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (B) | (A) | (D) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|------------|--------|---------------|--|------|------|-------|------|------------|--------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 <td>注水機能</td> <td>監視機能</td> <td>安全機能</td> <td>冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>残留熱除去系</td> <td>監視機能</td> | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-1F-1 | |
| 溢水源； K6 TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 456 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-------------|--------|-------|----------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------------|------------|---------------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B1-1 | |
| 溢水源； K6 TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 456 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|-------------|-------|---------|----------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|------------|------------|--------|--------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | |
| | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 |
| 安全機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A: 基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B: 詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B2-1 | |
| 溢水源； K6 TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 456 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|-------------|-------|---------|----------------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレッド冷却系 (D/W) | 格納容器スプレッド冷却系 (W/W) | 格納容器スプレッド冷却系 | 非常用ガス処理系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------|------------|--------|--------|-----------------|------------|--------|-----------------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-1 | |
| 溢水源； K6 TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 456 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---------|-----------------|--------------|------------|-----------------|--------------|--------------|------------|-----------------------|---|---|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用電源 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 非常用電源 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - | (D) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|------|------------|--------|---------------|--|------|------|-------|------|------------|--------|------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 <td>注水機能</td> <td>監視機能</td> <td>安全機能</td> <td>冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>残留熱除去系</td> <td>監視機能</td> | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)
B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-2 | |
| 溢水源； K6 TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 456 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|------|------|------|-------|------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-3 | |
| 溢水源； K6 TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 456 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|--------------|------------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|--------|------------|-------------|--------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 中央制御室換気空調系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

第2.4-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 想定 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-4 | |
| 溢水源； TCW | A |
| 溢水量 (m3)； 447 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|--------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価 (流出流量；当該系統の最大口径，系統保有水量；当該系統の全保有水量)

B：詳細評価 (流出流量；当該区画における当該系統の最大口径，系統保有水量；エレベーションを考慮した保有水量，隔離時間；インターロックによる自動隔離，又はファンネルによる排水を考慮)

2.5 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価（重大事故等対処設備）

本資料では、想定破損により生じる溢水からの没水影響評価に対して、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」にて示した方針により、全ての想定破損ケースにおいて防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する評価結果を示す。なお、各区画の水位については、「2.4 想定破損により生じる溢水に対する没水影響評価結果（設計基準対象施設）」の評価水位と同じとする。

防護すべき設備（重大事故等対処設備）の想定破損により生じる没水影響評価結果のうち、原子炉建屋の評価結果を第 2.5-1 表、タービン建屋の評価結果を第 2.5-2 表、コントロール建屋の評価結果を第 2.5-3 表及び廃棄物処理建屋の評価結果を第 2.5-4 表に示す。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-4F-1 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 4 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-4F-2A | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 42 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | × | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|---------------------|--------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉压力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | × | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | × | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | フィルタ装置水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | × | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | × | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉压力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉压力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉压力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉压力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| 防止 | 原子炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-4F-2B | |
| 溢水源 | : RCW(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 42 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|--------------|-----------------|--------------------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | × | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | - | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | × | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-4F-3 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 154 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|----------------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-M4F-1 | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 44 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | × | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|-----------------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|---------------------|-------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | - | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-M4F-2 | |
| 溢水源 | : RCW(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 35 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | × | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | - | | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | - | | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | - | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-M4F-3 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 154 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | × | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | - | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-M4F-4A | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 44 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|----------|--------------------|----------------|-----------------------|----------|---|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | ○ | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | ○ | 防止 | | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-M4F-4C | |
| 溢水源 | : RCW(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 44 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|-----------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-M4F-5B | |
| 溢水源 | : RCW(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 44 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | × | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|----------------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | - | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | 防止 | | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-3F-1共 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 154 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-3F-1A | |
| 溢水源 | : HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 86 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|----------------------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | |
| 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-3F-2 | |
| 溢水源 | : HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 86 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|-----------|------------------------|----------------|--------------------------------------|----------|--------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | | | | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | | ○ |
| | 防止 | 非常用直流電源設備 | | | | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|----------|------------------|------|-----------------------|----------|---|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| 防止 | | | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 緩和 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-3F-3 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 33 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-3F-5 | |
| 溢水源 | : HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 86 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | × | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | - | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-1 | |
| 溢水源 | : RHR(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-2共2 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 154 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|----------------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-2共3 | |
| 溢水源 | : RHR(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-2F-3 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 154 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|---------------------|----------------------|------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|--|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-4 | |
| 溢水源 | : HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 102 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|----------|------------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-5 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 154 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|----------------------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | | 原子炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-6 | |
| 溢水源 | : HECW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 53 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|--|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | ○ |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-9下 | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 57 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | ○ | | | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-2F-10上 | |
| 溢水源 | : RCW(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 57 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | | | | ○ | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-10下 | |
| 溢水源 | : RCW(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 57 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-2F-11 | |
| 溢水源 | : RCW(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 57 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | 防止 | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-12 | |
| 溢水源 | : SPCU | |
| 溢水量 (m3) | : 116 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-1 | |
| 溢水源 | : RHR(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | - | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | - | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|----------------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-2共 | |
| 溢水源 | : RHR(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|-------|------------------------------|--------------|---------------------|------|------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | ○ |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-1F-2p1 | |
| 溢水源 | : HPAC | |
| 溢水量 (m3) | : 123 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | - | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | - | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|--------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-2p4 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 103 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | × | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 緩和 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-3 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 103 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-4 | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 130 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|--------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | 緩和 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | 防止 | | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-5 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 103 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-6 | |
| 溢水源 | : HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 140 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-7 | |
| 溢水源 | : HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 140 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 可搬型直流電源設備 | ○ | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-1F-8 | |
| 溢水源 | : HPCF(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 285 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------|--|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により 機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | × | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | | ○ | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 緩和 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | | | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| 防止 | | | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | - | | | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| 防止 | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | | | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | | | | ○ |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | ○ | 防止 | 非常用所内電源設備 | | | | ○ |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | | | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | | | | ○ |
| | 発電所外の通信連絡 | | | ○ | 緩和 | なし | | | | - |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-9 | |
| 溢水源 | : HPCF(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 285 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-10 | |
| 溢水源 | : FDW_C | |
| 溢水量 (m3) | : 697 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|--------------|------------------|----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|----------------------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | - | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | 防止 | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-11 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 175 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|---------------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | × | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | | |
| | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | ○ | 防止 | | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | ○ | | 防止 | | | | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉心注水注水流量 | ○ | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-B-14 | |
| 溢水源 | : HPCF(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 287 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------|-------------------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | × | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B-15 | |
| 溢水源 | : HPCF(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 287 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|-----------------------|---------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | 防止 | 原子炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-2 | |
| 溢水源 | : RHR(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-4 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 97 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|------------------------|------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | (海水貯留堰) | - | | | | | | |
| | | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| | | (取水路) | - | | | | | | |
| | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | ○ |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-5 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 97 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | - | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | - | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|----------------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | - | | | | | | |
| | × | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | - | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | - | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | × | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-6 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 97 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|------------------|-----------------|-----------------------|-----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|-------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | × | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| | × | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-10 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 97 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-11 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 97 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-13 | |
| 溢水源 | : RHR(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | × | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B1-16 | |
| 溢水源 | : RCW(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 157 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|--------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B2-2 | |
| 溢水源 | : HPCF(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 290 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| ほう酸水注入系 | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|---|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B2-2H | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 178 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | 緩和 | | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | 緩和 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | × | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B2-3 | |
| 溢水源 | : RHR(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 252 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|--|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | × | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | | |
| 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | × | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|-----------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | × | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B2-4 | |
| 溢水源 | : HPCF(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 290 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|-----------------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B2-5 | |
| 溢水源 | : HPCF(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 290 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-2 | |
| 溢水源 | : SPCU | |
| 溢水量 (m3) | : 94 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 重大事故等収束のための水源 | ○ | | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-3 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 253 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------------|------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイルローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| (スクリーン室) | | | - | | | | | | |
| (取水路) | | | - | | | | | | |
| (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | (取水路) | - | | | | |
| | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|--------------|--------------|---------------|---------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---------------|---|--|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | | 原子炉格納容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| 緩和 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| 緩和 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-4 | |
| 溢水源 | : HPCF(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 338 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-5 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 253 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-B3-6 | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 245 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | - | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-7 | |
| 溢水源 | : HPCF(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 338 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-8 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 253 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | × | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | × | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-9 | |
| 溢水源 | : CRD | |
| 溢水量 (m3) | : 70 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|------------------------|----------------|------------------------|------|--------------------------------------|------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | × | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | (海水貯留堰) | - | | | | | | |
| | | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| | | (取水路) | - | | | | | | |
| | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-B3-10 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 253 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|--|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | × | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-11 | |
| 溢水源 | : MUWC | |
| 溢水量 (m3) | : 253 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|----------|------------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | × | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|----------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能

・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|-----------------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | × | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-12 | |
| 溢水源 | : HPCF(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 338 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | × | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | × | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : R-B3-13 | |
| 溢水源 | : RCW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 245 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|------------------------------------|----------|------------------------|----------------|--------------------------------------|------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | | | | | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | | | ○ | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| | | | | ブローアウトパネル | ○ | | | | |
| 47 | 非常用取水設備 | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | | | | | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | | | | | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | | | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | | | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 非常用取水設備 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | | | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | | | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | | | | |
| 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | | | | |
| 49 | 非常用取水設備 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | | | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | - | | | |
| | | | | | 残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) | - | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | | | |
| (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|------------------|-----------------|-----------------------|-----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|--------------|-------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | | | |
| | | 防止 | | | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ |
| | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : T-2F-1共 | |
| 溢水源 | : HD | |
| 溢水量 (m3) | : 4194 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|-----------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-1F-1 | |
| 溢水源 | : TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 447 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| 防止 | | | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------|------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : T-1F-3 | |
| 溢水源 | : HD | |
| 溢水量 (m3) | : 4194 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|-----------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : T-1F-4① | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 130 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により 機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : T-1F-4② | |
| 溢水源 | : TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 130 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B1-2A | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 271 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|-------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------|------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B1-2C | |
| 溢水源 | : RSW(C) | |
| 溢水量 (m3) | : 247 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 重大事故等収束のための水源 | ○ | | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B1-3 | |
| 溢水源 | : HD | |
| 溢水量 (m3) | : 4194 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|--|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|------------------------------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B1-4b1 | |
| 溢水源 | : TSW | |
| 溢水量 (m3) | : 542 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : T-B1-4b3 | |
| 溢水源 | : TSW | |
| 溢水量 (m3) | : 542 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-MB2-2 | |
| 溢水源 | : HD | |
| 溢水量 (m3) | : 4194 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|------------------------------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-1 | |
| 溢水源 | : TSW | |
| 溢水量 (m3) | : 542 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-2 | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 271 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | | | | | - |
| | | | 緩和 | | | | | | - |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | × | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-3 | |
| 溢水源 | : HD | |
| 溢水量 (m3) | : 4194 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|--|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|---------------|--|--------------|------------------|--------------------|-----------------------|--------------|--|-----------------|--------------------------|-----------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | | |
| 55 | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |
| | | | 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | | | | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| 水の供給 | ○ | 防止 | | (復水貯蔵槽) | - | | | | | | | |
| | | 防止 | | なし | - | | | | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|----------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-4 | |
| 溢水源 | : TSW | |
| 溢水量 (m3) | : 542 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|-------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : C-1F-1 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 168 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|---------------|--|--------------|--------------------|---------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |
| | | 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | | | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | | - | | | | | |
| | | | 防止 | なし | | - | | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | | | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|-----------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-1F-4B | |
| 溢水源 | : HECW(B) | |
| 溢水量 (m3) | : 53 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-1F-10 | |
| 溢水源 | : K6 HECW | |
| 溢水量 (m3) | : 60 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|-------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B1-1 | |
| 溢水源 | : K6 FP | |
| 溢水量 (m3) | : 111 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B1-6 | |
| 溢水源 | : MUWP | |
| 溢水量 (m3) | : 72 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|-----------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|-----------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B1-8A | |
| 溢水源 | : K6 飲料水系 | |
| 溢水量 (m3) | : 22 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B1-8C | |
| 溢水源 | : K6 FP | |
| 溢水量 (m3) | : 111 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-MB2-2① | |
| 溢水源 | : HECW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 53 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 可搬型直流電源設備 | ○ | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | - | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-MB2-2② | |
| 溢水源 | : HECW(A) | |
| 溢水量 (m3) | : 50 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | - | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-MB2-2③ | |
| 溢水源 | : K6 HNCW | |
| 溢水量 (m3) | : 96 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|-------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|------------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-MB2-2④ | |
| 溢水源 | : K6 HECW | |
| 溢水量 (m3) | : 60 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B2-1 | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 122 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | - | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B2-2 | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 122 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : C-B2-3 | |
| 溢水源 | : FP | |
| 溢水量 (m3) | : 122 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|-----------------------|---------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B2-4 | |
| 溢水源 | : K6 FP | |
| 溢水量 (m3) | : 116 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|--------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : C-B2-5 | |
| 溢水源 | : K6 HECW | |
| 溢水量 (m3) | : 60 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | | | | | - |
| | | | 緩和 | | | | | | - |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | - | | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | - | | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|----------------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-2F-1 | |
| 溢水源 | : TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 447 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--------------|--------------|------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| 防止 | | | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | | 緩和 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | 緩和 | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | - | | | | |
| | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-1F-1 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|--------------------|----------------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B1-1 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------|------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B2-1 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|---------------|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B3-1 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|------------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|-------------|------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B3-2 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-------------------------|------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | | | ○ | 防止 | (アキュムレータ) | | | | - |
| | | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | | | | - |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : W-B3-3 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|---|--------------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | | | |
| | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | | |
| | 水の供給 | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|----------------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 想定 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B3-4 | |
| 溢水源 | : K6 TCW | |
| 溢水量 (m3) | : 456 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------|------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.5-1表 想定破損による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|------|-----------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル（D/W） | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル（S/C） | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | （中央制御室） | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | （中央制御室遮蔽） | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度（空気中・水中・土壌中）及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保（対策本部） | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保（待機場所） | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所） | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所） | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1：条文毎の重大事故対処設備の分類（防止：重大事故防止設備，緩和：重大事故緩和設備）

*2：重大事故防止でも緩和でもない設備

注：重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等，考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

2.6 消火栓からの放水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では、消火活動等に伴う放水による溢水影響評価について記載する。

基本的に想定破損による没水・被水影響評価と同様である。ただし、火災による影響を考慮し、想定破損による没水、被水影響評価と異なる部分は、火災が発生した区画（以下、溢水発生区画とする）に存在する防護対象設備は、保守的に火災に伴う放水の影響により機能喪失していると想定する。ただし、火災発生箇所からの隔離距離が十分大きい場合や、放水により同時に影響をうけないような対策がとられている場合はその限りではない。

溢水発生区画内に消火栓がない場合は、他区画から消火ホースを引き込むことになるため、その経路上の扉は開放されていると想定する。

また、溢水発生区画から他区画への伝播経路に止水処置が存在する場合は、火災の影響によりその止水機能が喪失するものと想定する。ただし、防火対策等により止水機能が喪失しないものに関しては、その止水機能に期待できることとする。

消火活動を実施する区画からの放水活動により発生する溢水が防護すべき設備（溢水防護対象設備）に対する評価結果を示す。消火活動を実施する建屋は以下の通り。

- ・原子炉建屋
- ・タービン建屋

原子炉建屋の評価結果を第 2.6-1 表、タービン建屋の評価結果を第 2.6-2 表に示す。

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-4F-2B | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 12 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|--|-----------------|------------|-----------|------------|------------|--------|---------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用直流電源 / 非常用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-4F-3 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|--------|--------------------|------------------|------------------|------|---------------------|------------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|-----------|------------|--------|--------|------------|--------|----------|------|------------|------------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 機能判定 | 系統機器 | 区分 | 判定 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 注水機能 | f. プールへの給水 | e. f. 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やプアネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------|------------|--------|-------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用計測制御用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 安全機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-2共2 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 11 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | - | (B) | (C) | PCIS | (A) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|--|-----------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|--------|------|-----|---|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用直流電源 / 非常用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-2共3 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|-------------|---------------------|---------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|--|-----------------|--------------|------------|---------|------------|------------|----------|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | e. プール冷却 | f. プールへの給水 | | e. f. | | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用直流電源/非常用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やプアネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-4 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---------------------------------------|-----------------|------------|---------------------|---------|-----------------|------------|------------|--------|---------------|--------|------|------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 格納容器冷却水機能/冷卻用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器冷却系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 系統機器 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1

A：基本評価

B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-5 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 格納容器内濃度制御機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-------------|-------------------|-------------------|-------------|----------|----------|----------|--------|--------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料冷却系 | 燃料プール冷却系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 格納容器内濃度制御機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器内濃度制御機能 | 燃料プール冷却系 | 燃料プール冷却系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-6 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系統 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------|------------|--------|-------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 安全機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-7 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|--|-----------------|--------------|------------|-------|------------|------------|---------------|--------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | e. プール冷却 | f. プールへの給水 | e. f. | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用直流電源 / 非常用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-2F-8 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|--------|------------------|------------------|------------------|------|---------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (B) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|------------|--------------|--------------|------------|------------|--------|-----------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 直接関連系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレスポンションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレスポンションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やファンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-2共 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 24 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|-----------|------------|--------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 安全機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-2p2 | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|------------|----------|------------|------------|-------------|-------------|------|------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-1F-11 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|--------|------------|--------------|--------------|------|------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレスポンプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレスポンプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B2-2 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|---------|-----------|--------------------------------------|------------|--------------|------------|------------|--------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-2 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|--------|------------|--------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-4 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|--------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 機能判定 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 安全機能 | 機能判定 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； R-B3-13 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------------|------------|----------|--------|------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | e. プール冷却 | f. プールへの給水 | | e. f. | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やプアネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-2F-1共 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-------------|---------|--------|----------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 圧縮機 | 自動減圧系 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧縮機 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------------|------------|----------|--------|-------|------|-----|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | e. プール冷却 | f. プールへの給水 | | | e. f. | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やプアネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-2F-1A | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|-----------|------------|--------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 安全機能 | 冷却機能 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|-------------|--------|---------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------|---------------------|-----------------|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系(サブプレッショントラップ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 | 可溶性ガス濃度制御系 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|---------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|--------|-----------------|--------|------|------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 系統機器 | 非常用交流電源/直流電源/非常用制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | f. プールへの給水 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系統/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッショントラップ浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-2 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------|--------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 非常用ガス処 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブプレッショングループ冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッショングループ冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッショングループ冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 非常用ガス処 | 非常用ガス処 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|------------|-----------------|-----------------|--------|--------|------------|--------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 格納容器雰囲気モニタ | サブプレッショングループ浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-3 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|-----------|--------------|-------------|---------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | 格納容器スプレイン冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイン冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイン冷却系 (W/W) | 非常用ガス処理系 | 放射線物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|---|------------|-----------------|------------|---------|------|--|--|--|--|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | | | | | |
| | 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|--------|------------|------------|--------|------|-------|--|--|--|--|
| 分類 | e. プール冷却 | | | f. プールへの給水 | | | e. f. | | | | |
| | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | | | | | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-1F-4① | |
| 溢水源； 消火活動 | B |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (B) | (A) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---------------------------------------|-----------------|--------------|------------|-------|------------|------------|---------------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B1-3 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|--------|------------|------------|-------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | e. プール冷却 | | | | f. プールへの給水 | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 残留熱除去系 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別： 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B1-4b1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|--------|------|--|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|------------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B1-4b3 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|--------|--------------------|------------------|------------------|-------------|------|---------------------|-----------------|-----|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|-----------|------------|--------|----------|------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 安全機能 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|-----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-MB2-2 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|------------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|---------------|------------|-------|-----|-----|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | f. プールへの給水 | e. f. | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用計測制御用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|--------|--------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|---------------------|---------------------|-----------------|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系(サブプール冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系(D/W) | 格納容器スプレイ冷却系(W/W) | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能(濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|---------|------------|--------|----------|------|-------|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 注水機能 | e. f. | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-3 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-------------|--------|-------|----------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|----------|------------|------------|---------------|--------|-------|------|-----|-----|
| 分類 | g. サポート系 | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | e. プール冷却 | | f. プールへの給水 | | | e. f. | | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； T-B2-4 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|--------|------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | e. f. | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用計測制御用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-2F-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | f. プールへの給水 | e. f. |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用計測制御用直流電源 / 非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-1F-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|-----------|------------|--------|---------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | | | 使用済み燃料プール | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時計装 | 安全機能 | 冷却機能 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B1-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | - | (B) | (C) | PCIS | (A) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|---------------|--------|------|------|------------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | e. プールへの給水 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | 監視機能 | 冷却機能 | e. プールへの給水 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B2-1 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-------------|--------|-------|----------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|-----|-----|
| 分類 | a. 止める | | | b. c. 冷やす | | | d. 閉じ込める | | | | | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 低圧注水/冷温停止機能 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 格納容器除熱機能 | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 格納容器内濃度制御系 | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------------------------|-----------------|--------------|------------|------------|------------|--------|---------------|----------------------|--------|-----|
| 分類 | g. サボート系 | | | e. プール冷却 | | f. プールへの給水 | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 冷却機能 | 注水機能 | 監視機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | 残留熱除去系 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブレーションプール浄化系 | 残留熱除去系 <td>監視機能</td> | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-2 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|-------|------|------------|--------|-------------|------|------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 安全機能 | 冷却機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 安全機能 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-3 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|-------------------|-------------------|------|----------------------|-----------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | 水圧制御ユニット | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | 可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|------|------|--|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | サブレッションプール浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 / 原子炉補機冷却海水系 | 非常用交流電源/直流電源 / 非常用計測制御用直流電源 / 非常用電氣品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時設計 | 燃料プール冷却净化系 | 残留熱除去系 | 注水機能 | 監視機能 | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (C) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | |
|----------------|---|
| 評価種別； 消火 | ○ |
| 溢水発生区画； W-B3-4 | |
| 溢水源； 消火活動 | A |
| 溢水量 (m3)； 54 | |

備考；

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|-------------|-------|---------|------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|------------------|
| 分類 | a. 止める | | | | b. c. 冷やす | | | | d. 閉じ込める | | | |
| | 緊急停止機能 | 未臨界維持機能 | 原子炉隔離時高圧注水機能 | 原子炉隔離時冷却系 | 低圧注水/冷温停止機能 | 自動減圧系 | 圧力逃がし機能 | 残留熱除去系 | 格納容器除熱機能 | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | ほう酸水注入系 | 原子炉隔離時高圧注水系 | 原子炉隔離時冷却系 | 残留熱除去系 | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッシャー冷却モード) | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | 格納容器スプレイ冷却系 | 格納容器内の可燃性ガス濃度制御系 |
| 区分 | (A) | (A) | (B) | (C) | (A) | (A) | - | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|-----------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|--------|------|------|--------|
| 分類 | g. サボート系 | | | | 使用済み燃料プール | | | | e. f. | | | | |
| | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | 非常用電源機能 | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | 直接関連系 | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 注水機能 | 監視機能 | 安全機能 | 冷却機能 | プールの給水 |
| 機能判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系 | 非常用交流電源/直流電源/非常用計測制御用直流電源/非常用電機品区域換気空調系 | 中央制御室換気空調系 | 換気空調補機非常用冷却系 | 格納容器雰囲気モニタ | 事故時状態把握 | 燃料プール冷却浄化系 | 残留熱除去系 | サブプレッシャー浄化系 | 残留熱除去系 | 安全機能 | 冷却機能 | プールの給水 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やフアンネルによる排水等を考慮)

2.7 消火栓からの放水による没水影響評価（重大事故等対処設備）

本資料では、消火活動に伴う放水による没水影響評価について記載する。

防護方針については、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」「2.3.2 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針」にて示した方針とする。

評価方針及び評価水位については、「2.6 消火栓からの放水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備）」と同じとする。

防護すべき設備（重大事故等対処設備）の消火栓からの放水による没水影響評価結果のうち、原子炉建屋の評価結果を第 2.7-1 表、タービン建屋の評価結果を第 2.7-2 表及び廃棄物処理建屋の評価結果を第 2.7-3 表に示す。

| | | |
|----------|---------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | R-4F-2B | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 12 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | 分類*1 | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ判定 |
|--------------------|-----------------------|----------|-----------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | × | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | × | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 47 | 低压代替注水系(常設) | × | ○ | 防止 | (残留熱除去系(低压注水モード)) | ○ | | | ○ |
| | 低压代替注水系(可搬型) | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | × | | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系(残留熱除去系(低压注水モード)) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | × | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | × | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | × | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | × | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | × | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | × | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | |
| | | × | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|--------------|--------------|---------------------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|--------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | - | - | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ |
| | 防止 | | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------|-----------|------|-----------------------------------|----------------------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|---|-----------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | | | | - | - | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | - | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | - | | | | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ | | | | | | - |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | - | - | | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | - | - | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | × | 防止 他チャンネル | | | - | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | - | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | - | - | ○ | ○ | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | - | | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-4F-3 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | 分類*1 | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|---------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------------|------------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|--------------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | × | × | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|---------------|-----------|--------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|------------------------------|----------------------------|-----------|------|----------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | -一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | -一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 フィルタ装置水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 原子炉圧力 | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 高圧代替注水系系統流量 | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | | | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|--------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | - | | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | × | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | *2 | 中央制御室照明 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 照明の確保 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 被ばく線量の低減 | × | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-1 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------|-----------------------------------|---|--------------|---------|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | | |
| 防止 なし | - | | | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| 防止 (スクリーン室) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I / II, III 判定 | |
|----------------|--|------------------|--------------------|------------------|------------------------|-------------------|---|----|-------------------|---|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類* | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード) は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系 (常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系 (可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | 使用済燃料プールの監視設備 | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | | | | ○ |
| | | | | ○ | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | | | | ○ |
| | | | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | | | | ○ |
| ○ | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| ○ | | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| ○ | 防止 | | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 (B系) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 (C系) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 (D系) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (B系)) | - | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (C系)) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (D系)) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (C系) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (D系) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (E系) | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | ○ | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|---------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | - | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | | | | ○ |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | | ○ |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | | ○ |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|----------|------------------------------|------------------------|------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|---|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | - | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | - | | | | ○ | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | R-2F-2共2 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 11 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針Ⅰ/Ⅱ,Ⅲ判定 |
|-----------------------|-----------------------|--------------------------|-------|------|---|----------|---------|----|-----------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系(常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低压代替注水系(可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(低压注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| | 低压代替注水系(常設)による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | |
| 低压代替注水系(可搬型)による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-------------|--|----------|-----------|---------------|-----------------------|---------------|---|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | | | | ○ |
| | | | | ○ | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | | | | ○ |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | | | | ○ |
| | | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|--------------|--------------|-----------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|------------------------------|------------------------------|------------------|--------------------------|------------------|------------------------|----------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------|----------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | | | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ |
| | | | | | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プール温度 | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) |
| | ○ | | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | | ○ | | | | |
| | ○ | | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | |
| | | ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | |
| | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| ○ | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | | |
| 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | - | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | - | - | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | - | ○ | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | なし | - | - | - | - | | | | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | R-2F-2共3 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|------------------------------|------------------------------|----------------|--------------|------|------------------------|----------------------|-----------------------------------|------------|--------------------------|------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位（S A） | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - |
| | | | | | ○ | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | - |
| | | | | | ○ | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ |
| | ○ | | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | ○ | | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉圧力容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | ○ | |
| ○ | | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | |
| | | ○ | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | |
| | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|--------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | | - | - | ○ | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-4 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | なし | - | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------|--------------|--------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| 防止 | | | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----|------------------------------|------------------------|----------------|------|----------------------------|------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| ○ | | ○ | | | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|------|-------------------------------|--------------|-----------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | | | | ○ |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | ○ | 防止 | 送受話器 | | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | | | | ○ | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | ○ | 防止 | 非常用所内電源設備 | | | | ○ | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|--------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | R-2F-5 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード)) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I / II, III 判定 |
|----------------|--|------------------|--------------------|------|------------------------|----------|---|----|-------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード) は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系 (常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系 (可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | × | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 (B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 (C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 (D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備 (B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備 (D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備 (D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備 (E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|--------------|---------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|-------|------------------------------|--------------|-----------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------|-----------------------------------|--------------------------|---|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール温度 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール温度 | - | | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ | | |
| | | | | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|--------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | | - | - | ○ | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空气中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | - | | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-6 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-------|------|---|----------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I / II, III 判定 | |
|----------------|--|----------|--------------------|----------------|------------------------|----------------|---|----|-------------------|---|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類 *1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード) は機能維持している | ○ | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系 (常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 格納容器下部注水系 (可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 54 | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備 (B系) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 非常用直流電源設備 (C系) | | | | ○ |
| | | | | ○ | 防止 | 非常用直流電源設備 (D系) | | | | ○ |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (B系)) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (C系)) | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (D系)) | - | | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (C系) | × | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 (D系) | | | | ○ |
| | | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 (E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---------------|--------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| 防止 | | | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------|---------------------|----------------|------------------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位（S A） | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 | | | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - |
| | | | | | ○ | 緩和 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | | | ○ |
| | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | - | | | | | | |
| | ○ | | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位（S A） | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力 | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位（S A） | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | | ○ | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | | - | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | | - | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | × | | - | - | - | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|-----------------------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-7 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m ³) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | | | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留罐) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留罐) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留罐) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|---------------|--|---------------|--------------------|------------------|-----------------------|------------------|---|----|--------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑固性の有無等 | 判定 | | | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | ○ | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | ○ | |
| | | × | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | ○ | |
| ○ | 緩和 | | ○ | ○ | | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | - | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | | - | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | | - | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | | - | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | ○ | | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | - | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | | - | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | | - | |
| | | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | | - | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | | - | |
| | | 使用済燃料プールの監視設備 | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | | | | ○ | ○ |
| | | | | ○ | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | | | | ○ | ○ |
| | | | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | | | | ○ | ○ |
| ○ | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | ○ | | | | | |
| ○ | | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | ○ | | | | | |
| ○ | 防止 | | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | ○ | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ | | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | | - | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | | - | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | | - | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | | - | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | | - | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | | - | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | | - | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | ○ | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | ○ | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | ○ | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | × | × | | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | ○ | | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | - | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|-------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | |
| | 防止 | | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | 防止 | | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|------------------------|------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------|-----------------------------------|--------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | | ○ |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | | ○ | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|-----------------------|-----------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル（D/W） | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル（S/C） | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | | | | | | | | |
| 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | （中央制御室） | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | （中央制御室遮蔽） | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | - | - | - | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度（空気中・水中・土壌中）及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保（対策本部） | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保（待機場所） | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | 通信連絡（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所） | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所） | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 燃料冷却 | ほう酸水注入系 | × | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |

*1：条文毎の重大事故対処設備の分類（防止：重大事故防止設備、緩和：重大事故緩和設備）

*2：重大事故防止でも緩和でもない設備

注：重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-2F-8 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | × | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | × | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | | 防止 なし | - | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| | 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I / II, III 判定 |
|----------------|--|------------------|------------------|------|------------------------|----------|---|----|-------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード) は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系 (常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系 (可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 (B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 (C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 (D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備 (B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備 (C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備 (D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (C系) | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (D系) | × | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備 (E系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|--------------|--------------|----------------------|--------------|-----------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ |
| | 防止 | | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | |
| | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|-------|------------------------------|--------------|--------------------------|------------------|------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール温度 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール温度 | | | | - |
| | | | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | | | | ○ |
| | | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | | | | ○ |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | | | | ○ | |
| | ○ | | | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | | ○ | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | | - | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | | ○ | |
| | | | | ○ | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | | | | ○ | |
| ○ | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | - | - | - | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 燃料冷却 | ほう酸水注入系 | × | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-2共 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 24 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | 分類*1 | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|---------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------------|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|----------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | - | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | - | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | - | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | - | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|-----------|------|------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | - | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | | | ○ | | |
| | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ | | |
| | | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | | | ○ | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | - | | |
| | | | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | ○ | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | - | | |
| | | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | |
| 防止 | | | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | - | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | - | - | - | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 燃料冷却 | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 格納容器除熱 | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 排水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|------------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-2p2 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ判定 | |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-------|------|---|----------|---------|----|-----------|-----------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | ○ | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | ○ | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑固性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-------|------------------------------|--------------|---------------|---------------------|-----------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 | | | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - |
| | | | | | ○ | 緩和 | | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ |
| | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | - | | | | | | |
| | ○ | | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | ○ | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力 | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | | ○ | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | - | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|-----------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | *2 | 中央制御室照明 | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 照明の確保 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | | | ○ | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-1F-11 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ判定 |
|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 47 | 低压代替注水系(常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | ○ | |
| | 低压代替注水系(可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(低压注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | |
| | 低压代替注水系(常設)による残存溶融冷却 | × | | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系(可搬型)による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|---------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------|--------------|--------------|-----------|-----------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| 防止 | | | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|-------|------------------------------|---------------------|---------------|------|-----------------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|-----------------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | × | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - | - | - | ○ | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | | | - | | | | |
| | | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | | |
| | | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | - | | | | |
| | | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | | | ○ | | | | |
| | 緩和 | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |
| | 緩和 | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | | | | | | |
| | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | - | - | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | - | - | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | - | - | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | ○ | | | | |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | - | - | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ | - | - | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | - | - | ○ | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | - | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|---------|-------------------------------|--------------|-----------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | | | | ○ | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | | ○ |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B2-2 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | × | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|-----------------|------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | × | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|--------------|--------------|---------------------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ |
| | 防止 | | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------|-------------|----------------------|-------------------------|-----------------------|---------|---------------|--------------------------|-----------------------------------|---|---|--|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | - | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | - | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | | | ○ | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 緩和 | | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ | |
| | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | - | | | | | | | |
| | ○ | | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | ○ | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | | ○ | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | ○ | | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | | ○ | | | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | - | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | - | - | - | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 燃料冷却 | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 格納容器除熱 | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 排水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-2 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|-----------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|--------------|---------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------|-----------|------|------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | | | | | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | | | ○ |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（D/W） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 フィルタ装置水位 | | | ○ |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | | | - |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | | | ○ |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|---------|-------------------------------|--------------|-----------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | | | | ○ | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | HWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : R-B3-4 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|---------------|-----------|--------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----------------------------|------------------------------|----------------|--------------------------|----------------|----------------------------|------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | - |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | - | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | - | - | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|---------|------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | R-B3-13 | ○ |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針Ⅰ/Ⅱ、Ⅲ判定 |
|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系(常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低压代替注水系(可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(低压注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | |
| 低压代替注水系(常設)による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低压代替注水系(可搬型)による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 防止 | | | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|----|--|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プールの冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|--------------|--------------|---------------------|--------------|-------------------------|-------------|---------|----|--------------------------|--------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | - | - | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ |
| | 防止 | | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------|-------------------------|-------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | - | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | - | | | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-2F-1 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|----------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | | | | | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| ほう酸水注入系 | ○ | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | (海水貯留堰) | - | | | | | | |
| | | (スクリーン室) | - | | | | | | |
| | | (取水路) | - | | | | | | |
| | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高压炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|----|------------------------------|--------------|----------------------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | フィルタ装置水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-1F-1 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 防止 | | | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | - | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|--------|------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | W-B1-1 | ○ |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | | |
| | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | | | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|--------------|--------------|-------------|---------------------|------------------------|--------------|-------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | | | ○ |
| | | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | | 原子炉水位(SA) | | | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | | | - | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | | - | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|--------------|-----------|------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B2-1 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | | | | | |
|-------|------------------------------|------------------------------|-----------|---------------|------------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|---|------------------------------------|--------------|---|--|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | | | | ○ | | | | | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B3-2 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | × | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B3-3 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | | | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | - | ○ | ○ |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | - | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | - | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | | | |
|----|--------------|--------------|-------------|---------------------|------------------------|--------------|-------------|----|--------------------------|--|--|---|--|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | ○ |
| | | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | | 原子炉水位(SA) | | | ○ | | | | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位(SA) | | | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|-----------|---------------|----------------------|------------------------|---------|----|--------------------------|---|------------------------------------|--------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | | | ○ | ○ | ○ | | | | 防止 | 他チャンネル |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受信器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受信器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : W-B3-4 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------------------|-----------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 低圧代替注水系 (常設) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系 (可搬型) による 残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| 防止 | | | (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|--------------|--------------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクリーニングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 緩和 | | | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | ○ | ○ | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | ○ | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 号炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | ○ | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | 防止 | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----|------------------------------|--------------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | | 防止 | | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MUWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-2F-1共 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | ○ | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | ○ | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------|--------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| 防止 | | | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----------------------------|------------------------------|----------------|-----------|------|----------------------------|----------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 防止 フィルタ装置水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------|------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 中央制御室照明 | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | | ○ | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | | - | - | ○ | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|---------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-2F-1A | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|---------------------|-----------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|---|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|----|--|----------|---------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------|-----------|------|----------------------------|----------------------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | | | | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ | | | | | | - |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | | | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | | | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | | | ○ | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | - | - | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------|-----------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | ○ | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | | | | ○ | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | | ○ |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | | | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|--------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-1F-1 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード)) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|----------|-----------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|-----------------------|----------------------|------|-----------------------------------|-------------------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | | | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの気体温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | | | | | 防止 | 他チャンネル | - |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 他チャンネル | - |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 他チャンネル | - |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | | | | | 防止 | 他チャンネル | - |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ |
| | | ○ | | | | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | - | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | - | - | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | - | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|--------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-1F-2 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ判定 |
|-----------------------|-----------------------|--------------------------|-------|------|---|----------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | × | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系(常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系(可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系(常設)による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系(可搬型)による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | × | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | × | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|----------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | - | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|-------|------------------------------|----------------|--------------------------|------|----------------------------|----------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 緩和 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 緩和 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 フィルタ装置水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 防止 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | ○ |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | - | | | | |
| ○ | ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|-----------------------|---------------------------------|----------|-------|------------------------|-------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|---|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | - | | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | - | | - | - | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | - | - | ○ |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 緩和 | なし | | - | - | - | | | | | - | ○ | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|--------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-1F-3 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|---------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | ○ | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | ○ | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | | | ○ | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | ○ | ○ |
| | 重大事故等収束のための水源 | ○ | | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S/A） | ○ | | | |
| | | | | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S/A） | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|-------|------------------------------|--------------|-----------|------|------------------------|------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ |
| | | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉圧力容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | ○ |
| | | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | ○ |
| | | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | - | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | - | - | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|---------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-1F-4① | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|-----------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------------------|------|---|--------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|-------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | |
| | 48 | 代替原子炉補機冷却系 | | | ○ | ○ | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 |
| 耐圧強化ベント系 (W/W) | | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | | | |
| 耐圧強化ベント系 (D/W) | | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | | | |
| 格納容器圧力逃がし装置 | | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉停止時冷却系 | | ○ | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | | | | |
| 格納容器スプレイ冷却系 | | ○ | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | | | | |
| サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | | ○ | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | | | | |
| 原子炉補機冷却系 | | ○ | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | | | | |
| 非常用取水設備 | | ○ | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | | | | |
| | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | | | | |
| | 防止 (取水路) | | - | | | | | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水路) | | - | | | | | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|----------|---------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|----|--------------|--------------|---------------------|--------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|--------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | - | - | ○ | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | | ○ | |
| | | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | | | | ○ | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | 原子炉圧力容器への注水量 | | ○ | ○ | 防止 | | | | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ |
| | | | | | | 防止 | | | | 原子炉水位 | ○ |
| | 防止 | | 原子炉水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | 防止 | | 復水貯蔵槽水位（S A） | | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----|------------------------------|------------------------|-----------|--------------|------------------------------|---------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 防止 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | ○ | 緩和 格納容器下部水位 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 防止 フィルタ装置水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉圧力容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| ○ | | | | | 防止 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | 防止 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 防止 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | - | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | - | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | - | - | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | - | - | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B1-3 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | ○ | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | ○ | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アキュムレータ) | - | | | | |
| 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| 防止 (取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|----|---|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 58 | 号炉間電力融通電気設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 燃料補給設備 | ○ | | 防止 | (軽油タンク) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------|------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | ○ |
| | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | ○ |
| | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| 防止 | | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | - | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | - | - | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | - | - | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-B1-4b1 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|--------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|------------|--------------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 47 | 低压代替注水系(常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系(可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| | 低压代替注水系(常設)による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | 低压代替注水系(可搬型)による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系(低压注水モード) | ○ | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 防止 | | | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|----------|--------------------|------|-----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | | | |
| 防止 | | | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | × | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|--------------|---------------|-----------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | ○ | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----|------------------------------|--------------|-----------------------|------|-------------------------|-------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | フィルタ装置水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| ○ | | ○ | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| ○ | | ○ | | | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| ○ | ○ | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル（D/W） | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル（S/C） | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | - | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA） | ○ | | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） | ○ | | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ、低レンジ） | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | （中央制御室） | - | - | - | ○ | | | |
| | | | | 防止 | （中央制御室遮蔽） | - | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | - | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | 放射性物質濃度（空気中・水中・土壌中）及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保（対策本部） | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| | 居住性の確保（待機場所） | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| | 通信連絡（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所） | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | |
| | 電源の確保（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所） | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | |

*1：条文毎の重大事故対処設備の分類（防止：重大事故防止設備、緩和：重大事故緩和設備）

*2：重大事故防止でも緩和でもない設備

注：重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | T-B1-4b3 | |
| 溢水源 | 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|--------------|-----------------------------------|-----|---|--------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | ○ | | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | ○ | | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | ○ | | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | ○ | | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | ○ | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|----|---|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | × | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | × | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 58 | 号炉間電力融通電気設備 | × | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 燃料補給設備 | ○ | | 防止 | (軽油タンク) | - | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|---------------|-------------------------|-----------------------------------|---------|----|--------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 緩和 | | | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ |
| | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | | | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | | | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | | | ○ |
| | ○ | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | | | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力 | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 防止 | | | 原子炉水位 (S A) | | | ○ |
| | | | | | ○ | 防止 | | | 原子炉圧力容器温度 | | | ○ |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | | | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | | | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | | | ○ | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | | | | ○ | 防止 | 原子炉水位 | | | ○ | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | - | - | ○ | ○ | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | HWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)
 *2: 重大事故防止でも緩和でもない設備
 注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-MB2-2 | |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------------------|------------------------|---------------------------|-----------|------|---|--------------|---------|-----|---|-----------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | ○ | 防止 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | | 防止 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | ○ | 防止 (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | | 防止 (アクキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | | 防止 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | | 防止 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | | 防止 (アクキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | | 防止 (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 なし | - | | | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | ○ | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | | 防止 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水路) | | | - | | | | | | | |
| 防止 (補機冷却用海水取水槽) | | | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | | 防止 (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | 防止 (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | | 防止 (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | | | | | 防止 (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|----|---|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料貯蔵プールエリア排気放射線モニタ | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|--------------|----------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類※1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|-------|------------------------------|--------------|-----------|------|------------------------|------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | ○ | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | ○ | ○ | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | | | | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器下部水位 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | ○ | ○ | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | フィルタ装置水位 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | ○ | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | ○ |
| | | | | | ○ | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| ○ | | | | | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| ○ | | | | | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | ○ | |
| | | | | ○ | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | | ○ | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ | |
| | | | | ○ | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| | | | | ○ | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| ○ | 原子炉水位 | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | | | | |
| ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------------------------|------------------------|------------------------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 非常用所内電源設備 | ○ | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | |
| | | | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-1 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|---------------------|-------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|-----|---|------------------------------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ | |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ | |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ | |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ | |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ | |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| | 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ | |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|---------------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|--------------|-----------|--------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位（S A） | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|-------|------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|-----------------------------------|---|
| | 対象施設（設備） | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （代替循環冷却） | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | |
| | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （格納容器圧力逃がし装置） | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （耐圧強化バント） | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内水素濃度（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 （残留熱除去系） | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉格納容器内の状態） | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力（D/W） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力（S/C） | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 （原子炉建屋内の状態） | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力（S A） | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量（格納容器下部注水流量） | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位（S A） | ○ | | | | | |
| 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による浸水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|------------|------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 中央制御室照明 | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | | | ○ | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | | | | - | ○ | ○ | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | HWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-3 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | 分類*1 | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|------------------------|--------------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | ブローアウトパネル | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| | | 防止 | なし | - | | | | | |
| | | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 防止 | | | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対応設備 | | | | 設計基準事故対応設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|---|----------|-----------|------|----------------------|----------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対応設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プールの代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プールの冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | ○ | ○ |
| | 重大事故等収束のための水源 | ○ | | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|-------------|---------------|--------------|---------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| 緩和 | | | | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|-------------|------|-------------------------|-------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | ○ | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | ○ | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | ○ | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | ○ | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器下部水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | ○ | フィルタ装置水位 | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | ○ | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | サプレッション・チェンバ・プールの温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | ○ | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | ○ | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | ○ | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | ○ | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | ○ | | | ○ | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | ○ | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | | | |
|--------------------|-------------------------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------------|--------------|-----------------------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | - | ○ | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ、低レンジ) | ○ | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | | | |
| 温度、圧力、水位、注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | | | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | ○ | | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | ○ | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | ○ | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | 放射性物質濃度(空気中・水中・土壌中)及び海上モニタリング | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | | | | | |
| 61 | 居住性の確保(対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | | |
| | 居住性の確保(待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| | 通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | | | | |
| | 電源の確保(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 格納容器除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |
| 使用済燃料プール注水 | 阻水での注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 評価種別 | : 消火 | 総合判定 |
| 溢水発生区画 | : T-B2-4 | ○ |
| 溢水源 | : 消火活動 | |
| 溢水量 (m3) | : 54 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | 分類*1 | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------------------|------------------------|----------|------------------------|------|--------------------------------------|----------|---------|----|-----------------|
| | 対象施設 (設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高压代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高压炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高压炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高压炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| ほう酸水注入系 | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 高压窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高压炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | (高压炉心注水系注入隔離弁) | - | | | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低压代替注水系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低压代替注水系 (可搬型) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | |
| | 低压注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (低压注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | |
| | 低压代替注水系 (常設) による残存溶融冷却 | ○ | | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | |
| 低压代替注水系 (可搬型) による残存溶融冷却 | ○ | 緩和 | 残留熱除去系 (低压注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系 (W/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系 (D/W) | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | | | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| 防止 | | | (取水路) | - | | | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系 (常設) | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) | ○ | 防止 | 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) | ○ | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-------------|--|--------------|---------------|------|-----------------------|--------------|---|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | ○ | - | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | ○ | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 53 | 耐圧強化ベント系(W/W) | ○ | ○ | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | | | | 防止 | なし | - | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プールの冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 56 | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | ○ | ○ |
| | 重大事故等収束のための水源 | ○ | | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | ○ | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 代替所内電気設備 | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 母炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | ○ | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 |
|----|--------------|---------------|-----------|--------------|-------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | | | | |
| | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | ○ | | | |
| | 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位 (S A) | ○ | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------|-------------------------|-------------------------|---------|-----------------------------------|--------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | ○ | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | ○ | 一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ |
| | | ○ | | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 緩和 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 他チャンネル | - | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内水素濃度 (S A) | ○ | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | ○ | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | ○ |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | |
| ○ | | 防止 | | | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉圧力 (S A) | ○ | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | ○ | | | 防止 | 原子炉水位 (S A) | ○ | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | | | |

第2.7-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II/ III 判定 | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|---|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | - | - | ○ | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | ○ | | | - | - | ○ |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | | | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | ○ | | | - | - | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | - | - | ○ |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | - | - | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | - | - | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | - | - | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | | | - | - | |
| | | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | - | - | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | - | - | | | | |
| ○ | | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | - | - | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | ○ | - | - | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | - | - | | | | |
| | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | - | - | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | - | - | ○ | | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | - | - | ○ | | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | - | - | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | - | - | | | |
| | 照明の確保 | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | - | - | ○ | | | |
| | 被ばく線量の低減 | ○ | 緩和 | なし | - | - | - | - | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | - | - | ○ | | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | - | - | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | - | - | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | - | - | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | - | - | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | - | - | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | - | - | ○ | | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | - | - | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | - | - | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | - | - | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | - | - | ○ | | |
| | 発電所内の通信連絡 | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | - | - | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | - | - | | | |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | - | - | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | |
| | 低圧注水及び減圧 | ○ | | - | - | - | - | - | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | - | - | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | HWでの注水 | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | - | - | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

2.8 地震に起因する溢水による没水影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では、地震起因による溢水量及び溢水水位を滞留エリア毎で算出し、防護すべき設備（溢水防護対象設備）が溢水の影響によって要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。

地震に起因する没水影響評価結果を第 2.8-1 表に示す。また、地震に起因する溢水により伝播する区画に設置されている防護すべき設備（溢水防護対象設備）と機能喪失高さの結果を第 2.8-2 表に示す。

なお、本資料では溢水防護区画を内包する建屋内における評価結果のみを記載し、溢水防護区画を内包する建屋外に設置される設備に対する評価については、「8.2 屋外タンクからの溢水影響評価について」及び「8.4 淡水貯水池の溢水による影響」に記載する。

第 2.8-1 表 地震に起因する溢水に対する没水影響評価結果

評価種別； 地震
 溢水発生区画； 全域

| | |
|------|---|
| 総合判定 | ○ |
|------|---|

備考；

溢水源； 基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性が確保されていない系統

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|-----|----------|-----|---------|-----|--------------|---------|-----|-------------|-----|-----|----------|--------|---------------------------|-----|-----|-------------------|------|----------------------|-----|-----------------|----------|-----|------------|-----|-----|---|
| 分類 | a. 止める | | | | | | b. c. 冷やす | | | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | | | | | | | | |
| 安全機能 | 緊急停止機能 | | 未臨界維持機能 | | | | 原子炉隔離時高圧注水機能 | | | 低圧注水/冷温停止機能 | | | 圧力逃がし機能 | | 格納容器除熱機能 | | | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | | | |
| 機能判定 | ○ | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | | 水圧制御ユニット | | ほう酸水注入系 | | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | | 残留熱除去系 | | | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) | | | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | | 可燃性ガス濃度制御系 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | - | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|-----|-----|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----------------|-----|--------------|-----|------------|-----|-------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | | | |
| 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | | | 非常用電源機能 | | | | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | | 直接関連系 | | 事故時状態把握 | | |
| 機能判定 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | | | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電気品区域換気空調系 | | | | 中央制御室換気空調系 | | 換気空調補機非常用冷却系 | | 格納容器雰囲気モニタ | | 事故時計装 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (D) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|-----|--------|-----|-----|----------------|-----|--------|-----|-------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. |
| 安全機能 | 冷却機能 | | | | | 注水機能 | | | | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | | | | | ○ | | | | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | | 残留熱除去系 | | | サブプレッションプール浄化系 | | 残留熱除去系 | | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

第 2.8-2 表 地震に起因する溢水による溢水防護対象設備の没水評価結果（原子炉建屋）

| 溢水防護区画 | 防護対象設備※ ¹ | 溢水水位 (m) | 機能喪失 高さ(m) | 判定 | 被水考慮 有無※ ² |
|------------|---|-------------|---------------|----|--------------------------|
| R-4F-2A | 使用済燃料貯蔵プール（広域） 水位監視現場盤(H21-P055) | 0.00 | 0.06 | ○ | 無 |
| R-4F-2B | 高圧窒素ガス供給系弁 (P54-M0-F012B) | 0.00 | 0.39 | ○ | 無 |
| R-4F-2C | 非常用ディーゼル発電設備区域 排風機(U41-C222A) | 0.00 | 0.17 | ○ | 無 |
| R-4F-3 | 熱電対水位計(G41-TE-102-1) | 0.80 | 0.87 | ○ | 有 |
| R-M4F-1 | 原子炉格納容器水素濃度 (D23-H2E-001A) | 0.00 | 0.12 | ○ | 無 |
| R-M4F-2 | 原子炉格納容器水素濃度 (D23-H2E-001B) | 0.00 | 0.12 | ○ | 無 |
| R-M4F-4A | 非常用ディーゼル発電設備区域 送風機(U41-C201A) | 0.00 | 0.18 | ○ | 無 |
| R-M4F-4C | 非常用ディーゼル発電設備区域 送風機(U41-C221A) | 0.00 | 0.17 | ○ | 無 |
| R-M4F-5B | 非常用ディーゼル発電設備区域 送風機(U41-C211A) | 0.00 | 0.16 | ○ | 無 |
| R-3F-1 共 | ほう酸水注入系ポンプ (C41-C001A) | 0.30 | 0.46 | ○ | 有 |
| R-3F-2 | モータコントロールセンタ 7C-1-4 | 0.00 | 0.01 | ○ | 無 |
| R-3F-3 | モータコントロールセンタ 7E-1-2 | 0.00 | 0.05 | ○ | 無 |
| R-3F-4 | 非常用ガス処理系乾燥装置 (T22-D001A) | 0.00 | 0.33 | ○ | 無 |
| R-3F-5 | モータコントロールセンタ 7D-1-4 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| R-2F-1 | 燃料プール冷却浄化系弁 (G41-M0-F021A) | 0.00 | 1.05 | ○ | 無 |
| R-2F-2 共 2 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-M0-F004B) | 0.70 | 1.13 | ○ | 有 |
| R-2F-2 共 3 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-M0-F004A) | 0.30 | 1.15 | ○ | 有 |
| R-2F-4 | 燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 7 号機共用) (G41- C001A) | 0.00 | 0.34 | ○ | 無 |

第 2.8-2 表 地震に起因する溢水による溢水防護対象設備の没水評価結果（原子炉建屋）

| 溢水防護区画 | 防護対象設備※ ¹ | 溢水水位 (m) | 機能喪失 高さ(m) | 判定 | 被水考慮 有無※ ² |
|-----------|--|-------------|---------------|----|--------------------------|
| R-2F-6 | 非常用ディーゼル発電設備非常 用送風機(U41-C203A) | 0.00 | 0.22 | ○ | 無 |
| R-2F-7 | 非常用ディーゼル発電設備非常 用送風機(U41-C223A) | 0.00 | 0.13 | ○ | 無 |
| R-2F-8 | 非常用ディーゼル発電設備非常 用送風機(U41-C213A) | 0.00 | 0.12 | ○ | 無 |
| R-2F-9 下 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F048A) | 0.00 | 0.95 | ○ | 無 |
| R-2F-9 上 | 非常用ディーゼル発電機自動電 圧調整器盤(H21-P601A) | 0.00 | 0.01 | ○ | 無 |
| R-2F-10 下 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F048F) | 0.00 | 1.02 | ○ | 無 |
| R-2F-10 上 | 非常用ディーゼル発電機自動電 圧調整器盤(H21-P601C) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| R-2F-11 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-M0-F048E) | 0.00 | 0.96 | ○ | 無 |
| R-2F-12 | 格納容器内雰囲気モニタ系弁 (D23-S0-F001A) | 0.00 | 1.22 | ○ | 無 |
| R-1F-1 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-M0-F036) | 0.00 | 2.64 | ○ | 無 |
| R-1F-2p1 | 原子炉格納容器エリア放射線量 率(高レンジ)(D23-RE-005A) | 0.00 | 1.94 | ○ | 無 |
| R-1F-2p3 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-M0-F001A) | 0.30 | 2.86 | ○ | 無 |
| R-1F-2p4 | 原子炉格納容器エリア放射線量 率(高レンジ)(D23-RE-005B) | 0.00 | 1.95 | ○ | 無 |
| R-1F-2 共 | 可燃性ガス濃度制御系弁 (T49-M0-F001B) | 0.30 | 2.86 | ○ | 有 |
| R-1F-3 | 潤滑油補給ポンプ(R43-C011A) | 0.00 | 0.35 | ○ | 無 |
| R-1F-4 | 前置増幅器(D23-RAM-005A) | 0.00 | 0.79 | ○ | 無 |
| R-1F-5 | 潤滑油補給ポンプ(R43-C011C) | 0.00 | 0.34 | ○ | 無 |
| R-1F-6 | 潤滑油補給ポンプ(R43-C011B) | 0.00 | 0.33 | ○ | 無 |

第 2.8-2 表 地震に起因する溢水による溢水防護対象設備の没水評価結果（原子炉建屋）

| 溢水防護区画 | 防護対象設備※1 | 溢水水位 (m) | 機能喪失 高さ(m) | 判定 | 被水考慮 有無※2 |
|---------|---|-------------|---------------|----|--------------|
| R-1F-7 | 前置増幅器 (D23-RAM-005B) | 0.00 | 0.72 | ○ | 無 |
| R-1F-8 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F005B) | 0.00 | 2.07 | ○ | 無 |
| R-1F-9 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F018C) | 0.00 | 2.81 | ○ | 無 |
| R-1F-10 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F005A) | 0.00 | 2.37 | ○ | 無 |
| R-1F-11 | 原子炉冷却材浄化系弁 (G31-M0-F003) | 0.30 | 2.76 | ○ | 無 |
| R-1F-12 | 可燃性ガス濃度制御系可搬式再 結合装置室空調機 (U41-B111) | 0.00 | 0.32 | ○ | 無 |
| R-B1-2 | 原子炉格納容器エリア放射線量 率（高レンジ） (D23-RE-006A) | 0.30 | 1.80 | ○ | 有 |
| R-B1-3 | 可燃性ガス濃度制御系サイリス タスイッチ盤 (H21-P026A) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| R-B1-5 | 原子炉水位 (B21-LT-003A) | 0.00 | 0.04 | ○ | 無 |
| R-B1-6 | 原子炉水位 (B21-LT-003C) | 0.00 | 0.04 | ○ | 無 |
| R-B1-7 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001C-4) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| R-B1-8 | 可燃性ガス濃度制御系サイリス タスイッチ盤 (H21-P026B) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| R-B1-9 | 安全系多重伝送現場盤 (H23-P001D) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| R-B1-10 | 原子炉水位 (B21-LT-003B) | 0.00 | 0.03 | ○ | 無 |
| R-B1-11 | 原子炉水位 (B21-LT-003D) | 0.00 | 0.04 | ○ | 無 |
| R-B1-12 | 中央制御室外原子炉停止制御盤 (H21-P015-1) | 0.00 | 0.01 | ○ | 無 |
| R-B1-13 | 原子炉隔離時冷却系弁 (E51-M0-F004) | 0.00 | 4.34 | ○ | 無 |
| R-B-14 | 残留熱除去系弁 (E11-M0-F014C) | 0.00 | 0.33 | ○ | 無 |

第 2.8-2 表 地震に起因する溢水による溢水防護対象設備の没水評価結果（原子炉建屋）

| 溢水防護区画 | 防護対象設備※1 | 溢水水位 (m) | 機能喪失 高さ(m) | 判定 | 被水考慮 有無※2 |
|---------|------------------------------|-------------|---------------|----|--------------|
| R-B-15 | 残留熱除去系弁 (E11-MO-F014A) | 0.00 | 0.26 | ○ | 無 |
| R-B2-2 | 原子炉補機冷却水系弁 (P21-MO-F042A) | 0.30 | 1.17 | ○ | 無 |
| R-B2-3 | 残留熱除去系弁 (E11-MO-F021A) | 0.30 | 0.64 | ○ | 無 |
| R-B2-4 | 高压炉心注水系弁 (E22-MO-F010C) | 0.30 | 1.62 | ○ | 無 |
| R-B2-5 | 高压炉心注水系弁 (E22-MO-F010B) | 0.30 | 1.63 | ○ | 無 |
| R-B3-2 | 原子炉水位 (B21-LT-006A) | 0.00 | 0.54 | ○ | 無 |
| R-B3-5 | 残留熱除去系ポンプ (E11-C001A) | 0.00 | 0.34 | ○ | 無 |
| R-B3-6 | 原子炉隔離時冷却系復水ポンプ (E51-C003) | 0.00 | 0.26 | ○ | 無 |
| R-B3-7 | 高压炉心注水系ポンプ (E22-C001C) | 0.00 | 0.34 | ○ | 無 |
| R-B3-8 | 残留熱除去系ポンプ (E11-C001C) | 0.00 | 0.34 | ○ | 無 |
| R-B3-9 | 原子炉水位 (B21-LT-006B) | 0.00 | 0.54 | ○ | 無 |
| R-B3-11 | 残留熱除去系ポンプ (E11-C001B) | 0.00 | 0.34 | ○ | 無 |
| R-B3-12 | 高压炉心注水系ポンプ (E22-C001B) | 0.00 | 0.32 | ○ | 無 |

*1：当該評価対象区画内の機能喪失高さの最も低い防護対象設備を代表で記載

*2：防護対象設備に対する直接及び上方伝播による被水への対策の要否を示す

第 2.8-2 表 地震に起因する溢水による溢水防護対象設備の没水評価結果 (タービン建屋)

| 溢水防護区画 | 防護対象設備※1 | 溢水水位 (m) | 機能喪失 高さ (m) | 判定 | 被水考慮 有無※2 |
|----------|--|-------------|----------------|----|--------------|
| T-1F-2 | モータコントロールセンタ 7C-2-1 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| T-1F-3 | 気体廃棄物処理系設備エリア排 気放射線モニタ (D11-RE-037C) | 0.30 | 5.50 | ○ | 無 |
| T-B1-2A | 原子炉補機冷却水ポンプ (P21-C001A) | 0.00 | 0.33 | ○ | 無 |
| T-B1-2C | 原子炉補機冷却海水ポンプ (P41-C001C) | 0.00 | 0.39 | ○ | 無 |
| T-B1-3 | 気体廃棄物処理系設備エリア排 気放射線モニタ (D11-RE-037A) | 0.40 | 4.36 | ○ | 無 |
| T-B1-4b1 | 原子炉補機冷却水ポンプ (P21-C001B) | 0.00 | 0.33 | ○ | 無 |
| T-B1-4b2 | 480V 海水熱交換器エリア モータコントロールセンタ (MCC 7D-2-1) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| T-MB2-1 | 480V 海水熱交換器エリア モータコントロールセンタ (MCC 7E-2-1) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| T-B2-2 | 原子炉補機冷却水ポンプ (P21-C001C) | 0.00 | 0.33 | ○ | 無 |

*1：当該評価対象区画内の機能喪失高さの最も低い防護対象設備を代表で記載

*2：防護対象設備に対する直接及び上方伝播による被水への対策の要否を示す

第 2.8-2 表 地震に起因する溢水による溢水防護対象設備の没水評価結果（コントロール建屋）

| 溢水防護区画 | 防護対象設備※ ¹ | 溢水水位 (m) | 機能喪失 高さ (m) | 判定 | 被水考慮 有無※ ² |
|----------|--------------------------------------|-------------|----------------|----|--------------------------|
| C-2F-2 | 中央制御室 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-2F-3 | 中央制御室換気空調系給気処理 装置 (U41-D601B) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-1F-2 | 換気空調系弁 (U41-DAM603A (K6)) | 0.00 | 2.44 | ○ | 無 |
| C-1F-4B | コントロール建屋計測制御電源 盤区域送風機 (U41-C621A) | 0.00 | 0.15 | ○ | 無 |
| C-1F-6 | 下部中操 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-1F-7 | 中央制御室再循環送風機 (U41-C603A) | 0.00 | 0.13 | ○ | 無 |
| C-B1-2 | モータコントロールセンタ 7E-1-3 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-B1-3 | モータコントロールセンタ 7D-1-6 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-B1-4 | 直流 125V 充電器盤 (R42-P006D) | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-B1-5 | モータコントロールセンタ 7C-1-6 | 0.00 | 0.00 | ○ | 無 |
| C-B1-6 | コントロール建屋計測制御電源 盤区域送風機 (U41-C631A) | 0.00 | 0.15 | ○ | 無 |
| C-MB2-2② | コントロール建屋計測制御電源 盤区域送風機 (U41-C611B) | 0.00 | 0.17 | ○ | 無 |
| C-MB2-3 | 直流 125V 蓄電池 7A (R42-J002A) | 0.00 | 0.13 | ○ | 無 |
| C-B2-2 | 換気空調補機非常用冷却水系冷 凍機制御盤 (H21-P371A) | 0.00 | 0.05 | ○ | 無 |
| C-B2-3 | 換気空調補機非常用冷却水系冷 凍機制御盤 (H21-P371B) | 0.00 | 0.04 | ○ | 無 |

*1：当該評価対象区画内の機能喪失高さの最も低い防護対象設備を代表で記載

*2：防護対象設備に対する直接及び上方伝播による被水への対策の要否を示す

2.9 地震に起因する溢水による没水影響評価結果（重大事故等対処設備）

本資料では、地震に起因する溢水による没水影響評価について記載する。

防護方針については、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」「2.3.2 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針」にて示した方針とする。

評価方針及び評価水位については、「2.8 地震に起因する溢水による没水影響評価（設計基準対象施設）」と同じとする。

地震に起因する没水影響評価結果を第 2.9-1 表に示す。

なお、本資料では溢水防護区画を内包する建屋内における評価結果のみを記載し、溢水防護区画を内包する建屋外に設置・保管される設備に対する評価については、「8.2 屋外タンクからの溢水影響評価について」及び「8.4 淡水貯水池の溢水による影響」に記載する。

第2.9-1表 地震に起因する溢水に対する没水影響評価結果

| | | |
|--------|-----------------------------------|-----------|
| 評価種別 | : 地震 | 総合判定 ○ |
| 溢水発生区画 | : 全域 | |
| 溢水源 | : 基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性が確保されていない系統 | |

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|-----------|--------------------------------------|----------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能維持判定 | 条文毎判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 43 | ホイールローダ | ○ | ○ | *2 | なし | - | | | ○ |
| 44 | 代替制御棒挿入機能 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | ○ |
| | 代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | 自動減圧系の起動阻止スイッチ | ○ | | 防止 | 自動減圧系 | ○ | | | |
| 45 | 高圧代替注水系 | ○ | ○ | 防止 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | ○ |
| | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (原子炉隔離時冷却系) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系) | - | | | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | 防止 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| 46 | 逃がし安全弁 | ○ | ○ | 防止 | (逃がし安全弁) | - | | | ○ |
| | 代替自動減圧機能 | | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | | | | 防止 | (逃がし安全弁排気管) | - | | | |
| | 可搬型直流電源設備による減圧 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 防止 | | | 非常用直流電源設備 | ○ | | | | |
| | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | ○ | | 防止 | 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2, 直流125V蓄電池B | ○ | | | |
| | 高圧窒素ガス供給系 | ○ | | 防止 | (アキュムレータ) | - | | | |
| | 高圧炉心注水系注入隔離弁 | ○ | | 防止 | (高圧炉心注水系注入隔離弁) | - | | | |
| ブローアウトパネル | ○ | 防止 | なし | - | | | | | |
| 47 | 低圧代替注水系(常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | ○ |
| | 低圧代替注水系(可搬型) | × | | 防止 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | 低圧注水系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(低圧注水モード)) | - | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却系モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| | | | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | |
| | 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | | - | | | | | |
| 低圧代替注水系(常設)による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | | |
| 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融冷却 | × | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | | | |
| 48 | 代替原子炉補機冷却系 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | ○ |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 耐圧強化ベント系(D/W) | × | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉補機冷却系 | ○ | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | |
| | 原子炉停止時冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)) | - | | | |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | × | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| 非常用取水設備 | ○ | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | | | |
| | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | | | |
| | | 防止 | (取水路) | - | | | | | |
| | | 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 49 | 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) | × | ○ | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | ○ |
| | 格納容器スプレイ冷却系 | × | | 防止 | (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) | - | | | |
| | サブプレッション・チェンバ・プール水冷却系 | ○ | | 防止 | (残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)) | - | | | |
| | 原子炉補機冷却系 | ○ | | 防止 | (原子炉補機冷却系) | - | | | |
| | 非常用取水設備 | ○ | | 防止 | (海水貯留堰) | - | | | |
| | | | | 防止 | (スクリーン室) | - | | | |
| | | | | 防止 | (取水路) | - | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水路) | - | | | | | | | |
| 防止 | (補機冷却用海水取水槽) | - | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) | × | 防止 | 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) | × | | | | | |

第2.9-1表 地震に起因する溢水に対する没水影響評価結果

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|--|--------------|------------------|------|-----------------------|--------------|--|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 50 | 格納容器圧力逃がし装置 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、手動操作による対応や修理による機能復旧により機能維持可能 ・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード、S/Cクーリングモード)は機能維持している | ○ | ○ |
| | 代替循環冷却系 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| 51 | 格納容器下部注水系(常設) | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 格納容器下部注水系(可搬型) | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 溶融炉心の落下遅延及び防止 | ○ | | 緩和 | 高圧炉心注水系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉隔離時冷却系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 原子炉緊急停止系 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | 残留熱除去系(低圧注水モード) | ○ | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | | ○ | | | | | |
| 52 | (不活性ガス系) | - | × | - | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 水素濃度及び酸素濃度の監視 | ○ | | 緩和 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内水素濃度) | - | | | |
| | | | | 緩和 | (格納容器内酸素濃度) | - | | | |
| | 格納容器圧力逃がし装置 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 耐圧強化ベント系(W/W) | × | | 緩和 | 可燃性ガス濃度制御系 | ○ | | | |
| 53 | 静的触媒式水素再結合器 | × | × | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ |
| | 静的触媒式水素再結合器動作監視盤 | × | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 原子炉建屋水素濃度 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| 54 | 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | ○ | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ | ○ | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化系 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給) | ○ | | | |
| | 重大事故等時における使用済燃料プールの除熱 | ○ | | 防止 | (燃料プール冷却浄化系) | - | | | |
| | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| | 使用済燃料プールの監視設備 | ○ | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 燃料プール冷却浄化ポンプ入口温度 | ○ | | | |
| 防止 | | | 使用済燃料貯蔵プール温度 | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | 燃料取替エリア排気放射線モニタ | ○ | | | | | |
| 防止 | 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ | ○ | | | | | | | |
| 55 | 大気への放射性物質の拡散抑制 | ○ | ○ | 緩和 | | - | 溢水による影響なし | ○ | ○ |
| | 海洋への放射性物質の拡散抑制 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | |
| | 航空機燃料火災への泡消火 | ○ | | 緩和 | | - | | | |
| 56 | 重大事故等収束のための水源 | ○ | ○ | 防止 | (サブプレッション・チェンバ) | - | | | ○ |
| | | ○ | | 防止 | (復水貯蔵槽) | - | | | |
| | 水の供給 | ○ | | 防止 | なし | - | | | |
| 57 | 常設代替交流電源設備 | ○ | ○ | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | ○ |
| | 非常用交流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用交流電源設備) | - | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用交流電源設備 | ○ | | | |
| | 所内蓄電式直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備(B系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(C系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 非常用直流電源設備(D系) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(B系)) | - | | | |
| | 非常用直流電源設備 | ○ | | 防止 | (非常用直流電源設備(C系)) | - | | | |
| | | | | 防止 | (非常用直流電源設備(D系)) | - | | | |
| | 常設代替直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| | 可搬型直流電源設備 | ○ | | 防止 | 非常用直流電源設備 | ○ | | | |
| 代替所内電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備(C系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(D系) | ○ | | | | | |
| | | 防止 | 非常用所内電気設備(E系) | ○ | | | | | |
| 原子炉間電力融通電気設備 | ○ | 防止 | 非常用所内電気設備 | ○ | | | | | |
| 燃料補給設備 | ○ | 防止 | (軽油タンク) | - | | | | | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | | | |

第2.9-1表 地震に起因する溢水に対する没水影響評価結果

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 |
|--------------|-------------|--------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | |
| 58 | 原子炉圧力容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | ○ |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | |
| | 原子炉圧力容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | |
| | | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | |
| 原子炉圧力容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器への注水量 | ○ | ○ | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(D/W) | ○ | | | | |
| | | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内の温度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ○ | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | |
| 原子炉格納容器内の水位 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | |
| | | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | |
| | | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | |
| | | | 緩和 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | |
| 緩和 | 復水貯蔵槽水位(SA) | - | | | | | | | |

第2.9-1表 地震に起因する溢水に対する没水影響評価結果

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------------|---------|----|--------------------------|------------------------------------|---|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | | |
| 58 | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度 | ○ | | | | | |
| | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 未臨界の維持又は監視 | ○ | ○ | 防止 | 平均出力領域モニタ | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 起動領域モニタ | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却) | × | ○ | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ気体温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ |
| | | ○ | | 緩和 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | |
| | | ○ | | 緩和 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | ○ | 緩和 | サブプレッション・チェンバ・プール水位 | ○ | | | | | | | |
| | ○ | 緩和 | 格納容器下部水位 | ○ | | | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 他チャンネル | - | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント) | ○ | ○ | 防止 | 他チャンネル | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内水素濃度(SA) | ○ | | | | | |
| | 最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | サブプレッション・チェンバ・プール水温度 | - | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉補機冷却水系系統流量 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 | - | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉圧力容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | 原子炉圧力容器温度 | ○ | | | | | |
| | 格納容器バイパスの監視 (原子炉格納容器内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 格納容器内圧力(D/W) | - | | | ○ | | |
| | | ○ | | 防止 | 格納容器内圧力(S/C) | ○ | | | | | |
| | | ○ | | 防止 | ドライウェル雰囲気温度 | ○ | | | | | |
| 格納容器バイパスの監視 (原子炉建屋内の状態) | ○ | ○ | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力(SA) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉圧力 | ○ | | | | | | |
| 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 高圧代替注水系系統流量 | ○ | | | ○ | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) | - | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉隔離時冷却水系系統流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 高圧炉心注水系注水流量 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位 | ○ | | | | | | |
| | ○ | | 防止 | 原子炉水位(SA) | ○ | | | | | | |
| ○ | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | | | | | |

第2.9-1表 地震に起因する溢水に対する没水影響評価結果

| 条文 | 重大事故等対処設備 | | | | 設計基準事故対処設備 | | 修復性 | | 方針 I/II, III 判定 | |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|-----------|------------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| | 対象施設(設備) | 個別機能 維持判定 | 条文毎 判定 | 分類*1 | 対応する設計基準事故対処設備 | 個別機能 維持判定 | 頑健性の有無等 | 判定 | | |
| 58 | 水源の確保 | ○ | ○ | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) | ○ | | | ○ | |
| | | | | 防止 | 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系系統流量 | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 復水移送ポンプ吐出圧力 | - | | | | |
| | | | | 防止 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | ○ | | | | |
| | 原子炉建屋内の水素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 原子炉格納容器内の酸素濃度 | ○ | ○ | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) | ○ | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | | ○ | ○ |
| | | | | 緩和 | 格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) | ○ | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (D/W) | - | | | | |
| | | | | 緩和 | 格納容器内圧力 (S/C) | ○ | | | | |
| | 使用済燃料プールの監視 | ○ | ○ | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | ○ |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ, 低レンジ) | ○ | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) | - | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ | ○ | | | | | |
| 防止 | | | | 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) | ○ | | | | | |
| 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | | |
| 温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視 | ○ | ○ | 防止 | 各計器 | - | | | ○ | | |
| その他 | ○ | ○ | 防止 | なし | - | | | ○ | | |
| 59 | 居住性の確保 | ○ | ○ | 防止 | (中央制御室) | - | | | ○ | |
| | | | | 防止 | (中央制御室遮蔽) | - | | | | |
| | | | | 防止 | 中央制御室換気空調系 | ○ | | | | |
| | 照明の確保 | ○ | ○ | *2 | 中央制御室照明 | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | | |
| 被ばく線量の低減 | ○ | ○ | 緩和 | なし | - | | | | | |
| 60 | 放射線量の代替測定 | ○ | ○ | *2 | モニタリング・ポスト | ○ | 溢水による影響なし | ○ | ○ | |
| | 放射能観測車の代替測定装置 | ○ | | *2 | 放射能観測車 | ○ | | | | |
| | 気象観測設備の代替測定 | ○ | | *2 | 気象観測設備 | ○ | | | | |
| | 放射線量の測定 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | 放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| | モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電 | ○ | | *2 | なし | - | | | | |
| 61 | 居住性の確保 (対策本部) | ○ | ○ | 防止 | なし | - | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 | ○ | ○ | |
| | 居住性の確保 (待機場所) | ○ | | 防止 | なし | - | | | | |
| | 必要な情報の把握 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | |
| | 通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 送受話器 | ○ | | | | |
| | 電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| 62 | 発電所内の通信連絡 | ○ | ○ | 防止 | 送受話器 | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | | 防止 | 電力保安通信用電話設備 | ○ | | | | |
| | 発電所外の通信連絡 | ○ | | 緩和 | なし | - | | | | ・一部機能喪失する可能性があるが、修理による対応により機能復旧が可能 |
| 未臨界移行 | HCUスクラム | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | ほう酸水注入系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 燃料冷却 | 高圧注水 | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 低圧注水及び減圧 | × | | - | - | - | | | | |
| 格納容器 除熱 | フィード&ブリード | ○ | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 代替循環冷却系 | ○ | | - | - | - | | | | |
| 使用済燃料 プール注水 | MWCでの注水 | - | ○ | - | - | - | | | ○ | |
| | 消防車等での注水 | ○ | | - | - | - | | | | |

*1: 条文毎の重大事故対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備, 緩和: 重大事故緩和設備)

*2: 重大事故防止でも緩和でもない設備

注: 重大事故対処設備のみで機能維持が可能な場合等, 考慮不要になる場合はグレーアウトしている。

3.1 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価

1. 被水影響評価方針

本資料では、想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価について記載する。

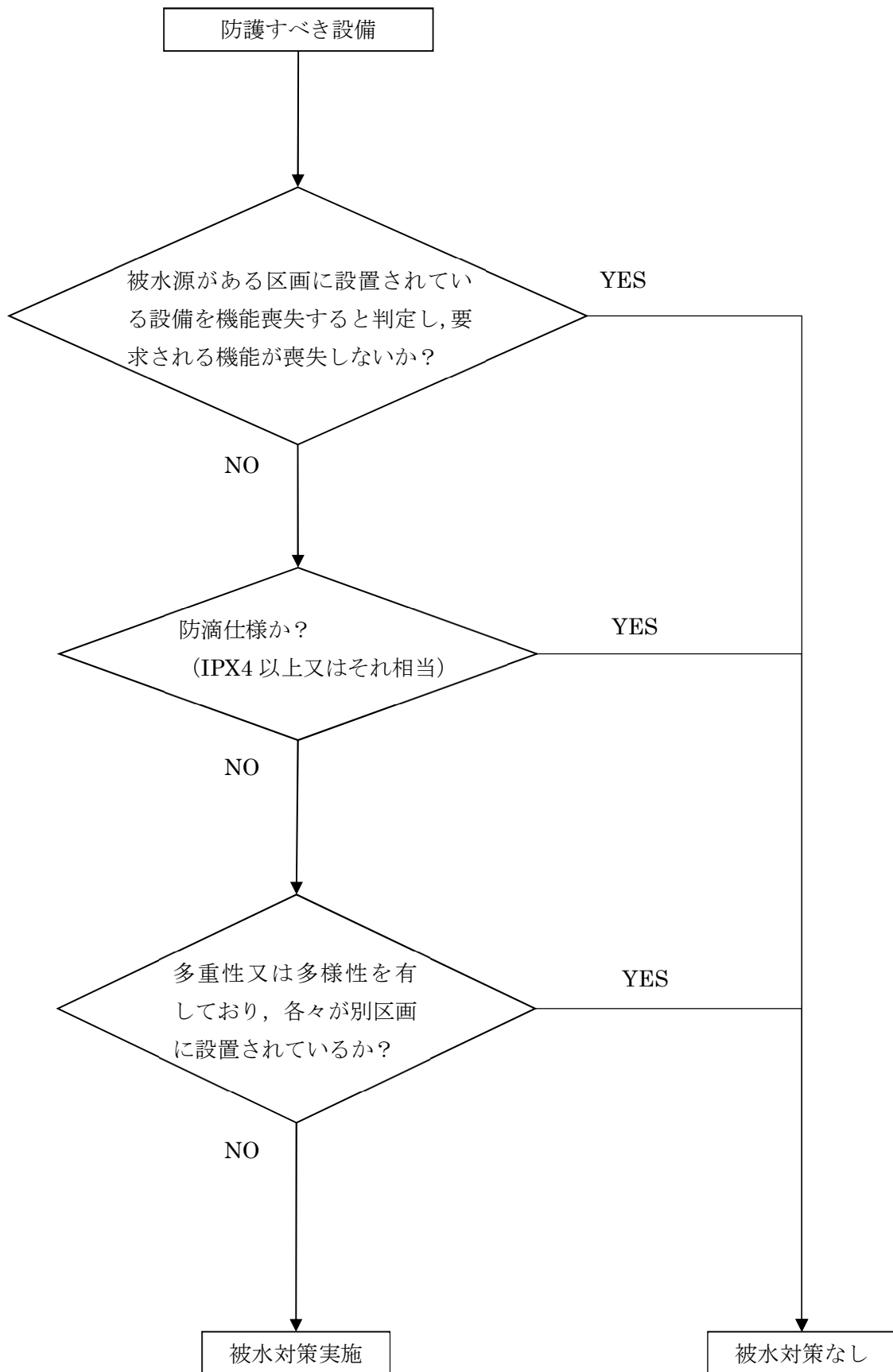
被水影響評価については、ガイドにて次の条件における溢水が発生した際に要求される機能が損なわれないことを評価する。

- ① 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認する。
 - ② 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認する。
 - ③ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを確認する。
 - ④ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認する。
 - ⑤ ①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、防滴仕様であることを確認する。
 - ⑥ 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路にあっては、必要に応じて環境の温度、放射線量を考慮しても接近の可能性が失われないことを確認する。
- 上記、①～⑥を満足しない場合には、防護対象設備の機能は期待できないものとする。

これら条件を考慮した被水影響評価フローを第 3.1-1 図に示す。設計基準対象施設及び重大事故等対処設備は設置場所、可搬型重大事故等対処設備は保管場所にて評価を実施する。

なお、防滴仕様の設備とは、JIS C0920 「電気機械器具の外郭による保護等級 (IPcode)」に規定される IP 等級の第二等級 4 以上の機器又はこれ相当に該当する設備とする。

被水影響評価の個別機器に対する評価結果については、「V-1-1-9-4 溢水影響評価に関する評価」に示す。



第 3.1-1 図 被水影響評価フロー

2. 防滴仕様に有する設備の保護等級について

電気機器の防滴性能は、IEC 規格 60529 に基づいて規定された保護等級表示 = IP (International Protection) で表され、第 3.1-1 表に示すような表記で第二特性の数字により定義される。

IP 6 7

保護特性記号 第一記号 第二記号

第一記号：(人体及び固形異物に対する保護等級 0~6)

第二記号：(水の浸水に対する保護等級 0~8)

第 3.1-1 表 第二特性数字で示される水に対する保護等級

| 第二特性 数字 | 保護等級 | | 試験条件 |
|------------|---------------------------------|---|---------|
| | 要約 | 定義 | 適用試験箇所 |
| 0 | 無保護 | — | — |
| 1 | 鉛直に落下する水滴に対して保護する | 鉛直に落下する水滴によっても有害な影響を及ぼしてはならない。 | 1.4.2.1 |
| 2 | 15度以内で傾斜しても鉛直に落下する水滴に対して保護する | 外郭が鉛直に対して両側に15度以内で傾斜したとき、鉛直に落下する水滴によっても有害な影響を及ぼしてはならない。 | 1.4.2.2 |
| 3 | 散水(spraying water)に対して保護する。 | 鉛直から両側に60度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。 | 1.4.2.3 |
| 4 | 水の飛まつ(splashing water)に対して保護する。 | あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を及ぼしてはならない。 | 1.4.2.4 |
| 5 | 噴流(water jet)に対して保護する。 | あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。 | 1.4.2.5 |
| 6 | 暴噴流(power full jet)に対して保護する | あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。 | 1.4.2.6 |
| 7 | 水に浸しても影響がないように保護する。 | 規定の圧力及び時間で外郭を一時的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の浸水があってはならない。 | 1.4.2.7 |
| 8 | 潜水状態での使用に対して保護する。 | 関係者間で取り決めた数字7より厳しい条件下で外郭を継続的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の浸入があってはならない。 | 1.4.2.8 |

JIS C0920 「電気機械器具の外郭による保護等級 (IPcode)」より抜粋

3.2 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では、想定破損により生じる溢水からの被水影響評価に関して、「3.1 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価」にて示した評価手法により、全ての区画における防護すべき設備（溢水防護対象設備）に対する評価結果を示す。

防護すべき設備（溢水防護対象設備）を設置する建屋は以下の通り。

- ・原子炉建屋
- ・タービン建屋
- ・コントロール建屋

原子炉建屋の評価結果を第 3.2-1 表、タービン建屋の評価結果を第 3.2-2 表及びコントロール建屋の評価結果を第 3.2-3 表に示す。

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| R-4F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-2A | 有り | × | ○ | — | ○ | 区分Ⅰ，Ⅲの機器が同一区画に存在するが，隔離，遮蔽により同時機能喪失せず 原子炉補機冷却水系サージタンク水位 P21-LT-022A P21-LT-022C |
| R-4F-2B | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-2C | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-3 | 有り | × | ○ | — | ○ | 区分Ⅰ～Ⅳの機器が同一区画に存在するが，隔離，遮蔽により同時機能喪失せず 燃料取替エリア排気放射線モニタ D11-RE-066A D11-RE-066B D11-RE-066C D11-RE-066D |
| R-M4F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-4A | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|-------------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| R-M4F-4C | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-4 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-5B | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-1 共 | 有り | × | ○ | — | ○ | 区分Ⅰ，Ⅱの機器が同一区画に存在するが，隔離，遮蔽により同時機能喪失せず 原子炉格納容器圧力 T31-PT-026A T31-PT-026B スキマサージタンク水位計 G41-LT-003A G41-LT-003B |
| R-3F-1A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-4 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅰ，Ⅱの機器が同一区画に存在するため被水対策（区画内溢水源の想定破損除外）を実施 非常用ガス処理計(A)，(B) |
| R-3F-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|------------|-----|------|--------------|--------|------|--|
| R-2F-1 | 有り | × | — | — | ○ | 区分Ⅰ～Ⅲの機器が同一区画に存在 残留熱除去系弁 E11-M0-F015 燃料プール冷却浄化系弁 G41-M0-F005A G41-M0-F013 G41-M0-F021A G41-M0-F021B バルブライン構成は維持されるため、使用中の FPC 系統の機能は喪失しない。また、現場操作にて RHR 系統のバルブ構成を実施し、注水・冷却も可能。 |
| R-2F-2p1 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2p2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共 1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共 2 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅱの機器が区分Ⅰの配管破断時に被水する可能性があるため、被水対策（防滴仕様の確認：IP55, IP56 相当）を実施 格納容器内雰囲気モニタ系弁 D23-M0-F004B D23-M0-F005B D23-S0-F001B |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|------------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| R-2F-2 共 3 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅰの機器が区分Ⅱの配管破断時に被水する可能性があるため、被水対策（防滴仕様の確認：IP55 相当）を実施 格納容器内雰囲気モニタ系弁 D23-M0-F004A D23-M0-F005A |
| R-2F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-7 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-8 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-9 上 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-9 下 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-10 上 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-10 下 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-12 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| R-1F-2 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | 区分Ⅱの機器が区分Ⅰの配管破断時に被水する可能性があるため、被水対策（防滴仕様の確認：IP55 相当）を実施 可燃性ガス濃度制御系弁 T49-M0-F001B T49-M0-F003B |
| R-1F-2p1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2p2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2p3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2p4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-4 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅰ，Ⅲの機器が同一区画に存在するが隔離，遮蔽により同時機能喪失せず 非常用ディーゼル発電機監視操作盤 H21-P600A H21-P600C |
| R-1F-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-7 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-8 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-9 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|--|
| R-1F-10 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅰの機器が区分Ⅱ又は区分Ⅲの配管破断時に被水する可能性があるため、被水対策（防滴仕様の確認；IP55相当）を実施 残留熱除去系弁 E11-M0-F005A |
| R-1F-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-12 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅰ、Ⅱの機器が同一区画に存在するため被水対策（区画内溢水源の想定破損除外）を実施 可燃性ガス濃度制御系(A), (B) |
| R-B-14 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B-15 | 有り | × | ○ | — | ○ | 区分Ⅰ、Ⅱの機器が同一区画に存在するが、離隔、遮蔽により同時機能喪失せず 格納容器内雰囲気モニタ系弁 D23-M0-F006B D23-M0-F007B D23-M0-F008B 残留熱除去系弁 E11-M0-F014A E11-M0-F014B |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|--|
| R-B1-2 | 有り | × | ○ | — | ○ | 区分 I, II の機器が同一区画に存在するが、離隔、遮蔽により同時機能喪失せず 原子炉格納容器エリア放射線量率（高レンジ） D23-RE-006A D23-RE-006B 可燃性ガス濃度制御系弁 T49-M0-F007A T49-M0-F008A |
| R-B1-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-7 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-8 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-9 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-12 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-13 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-16 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| R-B2-2 | 有り | × | × | ○ | ○ | 区分Ⅰ～Ⅲの機器が同一区画に存在するが，隔離，遮蔽により同時機能喪失せず 可燃性ガス濃度制御系弁 T49-M0-F007B 原子炉補機冷却水系弁 P21-M0-F016A P21-M0-F016B P21-M0-F016C P21-M0-F037A P21-M0-F037B P21-M0-F037C P21-M0-F042A P21-M0-F042B P21-M0-F042C |
| R-B2-2H | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| R-B3-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-7 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-8 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-9 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-12 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-13 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-2 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| T-2F-1 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-2F-1A | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-4① | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-4② | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-2A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-2C | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-4b1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-4b2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-4b3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-MB2-1 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-MB2-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B2-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B2-2 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅲの区画内に区分Ⅰの配管が存在するため、被水対策(区分Ⅰの溢水源（原子炉補機冷却水系(A)）の想定破損除外)を実施 原子炉補機冷却水系(C) |
| T-B2-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-2 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|--------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| T-B2-4 | 有り | × | — | — | ○ | |

第 3.2-3 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| C-2F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-2F-2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-2F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | 区分Ⅰ、Ⅱの機器が同一区画に存在するため被水対策(区画内 溢水源の想定破損除外)を実施 中央制御室換気空調系(A),(B) |
| C-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-4A | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-4B | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅱの区画内に区分Ⅰの配管が存在するため被水対策(区分 Ⅰの溢水源(換気空調補機非常用冷却水系(A))の想定破損除 外)を実施 コントロール建屋計測制御電源盤区域(B)換気空調系 |
| C-1F-5 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-6 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-7 | 有り | ○ | — | — | ○ | 区分Ⅰ、Ⅱの機器が同一区画に存在するため被水対策(区画内 溢水源の想定破損除外)を実施 中央制御室換気空調系(A),(B) |
| C-1F-8 | 無 | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-3 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|---|
| C-1F-9 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-11 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-2 | 無 | × | — | ○ | ○ | |
| C-B1-3 | 無 | × | — | ○ | ○ | |
| C-B1-4 | 無 | × | — | ○ | ○ | |
| C-B1-5 | 無 | × | — | ○ | ○ | |
| C-B1-6 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅲの区画内に区分Ⅰ，Ⅱの配管が存在するため，被水対策(区分Ⅰ，Ⅱの溢水源（換気空調補機非常用冷却水系(A), (B)）の想定破損除外)を実施 コントロール建屋計測制御電源盤区域(C)換気空調系 |
| C-B1-7 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-8A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-8C | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-9 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-10 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-11 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-1 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2① | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2② | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第 3.2-3 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|--|
| C-MB2-2③ | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2④ | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-3 | 有り | × | — | ○ | ○ | 区分Ⅱの区画内に区分Ⅰの配管が存在するため被水対策(区分Ⅰの溢水源（換気空調補機非常用冷却水系(A)）の想定破損除外)を実施 換気空調補機非常用冷却水系(B) |
| C-B2-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

3.3 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

本資料では、想定破損により生じる溢水からの被水影響評価に関して、「3.1 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価」にて示した評価手法により、全ての区画における防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する評価結果を示す。なお、各区画の溢水源については、「3.2 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（溢水防護対象設備）」と同じとする。

重体事故等対処設備に対する被水影響評価は、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」内の「2. 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針」に記載する評価方針に則り評価を実施する。

防護すべき設備（重大事故等対処設備）の想定破損により生じる被水影響評価結果のうち、原子炉建屋の評価結果を第 3.3-1 表、タービン建屋の評価結果を第 3.3-2 表、コントロール建屋の評価結果を第 3.3-3 表及び廃棄物処理建屋の評価結果を第 3.3-4 表に示す。

第 3.3-1 表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|-------------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| R-4F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-2A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-2B | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-2C | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-4F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-4A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-4C | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-4 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-M4F-5B | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-1 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-1A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-3F-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-1表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|-----------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| R-2F-2p1 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2p2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-7 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-8 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-9 上 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-9 下 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-10 上 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-10 下 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-2F-12 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2p1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2p2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-2p3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-1表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| R-1F-2p4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-7 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-8 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-9 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-1F-12 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B-14 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B-15 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-7 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-8 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-9 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-1表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| R-B1-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-12 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-13 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B1-16 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-2H | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B2-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-7 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-8 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-9 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-11 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-12 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| R-B3-13 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-2表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| T-2F-1 共 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-2F-1A | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-4① | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-1F-4② | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-2A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-2C | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-4b1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-4b2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-B1-4b3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-MB2-1 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| T-MB2-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B2-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B2-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B2-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| T-B2-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-3表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| C-2F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-2F-2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-2F-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-4A | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-4B | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-5 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-6 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-7 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-8 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-9 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-10 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-1F-11 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-2 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-4 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-5 | 無 | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-3表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| C-B1-6 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-7 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-8A | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-8C | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-9 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-10 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B1-11 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-1 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2① | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2② | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2③ | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-2④ | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-MB2-3 | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| C-B2-5 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

第3.3-4表 想定破損により生じる溢水に対する被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 一次判定 | 相対位置 関係考慮 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|------------|-----|------|--------------|--------|------|----|
| W-2F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-1F-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-1F-1（電品） | 無 | ○ | — | — | ○ | |
| W-B1-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-B2-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-B3-1 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-B3-2 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-B3-3 | 有り | ○ | — | — | ○ | |
| W-B3-4 | 有り | ○ | — | — | ○ | |

3.4 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では、地震に起因する溢水からの被水影響評価に関して、全ての区画における防護すべき設備（溢水防護対象設備）が機能喪失しないことを確認する。

防護すべき設備（溢水防護対象設備）を設置する建屋は以下の通り。

- ・原子炉建屋
- ・タービン建屋
- ・コントロール建屋

なお、原子炉建屋の評価結果を第 3.4-1 表、タービン建屋の評価結果を第 3.4-2 表及びコントロール建屋の評価結果を第 3.4-3 表に示す。

第3.4-1表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|-------------|-----|--------|------|-----------------------|
| R-4F-1 | 無 | — | ○ | |
| R-4F-2A | 無 | — | ○ | |
| R-4F-2B | 無 | — | ○ | |
| R-4F-2C | 無 | — | ○ | |
| R-4F-3 | 有り | ○ | ○ | |
| R-M4F-1 | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-2 | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-3 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| R-M4F-4A | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-4C | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-4 共 | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 1 | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 2 | 無 | — | ○ | |
| R-M4F-5B | 無 | — | ○ | |
| R-3F-1 共 | 有り | ○ | ○ | |
| R-3F-1A | 無 | — | ○ | |
| R-3F-2 | 無 | — | ○ | |
| R-3F-3 | 無 | — | ○ | |
| R-3F-4 | 無 | — | ○ | |
| R-3F-5 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-1 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-2p1 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-2p2 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-2 共 1 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-2 共 2 | 有り | ○ | ○ | |
| R-2F-2 共 3 | 有り | ○ | ○ | |
| R-2F-3 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-4 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-5 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-6 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-7 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-8 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-9 上 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-9 下 | 無 | — | ○ | |

第3.4-1表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|-----------|-----|--------|------|----|
| R-2F-10 上 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-10 下 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-11 | 無 | — | ○ | |
| R-2F-12 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-1 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-2 共 | 有り | ○ | ○ | |
| R-1F-2p1 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-2p2 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-2p3 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-2p4 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-3 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-4 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-5 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-6 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-7 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-8 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-9 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-10 | 有り | ○ | ○ | |
| R-1F-11 | 無 | — | ○ | |
| R-1F-12 | 無 | — | ○ | |
| R-B-14 | 無 | — | ○ | |
| R-B-15 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-2 | 有り | ○ | ○ | |
| R-B1-3 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-4 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-5 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-6 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-7 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-8 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-9 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-10 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-11 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-12 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-13 | 無 | — | ○ | |
| R-B1-16 | 無 | — | ○ | |

第3.4-1表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|---------|-----|--------|------|-----------------------|
| R-B2-2 | 有り | ○ | ○ | |
| R-B2-2H | 無 | — | ○ | |
| R-B2-3 | 無 | — | ○ | |
| R-B2-4 | 無 | — | ○ | |
| R-B2-5 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-2 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-3 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-4 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| R-B3-5 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-6 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-7 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-8 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-9 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-10 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-11 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-12 | 無 | — | ○ | |
| R-B3-13 | 無 | — | ○ | |

第3.4-2表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|--------|------|-----------------------|
| T-2F-1 共 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| T-2F-1A | 無 | — | ○ | |
| T-1F-1 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| T-1F-2 | 無 | — | ○ | |
| T-1F-3 | 有り | ○ | ○ | |
| T-1F-4① | 無 | — | ○ | |
| T-1F-4② | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| T-B1-2A | 無 | — | ○ | |
| T-B1-2C | 無 | — | ○ | |
| T-B1-3 | 有り | ○ | ○ | |
| T-B1-4b1 | 無 | — | ○ | |
| T-B1-4b2 | 無 | — | ○ | |
| T-B1-4b3 | 無 | — | ○ | |
| T-MB2-1 | 無 | — | ○ | |
| T-MB2-2 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| T-B2-1 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| T-B2-2 | 無 | — | ○ | |
| T-B2-3 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |
| T-B2-4 | 有り | — | ○ | 当該区画内に溢水防護対処設備が存在しない。 |

第 3.4-3 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|----------|-----|--------|------|----|
| C-2F-1 | 無 | — | ○ | |
| C-2F-2 | 無 | — | ○ | |
| C-2F-3 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-1 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-2 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-3 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-4A | 無 | — | ○ | |
| C-1F-4B | 無 | — | ○ | |
| C-1F-5 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-6 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-7 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-8 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-9 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-10 | 無 | — | ○ | |
| C-1F-11 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-1 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-2 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-3 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-4 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-5 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-6 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-7 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-8A | 無 | — | ○ | |
| C-B1-8C | 無 | — | ○ | |
| C-B1-9 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-10 | 無 | — | ○ | |
| C-B1-11 | 無 | — | ○ | |
| C-MB2-1 | 無 | — | ○ | |
| C-MB2-2① | 無 | — | ○ | |
| C-MB2-2② | 無 | — | ○ | |
| C-MB2-2③ | 無 | — | ○ | |
| C-MB2-2④ | 無 | — | ○ | |
| C-MB2-3 | 無 | — | ○ | |
| C-B2-1 | 無 | — | ○ | |
| C-B2-2 | 無 | — | ○ | |

第 3.4-3 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 区画 | 溢水源 | 被水対策実施 | 最終判定 | 備考 |
|--------|-----|--------|------|----|
| C-B2-3 | 無 | — | ○ | |
| C-B2-4 | 無 | — | ○ | |
| C-B2-5 | 無 | — | ○ | |

3.5 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

本資料では、想定破損により生じる溢水からの被水影響評価に関して、全ての区画における防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する評価結果を示す。なお、各区画の溢水源については、「3.4 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（溢水防護対象設備）」と同じとする。

重体事故等対処設備に対する被水影響評価は、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」内の「2. 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針」に記載する評価方針に則り評価を実施する。

防護すべき設備（重大事故等対処設備）の地震に起因する溢水による被水影響評価結果のうち、原子炉建屋の評価結果を第 3.5-1 表、タービン建屋の評価結果を第 3.5-2 表、コントロール建屋の評価結果を第 3.5-3 表及び廃棄物処理建屋の評価結果を第 3.5-4 表に示す。

第 3.5-1 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|-------------|-----|------|------|------|------------|----------|--------------------------------|
| R-4F-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-4F-2A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-4F-2B | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-4F-2C | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-4F-3 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-M4F-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-3 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大 事故等対処設備が 存在しない。 |
| R-M4F-4A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-4C | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-4 共 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-5 共 2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-M4F-5B | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-3F-1 共 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-3F-1A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-3F-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-3F-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-3F-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-3F-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-2p1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-2p2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共 1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-2 共 2 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大 事故等対処設備が 存在しない。 |
| R-2F-2 共 3 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-2F-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-6 | 無 | — | — | — | — | ○ | |

第 3.5-1 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|-----------|-----|------|------|------|------------|----------|----|
| R-2F-7 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-8 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-9 上 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-9 下 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-10 上 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-10 下 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-11 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-2F-12 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-2 共 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-1F-2p1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-2p2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-2p3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-2p4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-6 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-7 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-8 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-9 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-10 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-1F-11 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-1F-12 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B-14 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B-15 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-2 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-B1-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-6 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-7 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-8 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-9 | 無 | — | — | — | — | ○ | |

第 3.5-1 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|---------|-----|------|------|------|------------|----------|------------------------|
| R-B1-10 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-11 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-12 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-13 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B1-16 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B2-2 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| R-B2-2H | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B2-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B2-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B2-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-4 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| R-B3-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-6 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-7 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-8 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-9 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-10 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-11 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-12 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| R-B3-13 | 無 | — | — | — | — | ○ | |

- * 方針Ⅰ【独立性】 重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと
- 方針Ⅱ【修復性】 重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること
- 方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】 内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せず、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が損なわれる恐れのないこと

第 3.5-2 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|----------|-----|------|------|------|------------|----------|------------------------|
| T-2F-1 共 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| T-2F-1A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-1F-1 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| T-1F-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-1F-3 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| T-1F-4① | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-1F-4② | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| T-B1-2A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-B1-2C | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-B1-3 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| T-B1-4b1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-B1-4b2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-B1-4b3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-MB2-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-MB2-2 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| T-B2-1 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| T-B2-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| T-B2-3 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |

第 3.5-2 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|--------|-----|------|------|------|------------|----------|------------------------|
| T-B2-4 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |

- * 方針Ⅰ【独立性】 重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと
- 方針Ⅱ【修復性】 重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること
- 方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】 内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が損なわれる恐れのないこと

第 3.5-3 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|----------|-----|------|------|------|------------|----------|----|
| C-2F-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-2F-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-2F-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-4A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-4B | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-6 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-7 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-8 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-9 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-10 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-1F-11 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-6 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-7 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-8A | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-8C | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-9 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-10 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B1-11 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-MB2-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-MB2-2① | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-MB2-2② | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-MB2-2③ | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-MB2-2④ | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-MB2-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B2-1 | 無 | — | — | — | — | ○ | |

第 3.5-3 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|--------|-----|------|------|------|------------|----------|----|
| C-B2-2 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B2-3 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B2-4 | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| C-B2-5 | 無 | — | — | — | — | ○ | |

* 方針Ⅰ【独立性】

重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと

方針Ⅱ【修復性】

重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること

方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】

内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せず、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が損なわれる恐れのないこと

第 3.5-4 表 地震に起因する溢水による被水影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 区画 | 溢水源 | 方針Ⅰ* | 方針Ⅱ* | 方針Ⅲ* | 被水対策 実施 | 最終 判定 | 備考 |
|----------------|-----|------|------|------|------------|----------|------------------------|
| W-2F-1 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| W-1F-1 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| W-1F-1 (電品) | 無 | — | — | — | — | ○ | |
| W-B1-1 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| W-B2-1 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| W-B3-1 | 有り | ○ | ○ | ○ | — | ○ | |
| W-B3-2 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| W-B3-3 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |
| W-B3-4 | 有り | — | — | — | — | ○ | 当該区画には重大事故等対処設備が存在しない。 |

- * 方針Ⅰ【独立性】 重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと
- 方針Ⅱ【修復性】 重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること
- 方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】 内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が損なわれる恐れのないこと

4.1 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では想定破損により生じる溢水からの蒸気影響に対して各建屋に設置する防護すべき設備（溢水防護対象設備）に対する評価結果を示す。

防護すべき設備（溢水防護対象設備）を設置する建屋は以下の通り。

- ・原子炉建屋
- ・タービン建屋
- ・コントロール建屋

蒸気影響に対する評価結果を第 4.1-1 表に示す。

第 4.1-1 表 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 建屋 | 溢水防護対象設備の評価区画 | 区画内の蒸気源 | 他区画からの蒸気の流入 | 蒸気影響を考慮した仕様（耐蒸気仕様） | 多重性又は多様性を有する系統の同時機能喪失 | 機能維持判定 | 備考 |
|----------|---------------------|--|-------------|--------------------|-----------------------|--------|--|
| 原子炉建屋 | 原子炉建屋 二次格納施設 | 主蒸気系 給水系 原子炉隔離時冷却系 原子炉冷却材浄化系 (所内蒸気系) | あり | ○ | なし | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 二次格納施設内の防護対象設備は、二次格納施設内に存在する高エネルギー配管破断による蒸気影響を考慮した設計としている ・ ほう酸水注入系は耐蒸気仕様ではないが、同種の機能を有する水圧制御ユニットが耐蒸気仕様であることから、多重性又は多様性を有する系統が同時機能喪失しないと評価 ・ 二次格納施設内の防護対象設備に対する機能維持判定を「1.2 防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備について」に示す |
| | 原子炉建屋 付属区域 | なし (所内蒸気系) | なし | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| タービン建屋 | タービン建屋 復水器エリア | 主蒸気系 復水及び給水系 給水加熱器ドレン系 所内蒸気系 | あり | ○ | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発生を想定する蒸気に対して防護すべき設備は、蒸気影響を受けないよう蒸気防護カバーを設置することにより機能喪失しない |
| | タービン建屋 海水熱交換器エリア | なし | なし | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| コントロール建屋 | | なし | なし | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |

4.2 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価（重大事故等対処設備）

本資料では想定破損により生じる溢水からの蒸気影響に対して各建屋に設置する防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する評価結果を示す。

重大事故等対処設備に対する蒸気影響評価は、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」内の「2. 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針」に記載する評価方針に則り評価を実施する。

なお、屋外に設置する防護すべき設備（重大事故等対処設備）については、蒸気の影響がないことが明らかのため記載しない。

蒸気影響に対する評価結果を第 4.2-1 表に示す。

第 4.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 建屋 | 重大事故等対処設備の設置区画 | 区画内の蒸気源 | 他区画からの蒸気の流入 | 蒸気影響を考慮した仕様（耐蒸気仕様） | 方針 I *1 | 方針 II *1 | 方針 III *1 | 判定 | 備考 |
|-------|-----------------|--|-------------|--------------------|---------|----------|-----------|----|--|
| 原子炉建屋 | 原子炉建屋 二次格納施設 | 主蒸気系 給水系 原子炉隔離時冷却系 原子炉冷却材浄化系 （所内蒸気系） | あり | ○ （一部） | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 二次格納施設内の防護すべき設備の一部は、二次格納施設内に存在する高エネルギー配管破断による蒸気影響を考慮した設計としている ・ 耐蒸気仕様でない設備については、同種の機能を有する設備が耐蒸気仕様である又は位置的分散を図ることにより、多重性又は多様性を有する系統の同時機能喪失がない設計としている ・ 重大事故防止設備でない設備については、修復性等も考慮の上、できる限り蒸気に対する頑健性を確保する設計としている ・ 耐蒸気仕様でない設備の機能喪失を考慮したとしても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が喪失しない設計としている |
| | 原子炉建屋 附属区域 | なし （所内蒸気系） | なし | — | — | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |

第 4.2-1 表 想定破損により生じる溢水に対する蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 建屋 | 重大事故等対処設備の設置区画 | 区画内の蒸気源 | 他区画からの蒸気の流入 | 蒸気影響を考慮した仕様（耐蒸気仕様） | 方針 I *1 | 方針 II *1 | 方針 III *1 | 判定 | 備考 |
|----------|-----------------|---------------------------------------|-------------|--------------------|---------|----------|-----------|----|---|
| タービン建屋 | タービン建屋復水器エリア | 主蒸気系 復水及び給水系 給水加熱器ドレン系 所内蒸気系 | あり | — | — | — | — | ○ | ・当該区画には重大事故等対処設備は設置されていないため、蒸気の影響はない。 |
| | タービン建屋海水熱交換器エリア | なし | なし | — | — | — | — | ○ | ・蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| コントロール建屋 | | なし | なし | — | — | — | — | ○ | ・蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| 廃棄物処理建屋 | | 所内蒸気系 | あり | — | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧代替注水系は耐蒸気仕様ではないが、同種の機能を有する残留熱除去系が耐蒸気仕様であることから、多重性又は多様性を有する系統が同時機能喪失しないと評価 ・ 重大事故防止設備でない設備については、修復性等も考慮の上、できる限り蒸気に対する頑健性を確保する設計としている ・ 耐蒸気仕様でない設備の機能喪失を考慮したとしても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が喪失しない設計としている |

*1 方針 I 【独立性】 重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと

方針 II 【修復性】 重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること

方針 III 【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】 内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が損なわれる恐れのないこと

4.3 地震に伴い発生する溢水による蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備）

本資料では地震に伴い発生する溢水からの蒸気影響に対して各建屋に設置する防護すべき設備（溢水防護対象設備）に対する評価結果を示す。

防護すべき設備（溢水防護対象設備）を設置する建屋は以下の通り。

- ・原子炉建屋
- ・タービン建屋
- ・コントロール建屋

蒸気影響に対する評価結果を第 4.3-1 表に示す。

第 4.3-1 表 地震に伴い発生する溢水に対する蒸気影響評価結果（溢水防護対象設備）

| 建屋 | 溢水防護対象設備の 評価区画 | 区画内の蒸気源 | 他区画からの 蒸気の流入 | 蒸気影響を考慮 した仕様 (耐蒸気仕様) | 多重性又は多様 性を有する系統 の同時機能喪失 | 機能維持 判定 | 備考 |
|----------|---------------------|---------------------------------------|-----------------|----------------------------|-------------------------------|------------|--|
| 原子炉建屋 | 原子炉建屋 二次格納施設 | 主蒸気系 原子炉冷却材浄化系 (所内蒸気系) | あり | ○ | なし | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 二次格納施設内の防護対象設備は、二次格納施設内に存在する高エネルギー配管破断による蒸気影響を考慮した設計としている ・ ほう酸水注入系は耐蒸気仕様ではないが、同種の機能を有する水圧制御ユニットが耐蒸気仕様であることから、多重性又は多様性を有する系統が同時機能喪失しないと評価 ・ 二次格納施設内の防護対象設備に対する機能維持判定を「1.2 防護すべき設備のうち溢水影響評価対象外とする設備について」に示す |
| | 原子炉建屋 付属区域 | なし (所内蒸気系) | なし | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| タービン建屋 | タービン建屋 復水器エリア | 主蒸気系 復水及び給水系 給水加熱器ドレン系 所内蒸気系 | あり | ○ | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発生を想定する蒸気に対して防護すべき設備は、蒸気影響を受けないよう蒸気防護カバーを設置することにより機能喪失しない |
| | タービン建屋 海水熱交換器エリア | なし | なし | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| コントロール建屋 | | なし | なし | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |

4.4 地震に伴い発生する溢水による蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）

本資料では地震に伴い発生する溢水からの蒸気影響に対して各建屋に設置する防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する評価結果を示す。

重大事故等対処設備に対する蒸気影響評価は、「2.3 想定破損により生じる溢水に対する没水評価について」内の「2. 防護すべき設備（重大事故等対処設備）に対する防護方針」に記載する評価方針に則り評価を実施する。

なお、屋外に設置する防護すべき設備（重大事故等対処設備）については、蒸気の影響がないことが明らかのため記載しない。

蒸気影響に対する評価結果を第 4.4-1 表に示す。

第 4.4-1 表 地震に伴い発生する溢水に対する蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 建屋 | 重大事故等対処設備の設置区画 | 区画内の蒸気源 | 他区画からの蒸気の流入 | 蒸気影響を考慮した仕様（耐蒸気仕様） | 方針Ⅰ*1 | 方針Ⅱ*1 | 方針Ⅲ*1 | 判定 | 備考 |
|-------|-----------------|------------------------------|-------------|--------------------|-------|-------|-------|----|--|
| 原子炉建屋 | 原子炉建屋 二次格納施設 | 主蒸気系 原子炉冷却材浄化系 (所内蒸気系) | あり | ○ (一部) | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 二次格納施設内の防護すべき設備の一部は、二次格納施設内に存在する高エネルギー配管破断による蒸気影響を考慮した設計としている ・ 耐蒸気仕様でない設備については、同種の機能を有する設備が耐蒸気仕様である又は位置的分散を図ることにより、多重性又は多様性を有する系統の同時機能喪失がない設計としている ・ 重大事故防止設備でない設備については、修復性等も考慮の上、できる限り蒸気に対する頑健性を確保する設計としている ・ 耐蒸気仕様でない設備の機能喪失を考慮したとしても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が喪失しない設計としている |
| | 原子炉建屋 附属区域 | なし (所内蒸気系) | なし | — | — | — | — | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内蒸気系は上流側のタービン建屋内で常時隔離運用するため、蒸気源として想定しない ・ 蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |

第 4.4-1 表 地震に伴い発生する溢水に対する蒸気影響評価結果（重大事故等対処設備）

| 建屋 | 重大事故等対処設備の設置区画 | 区画内の蒸気源 | 他区画からの蒸気の流入 | 蒸気影響を考慮した仕様（耐蒸気仕様） | 方針Ⅰ*1 | 方針Ⅱ*1 | 方針Ⅲ*1 | 判定 | 備考 |
|----------|-----------------|---------------------------------------|-------------|--------------------|-------|-------|-------|----|---|
| タービン建屋 | タービン建屋復水器エリア | 主蒸気系 復水及び給水系 給水加熱器ドレン系 所内蒸気系 | あり | — | — | — | — | ○ | ・当該区画には重大事故等対処設備は設置されていないため、蒸気の影響はない。 |
| | タービン建屋海水熱交換器エリア | なし | なし | — | — | — | — | ○ | ・蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| コントロール建屋 | | なし | なし | — | — | — | — | ○ | ・蒸気源を内包する他区域との境界は気密性を考慮した設計のため、蒸気の流入はない |
| 廃棄物処理建屋 | | 所内蒸気系 | あり | — | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧代替注水系は耐蒸気仕様ではないが、同種の機能を有する残留熱除去系が耐蒸気仕様であることから、多重性又は多様性を有する系統が同時機能喪失しないと評価 ・ 重大事故防止設備でない設備については、修復性等も考慮の上、できる限り蒸気に対する頑健性を確保する設計としている ・ 耐蒸気仕様でない設備の機能喪失を考慮したとしても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が喪失しない設計としている |

*1 方針Ⅰ【独立性】 重大事故防止設備は、内部溢水によって対応する設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれる恐れのないこと

方針Ⅱ【修復性】 重大事故等対処設備であって、重大事故防止設備でない設備は、修復性等も考慮の上、できる限り内部溢水に対する頑健性を確保すること

方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】 内部溢水が発生した場合においても、設計基準対象施設の機能に期待せずに、重大事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能が損なわれる恐れのないこと

5.1 想定破損により生じる溢水影響評価における溢水源リスト

1. 想定破損により生じる溢水

内部溢水影響評価ガイドに従い、溢水影響評価上の防護対象設備を内包する原子炉建屋、コントロール建屋及びタービン建屋の海水熱交換器エリア内に敷設されている系統（水、蒸気）、並びに上記の建屋又はエリア以外に敷設されている循環水系統を溢水源として選定する。溢水源として想定する系統を第 5.1-1 表に示す。

なお、廃棄物処理建屋内の溢水源については、防護対象設備が設置されている建屋への伝播経路に対し止水対策を施すことで、防護対象設備への影響を及ぼさない設計とする。

第 5.1-1 表 溢水源として想定する系統（想定破損による溢水）

| | | 分類 | | 敷設建屋／区域 | | |
|------------|------------------|----|-----|---------|----------|----------|
| | | 高 | 低 | 原子炉建屋 | 海水熱交換器区域 | コントロール建屋 |
| 水・蒸気系統 | 制御棒駆動水圧系 | ○ | | ○ | — | — |
| | ほう酸水注入系 | | ○※3 | ○ | — | — |
| | 残留熱除去系 | | ○※3 | ○ | — | — |
| | 高压炉心注水系 | | ○※3 | ○ | — | — |
| | 原子炉隔離時冷却系 | | ○※3 | ○ | — | — |
| | 原子炉隔離時冷却系（駆動蒸気系） | ○ | | ○ | — | — |
| | 高压代替注水系※1 | | ○ | ○ | — | — |
| | 高压代替注水系（駆動蒸気系）※1 | ○ | | ○ | — | — |
| | 原子炉冷却材浄化系 | ○ | | ○ | — | — |
| | 燃料プール冷却浄化系 | | ○ | ○ | — | — |
| | サプレッションプール浄化系 | | ○ | ○ | — | — |
| | 放射性ドレン移送系 | | ○ | ○ | — | ○ |
| | 復水及び給水系 | ○ | | ○ | — | — |
| | 給水加熱器ドレン系 | ○ | | — | — | — |
| | 循環水系※2 | | ○ | — | — | — |
| | 純水補給水系 | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復水補給水系 | | ○ | ○ | — | — |
| | 原子炉補機冷却水系 | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | タービン補機冷却水系 | | ○ | — | ○ | ○ |
| | 換気空調補機常用冷却水系 | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 換気空調補機非常用冷却水系 | | ○ | ○ | — | ○ |
| | 原子炉補機冷却海水系 | | ○ | — | ○ | — |
| | タービン補機冷却海水系 | | ○ | — | ○ | — |
| | 所内蒸気戻り系 | | ○ | — | ○ | — |
| 所内温水系 | | ○ | ○ | ○ | — | |
| 雑用水系 | | ○ | — | ○ | ○ | |
| 消火系 | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 非放射性ドレン移送系 | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 飲料水系※5 | | ○ | — | — | ○ | |
| 所内蒸気系 | ○ | | —※4 | — | — | |

※1：分類は原子炉隔離時冷却系と同等とした

※2：循環水系は復水器設置エリア及び循環水ポンプ設置エリアでの溢水を想定

※3：高エネルギー配管として運転している時間の割合が、当該系統の運転している時間の 2%又はプラント運転期間の 1%より小さいため、低エネルギー配管として扱う

※4：上流側にて隔離することで溢水源として想定しない

※5：消火系との共用はしていない

5.2 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について

想定破損評価においては、配管を高エネルギー配管及び低エネルギー配管に分類し、評価を実施しているが、高エネルギー配管に分類される系統であっても、運転期間が短時間である場合については、評価上低エネルギー配管として評価を実施している。この考え方を以下に示す。

内部溢水影響評価ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることが出来ると定められている。

「通常運転」としては、ガイドが「高エネルギー状態にある運転期間」が短時間である系統の配管の考え方の参考とした米国 NRC の Standard Review Plan (SRP) Branch Technical Position (BTP) 3-4 「Postulated Rupture Locations in Fluid System Piping Inside and Outside Containment」では、「原子炉起動、出力運転中、温態待機、低温停止状態までの冷却期間」とされるが、ここでは設置許可基準規則 第二条 2 項二の定義を用い、プラントの停止中を含む全期間とする。この場合の7号機の通常運転時間を第5.2-1表に示す。

第5.2-1表 7号機のプラント運転時間

| 号機 | 開始日 (営業運転開始日) | 最終日 | 通常運転開始(h) |
|----|------------------|------------|-----------|
| 7 | 1996/07/02 | 2015/03/31 | 155568 |

また各系統の「高エネルギー状態にある運転期間」の合計は、上記通常運転期間における各系統の高エネルギー状態にある運転時間の合算とする。

以上をもとに、高エネルギー配管であっても運転期間の割合が小さいことから低エネルギー配管とした4系統について、「高エネルギー状態にある運転期間」の算出結果を添付第5.2-2表に示す。この結果より、すべての系統において「高エネルギー状態にある運転期間」が「通常運転」期間の1%より小さいことを確認したため、低エネルギー配管として評価する。

第 5.2-2 表 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果

| 系統名 | 高エネルギー状態 にある運転時間 (h) | 高エネルギー状態に ある運転時間割合 (%) | 計算式※1 |
|-----------|----------------------------|------------------------------|------------------------|
| 高圧炉心注水系 | 177 | B : 0.12 | 177h / 155568h = 0.12% |
| | 169 | C : 0.11 | 169h / 155568h = 0.11% |
| 原子炉隔離時冷却系 | 164 | 0.11 | 164h / 155568h = 0.11% |
| 残留熱除去系 | 171 | A : 0.11 | 171h / 155568h = 0.11% |
| | 161 | B : 0.11 | 161h / 155568h = 0.11% |
| | 161 | C : 0.11 | 161h / 155568h = 0.11% |
| ほう酸水注入系 | 139 | A : 0.09 | 139h / 155568h = 0.09% |
| | 133 | B : 0.09 | 133h / 155568h = 0.09% |

※1 : 計算結果は小数点第三位切り上げ

5.3 低エネルギー配管の応力評価について

低エネルギー配管の応力評価は、設計・建設規格 PPC-3530(1) d. の式から算出する。

$$S_a = 1.25 f S_c + (1.2 + 0.25 f) S_h$$

【炭素鋼 (STPG370) の場合】

$$\begin{aligned} S_a &= 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93 \\ &= 251.1 \end{aligned}$$

【炭素鋼 (STPT410) の場合】

$$\begin{aligned} S_a &= 1.25 \times 1.0 \times 103 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 103 \\ &= 278.1 \end{aligned}$$

【炭素鋼 (SM400C) の場合】

$$\begin{aligned} S_a &= 1.25 \times 1.0 \times 100 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 100 \\ &= 270 \end{aligned}$$

【ステンレス鋼 (SUS304TP) の場合】

$$\begin{aligned} S_a &= 1.25 \times 1.0 \times 127 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 127 \\ &= 342.9 \end{aligned}$$

ここで、

S_a : 許容応力 (MPa)

f : 許容応力低減係数 (=1.0)

S_c : 室温における付録材料図表 Part5 に規定する材料の許容引張応力

S_h : 使用温度における付録材料図表 Part5 に規定する材料の許容引張応力

低エネルギー配管は熱応力が発生しないため、温度変化サイクルの考慮はない。従って、許容応力低減係数は 1.0 とする。

表 PPC-3530-1 f の値

| 温度変化サイクル数 | f の値 |
|----------------------|------|
| 7,000 未満 | 1.0 |
| 7,000 以上 14,000 未満 | 0.9 |
| 14,000 以上 22,000 未満 | 0.8 |
| 22,000 以上 45,000 未満 | 0.7 |
| 45,000 以上 100,000 未満 | 0.6 |
| 100,000 以上 | 0.5 |

設計・建設規格付録材料図表の抜粋を第 5.3-1 図に示す。

破損想定除外を実施する低エネルギー配管の応力評価結果を第 5.3-1 表～第 5.3-40 表に、評価を実施するモデルの配管図を第 5.3-2 図～第 5.3-41 図に示す。

付録材料図表 Part 5 表5 鉄鋼材料（ボルト材を除く）の各温度における許容引張応力 S (MPa)

| 種類 | 種別 | 記号 | 最小 引張強さ (MPa) | 最小 降伏点 (MPa) | 温 度 (°C) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|---------|---------------------|--------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | | | | | -30 | 75 | 100 | 150 | 200 | 225 | 250 | 275 | 300 | 325 | 350 | 375 | 400 | 425 | 450 | 475 | 500 | 525 | 550 | 575 | 600 | 625 | 650 | 675 | 700 | 725 | 750 | 775 | 800 | |
| | | | | | -40 | 75 | 100 | 150 | 200 | 225 | 250 | 275 | 300 | 325 | 350 | 375 | 400 | 425 | 450 | 475 | 500 | 525 | 550 | 575 | 600 | 625 | 650 | 675 | 700 | 725 | 750 | 775 | 800 | |
| 一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101(2004) | | SS400 | 400 | 245 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SS400 | 400 | 235 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SS400 | 400 | 215 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボイラ及び压力容器用炭素鋼 及びモリブデン鋼鋼板 JIS G 3103(2003) | | SB410 | 410 | 225 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 103 | 102 | 97 | 88 | 76 | 57 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SB450 | 450 | 245 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 110 | 106 | 94 | 79 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SB480 | 480 | 265 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 113 | 101 | 84 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SB450M | 450 | 255 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 108 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SB480M | 480 | 275 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 115 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106(2004) | | SM400A | 400 | 245 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM400B | 400 | 245 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM400C | 400 | 245 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM400C | 400 | 235 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM400C | 400 | 215 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490A | 490 | 325 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490A | 490 | 315 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490A | 490 | 295 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490B | 490 | 325 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490B | 490 | 315 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490B | 490 | 295 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490C | 490 | 325 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490C | 490 | 315 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490C | 490 | 295 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490YA | 490 | 365 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490YA | 490 | 355 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490YA | 490 | 335 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490YB | 490 | 365 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490YB | 490 | 355 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM490YB | 490 | 335 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM520B | 520 | 365 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM520B | 520 | 355 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM520B | 520 | 335 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM520C | 520 | 365 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM520C | 520 | 355 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM520C | 520 | 335 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM570 | 570 | 460 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM570 | 570 | 450 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | SM570 | 570 | 430 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

05

2005 設計・建設規格 第I編 付録図表 Part 5

資料1—5.3—3 I-付録図表-43

第 5.3-1 図 設計・建設規格 付録材料図表 (2/2)

第 5.3-1 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------------------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 常用冷却水系 | HNCW-R-H09 | R/B | R-3F-4 | 81 | 100 |



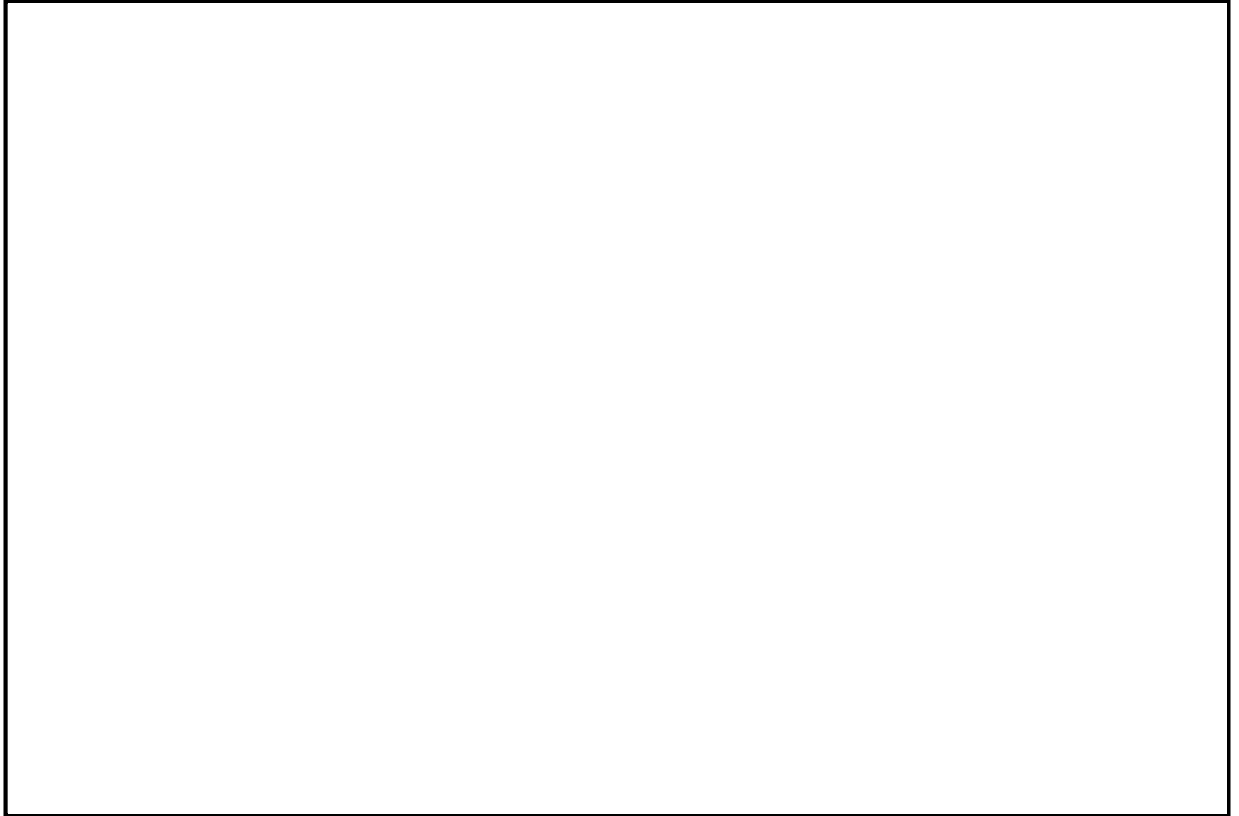
第 5.3-2 図 配管図 (1/2)



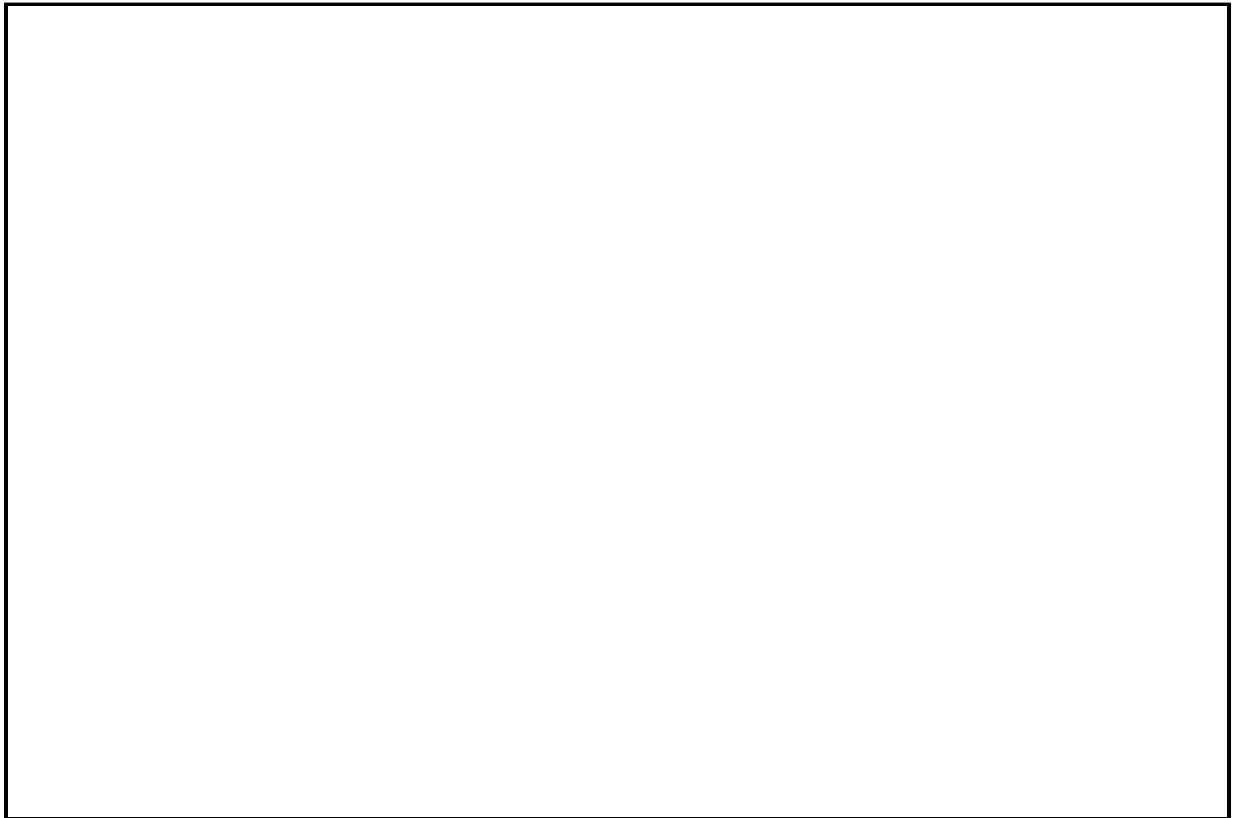
第 5.3-2 図 配管図(2/2)

第 5.3-2 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

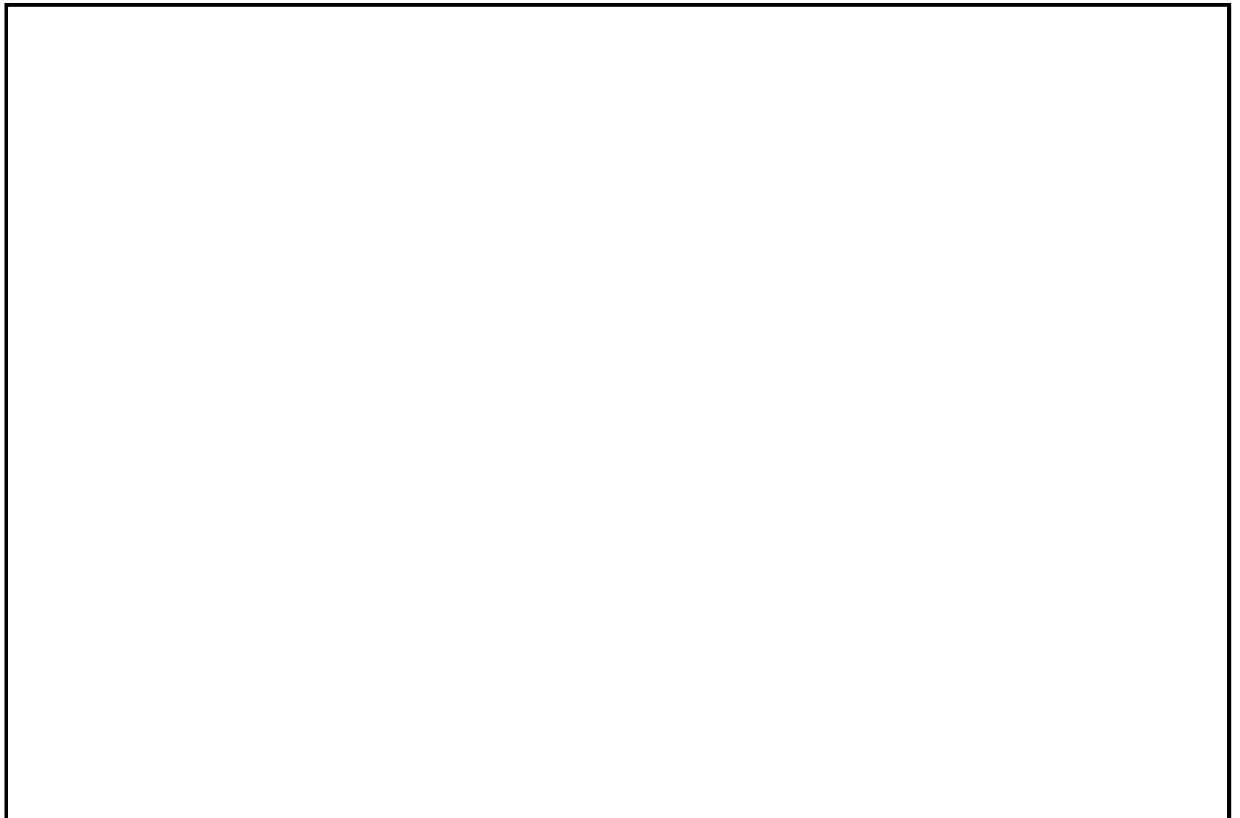
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------------------|------------|-----|-----------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 常用冷却水系 | HNCW-R-H10 | R/B | R-M4F-4 共 | 45 | 100 |



第 5.3-3 図 配管図(1/3)



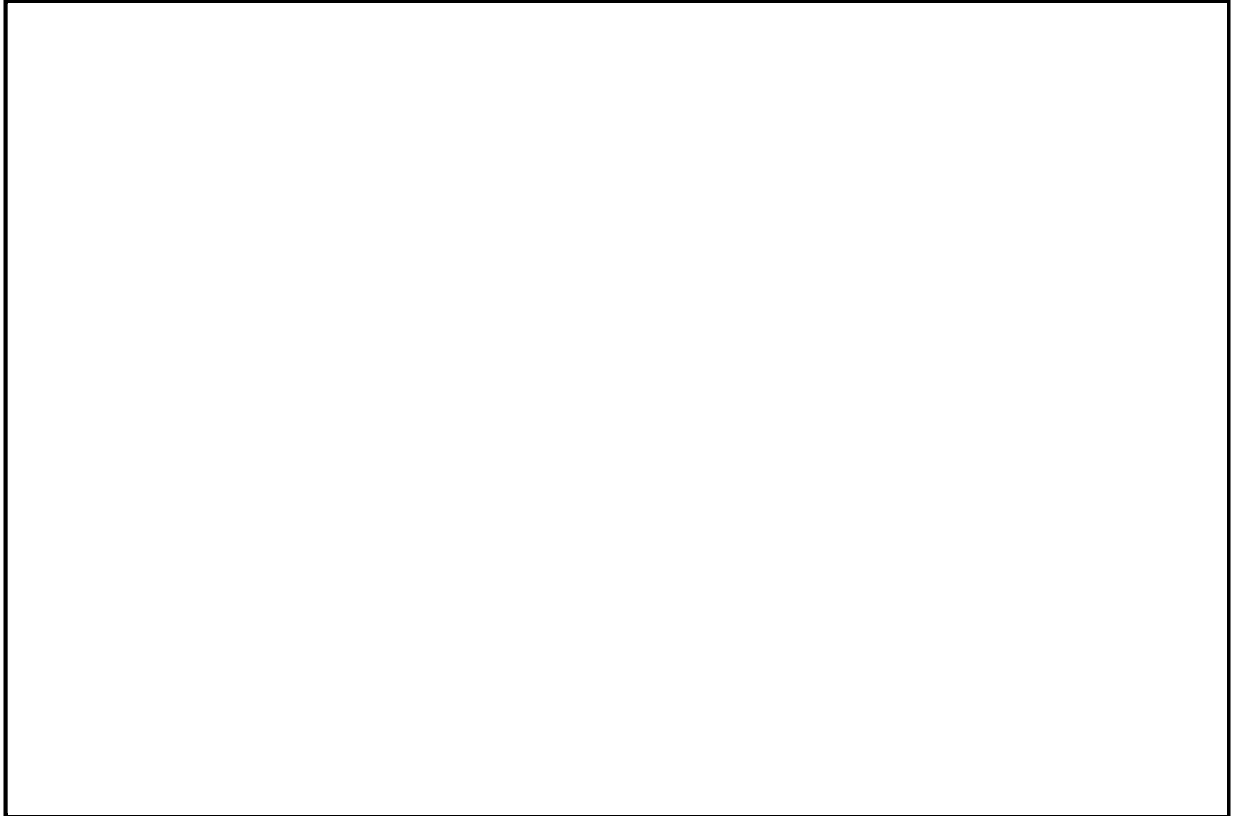
第 5.3-3 図 配管図 (2/3)



第 5.3-3 図 配管図 (3/3)

第 5.3-3 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

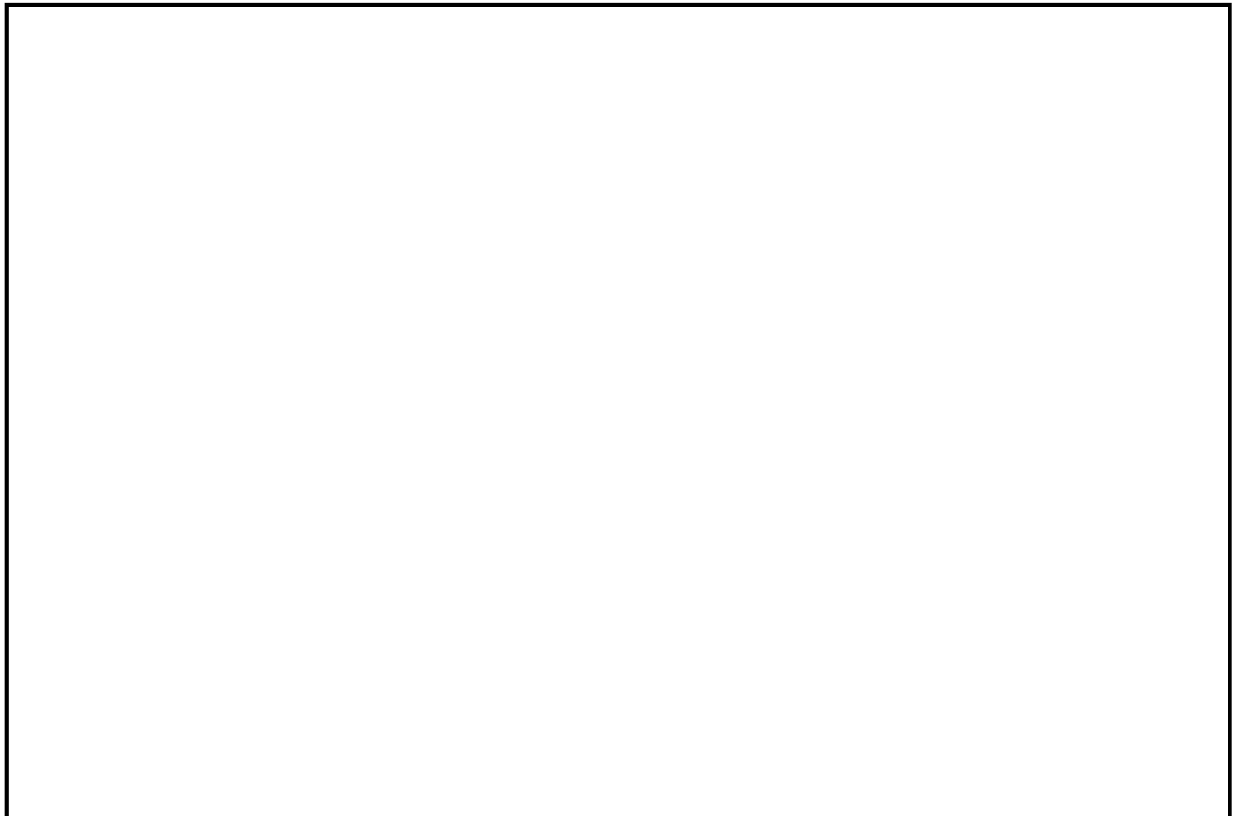
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------------------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 常用冷却水系 | HNCW-R-H11 | R/B | R-3F-4 | 59 | 100 |



第 5.3-4 図 配管図(1/3)



第 5.3-4 図 配管図(2/3)



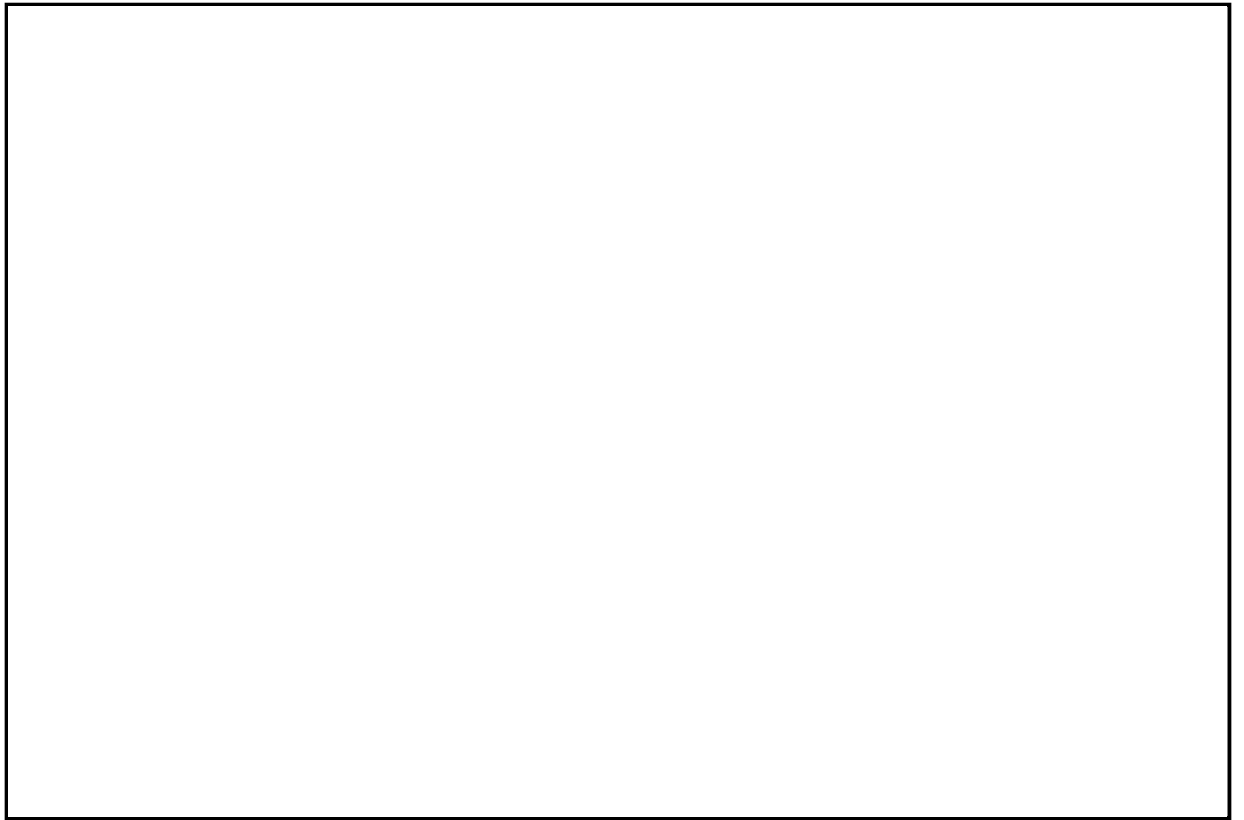
第 5.3-4 図 配管図(3/3)

第 5.3-4 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------------------|------------|-----|-----------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 常用冷却水系 | HNCW-R-H12 | R/B | R-M4F-4 共 | 26 | 100 |



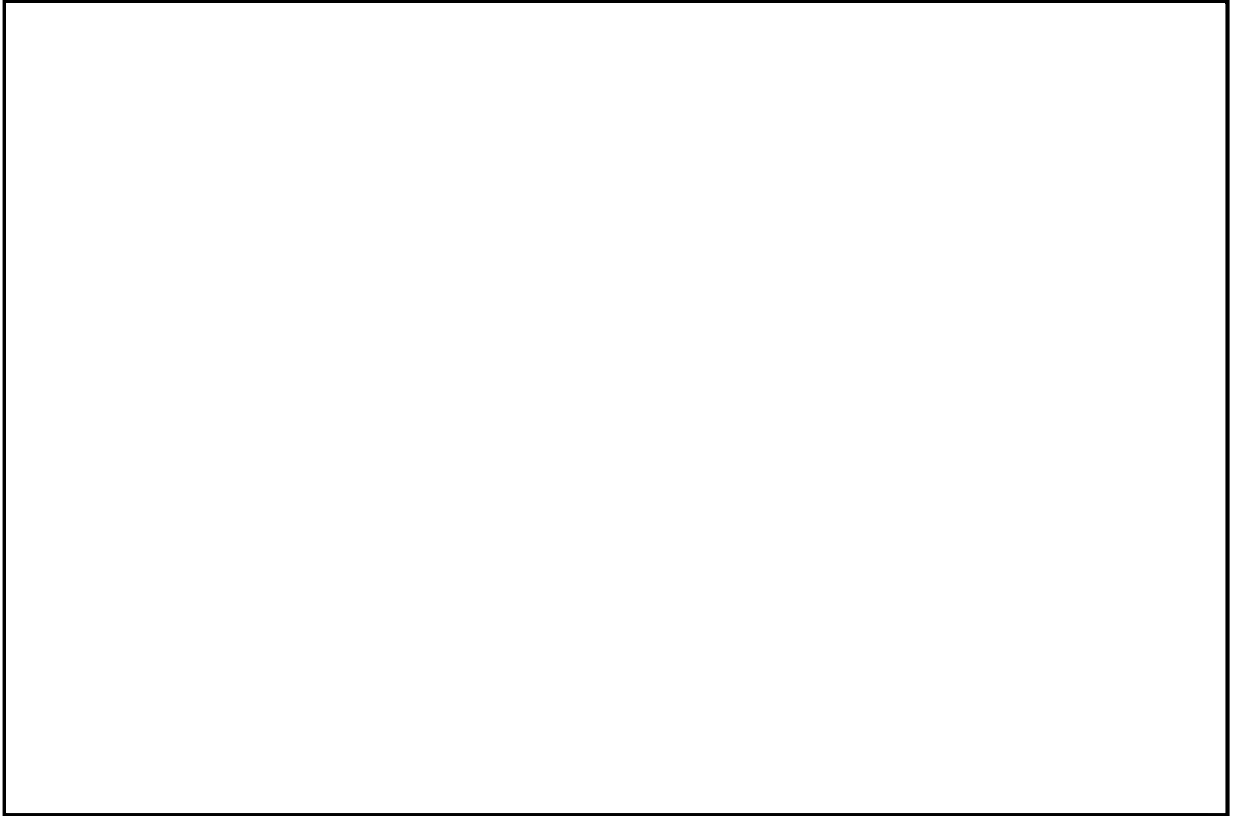
第 5.3-5 図 配管図 (1/6)



第 5.3-5 図 配管図 (2/6)



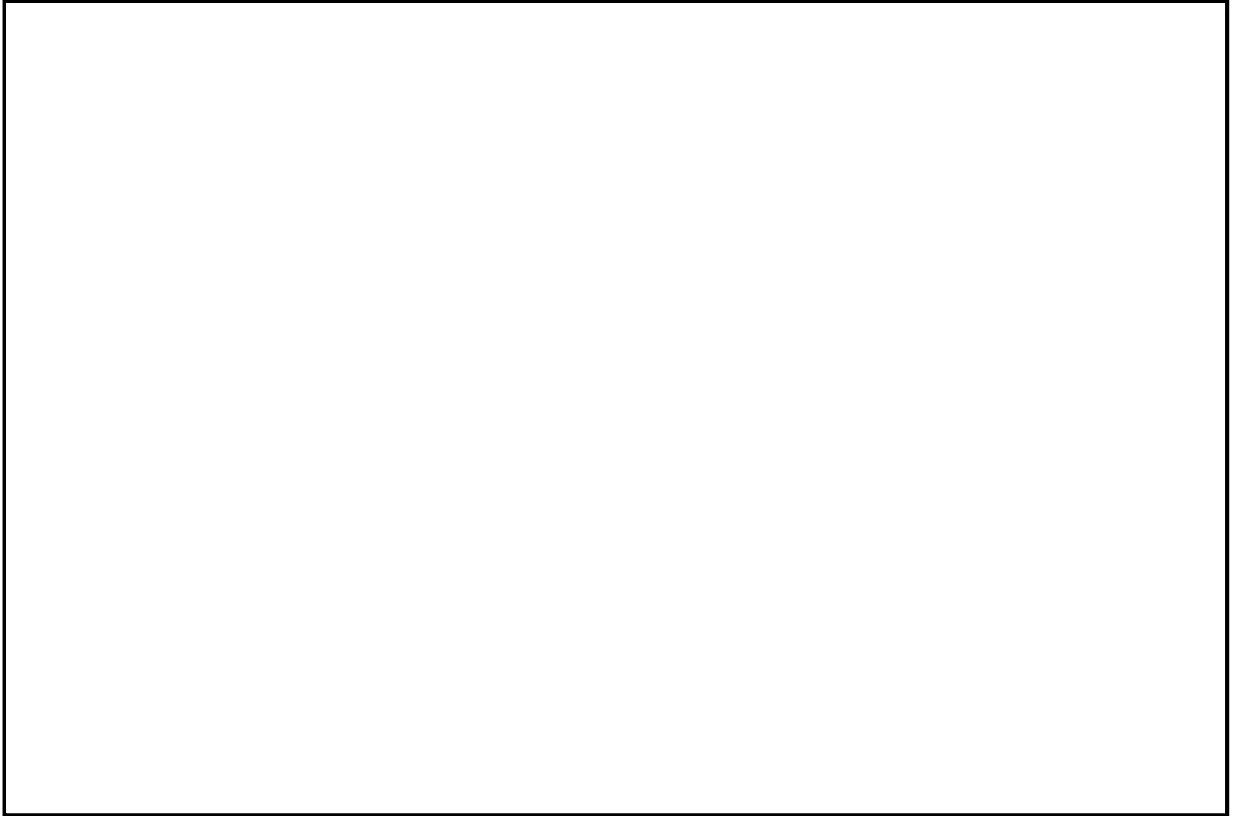
第 5.3-5 図 配管図 (3/6)



第 5.3-5 図 配管図(4/6)



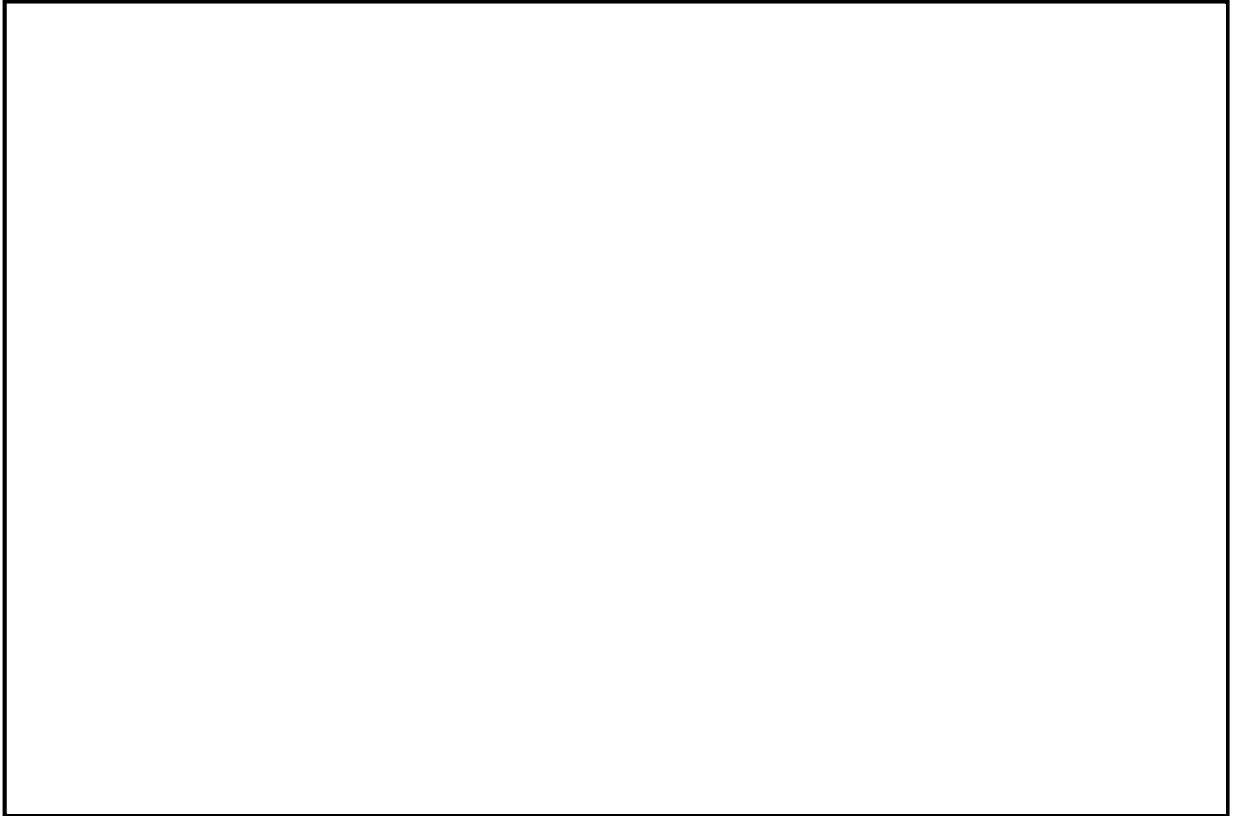
第 5.3-5 図 配管図(5/6)



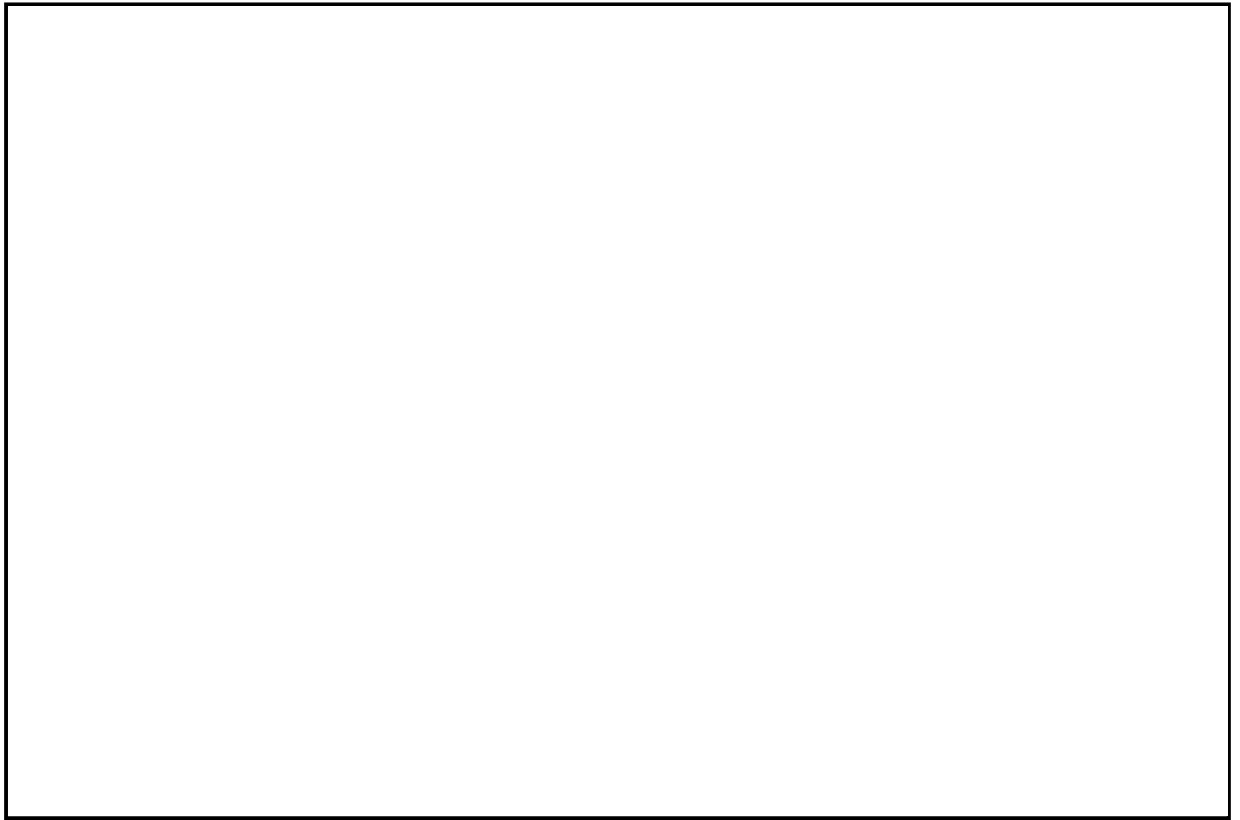
第 5.3-5 図 配管図(6/6)

第 5.3-5 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|------------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X134 | R/B | R-1F-12 | 73 | 111 |



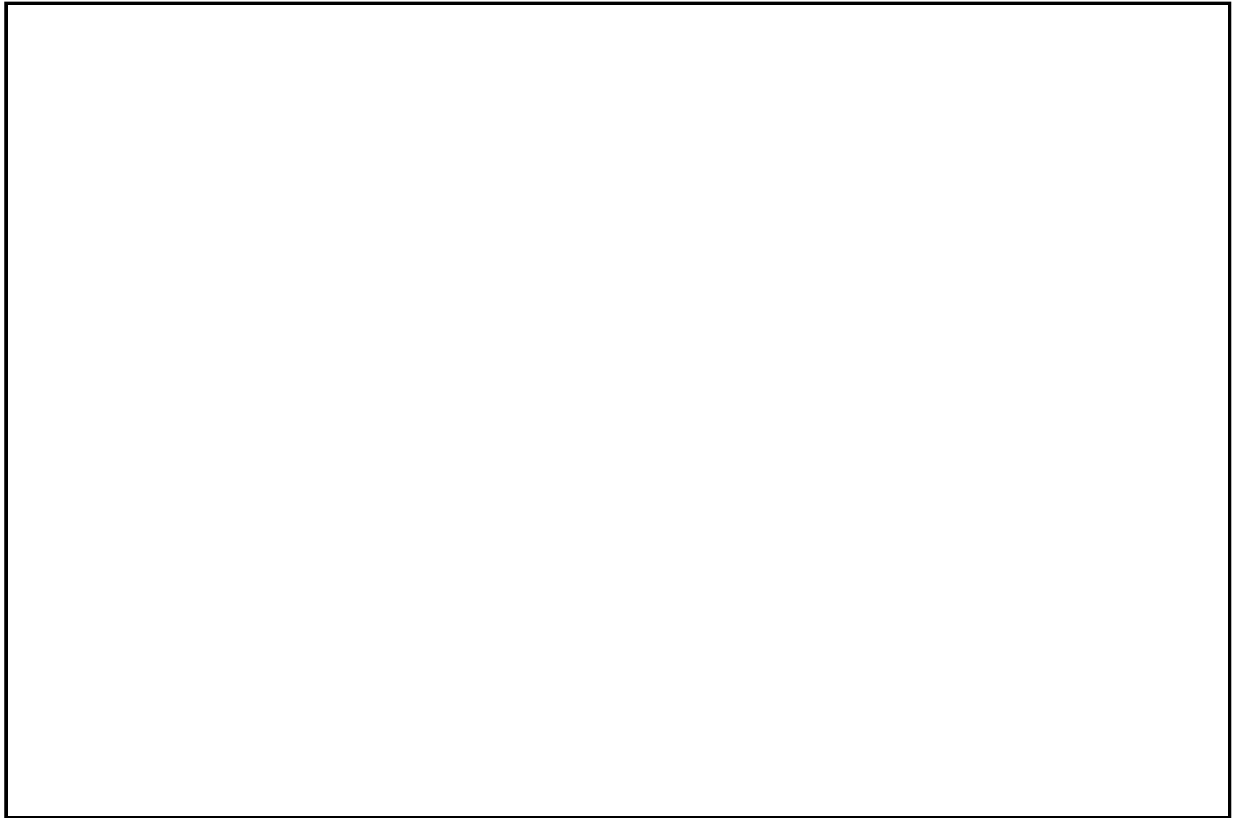
第 5.3-6 図 配管図 (1/4)



第 5.3-6 図 配管図 (2/4)



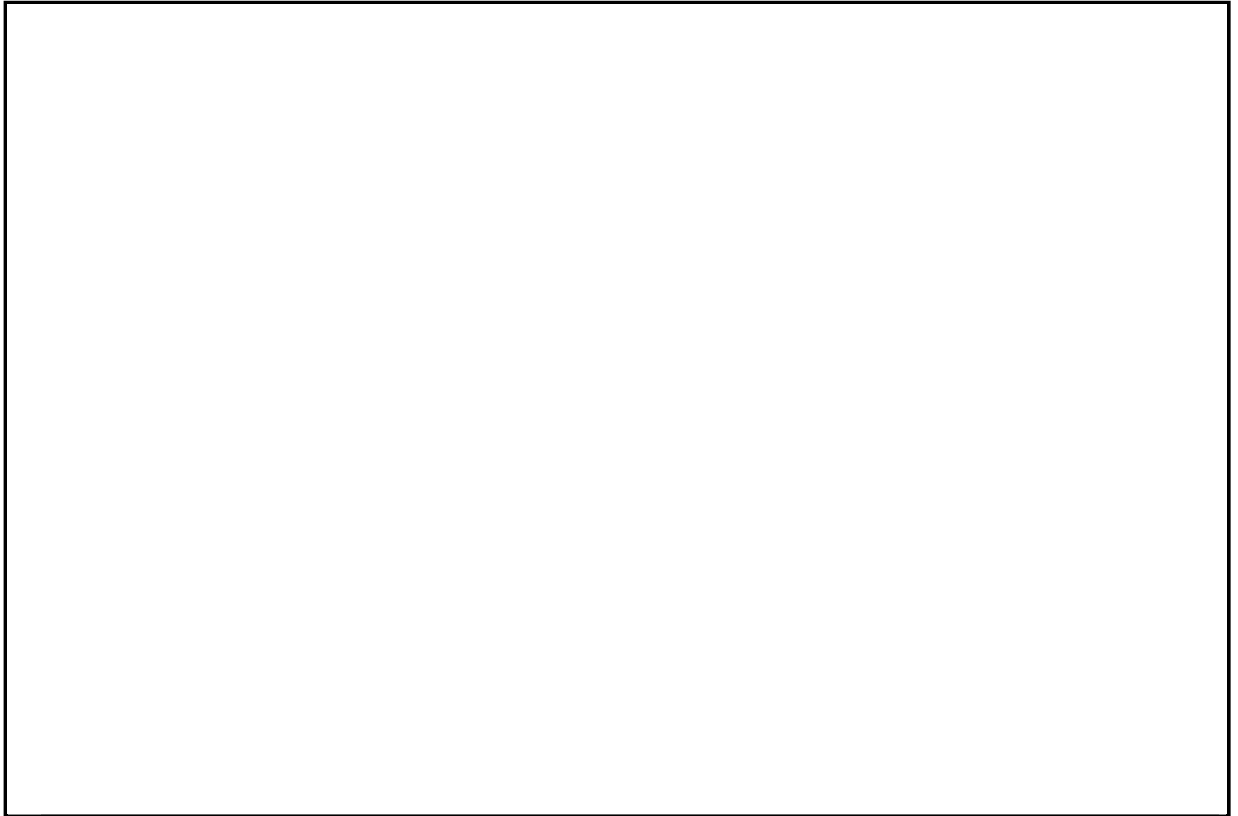
第 5.3-6 図 配管図 (3/4)



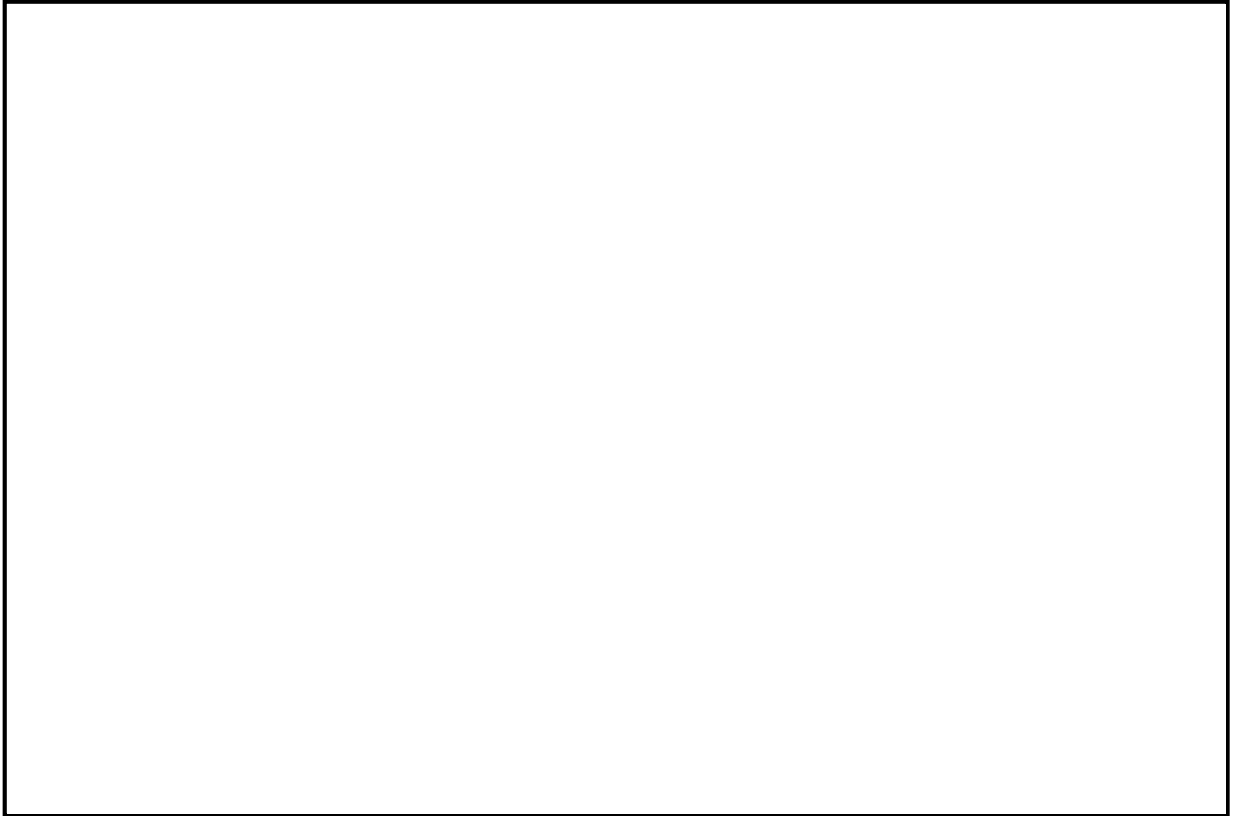
第 5.3-6 図 配管図 (4/4)

第 5.3-6 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

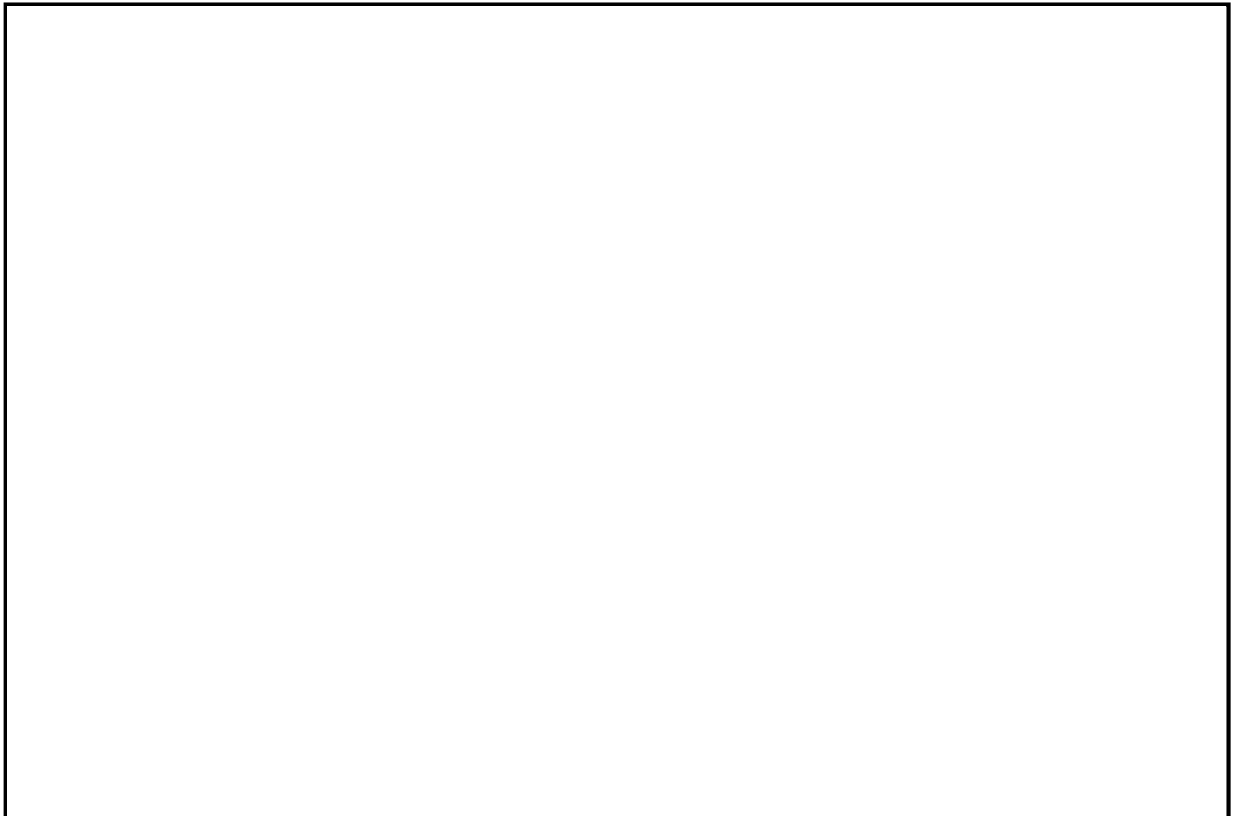
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|------------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X135 | R/B | R-1F-12 | 81 | 111 |



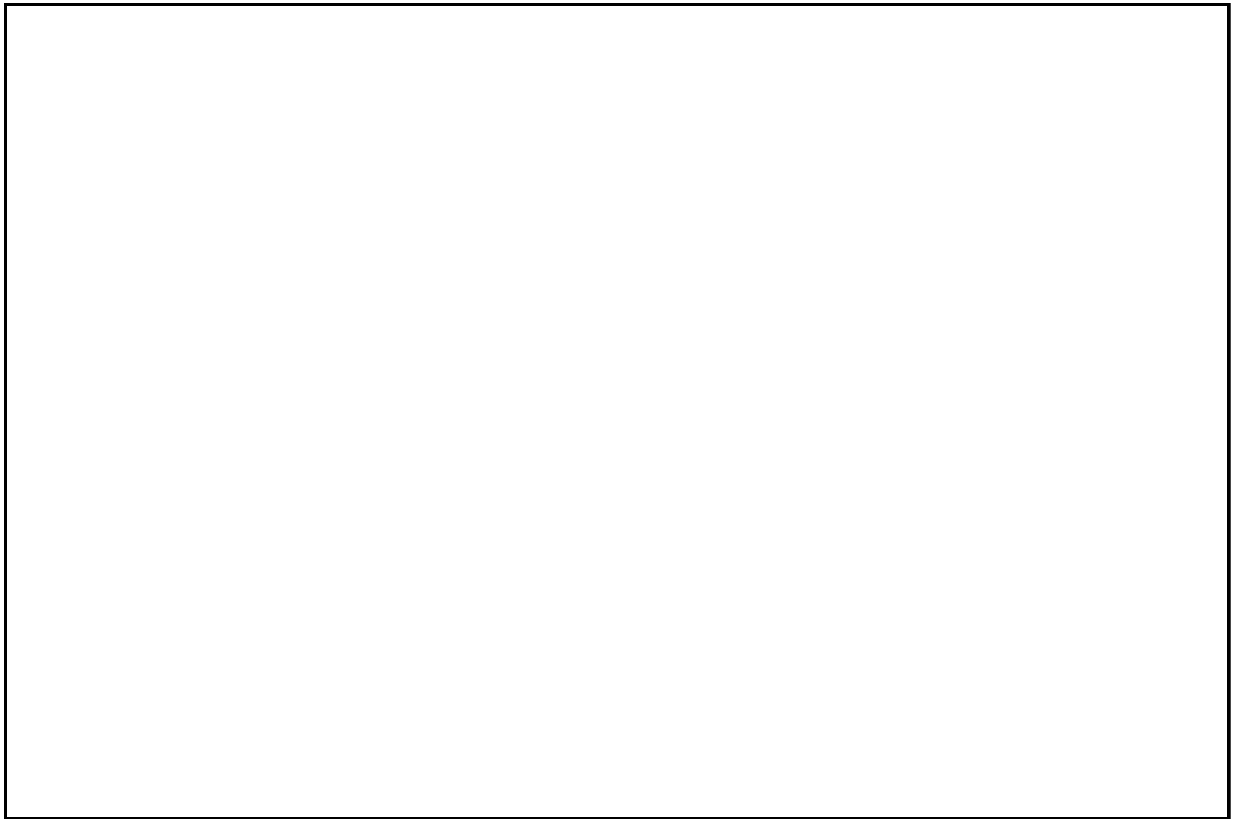
第 5.3-7 図 配管図(1/4)



第 5.3-7 図 配管図(2/4)



第 5.3-7 図 配管図(3/4)



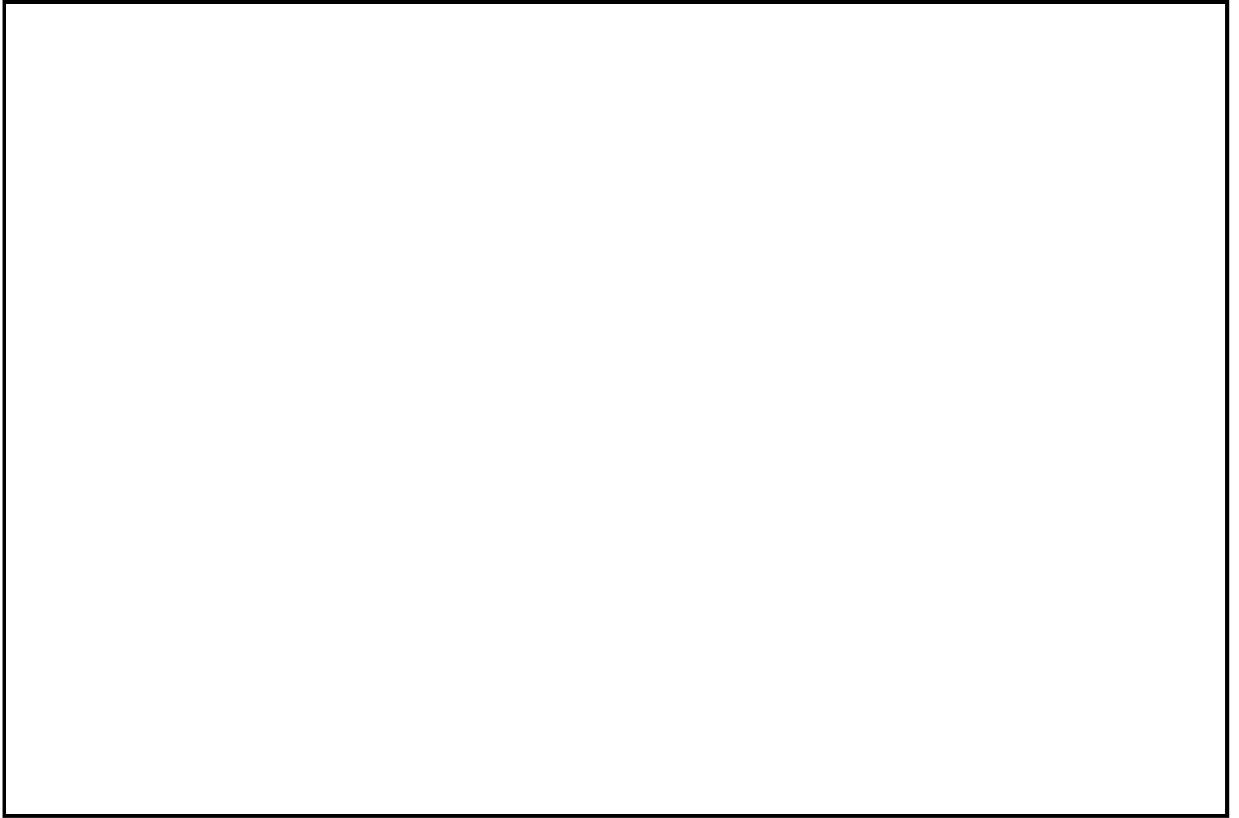
第 5.3-7 図 配管図(4/4)

第 5.3-7 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

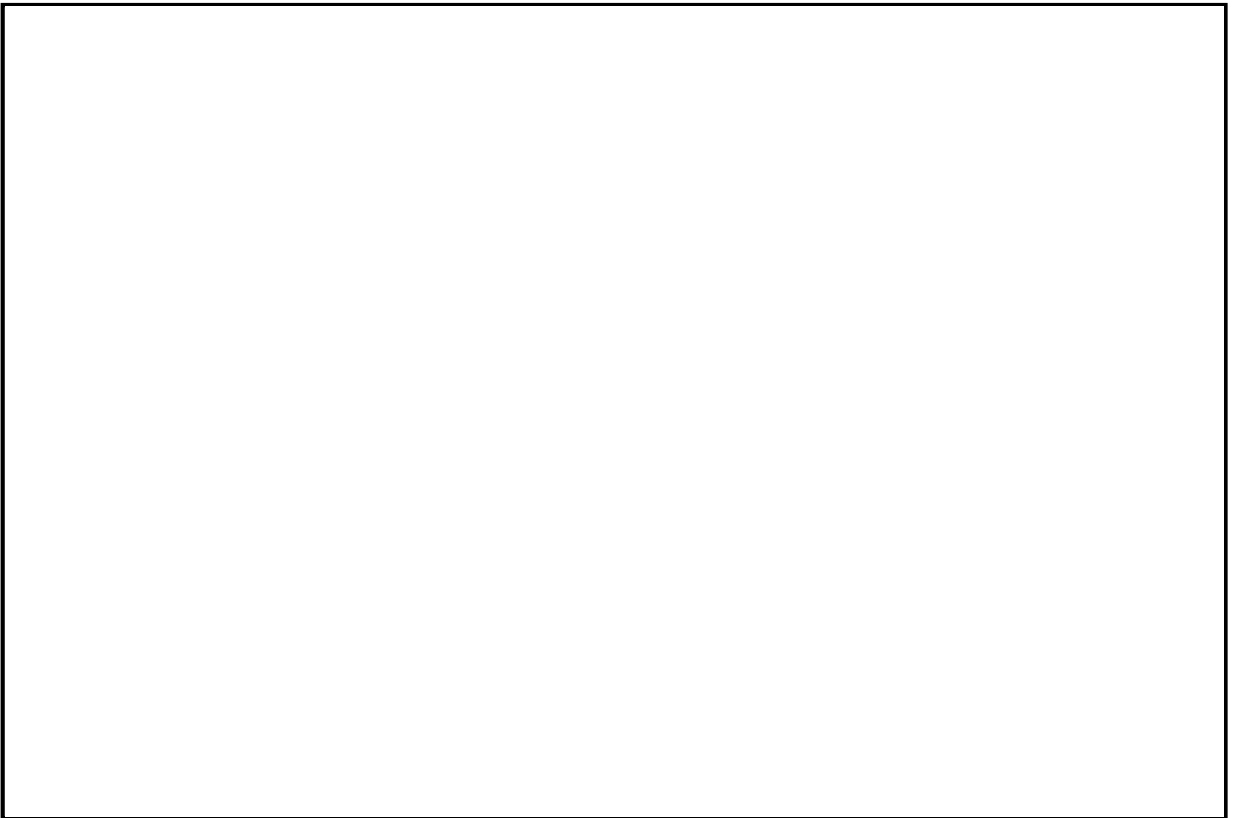
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X140 | R/B | R-3F-4 | 110 | 111 |



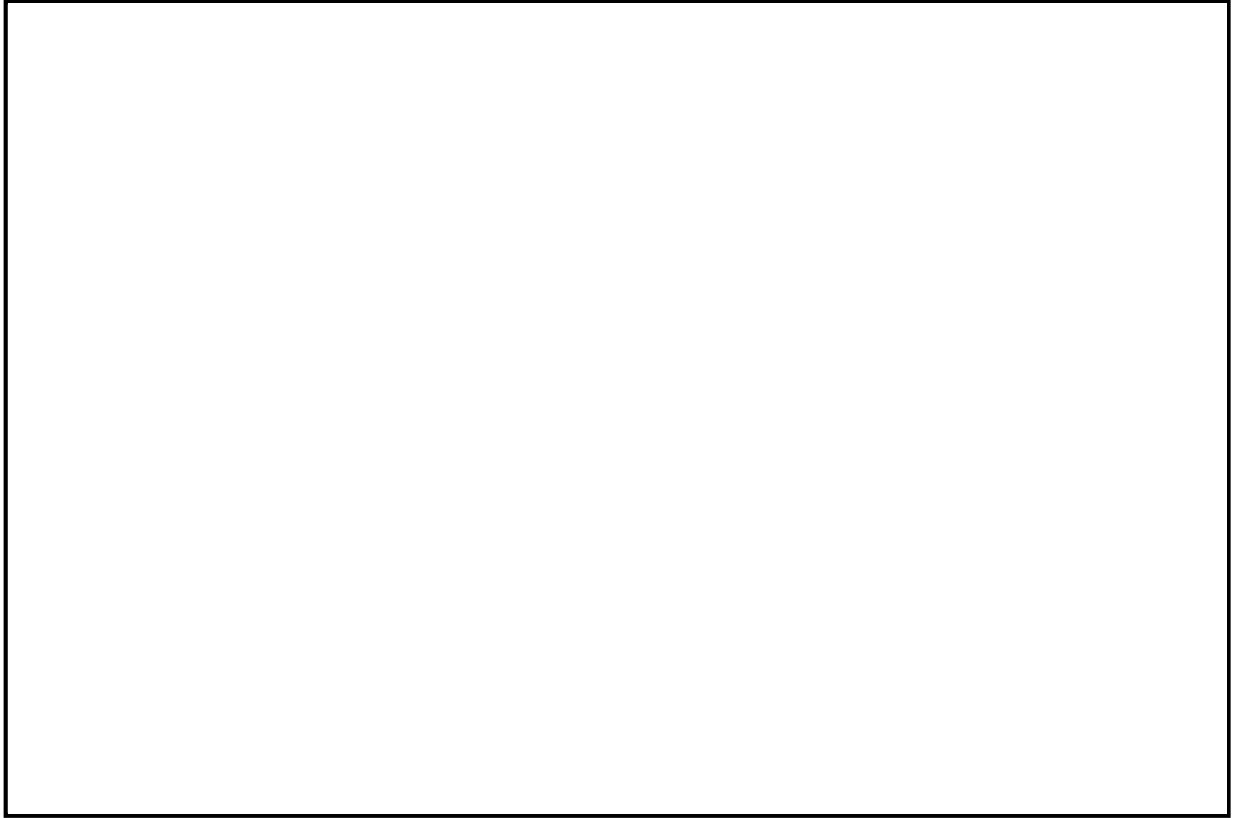
第 5.3-8 図 配管図 (1/4)



第 5.3-8 図 配管図(2/4)



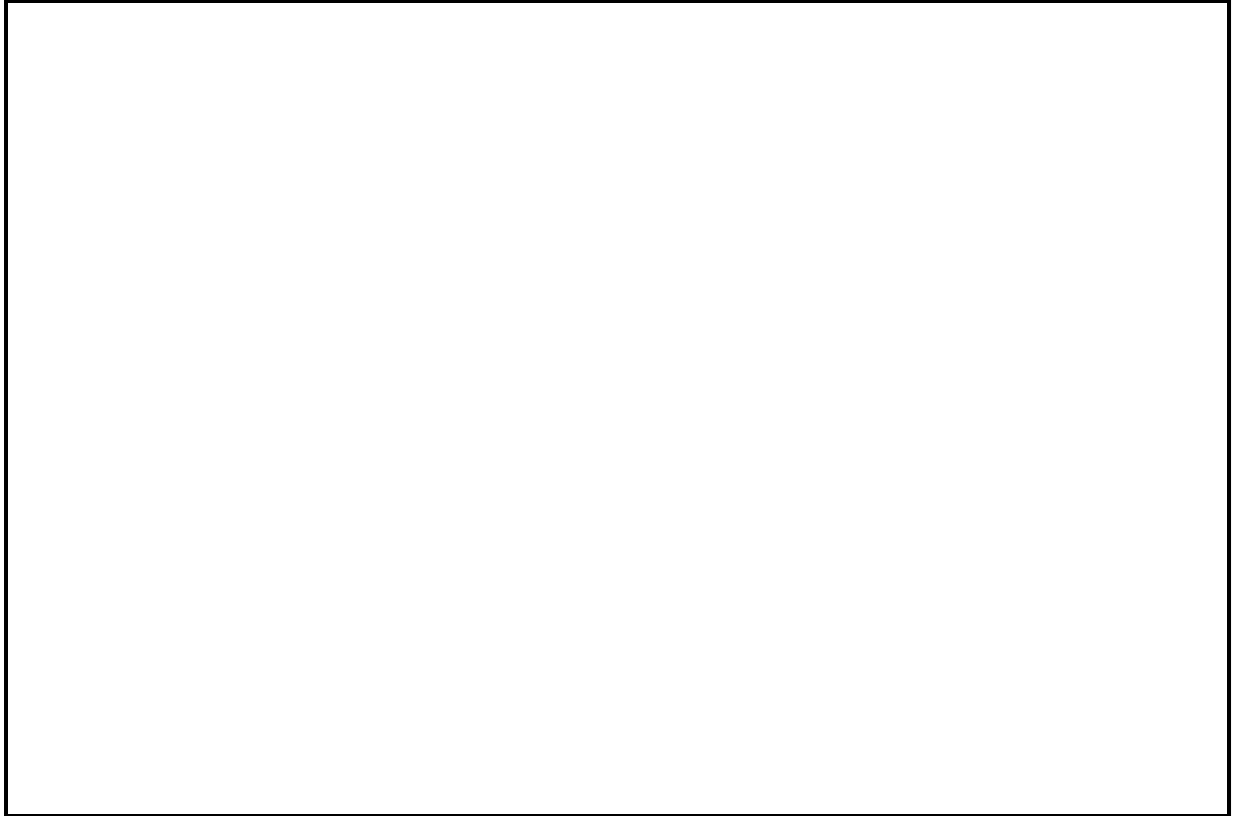
第 5.3-8 図 配管図(3/4)



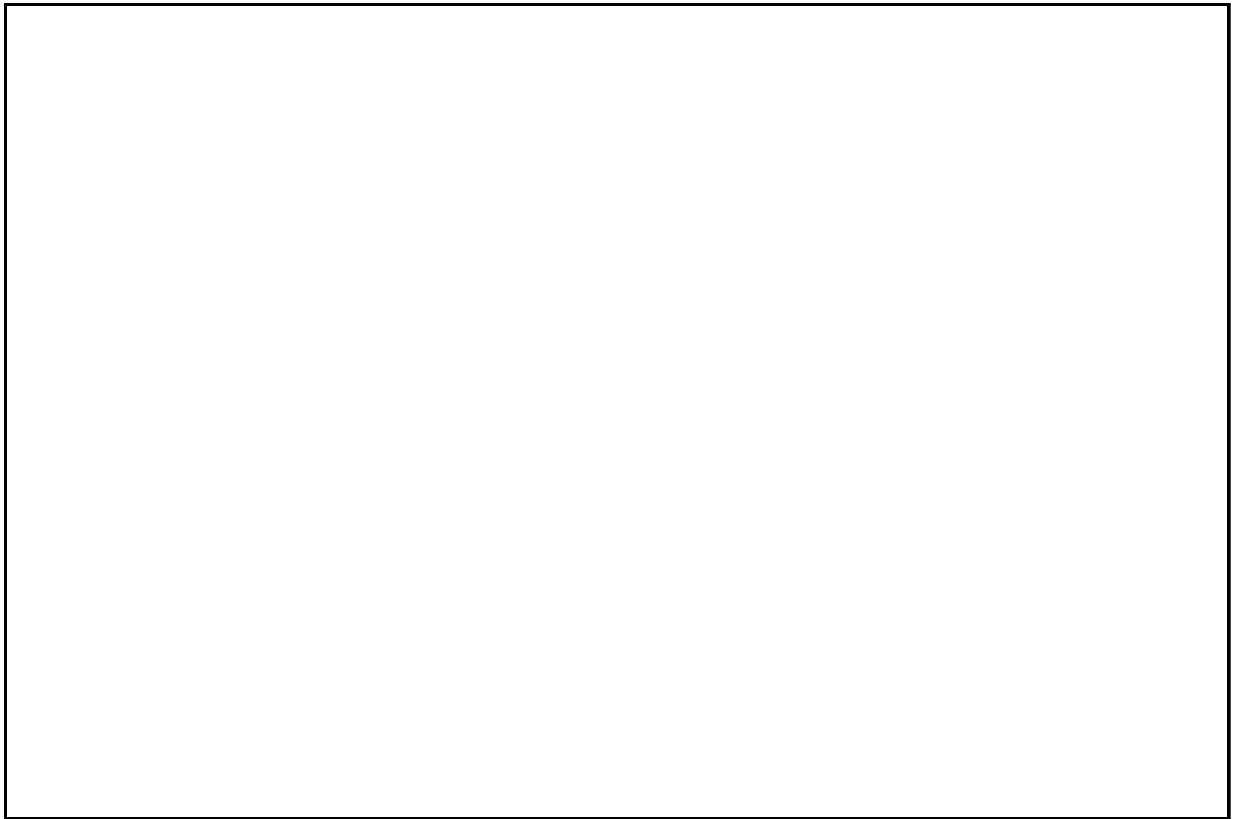
第 5.3-8 図 配管図(4/4)

第 5.3-8 表 応力評価結果 (3次元はりモデルによる評価)

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X215 | R/B | R-3F-4 | 95 | 111 |



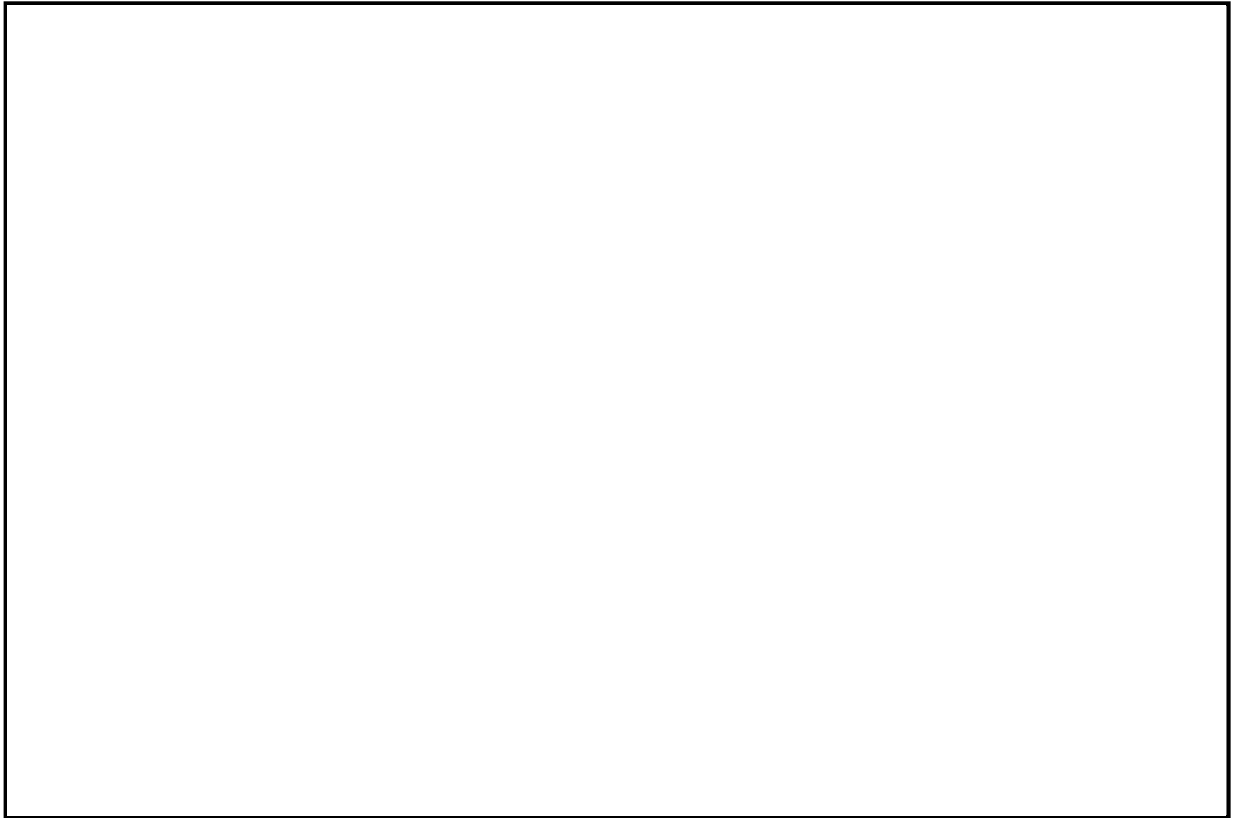
第 5.3-9 図 配管図(1/4)



第 5.3-9 図 配管図(2/4)



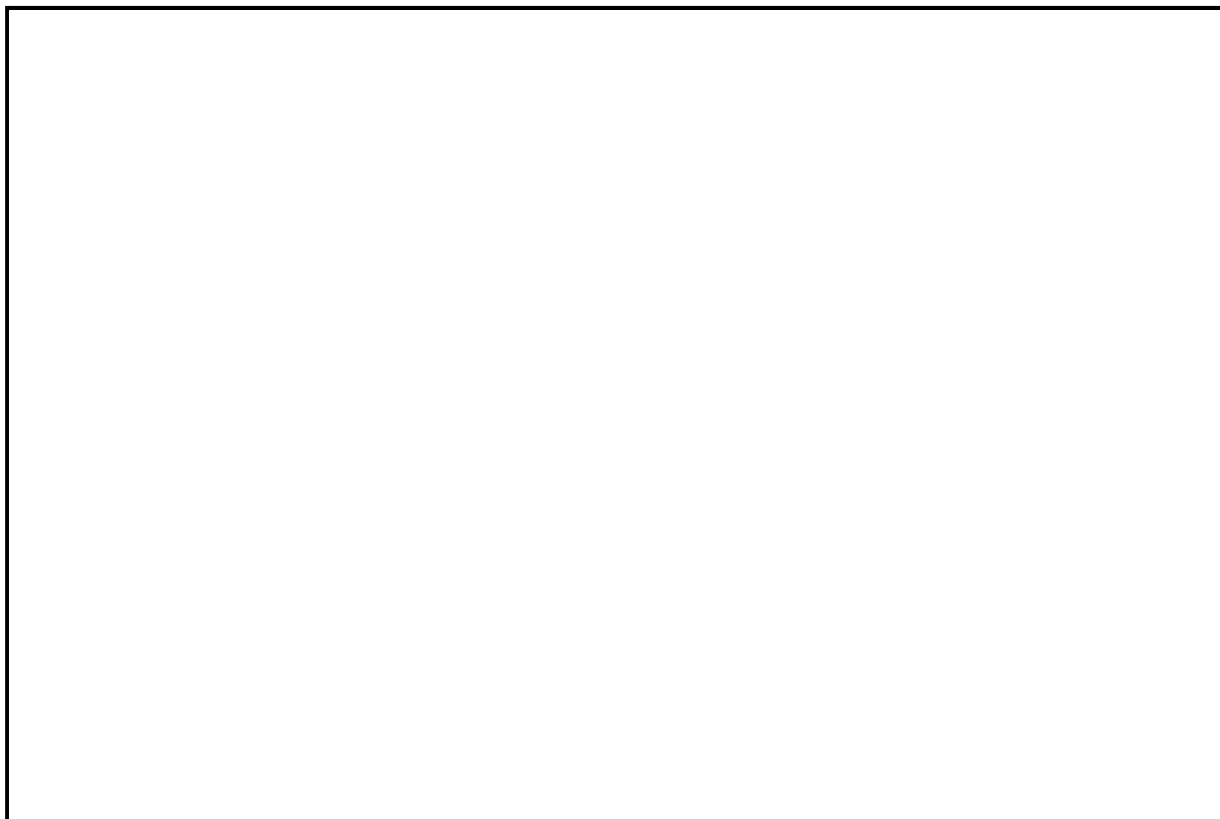
第 5.3-9 図 配管図(3/4)



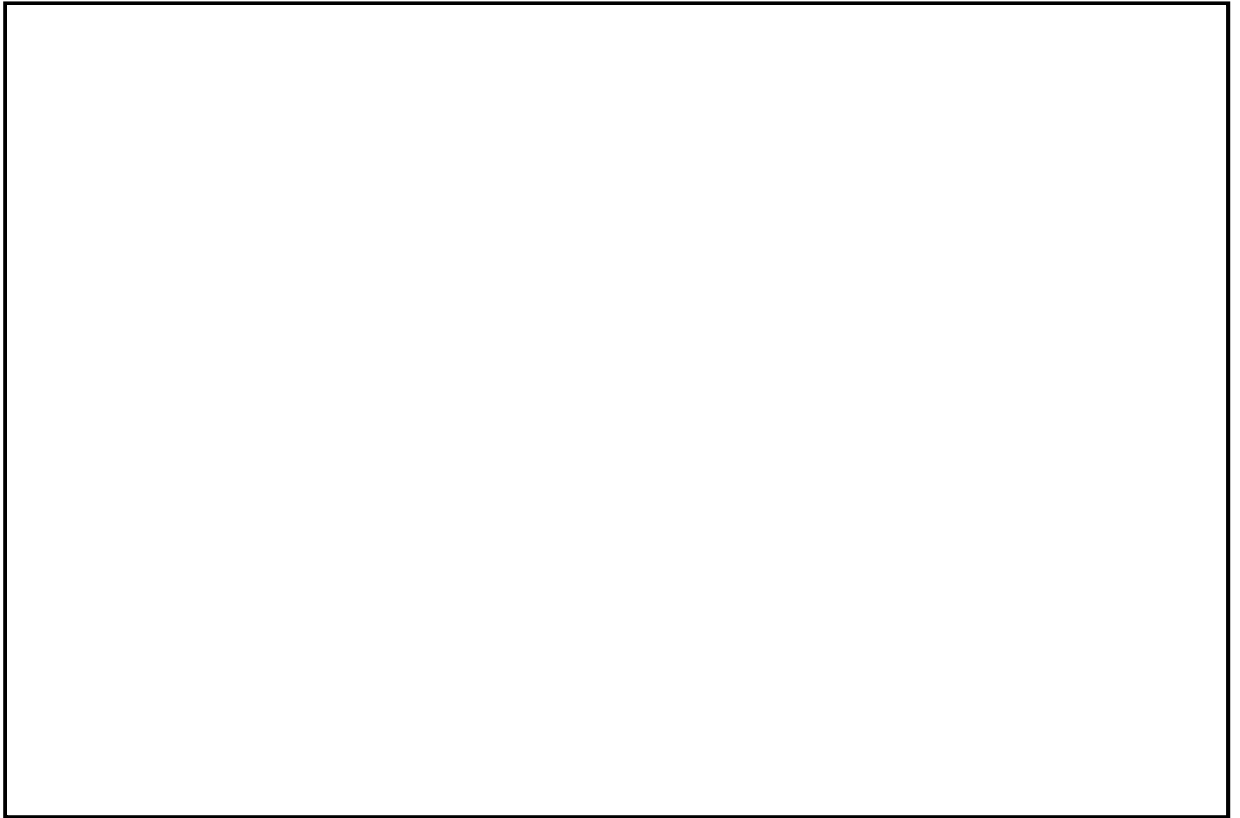
第 5.3-9 図 配管図(4/4)

第 5.3-9 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|-------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X1049 | R/B | R-3F-4 | 39 | 111 |



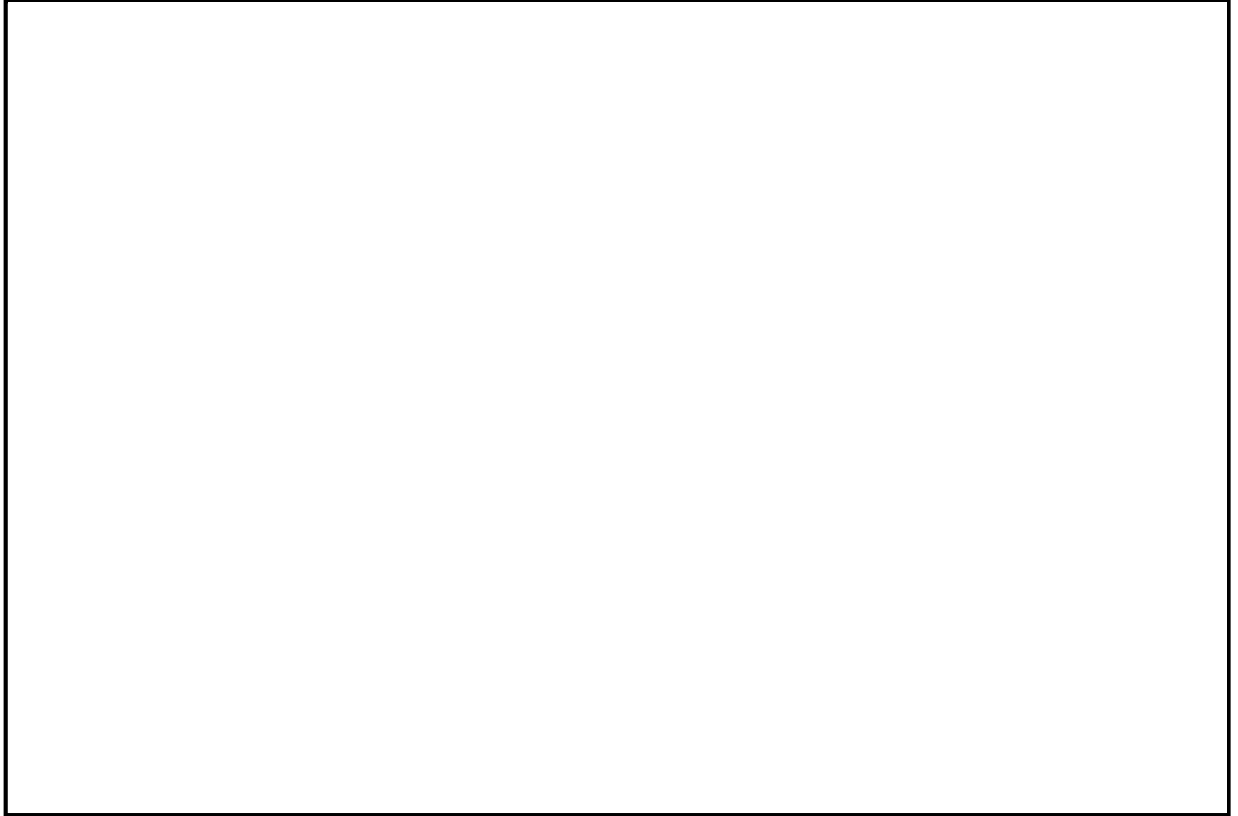
第 5.3-10 図 配管図(1/2)



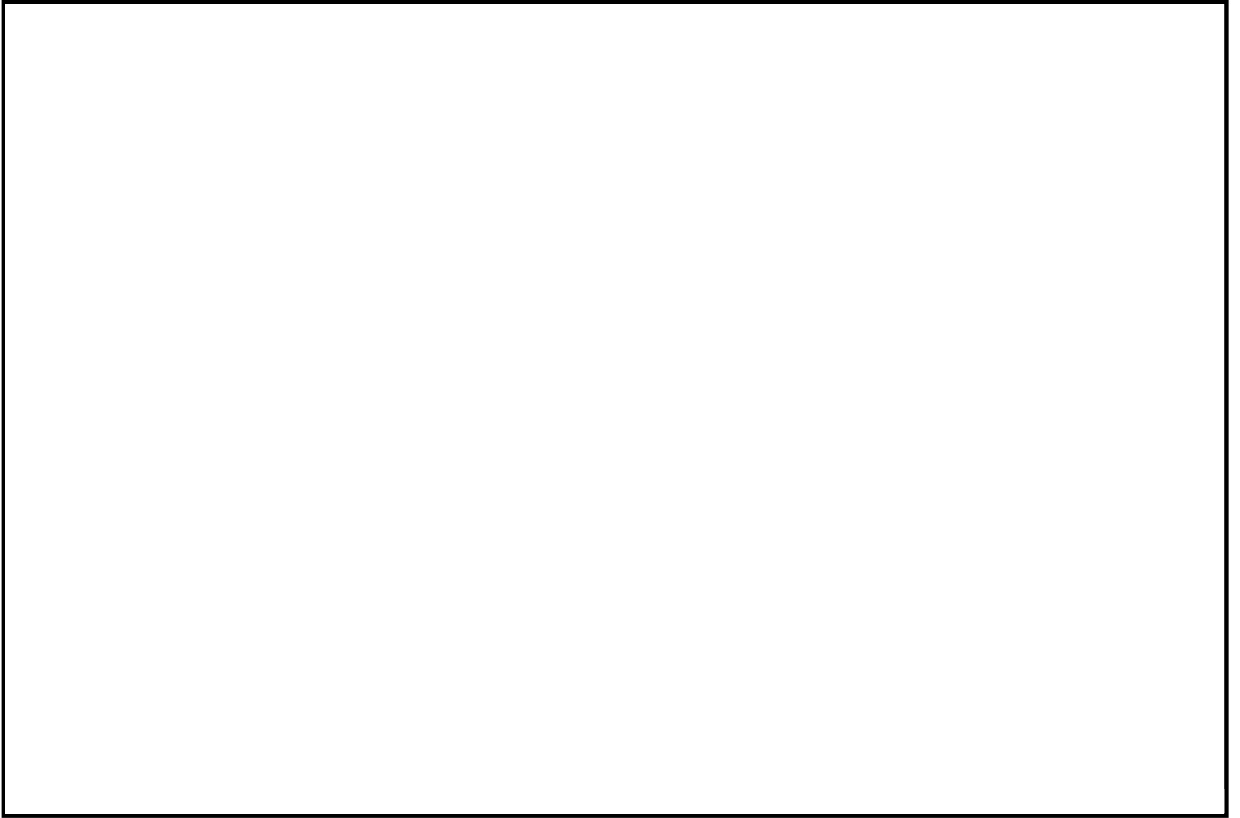
第 5.3-10 図 配管図(2/2)

第 5.3-10 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|-------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X1050 | R/B | R-3F-4 | 66 | 111 |



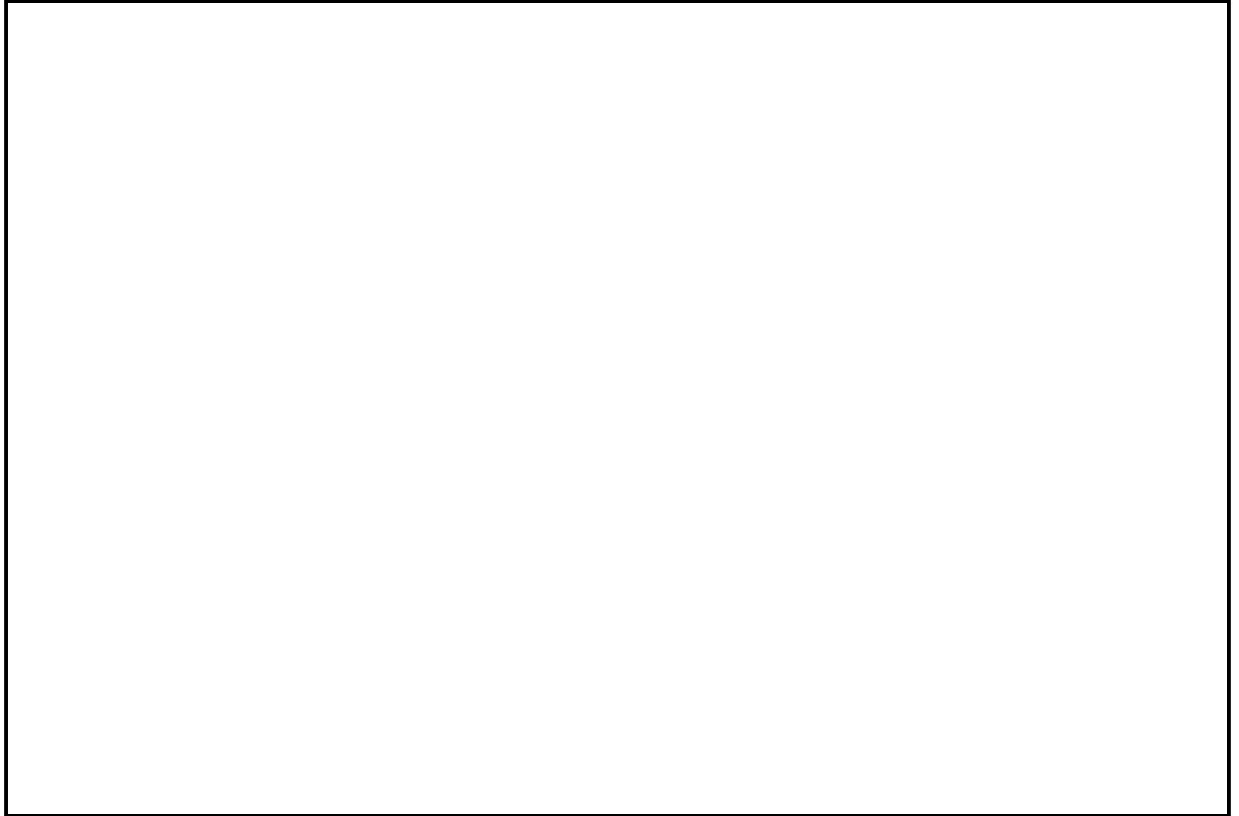
第 5.3-11 図 配管図(1/2)



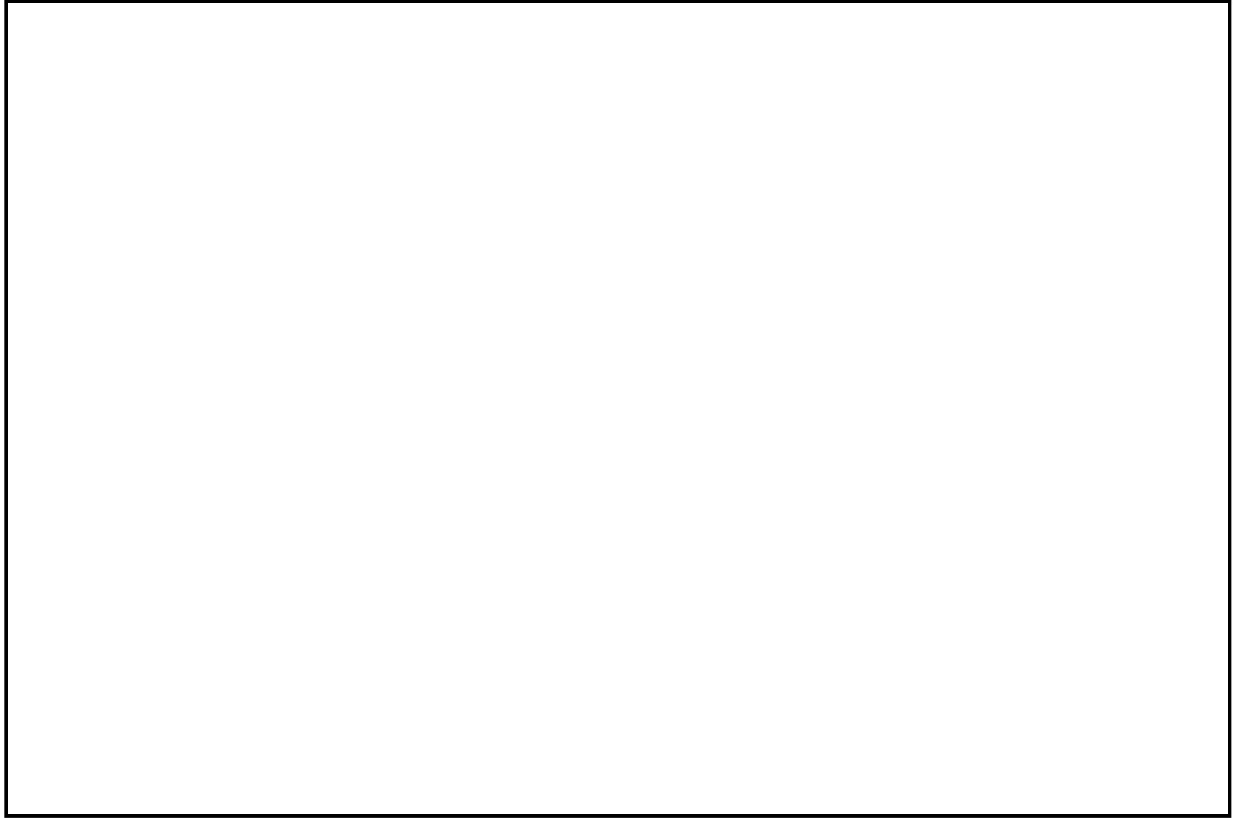
第 5.3-11 図 配管図(2/2)

第 5.3-11 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|-------------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X1134 | R/B | R-1F-12 | 64 | 111 |



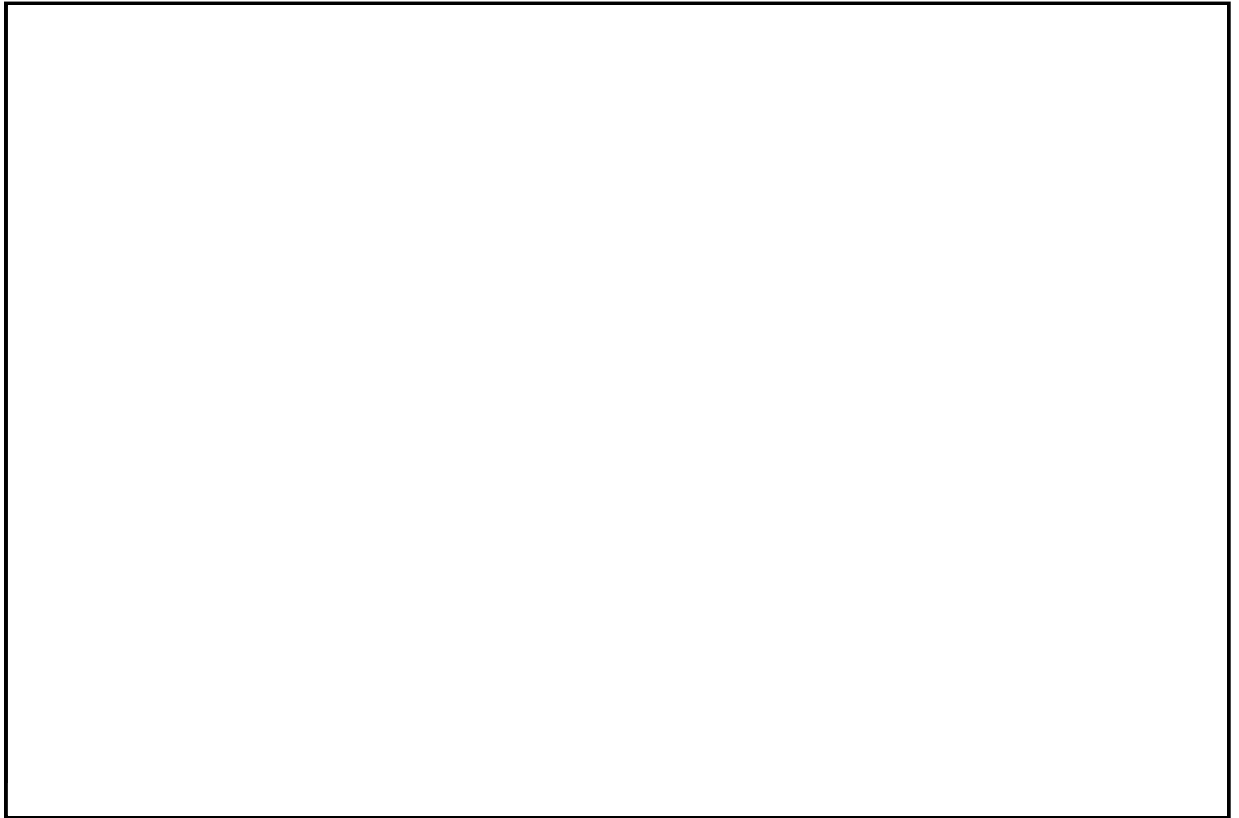
第 5.3-12 図 配管図(1/2)



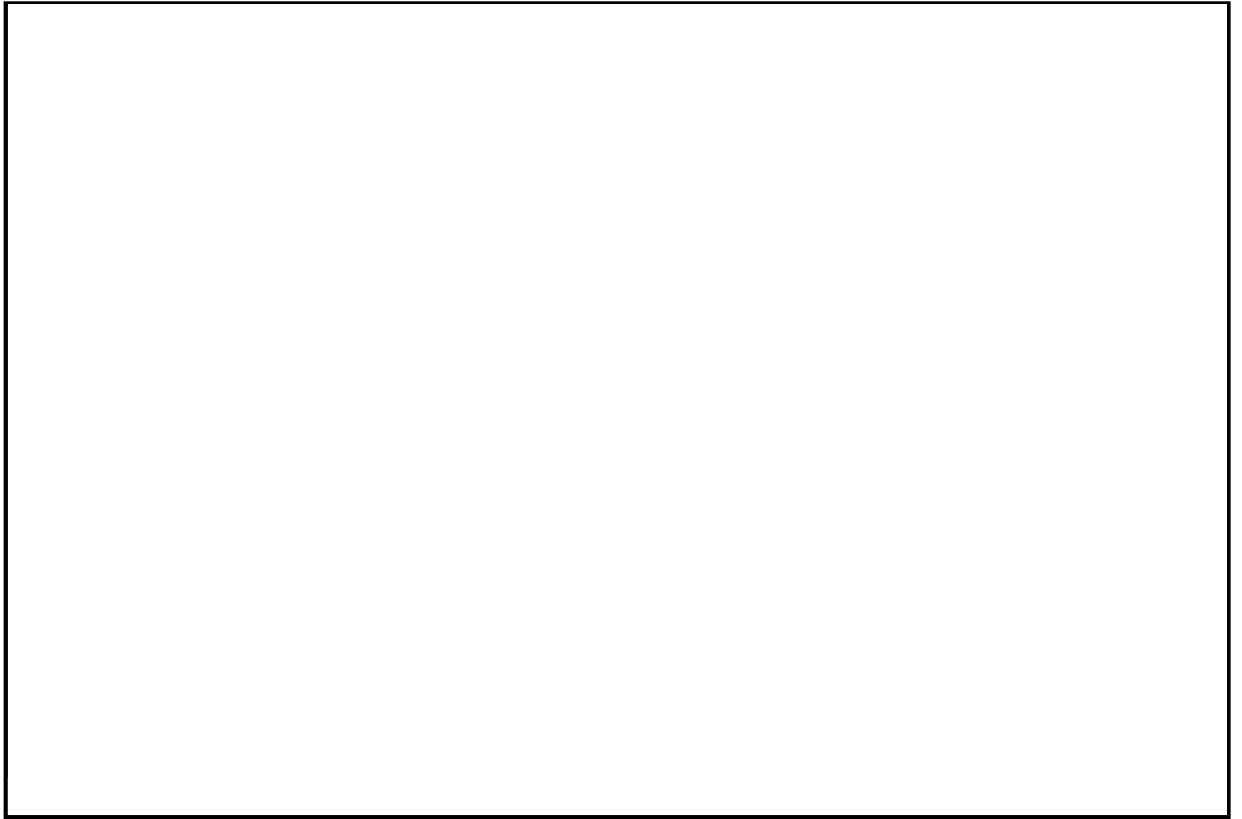
第 5.3-12 図 配管図(2/2)

第 5.3-12 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|-------------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X1135 | R/B | R-1F-12 | 55 | 111 |



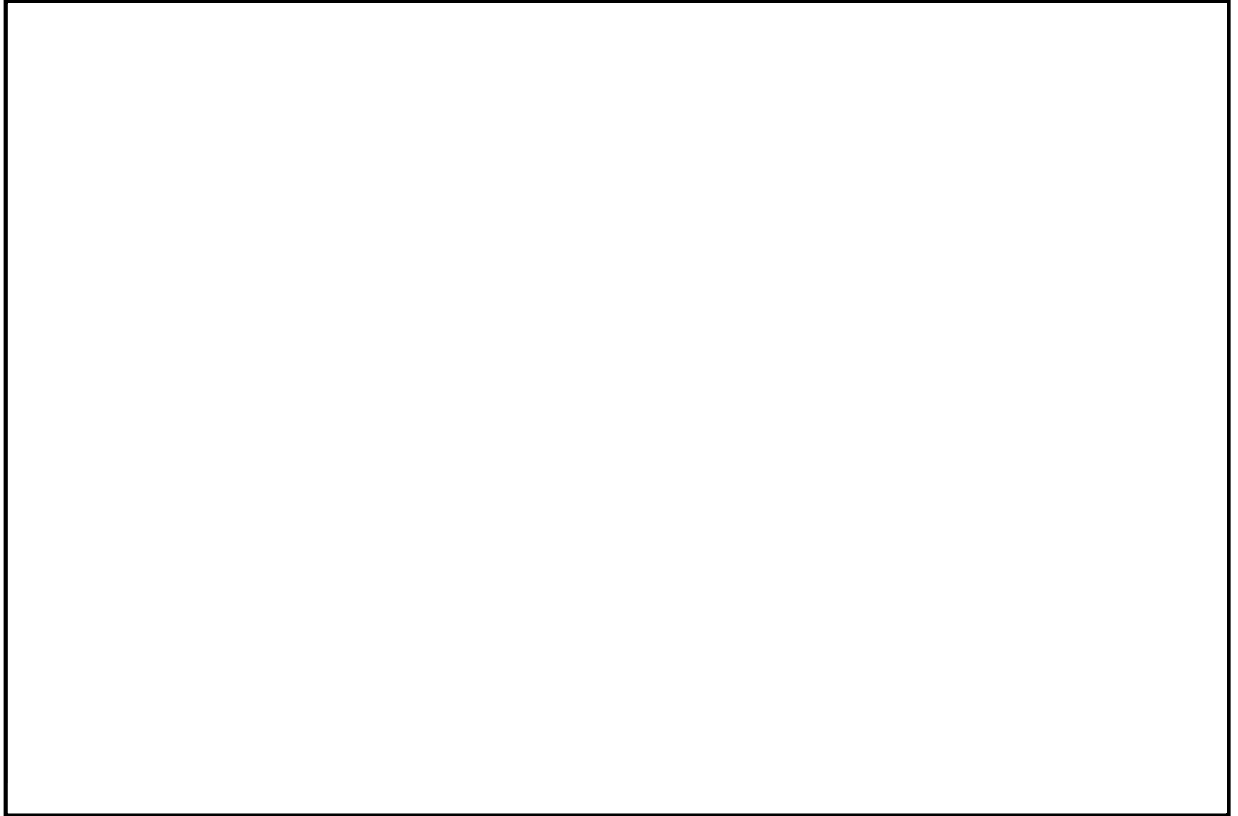
第 5.3-13 図 配管図(1/2)



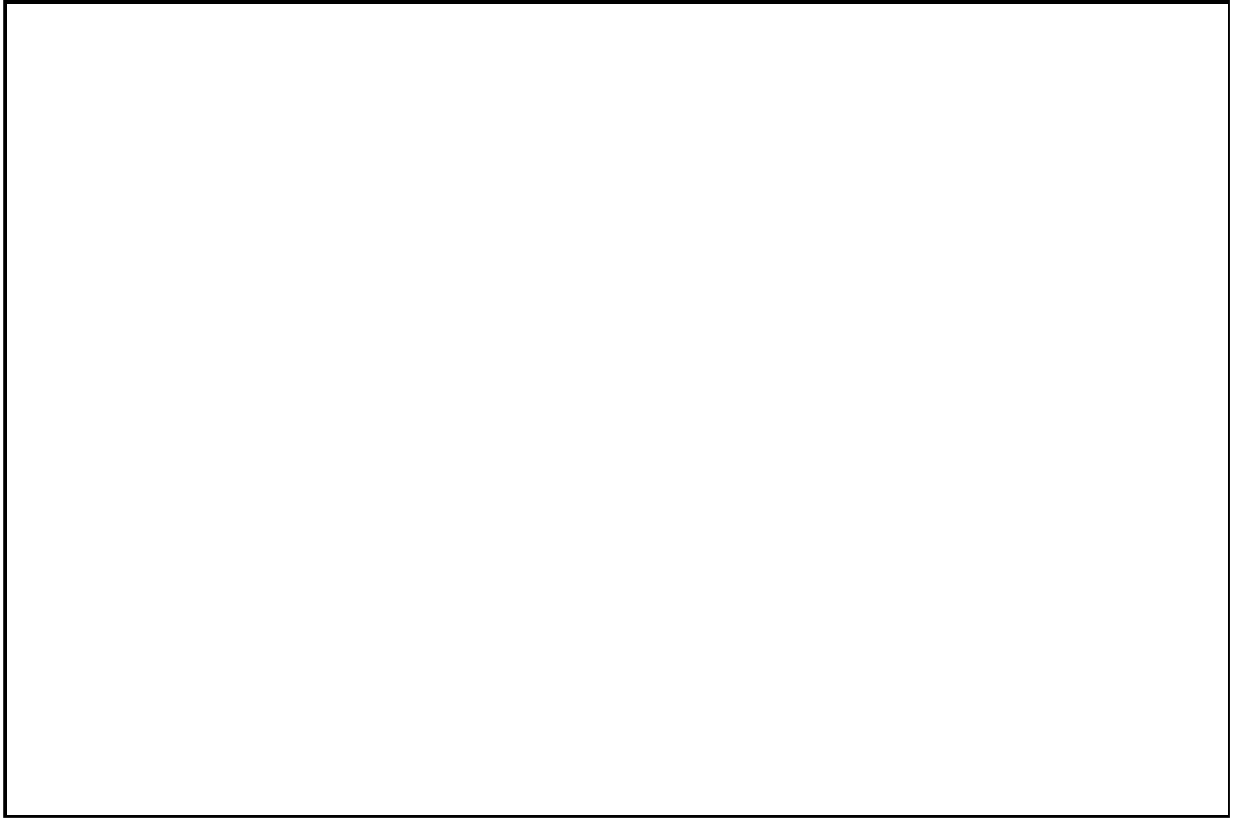
第 5.3-13 図 配管図(2/2)

第 5.3-13 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|-------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X1136 | R/B | R-3F-4 | 78 | 111 |



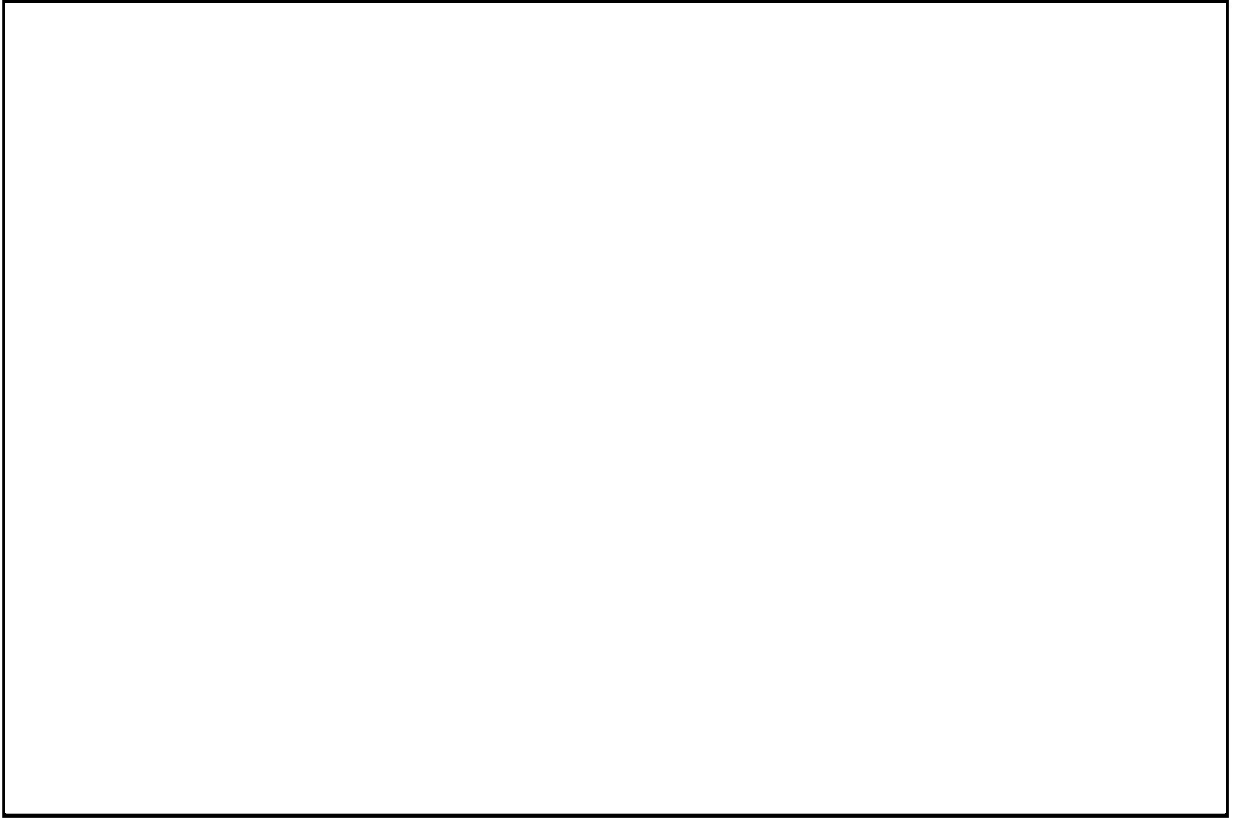
第 5.3-14 図 配管図(1/4)



第 5.3-14 図 配管図(2/4)



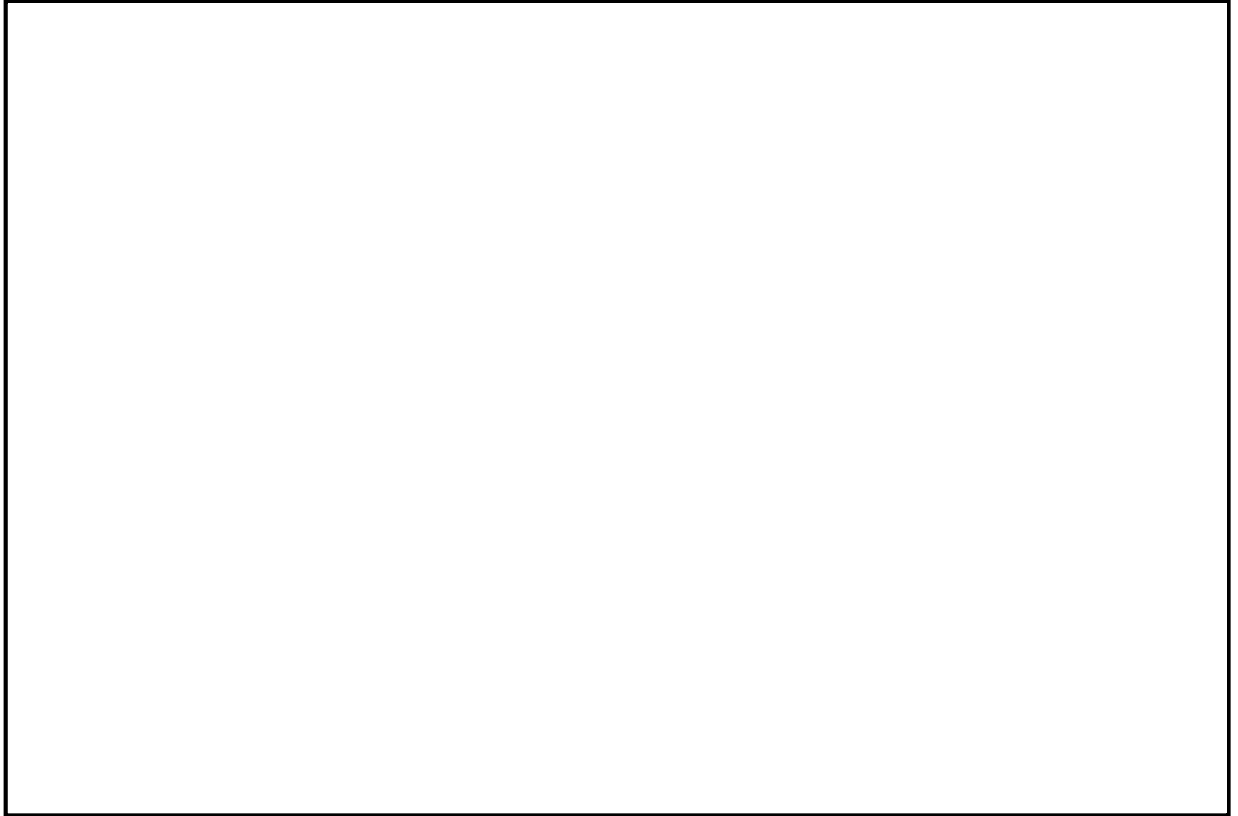
第 5.3-14 図 配管図(3/4)



第 5.3-14 図 配管図(4/4)

第 5.3-14 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|-------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-R-X1143 | R/B | R-3F-4 | 77 | 111 |



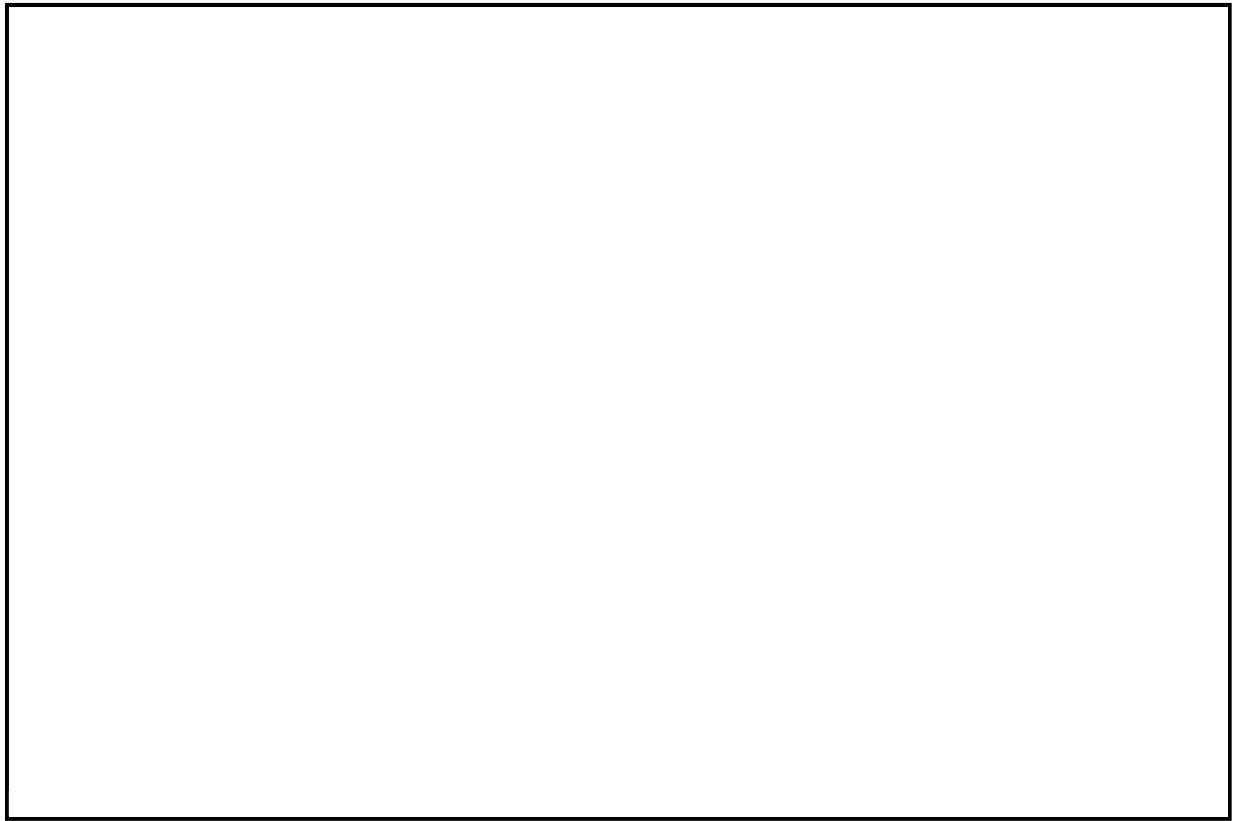
第 5.3-15 図 配管図(1/4)



第 5.3-15 図 配管図(2/4)



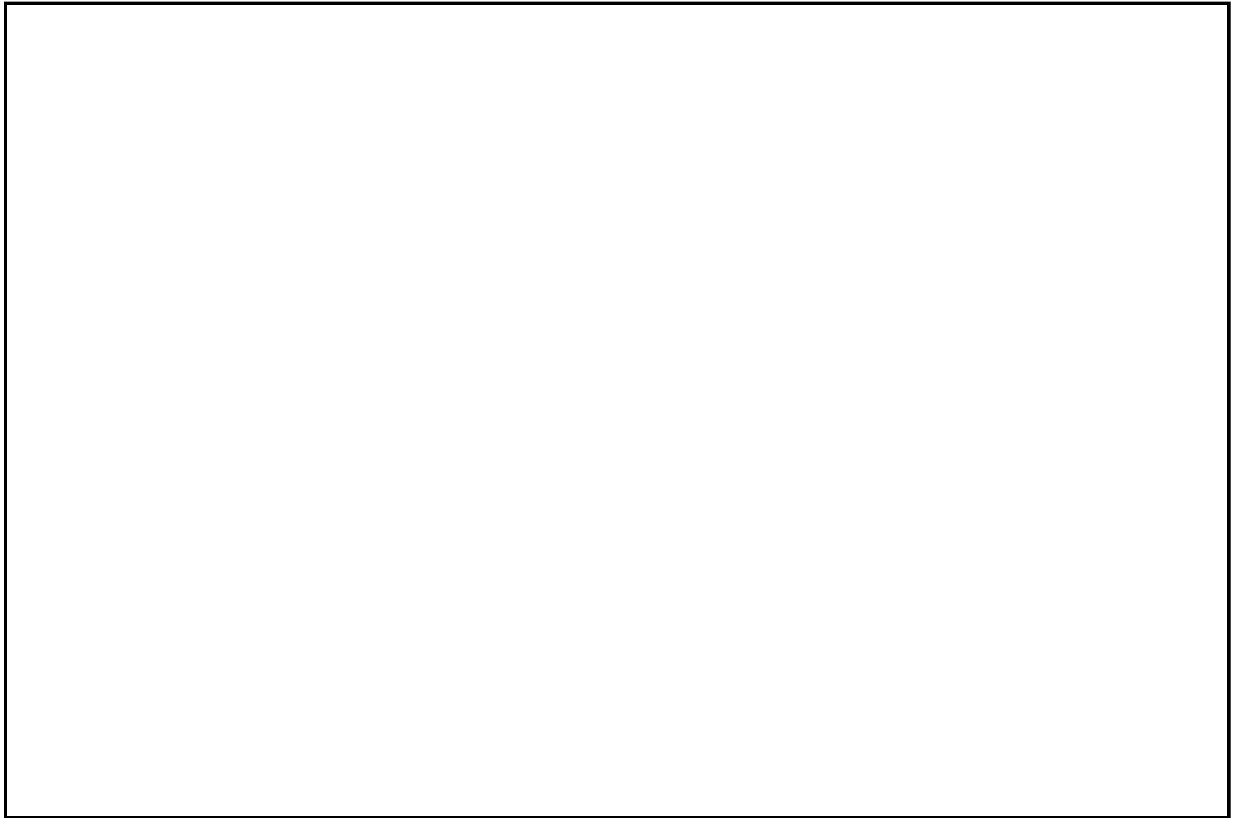
第 5.3-15 図 配管図(3/4)



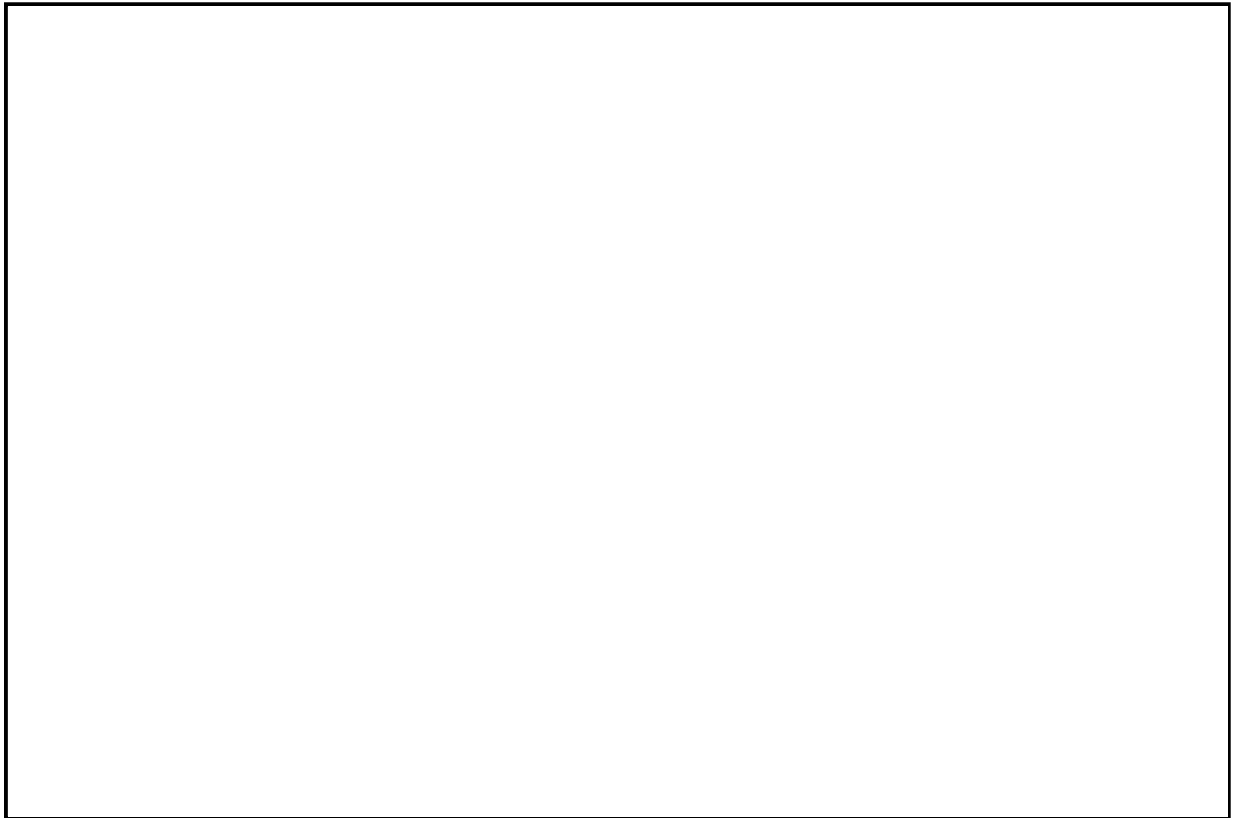
第 5.3-15 図 配管図(4/4)

第 5.3-15 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

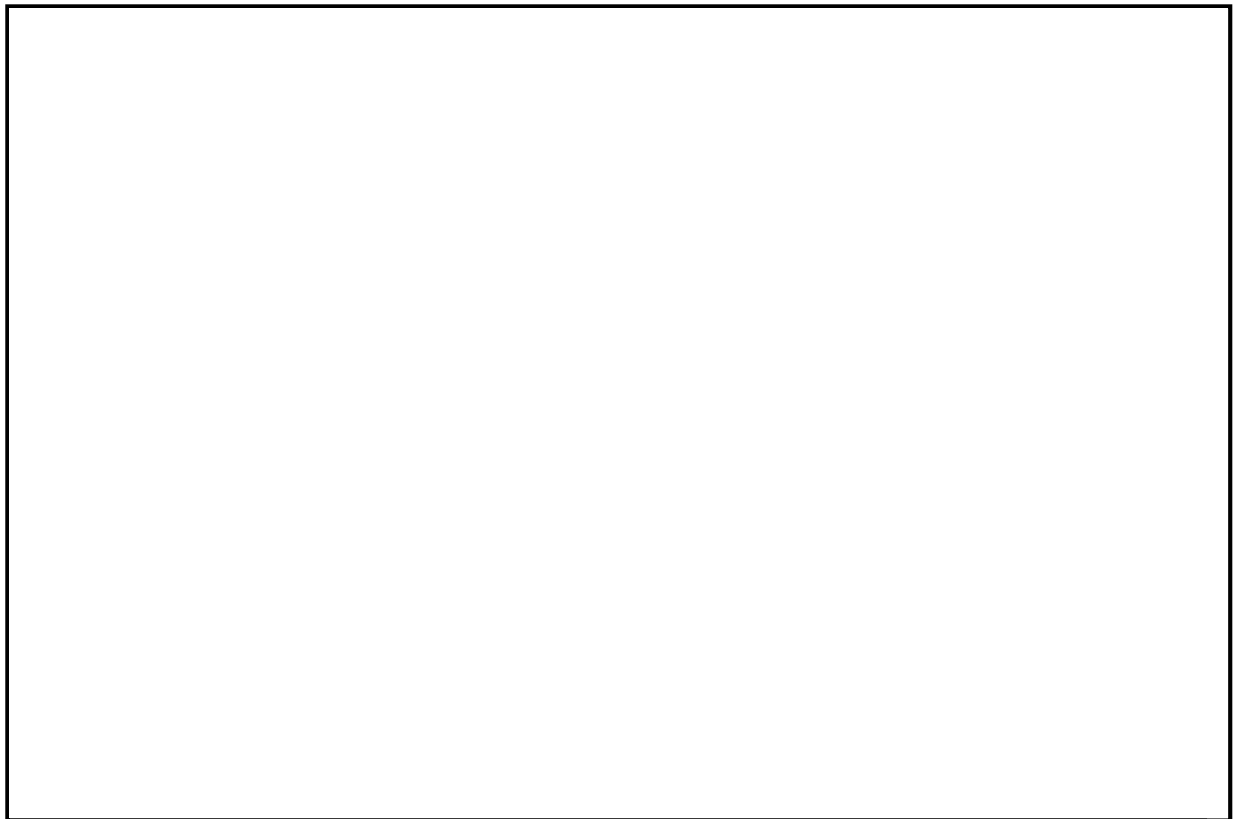
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-H-1 | T/B | T-1F-4① | 80 | 111 |
| | | | T-B2-2 | | |



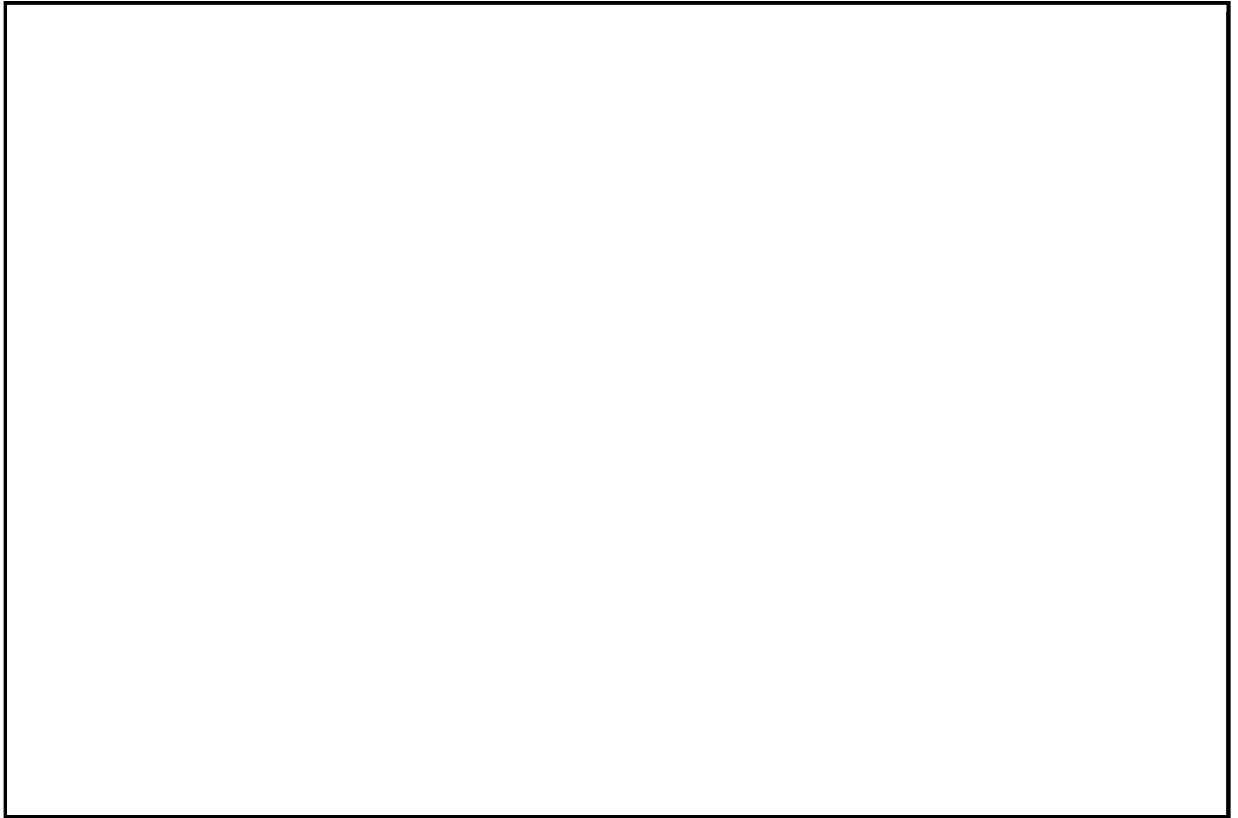
第 5.3-16 図 配管図(1/7)



第 5.3-16 図 配管図(2/7)



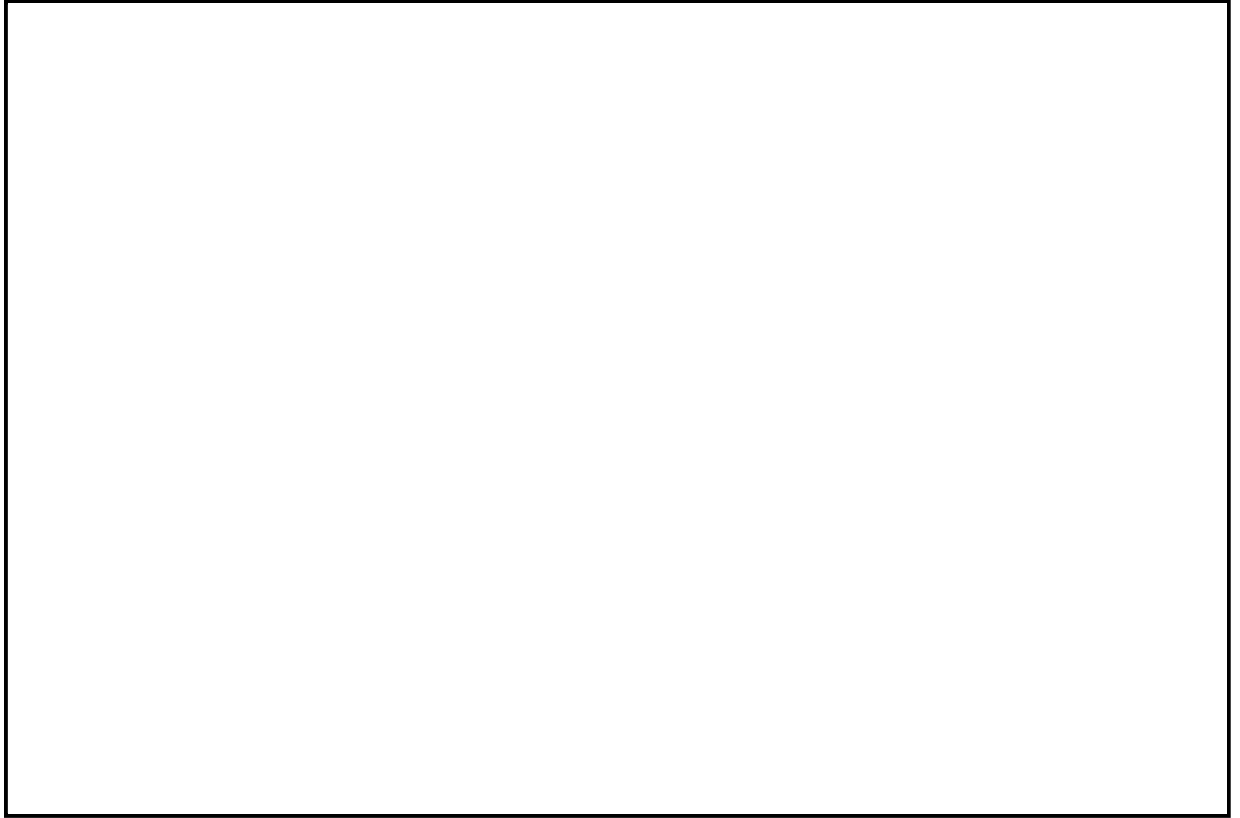
第 5.3-16 図 配管図(3/7)



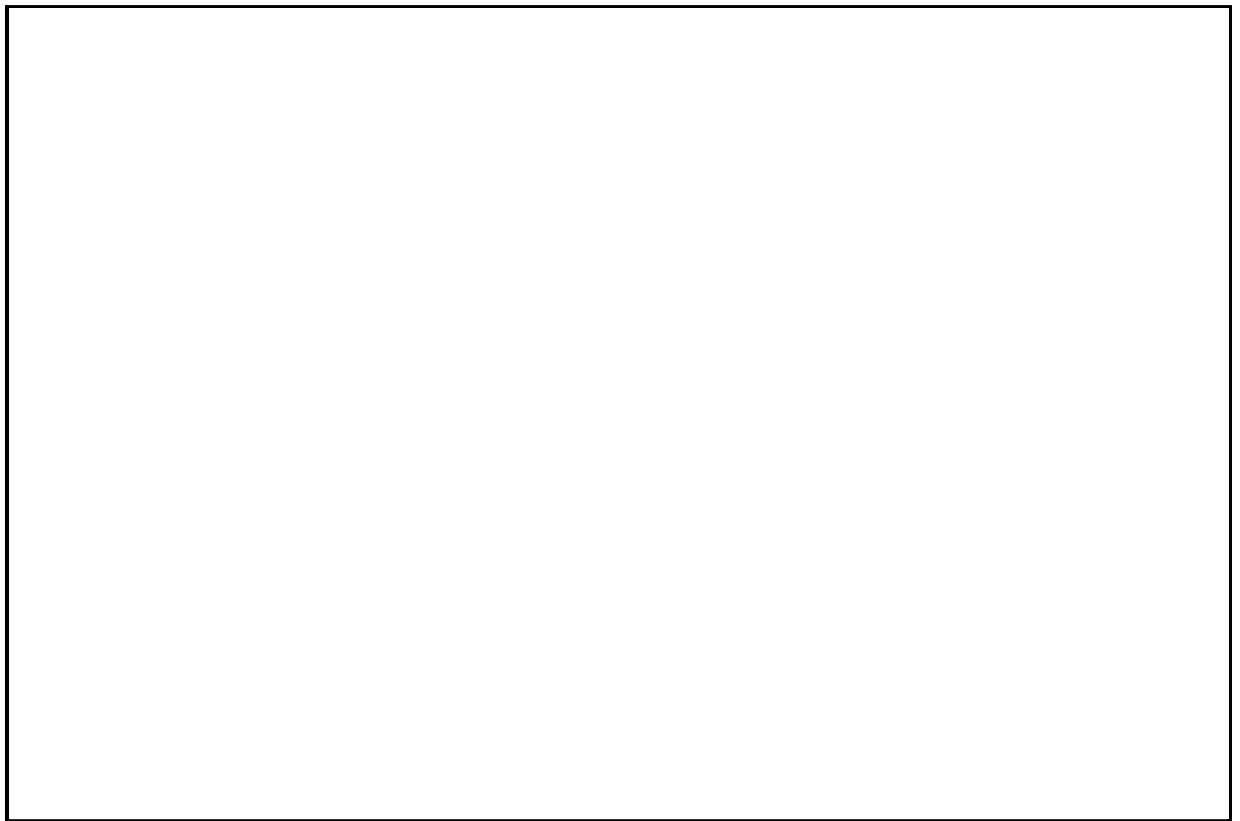
第 5.3-16 図 配管図(4/7)



第 5.3-16 図 配管図(5/7)



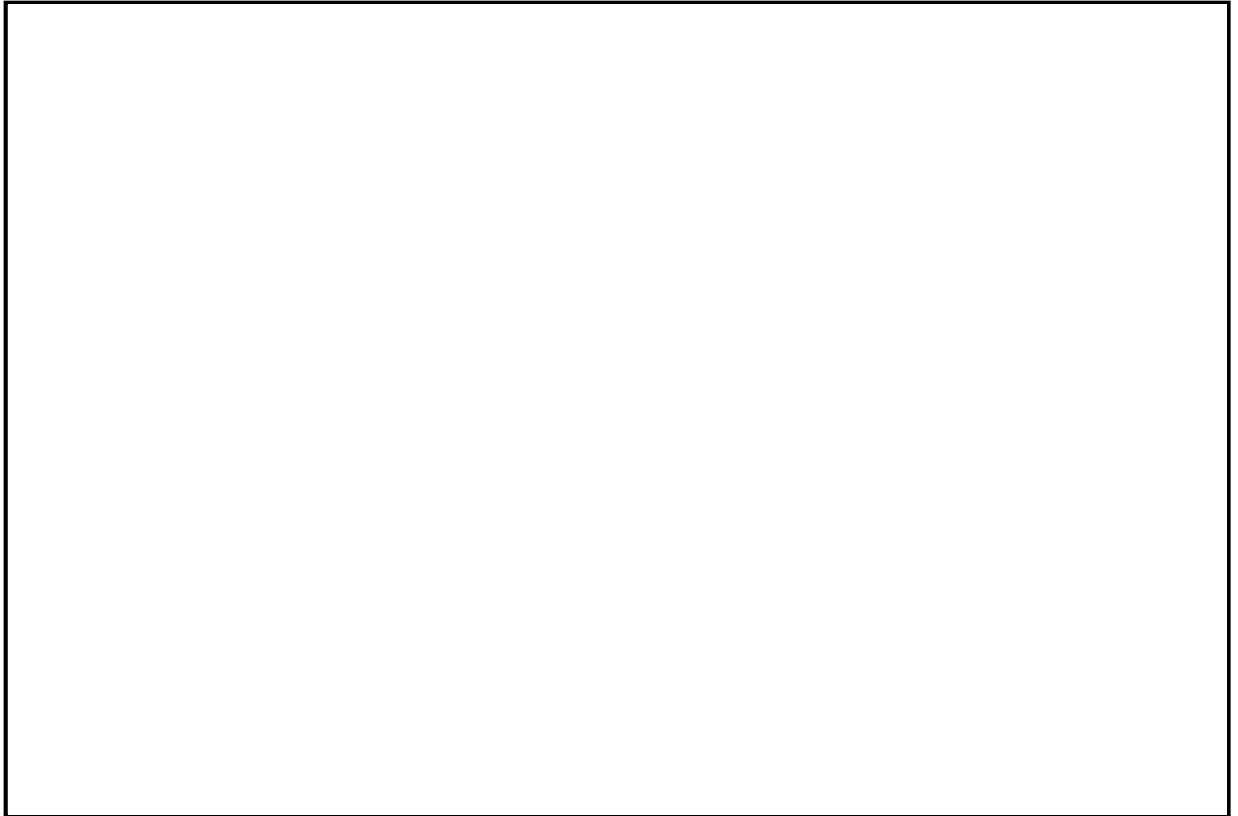
第 5.3-16 図 配管図(6/7)



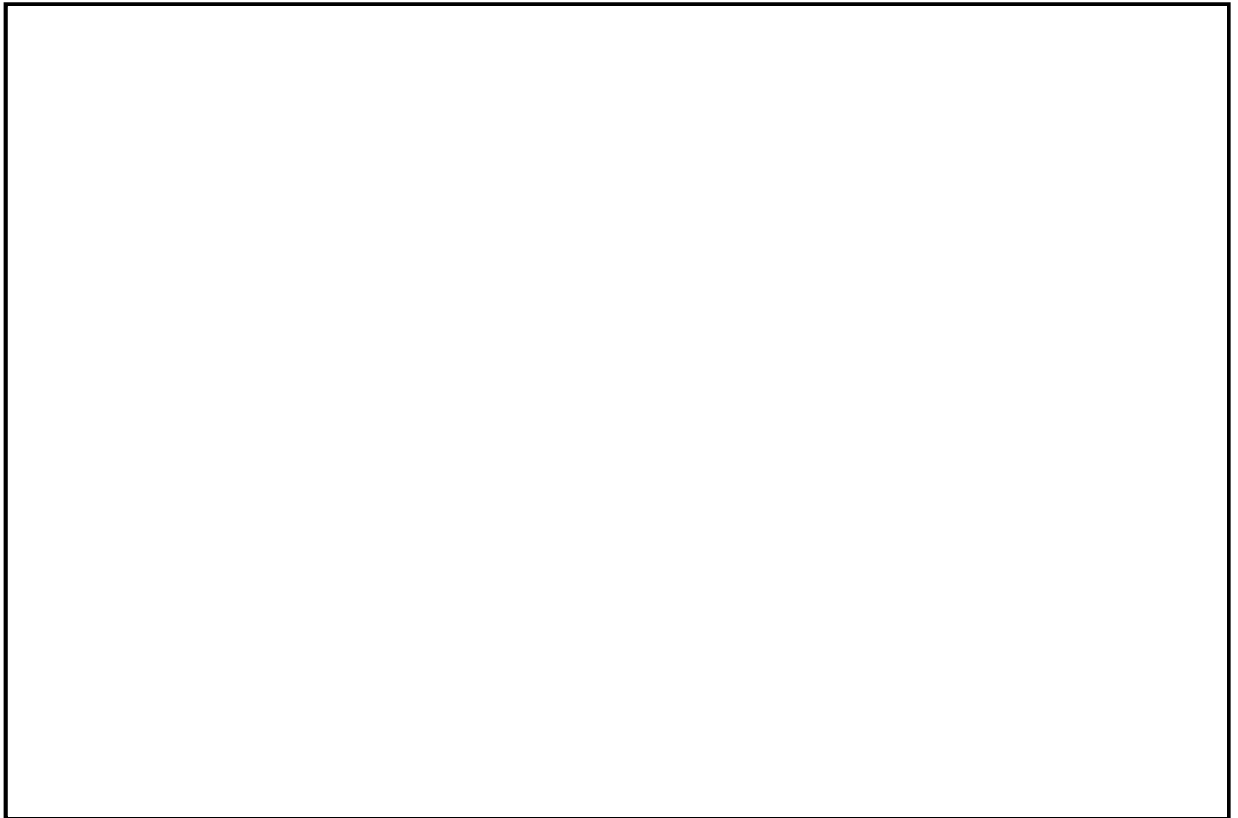
第 5.3-16 図 配管図(7/7)

第 5.3-16 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-H-2 | T/B | T-1F-4① | 76 | 108 |
| | | | T-B2-2 | | |



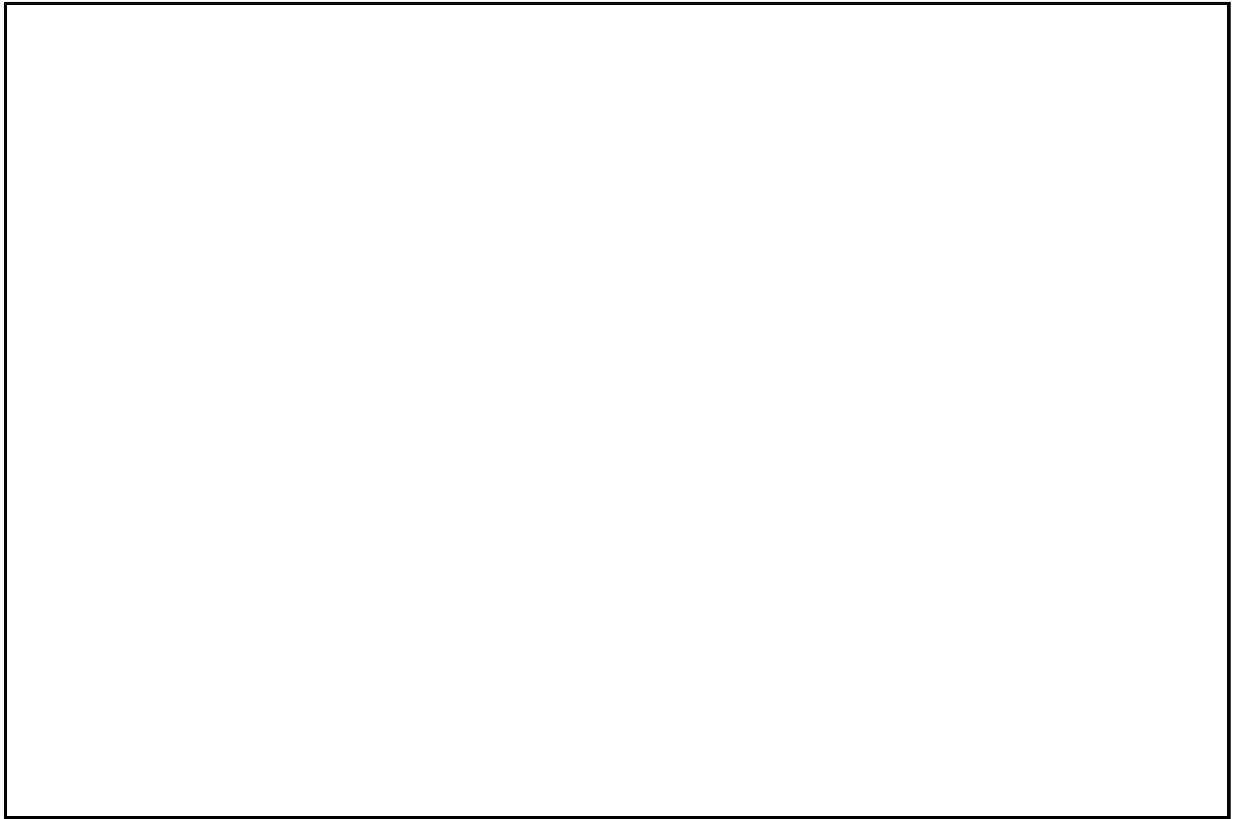
第 5.3-17 図 配管図(1/5)



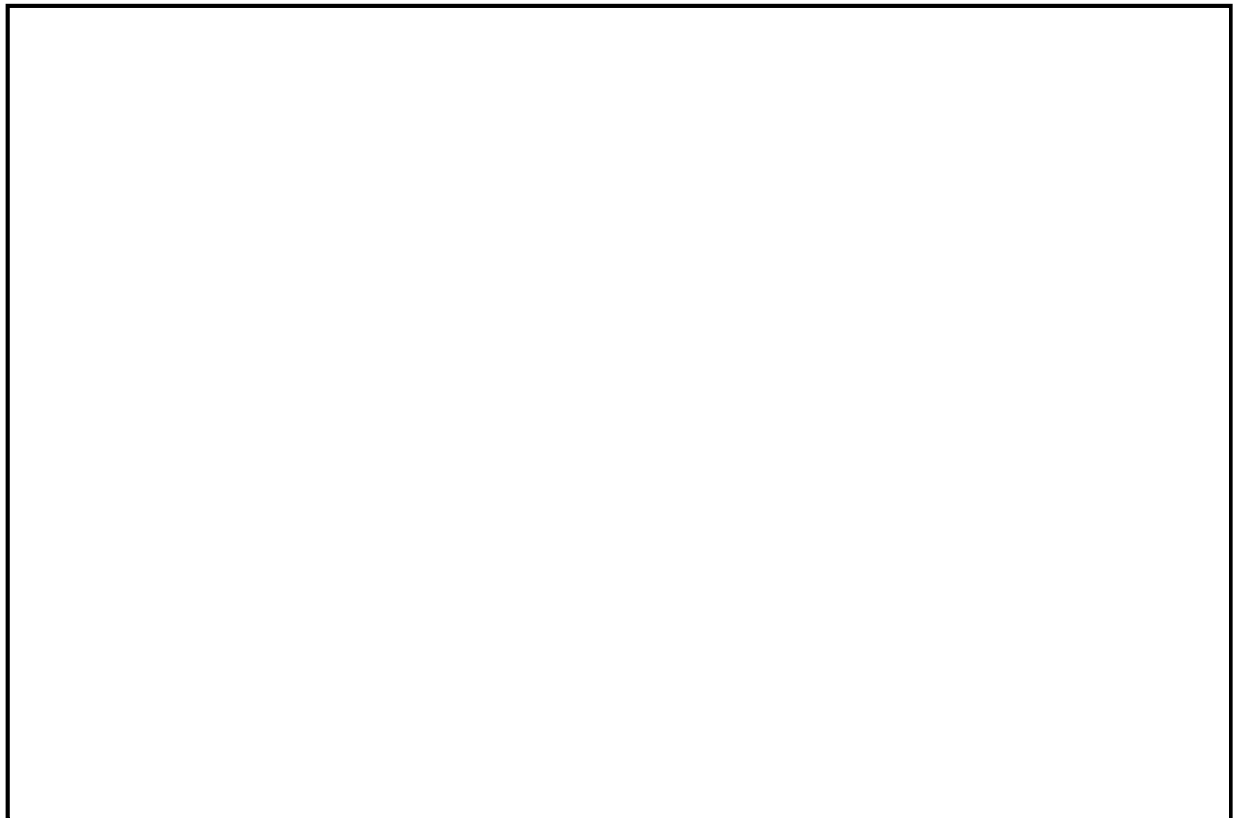
第 5.3-17 図 配管図 (2/5)



第 5.3-17 図 配管図 (3/5)



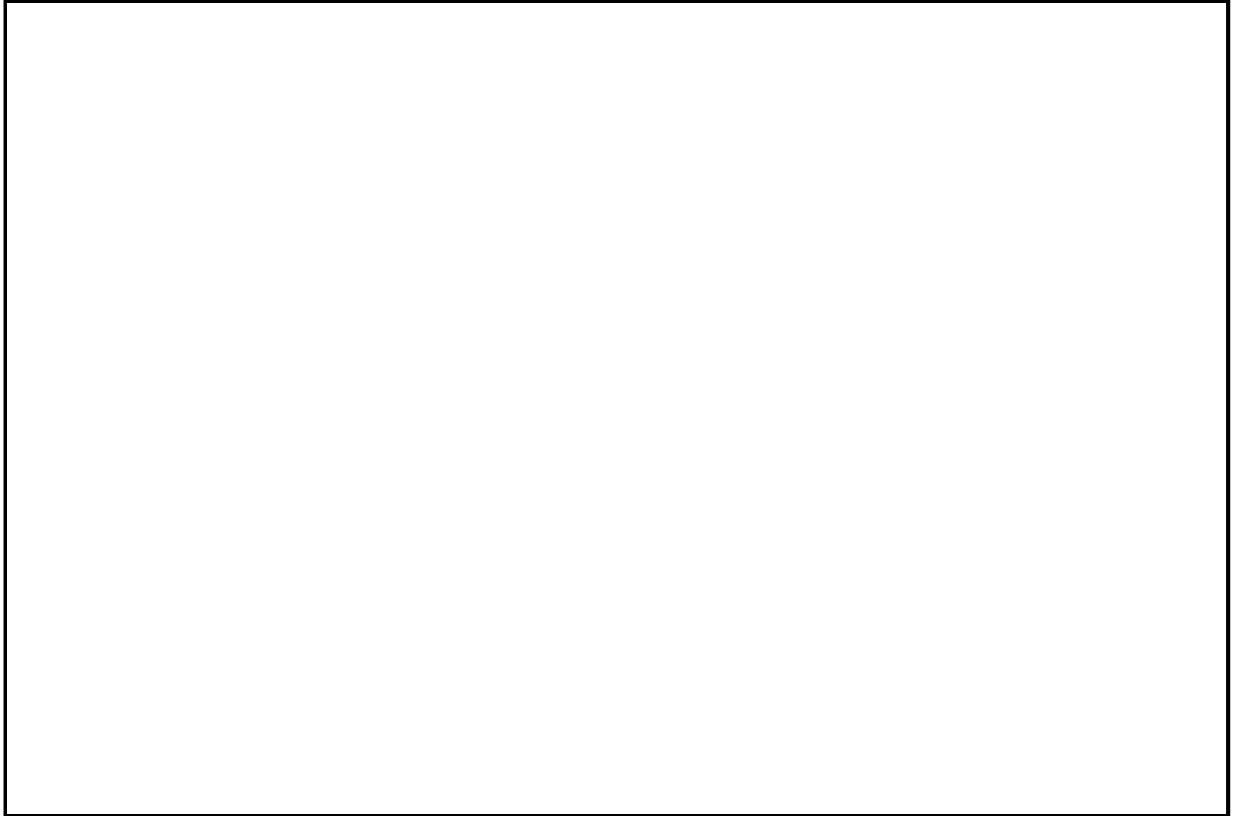
第 5.3-17 図 配管図(4/5)



第 5.3-17 図 配管図(5/5)

第 5.3-17 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

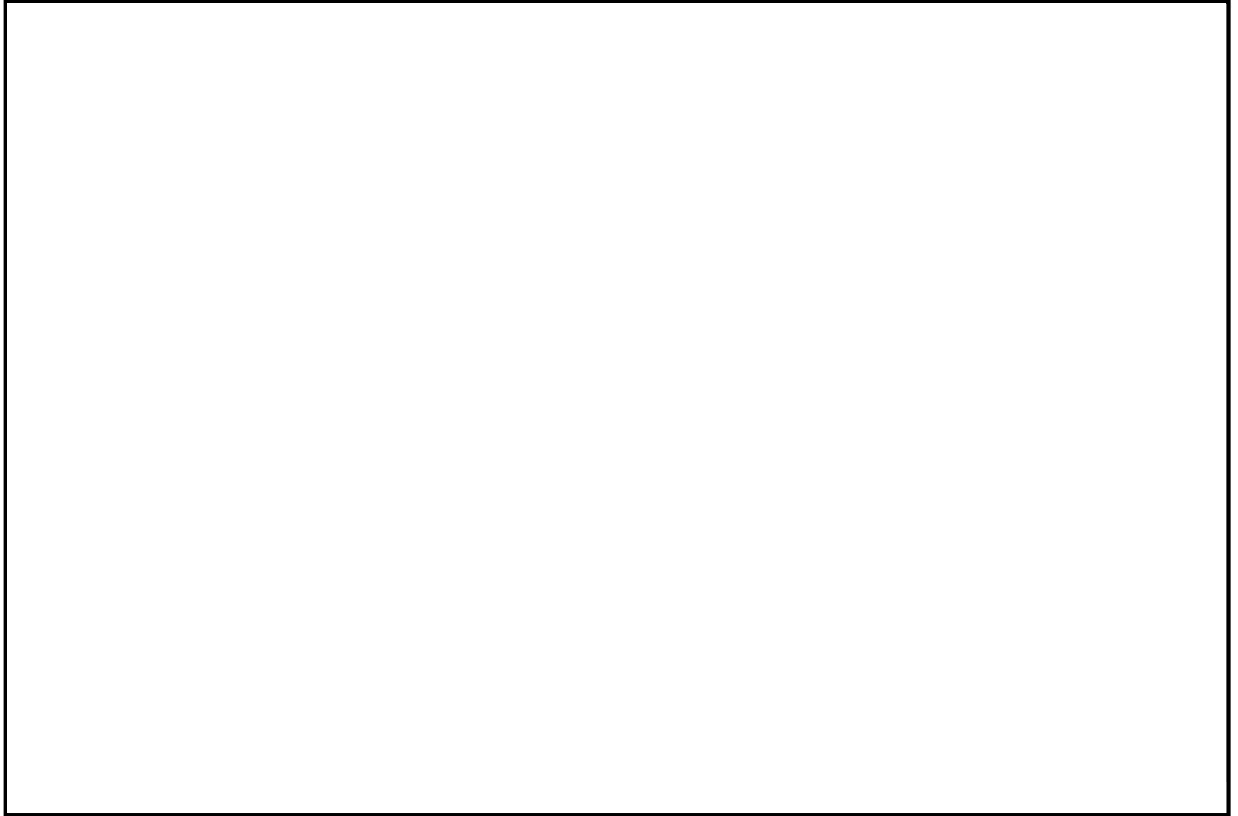
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-H-7 | T/B | T-1F-4① | 47 | 111 |



第 5.3-18 図 配管図(1/1)

第 5.3-18 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-H-8 | T/B | T-1F-4① | 51 | 111 |



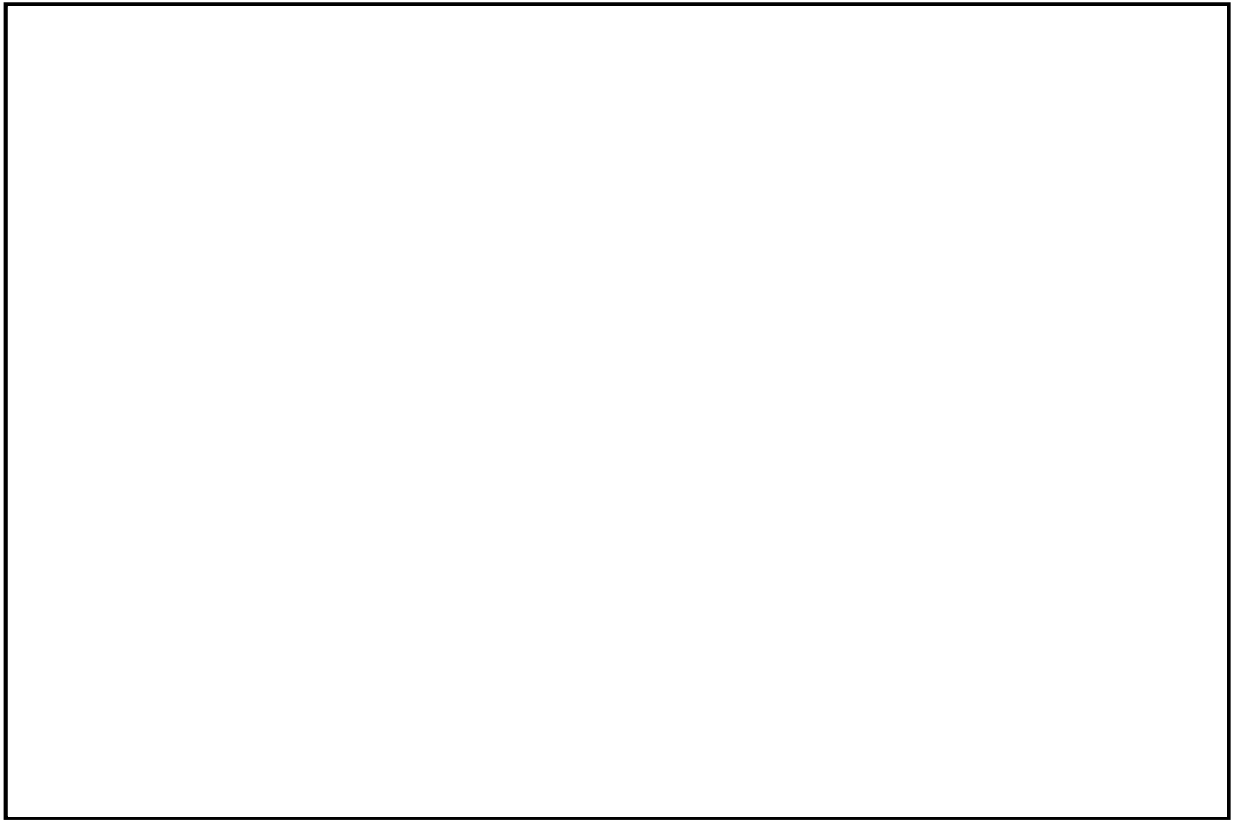
第 5.3-19 図 配管図(1/1)

第 5.3-19 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-C-1 | C/B | C-B2-2 | 108 | 111 |



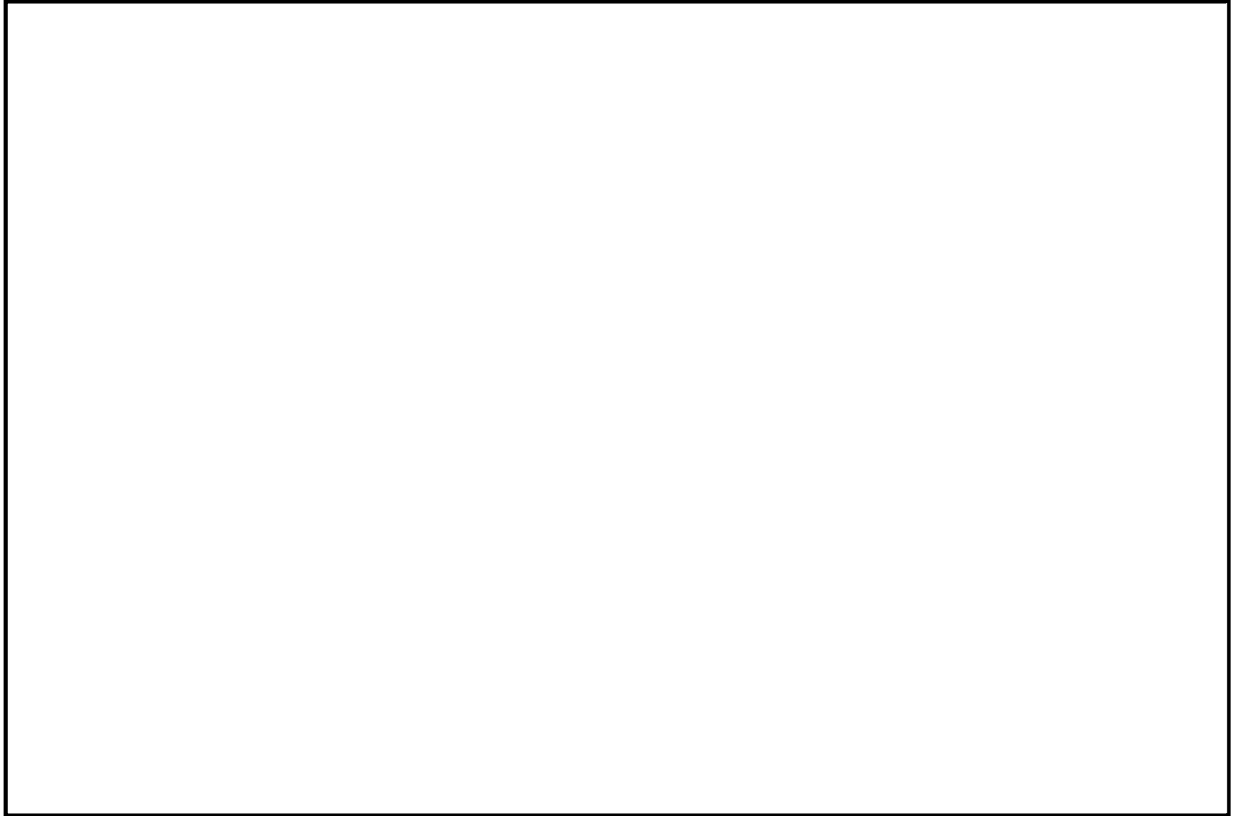
第 5.3-20 図 配管図(1/2)



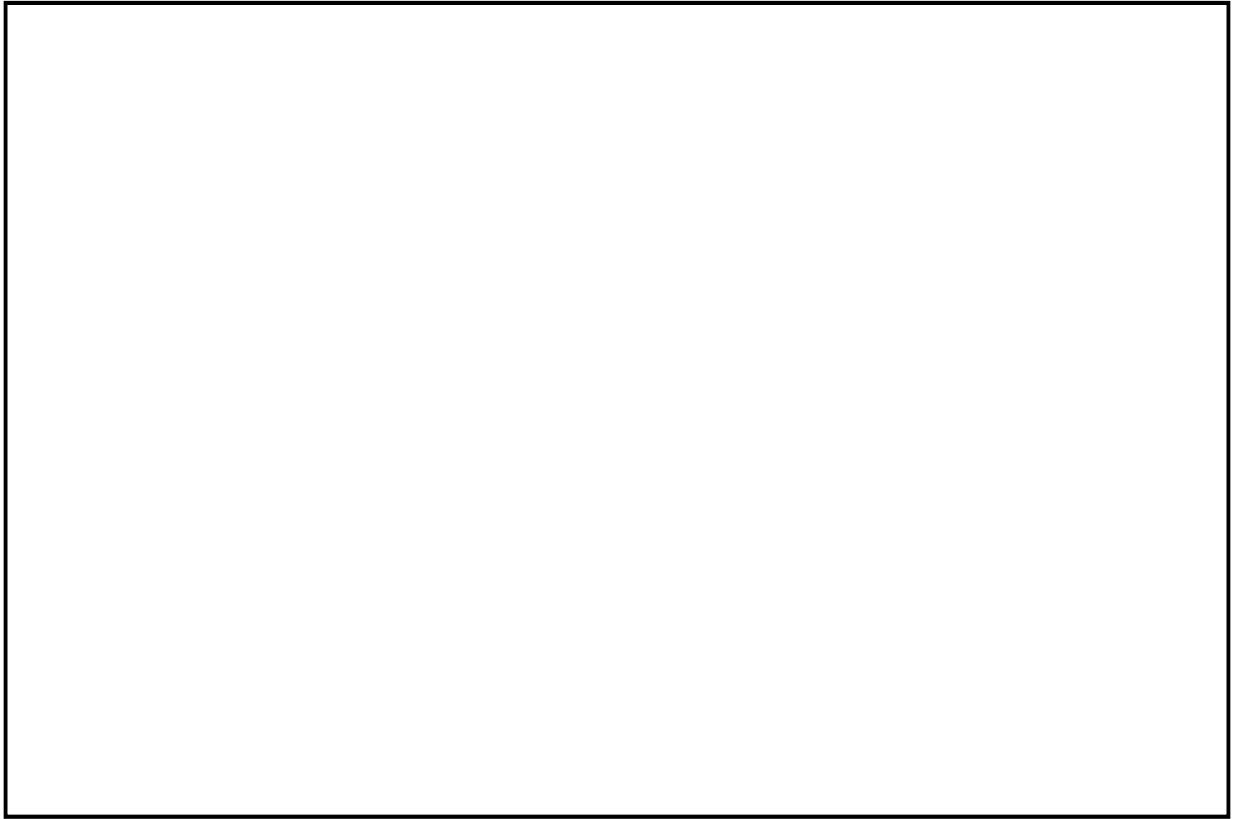
第 5.3-20 図 配管図(2/2)

第 5.3-20 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-C-2 | C/B | C-B2-2 | 107 | 111 |



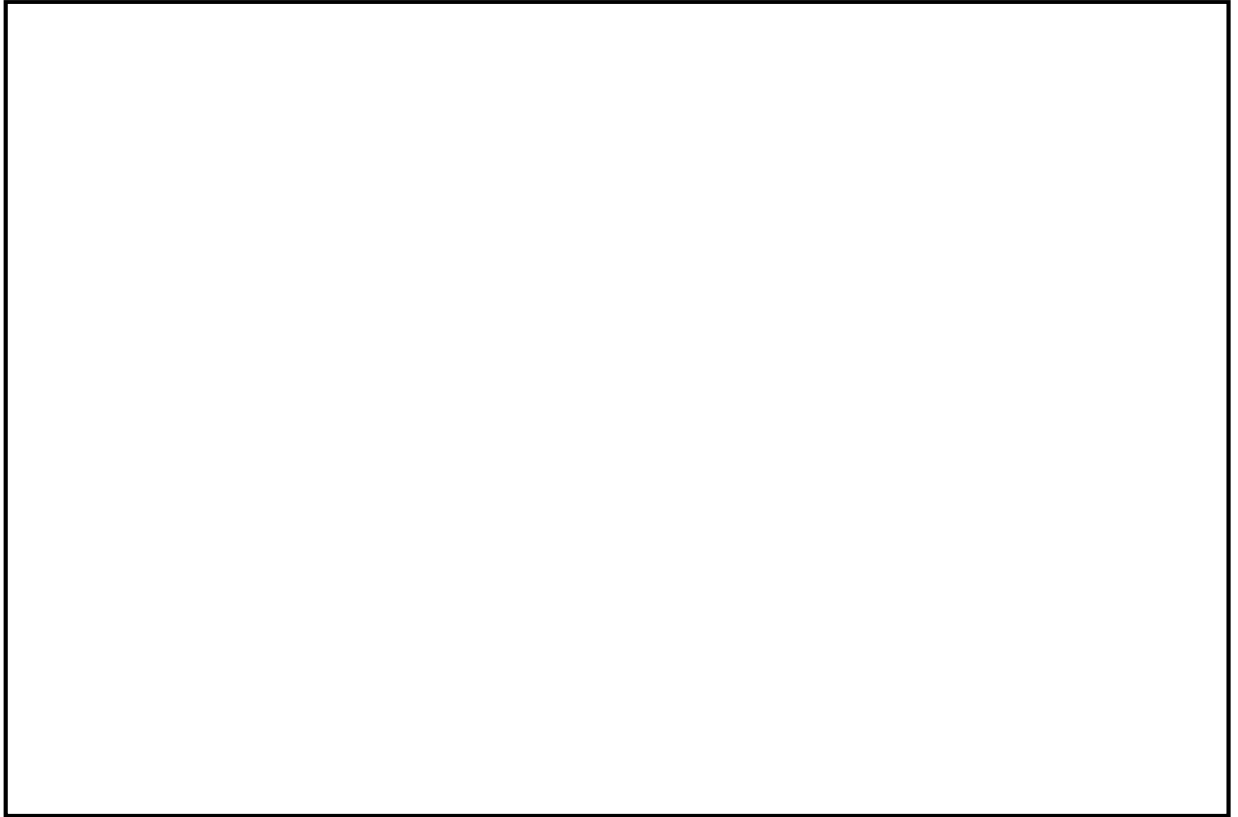
第 5.3-21 図 配管図(1/2)



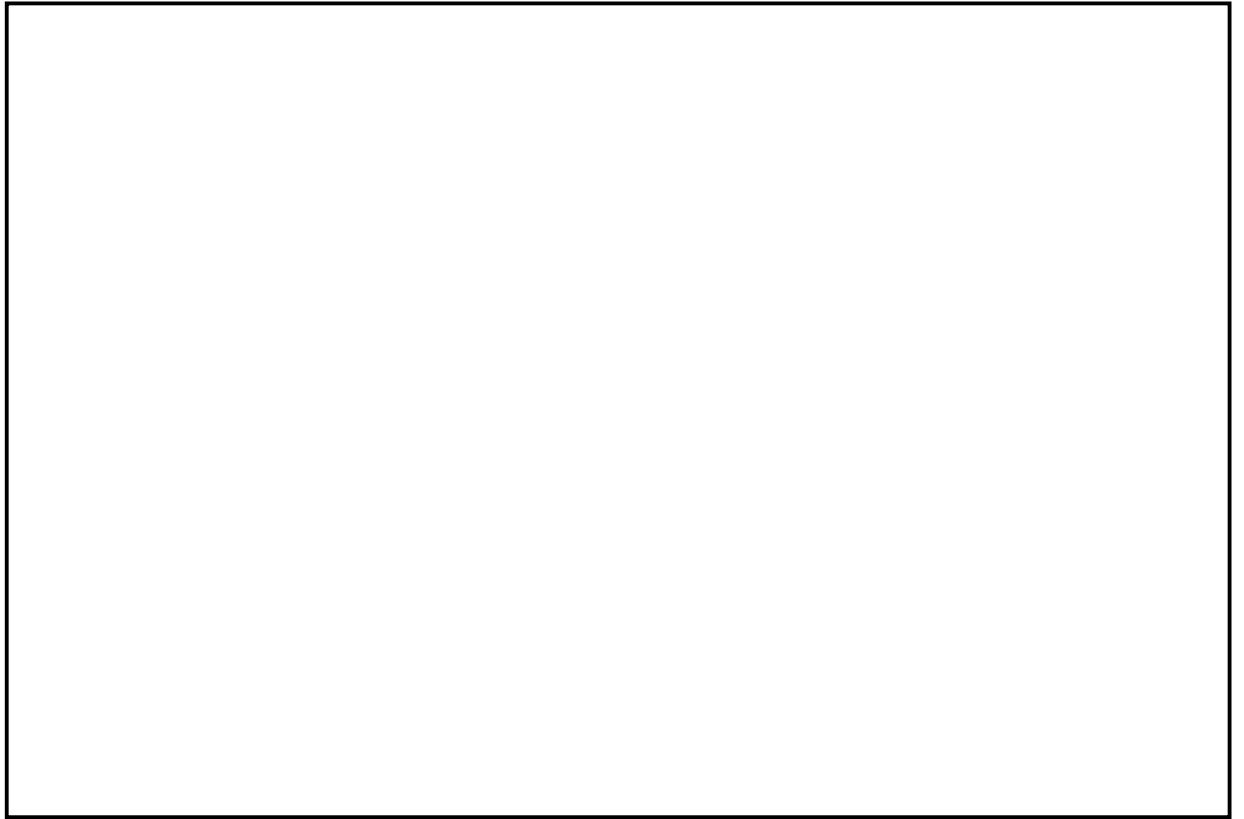
第 5.3-21 図 配管図(2/2)

第 5.3-21 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-C-3 | C/B | C-B2-2 | 104 | 111 |



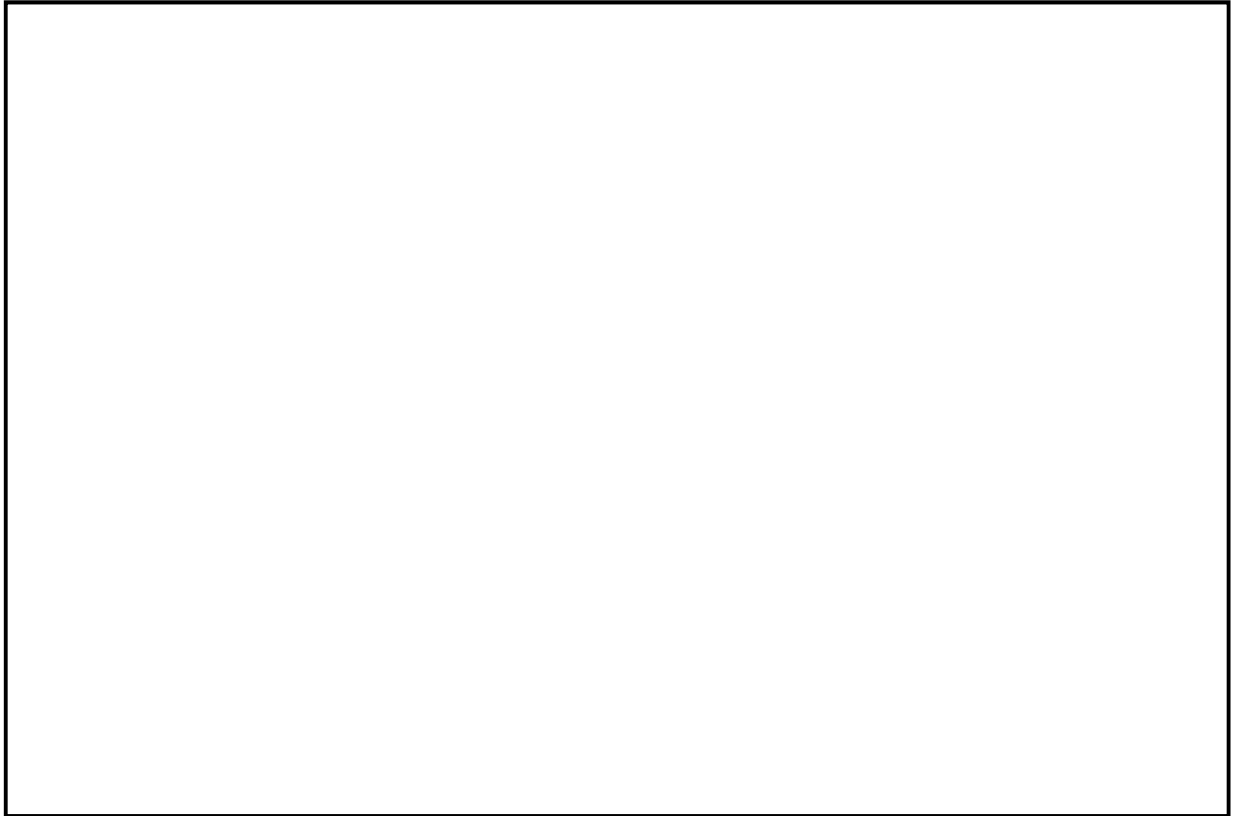
第 5.3-22 図 配管図(1/2)



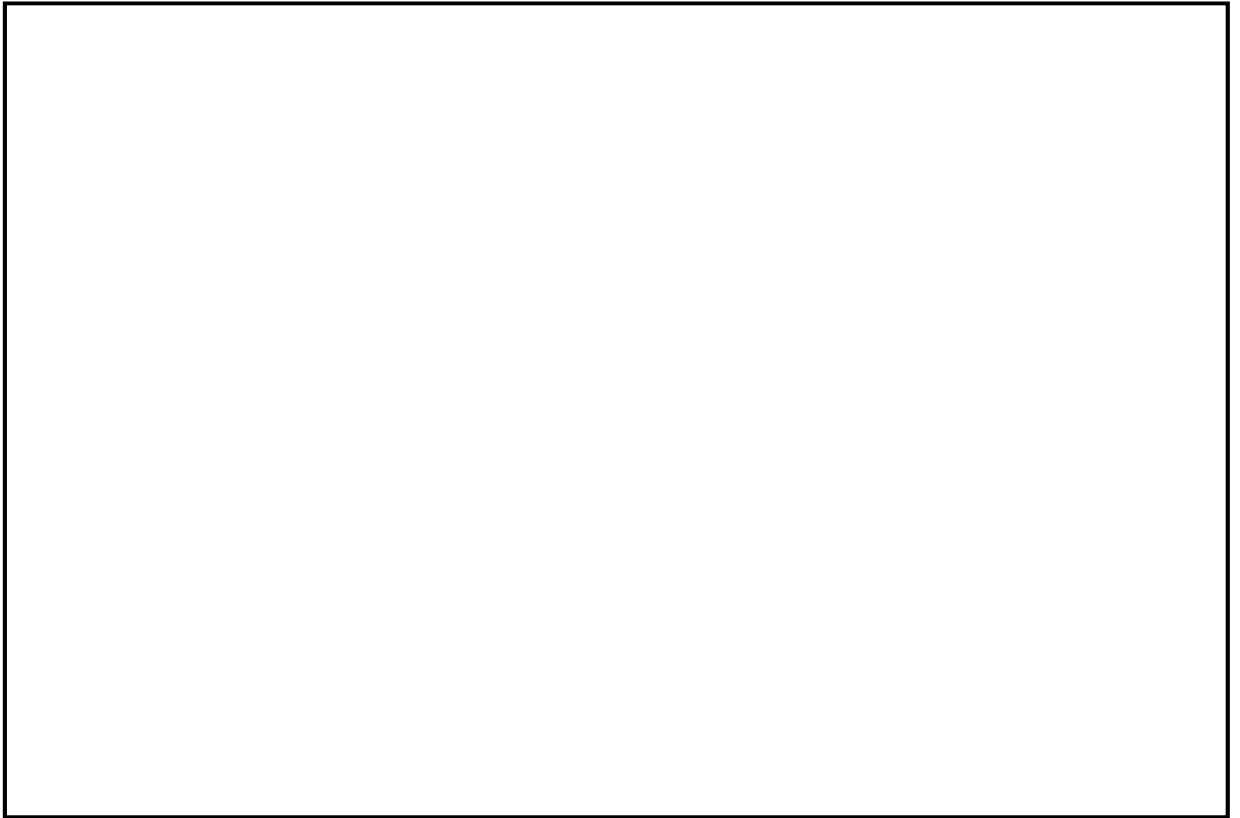
第 5.3-22 図 配管図(2/2)

第 5.3-22 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-----------|---------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却水系 | RCW-C-4 | C/B | C-B2-3 | 97 | 111 |



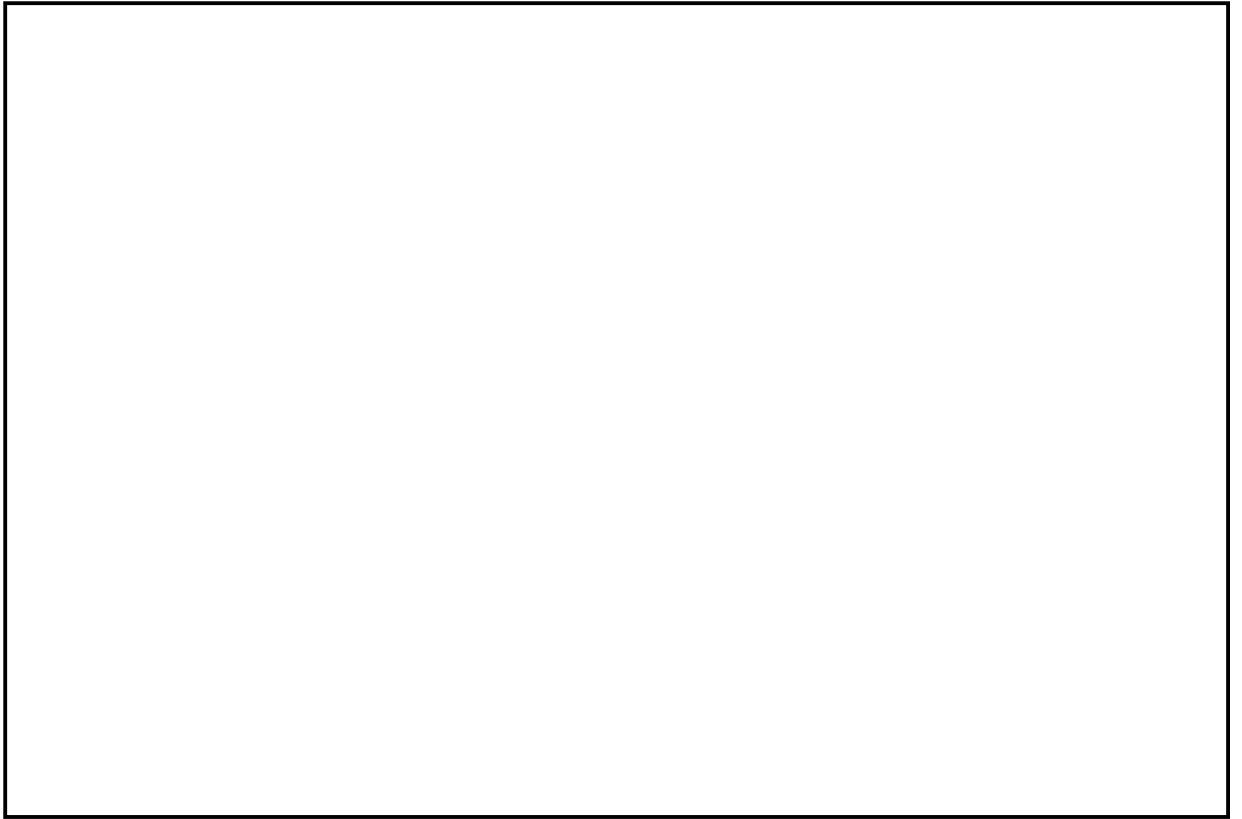
第 5.3-23 図 配管図(1/4)



第 5.3-23 図 配管図(2/4)



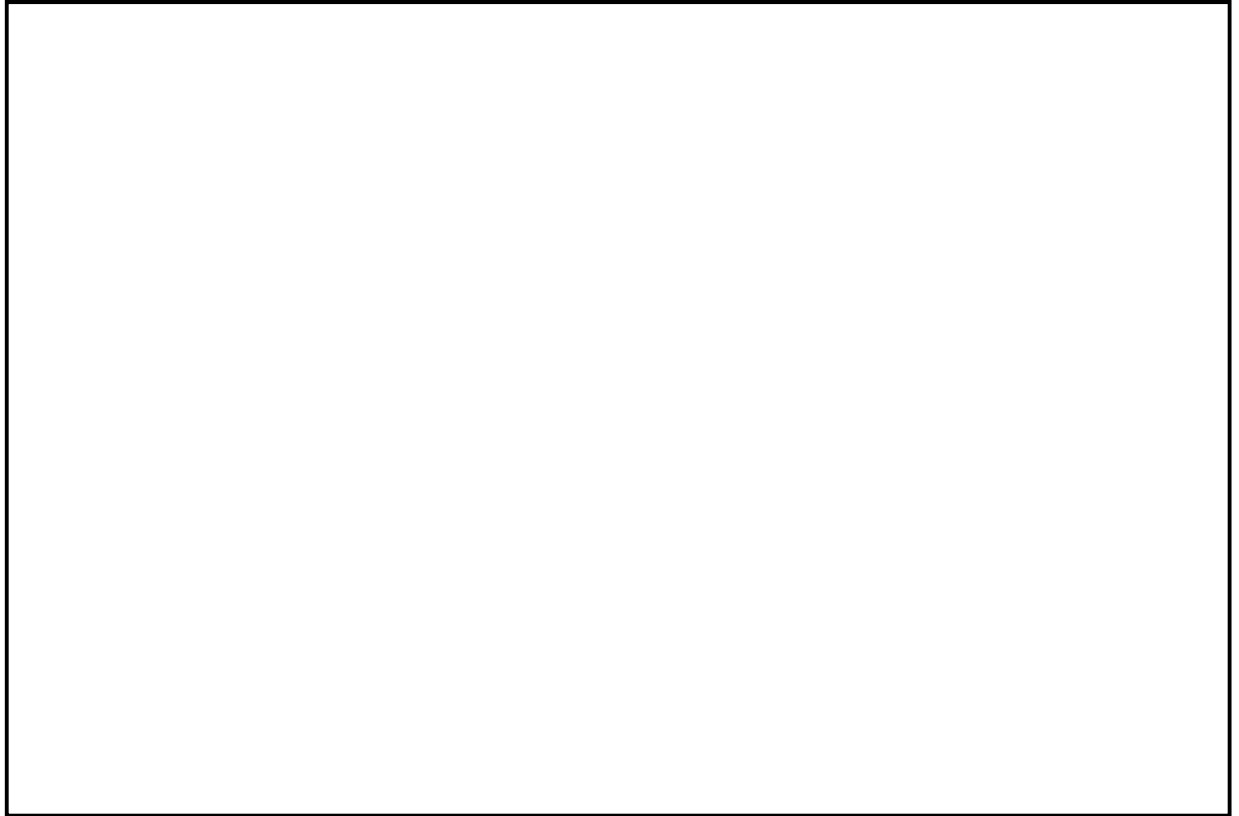
第 5.3-23 図 配管図(3/4)



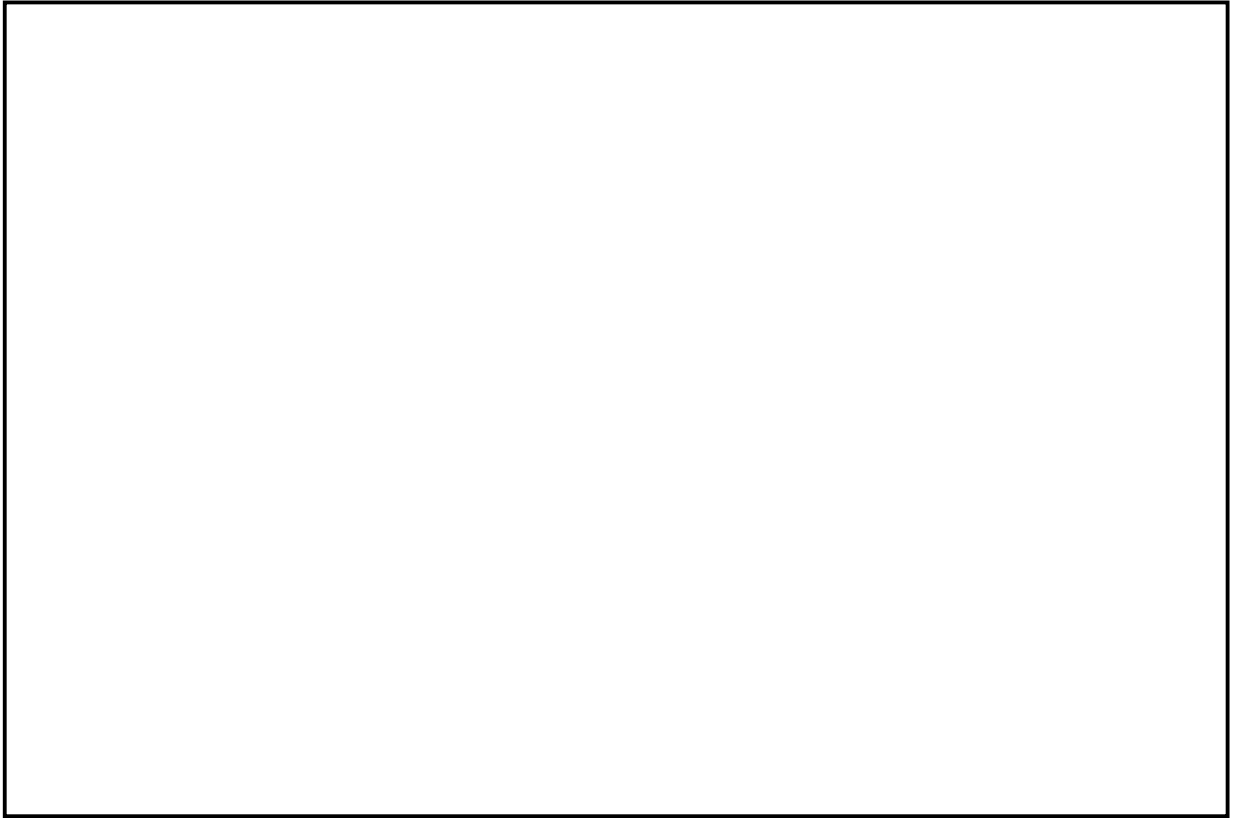
第 5.3-23 図 配管図(4/4)

第 5.3-23 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

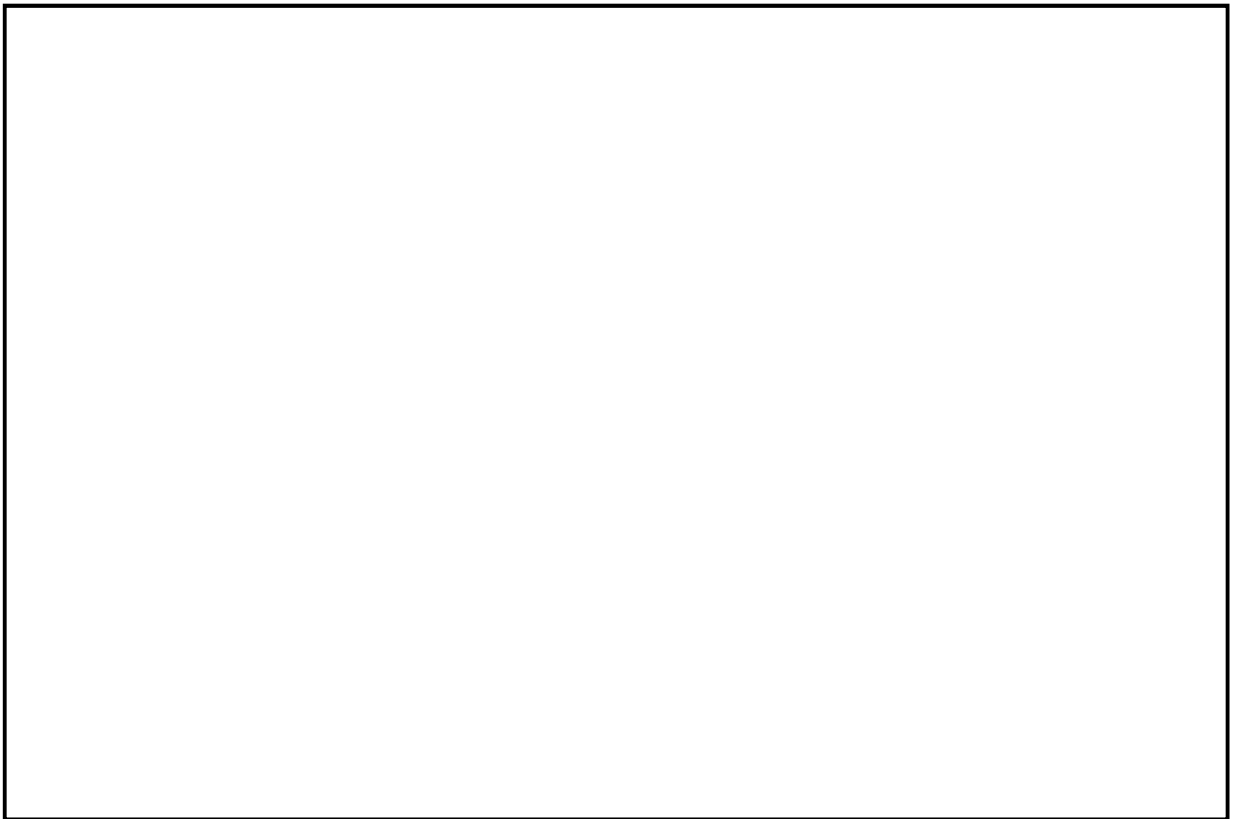
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|--------|------------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 純水補給水系 | MUWP-R-098 | R/B | R-1F-12 | 44 | 137 |



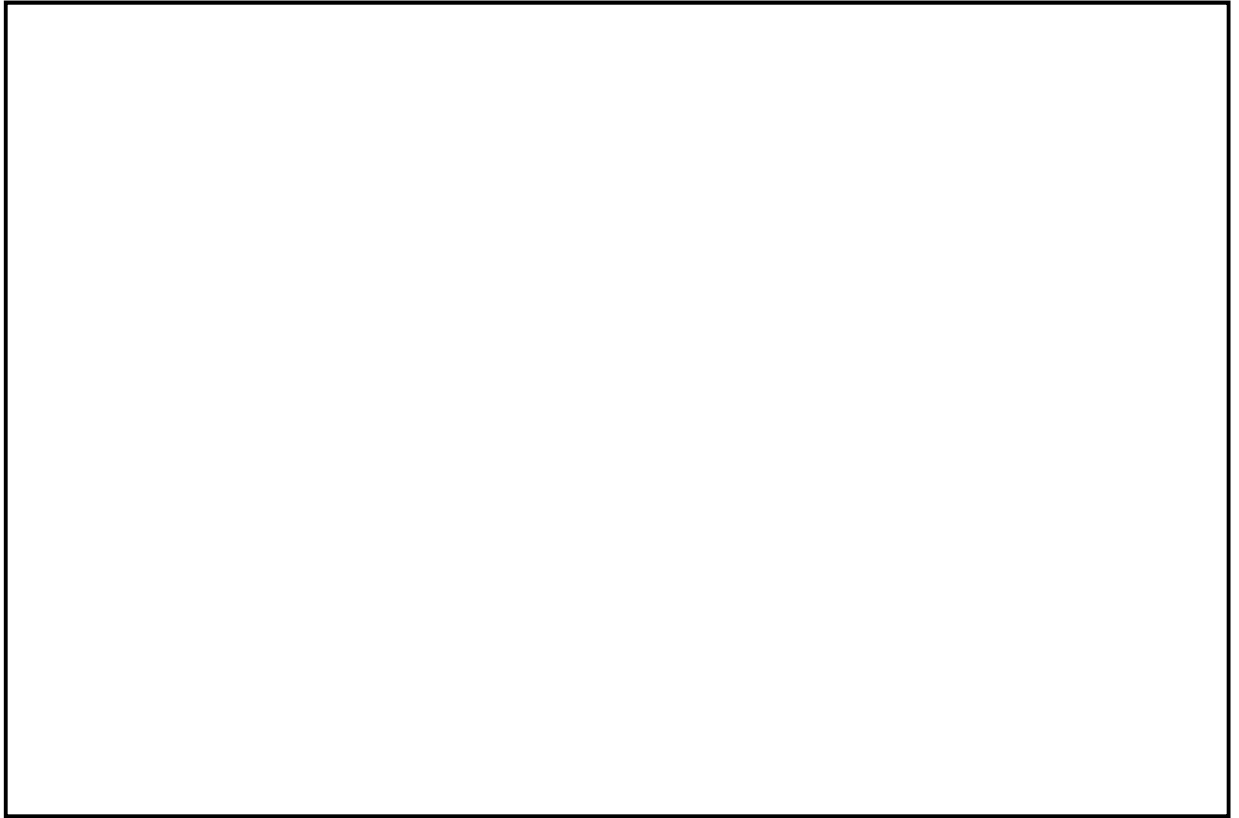
第 5.3-24 図 配管図(1/11)



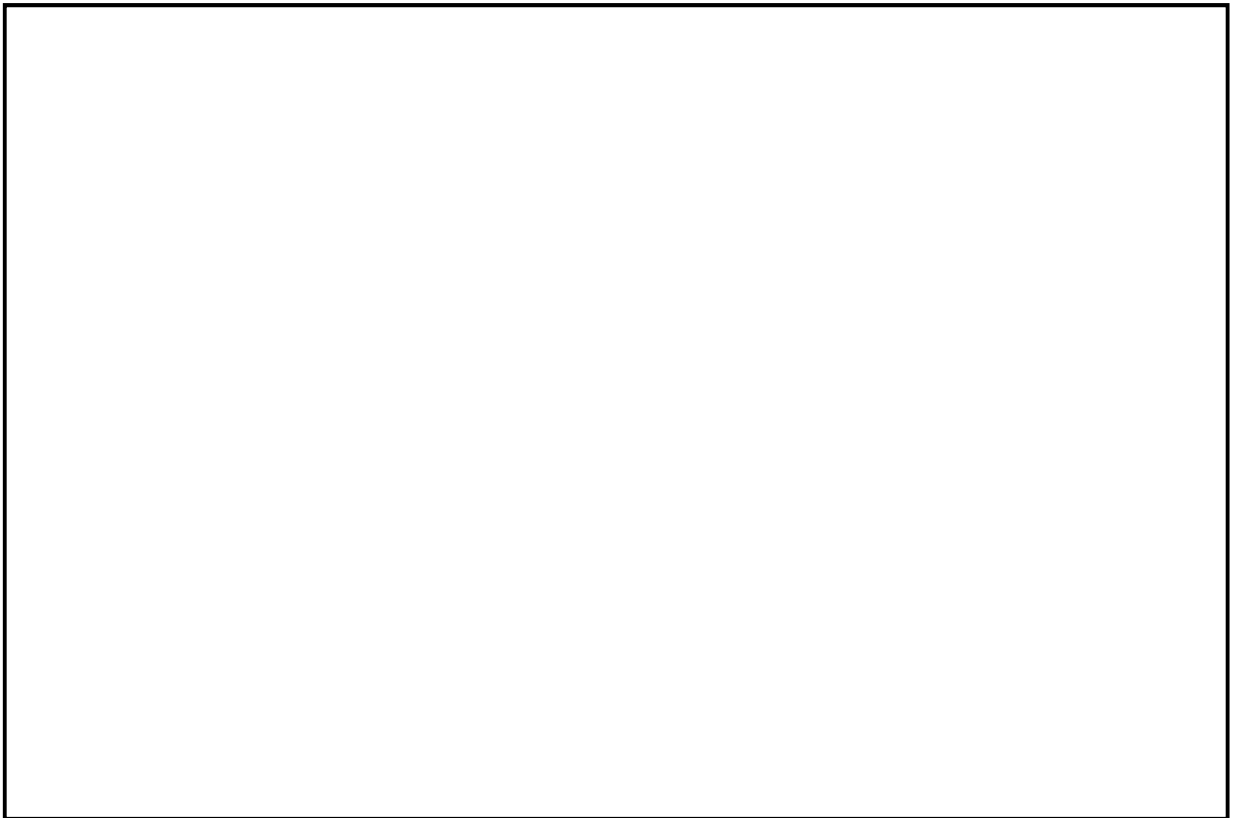
第 5.3-24 図 配管図(2/11)



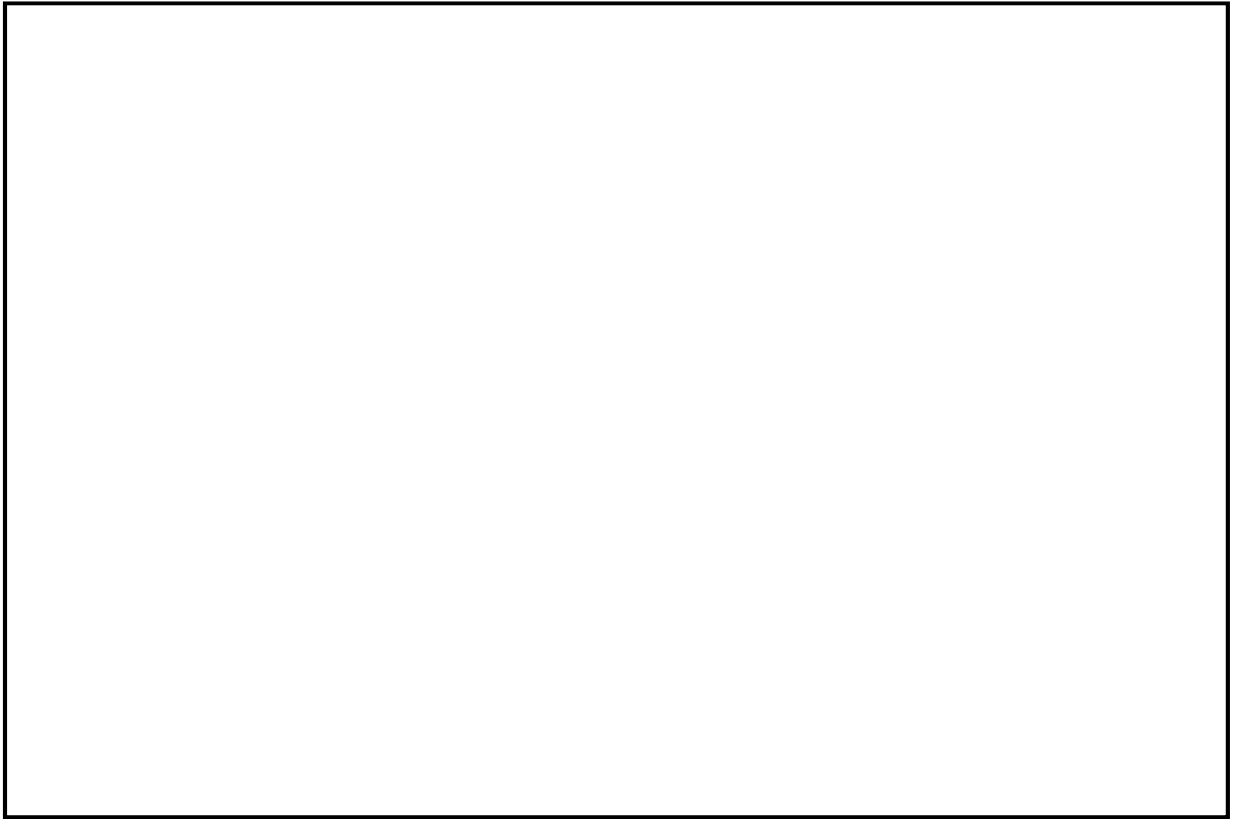
第 5.3-24 図 配管図(3/11)



5.3-24 図 配管図(4/11)



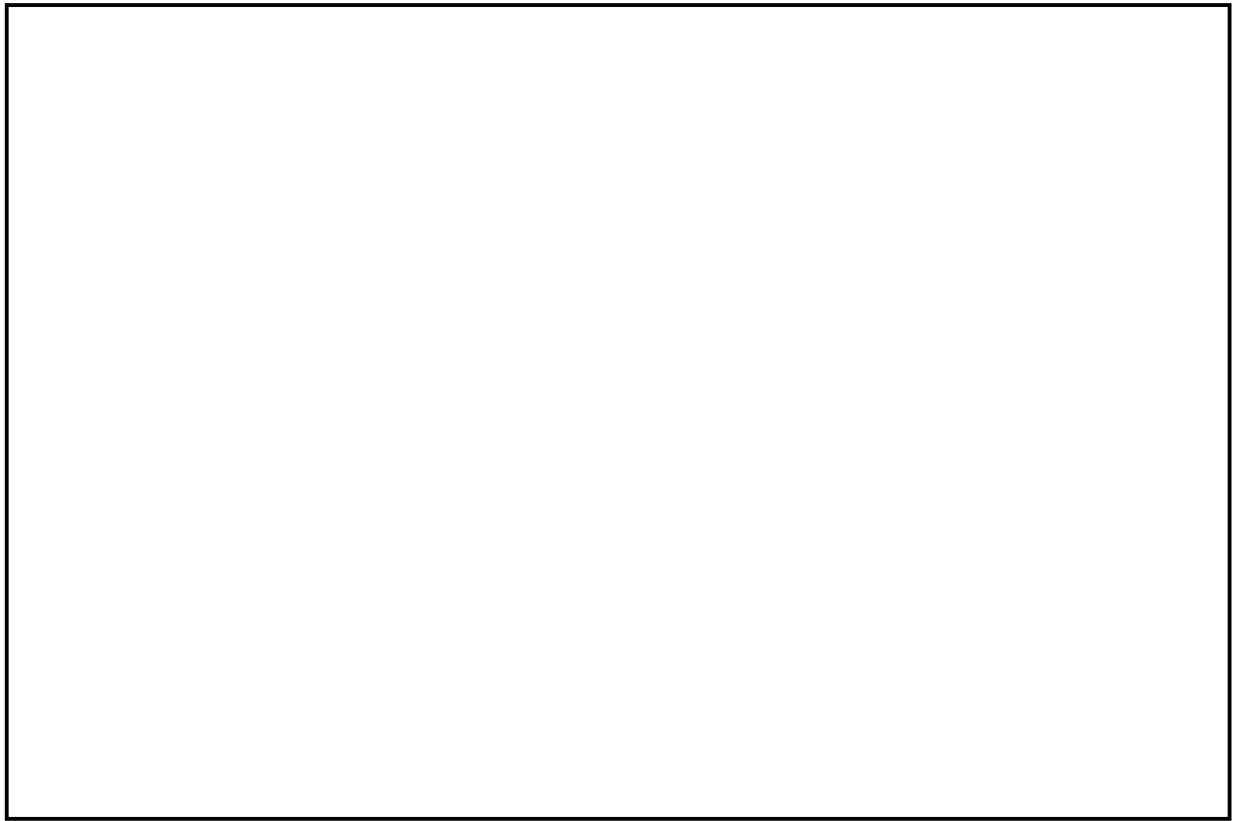
第 5.3-24 図 配管図(5/11)



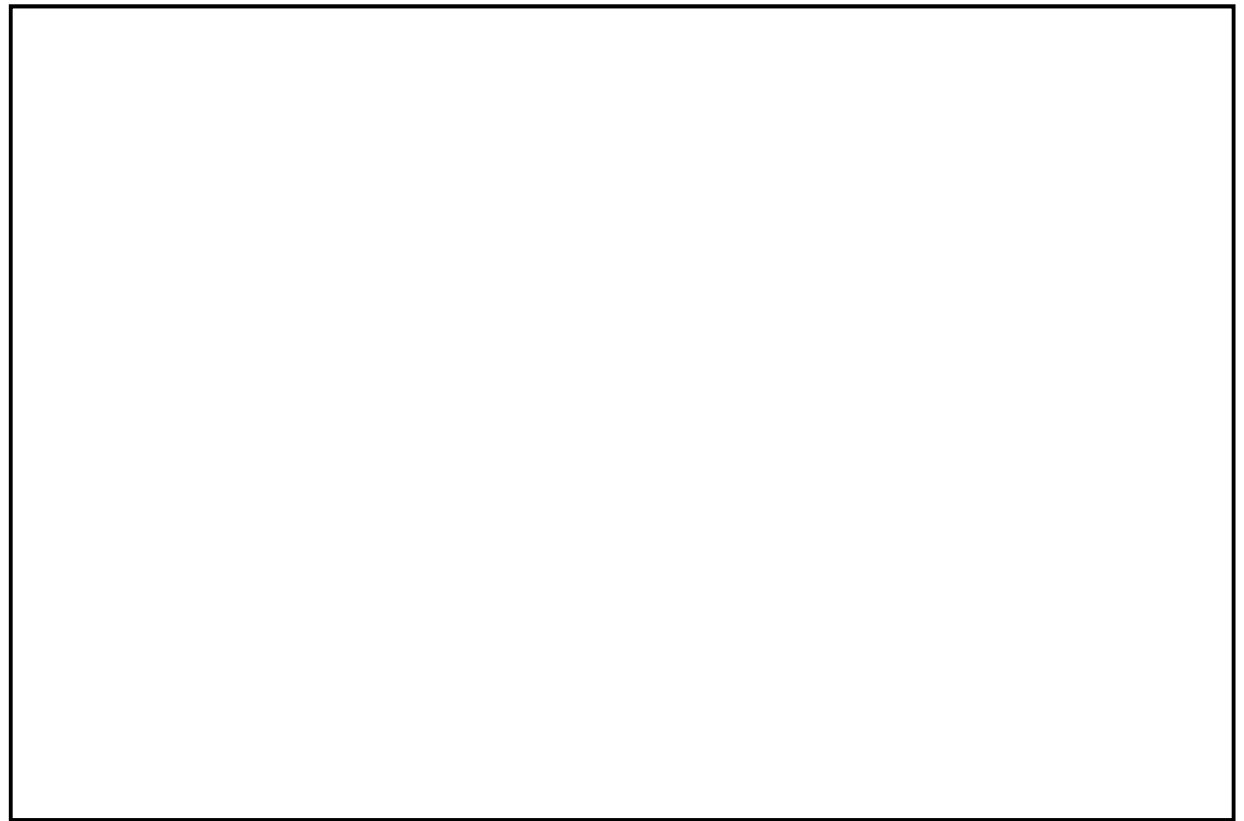
第 5.3-24 図 配管図(6/11)



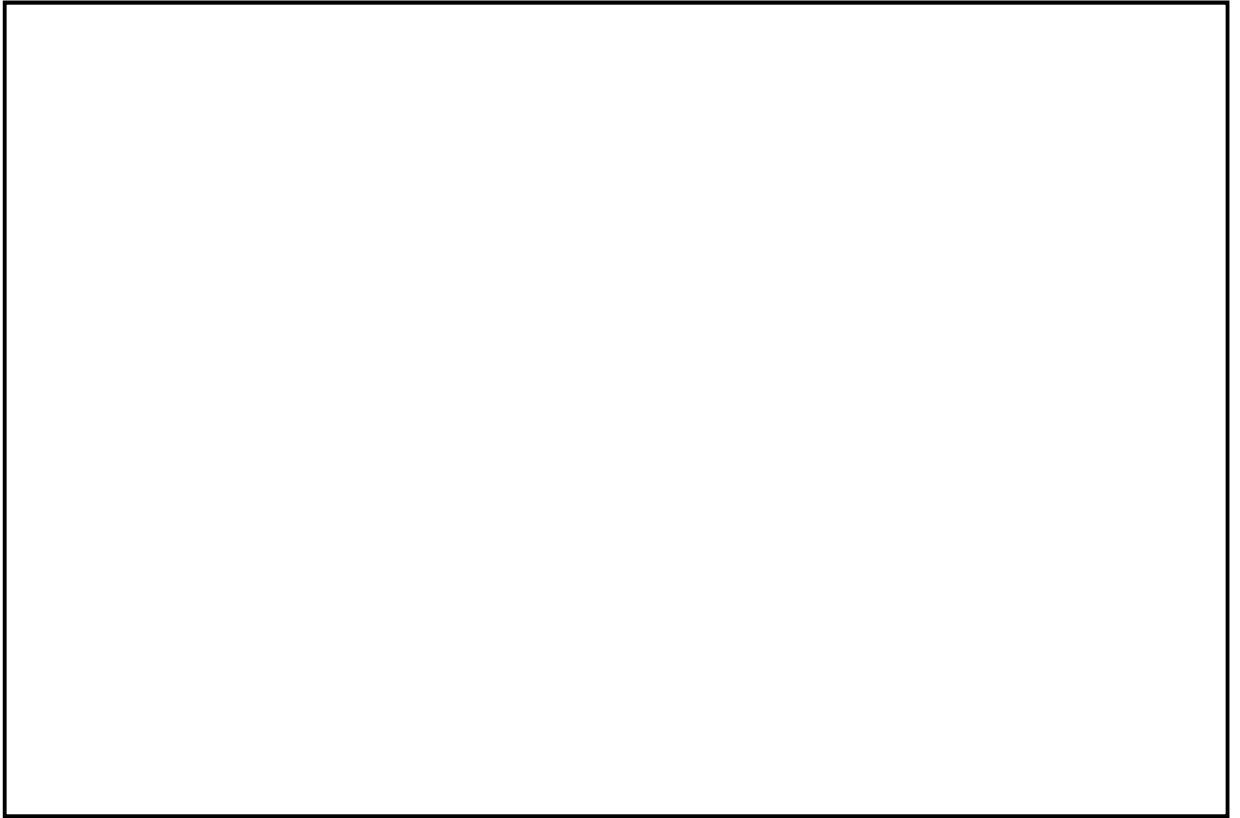
第 5.3-24 図 配管図(7/11)



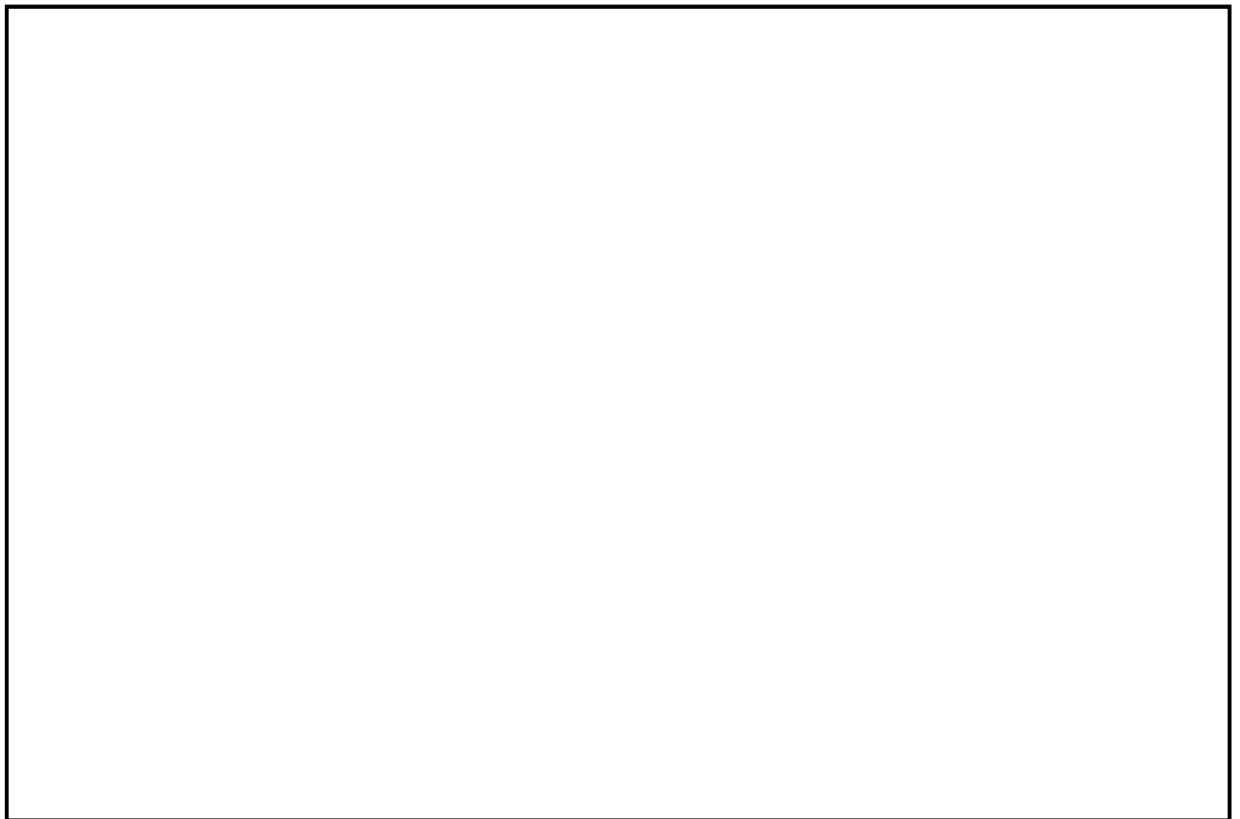
第 5.3-24 図 配管図(8/11)



第 5.3-24 図 配管図(9/11)



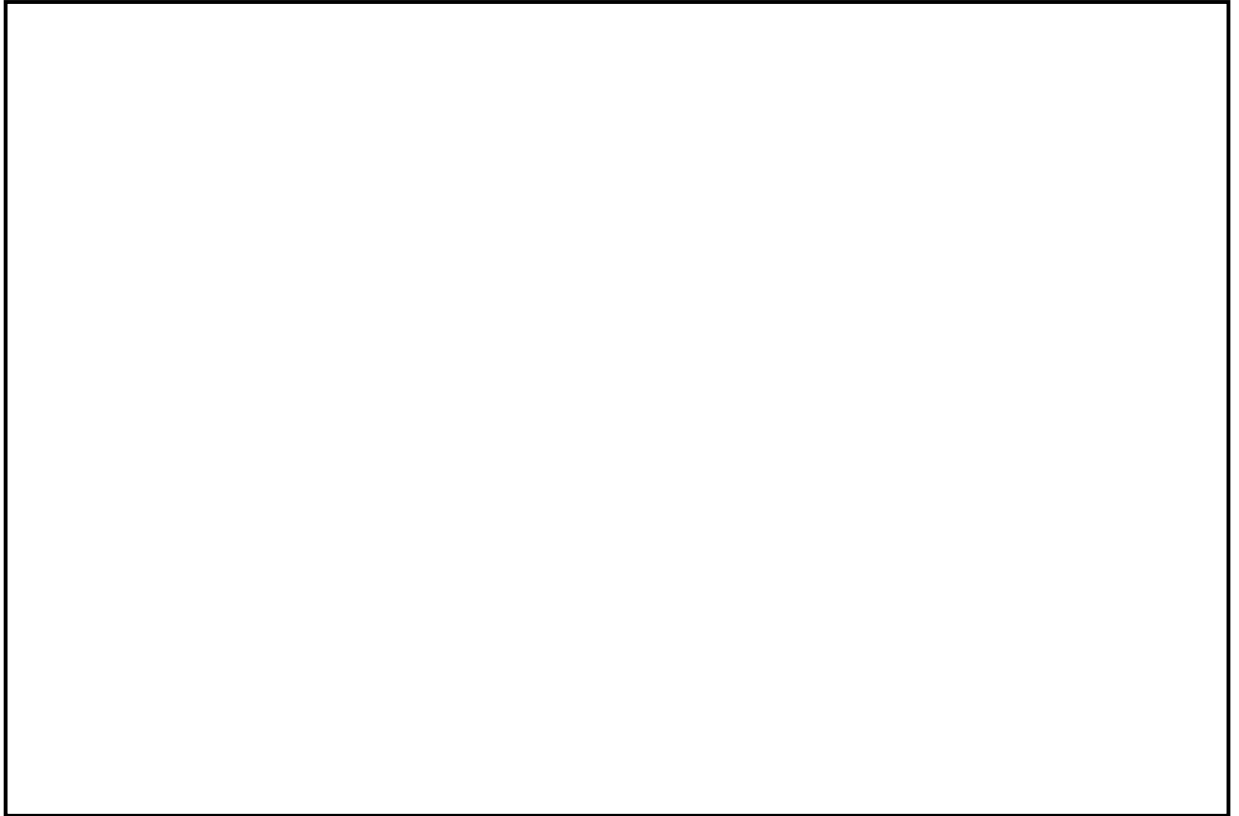
第 5.3-24 図 配管図(10/11)



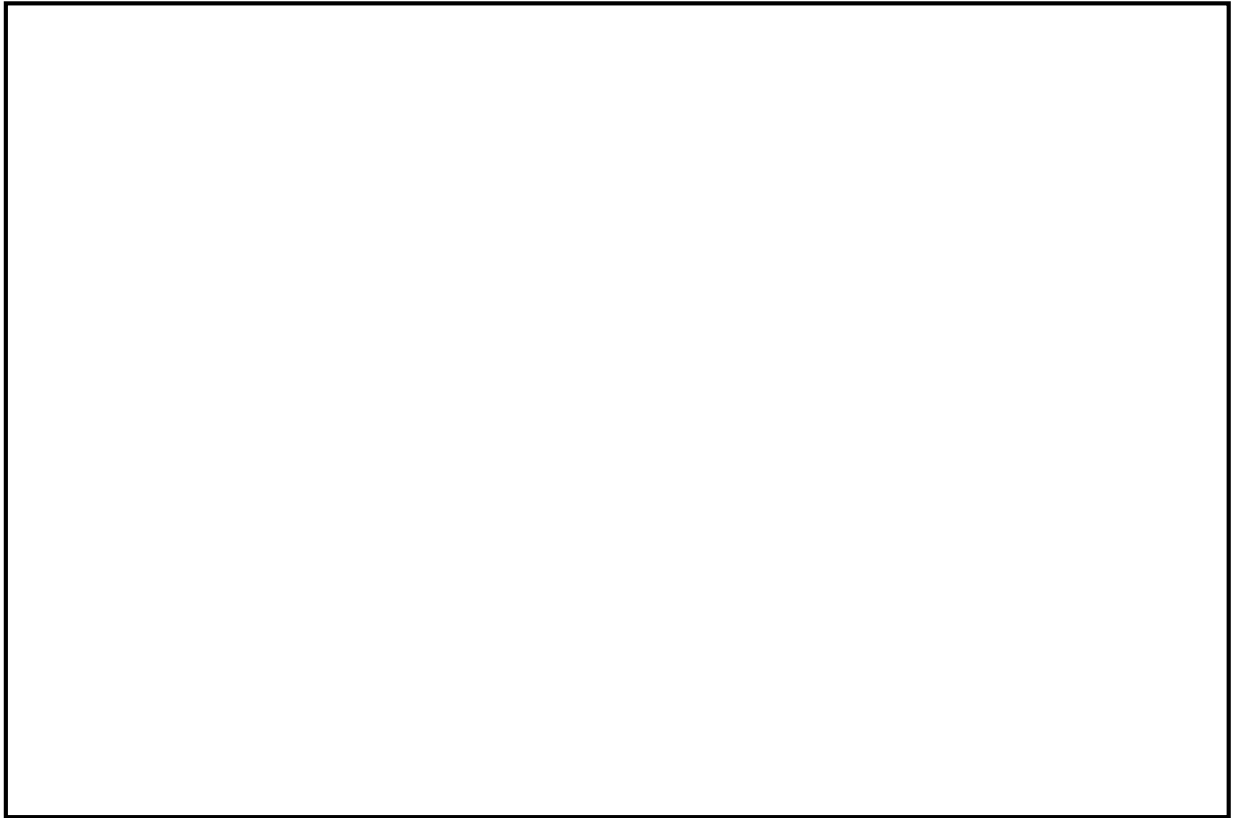
第 5.3-24 図 配管図(11/11)

第 5.3-24 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

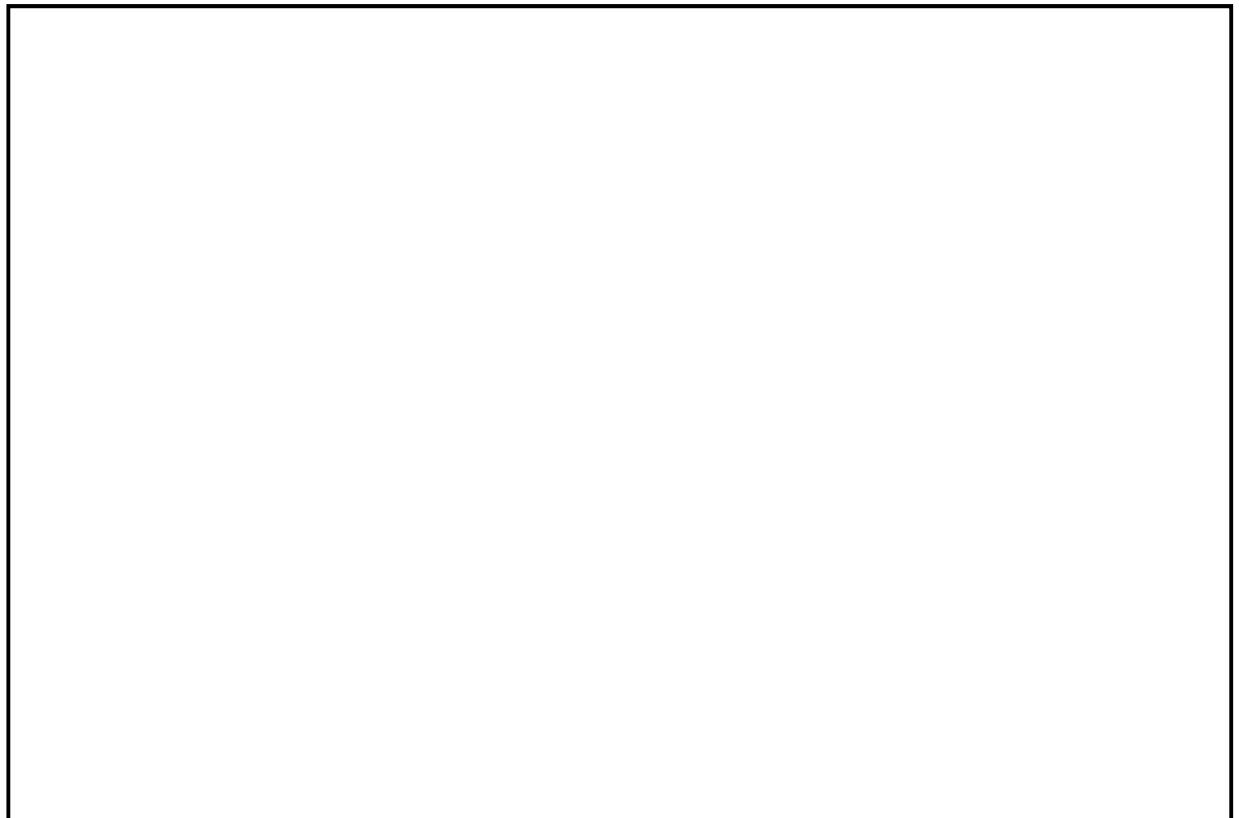
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|--------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 純水補給水系 | MUWP-R-180 | R/B | R-3F-4 | 19 | 137 |



第 5.3-25 図 配管図(1/4)



第 5.3-25 図 配管図(2/4)



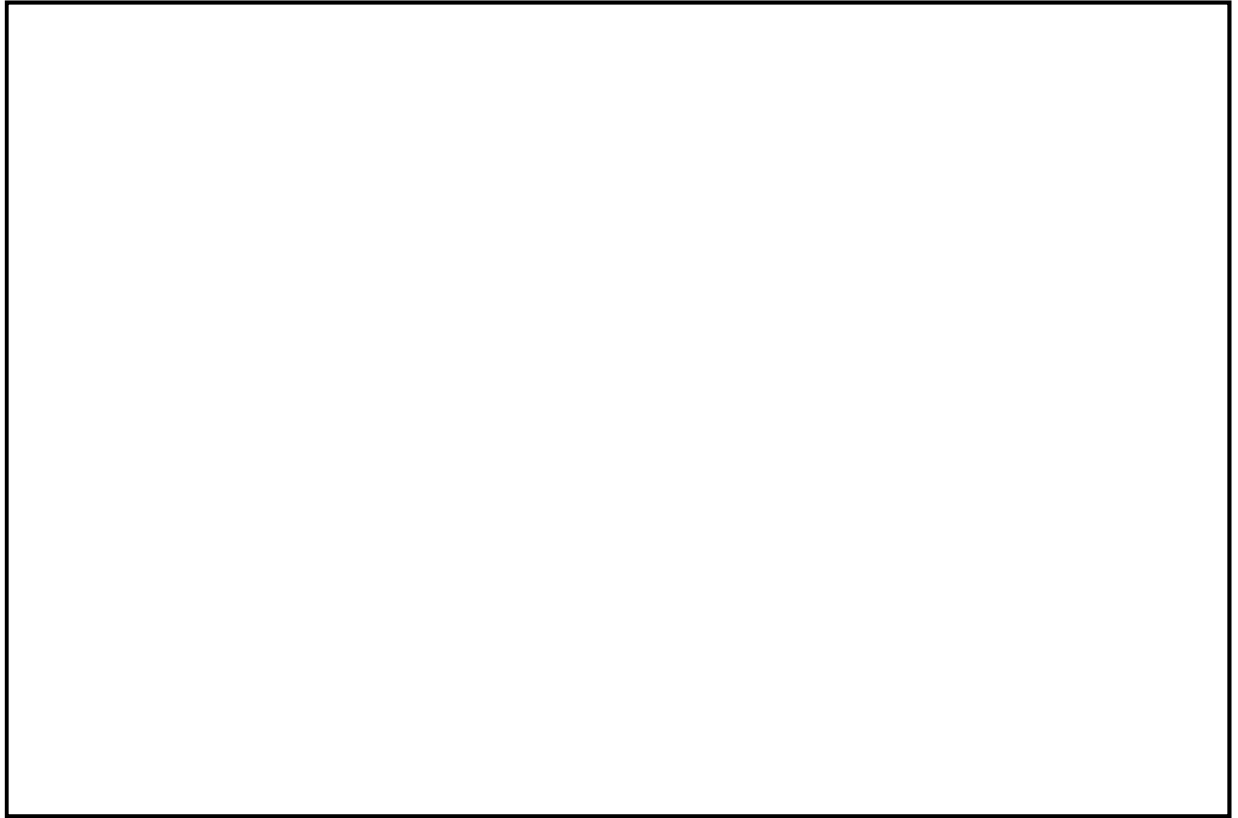
第 5.3-25 図 配管図(3/4)



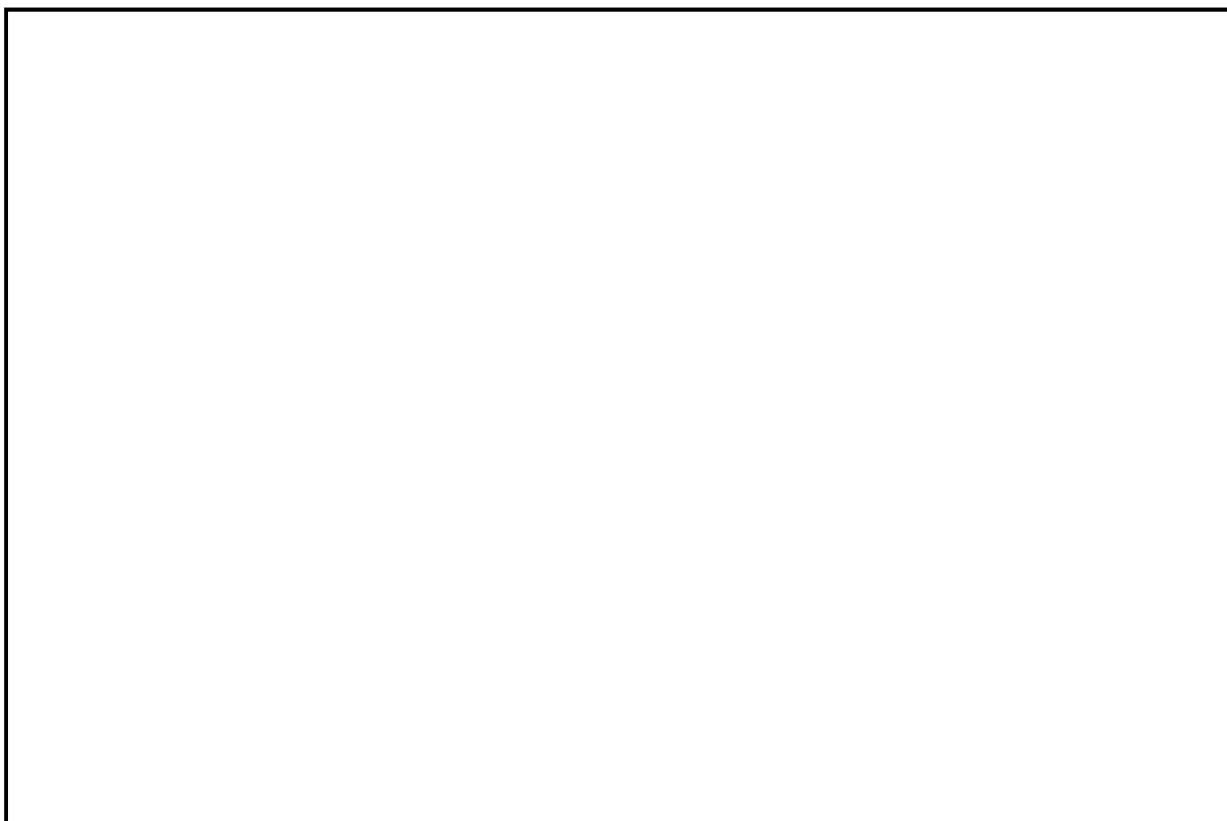
第 5.3-25 図 配管図(4/4)

第 5.3-25 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|--------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 純水補給水系 | MUWP-001R2 | C/B | C-1F-7 | 30 | 137 |



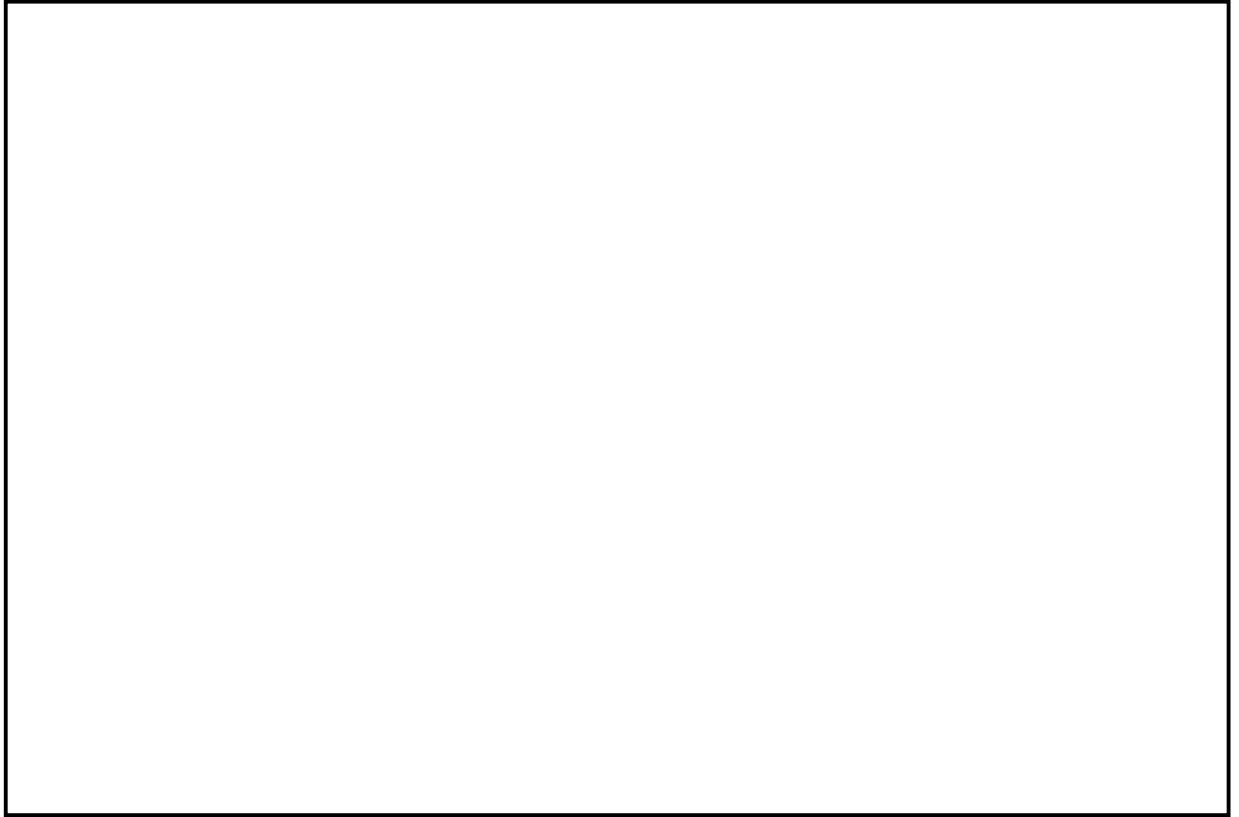
第 5.3-26 図 配管図(1/2)



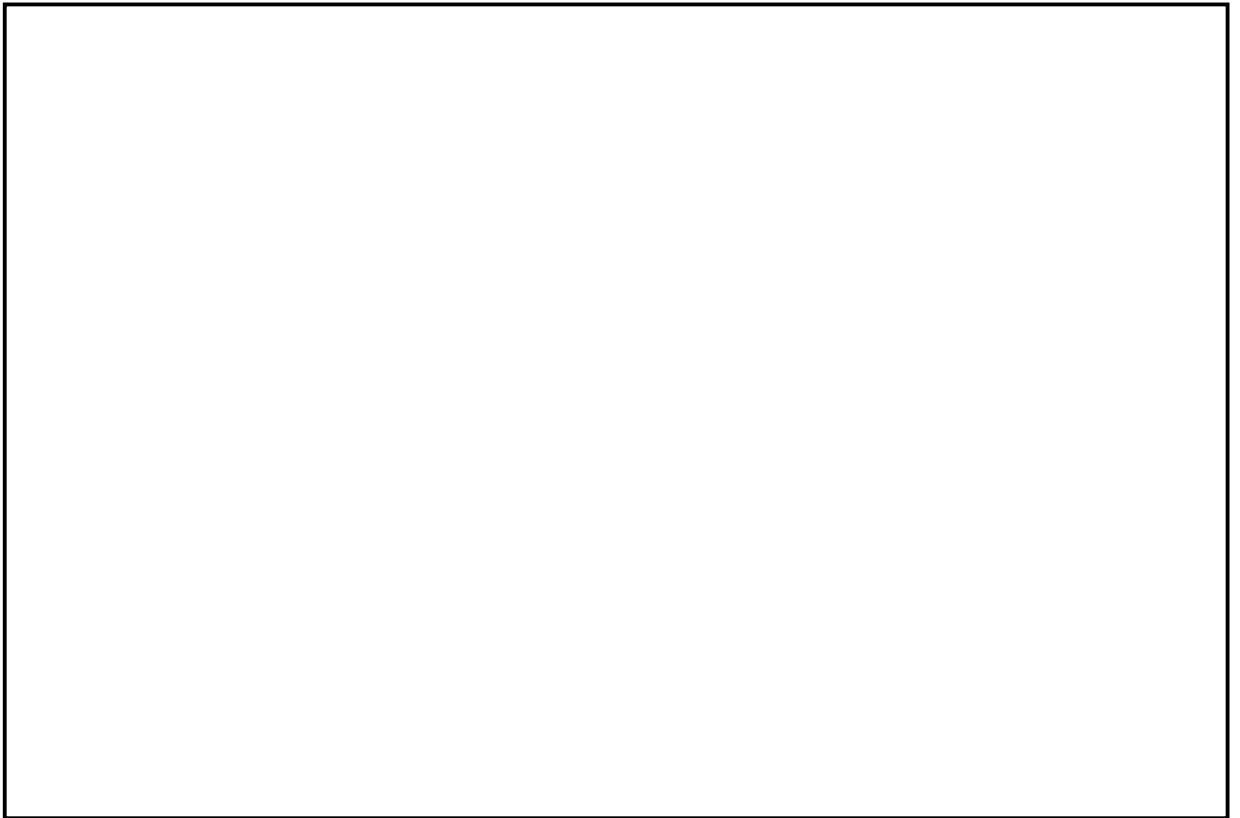
第 5.3-26 図 配管図(2/2)

第 5.3-26 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

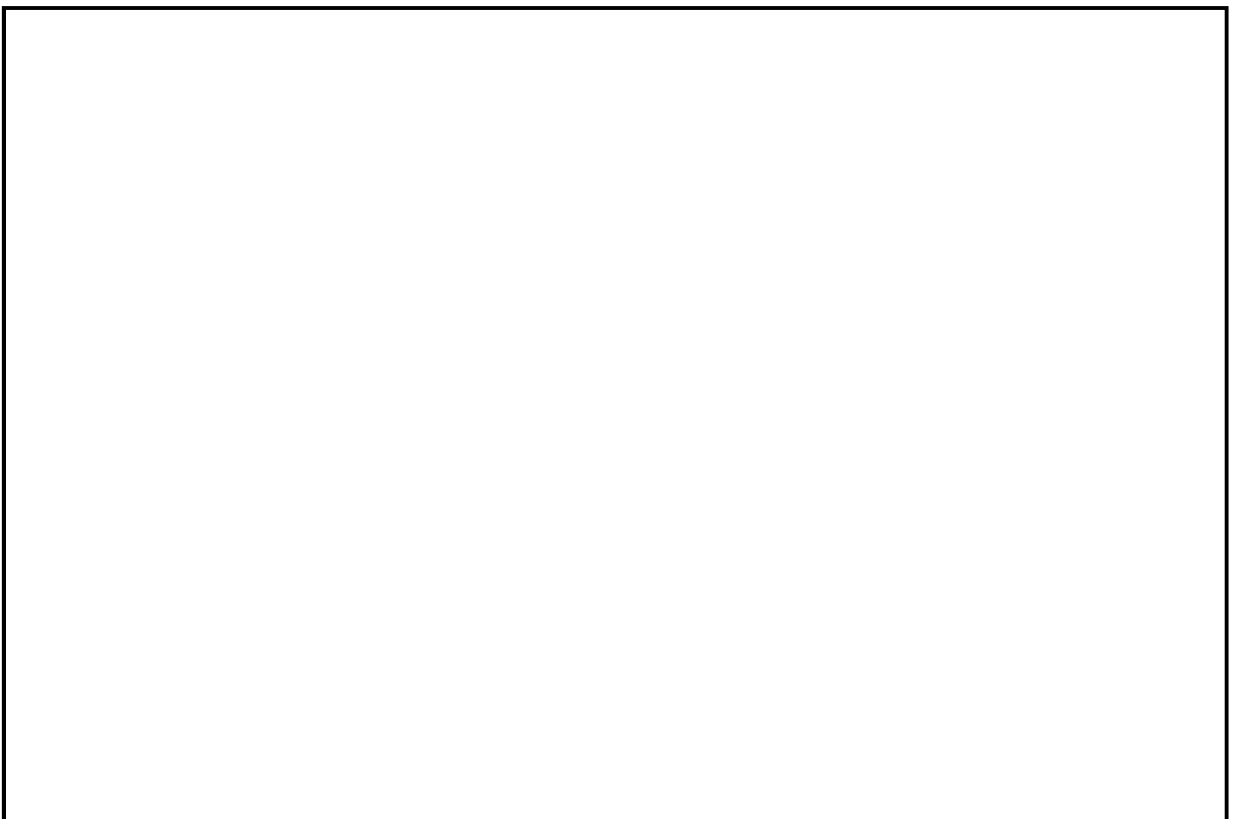
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 所内温水系 | HWH-R-X017 | R/B | R-3F-4 | 45 | 111 |



第 5.3-27 図 配管図(1/6)



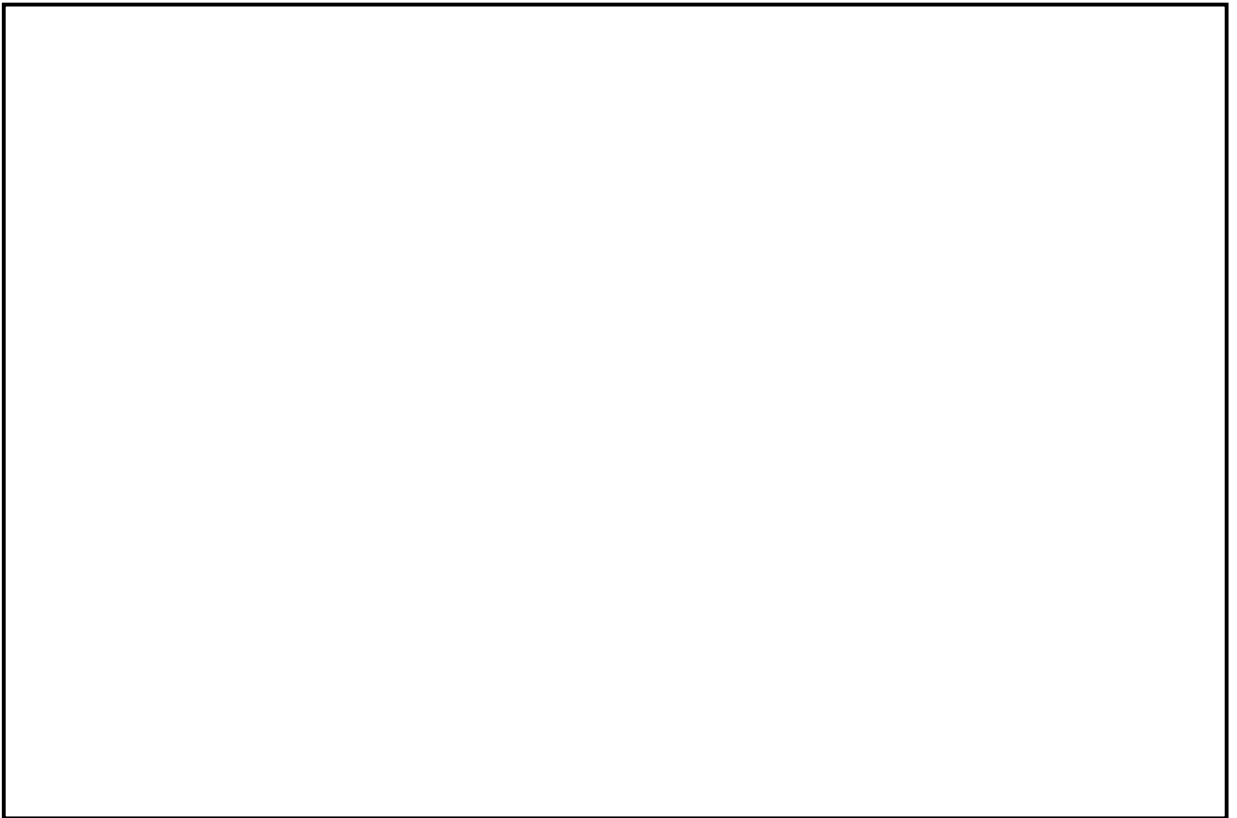
第 5.3-27 図 配管図(2/6)



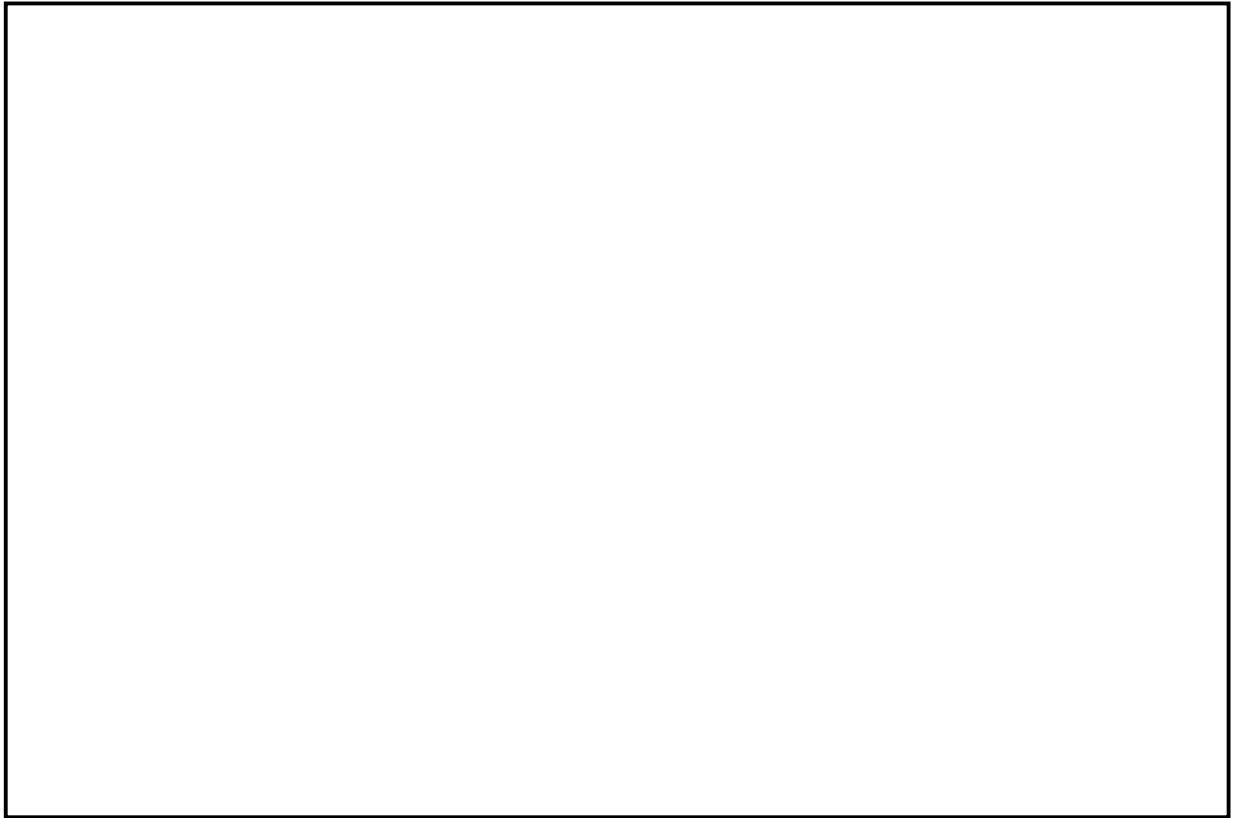
第 5.3-27 図 配管図(3/6)



第 5.3-27 図 配管図(4/6)



第 5.3-27 図 配管図(5/6)



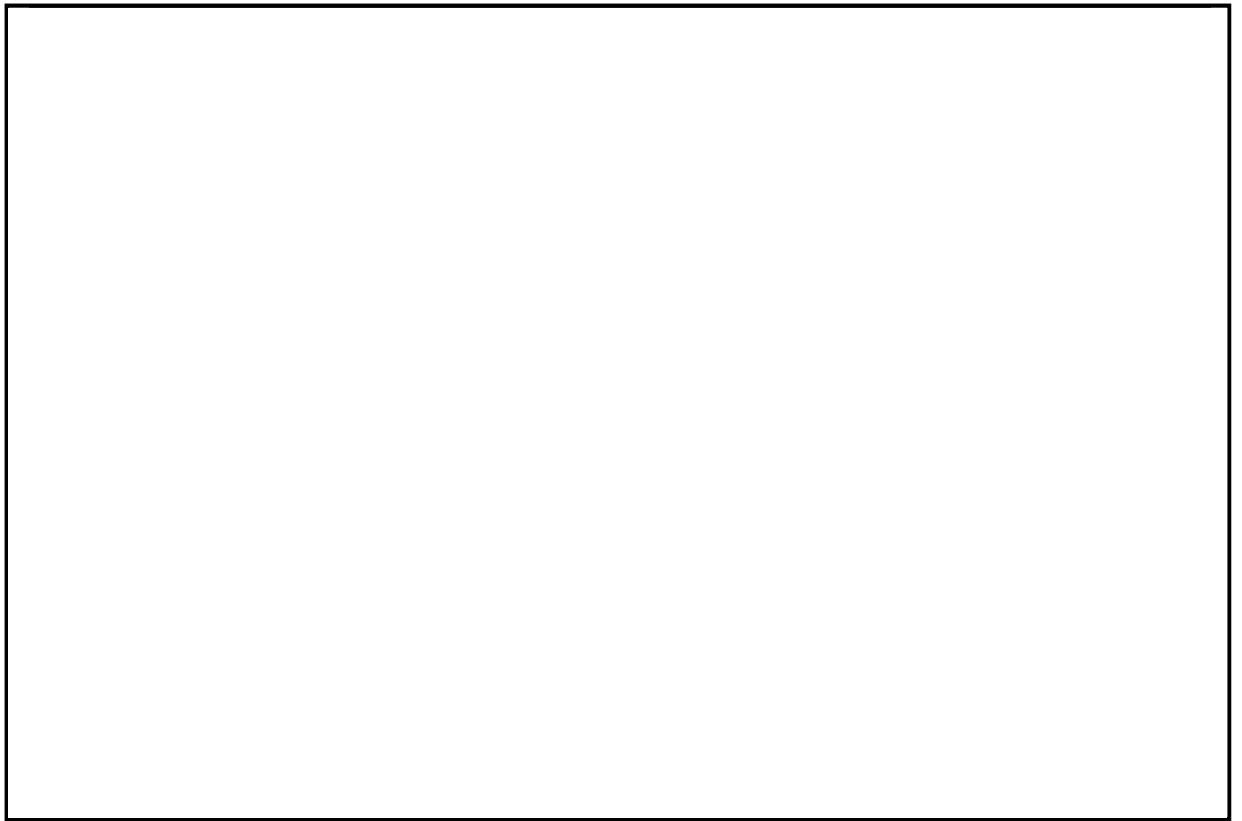
第 5.3-27 図 配管図(6/6)

第 5.3-27 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

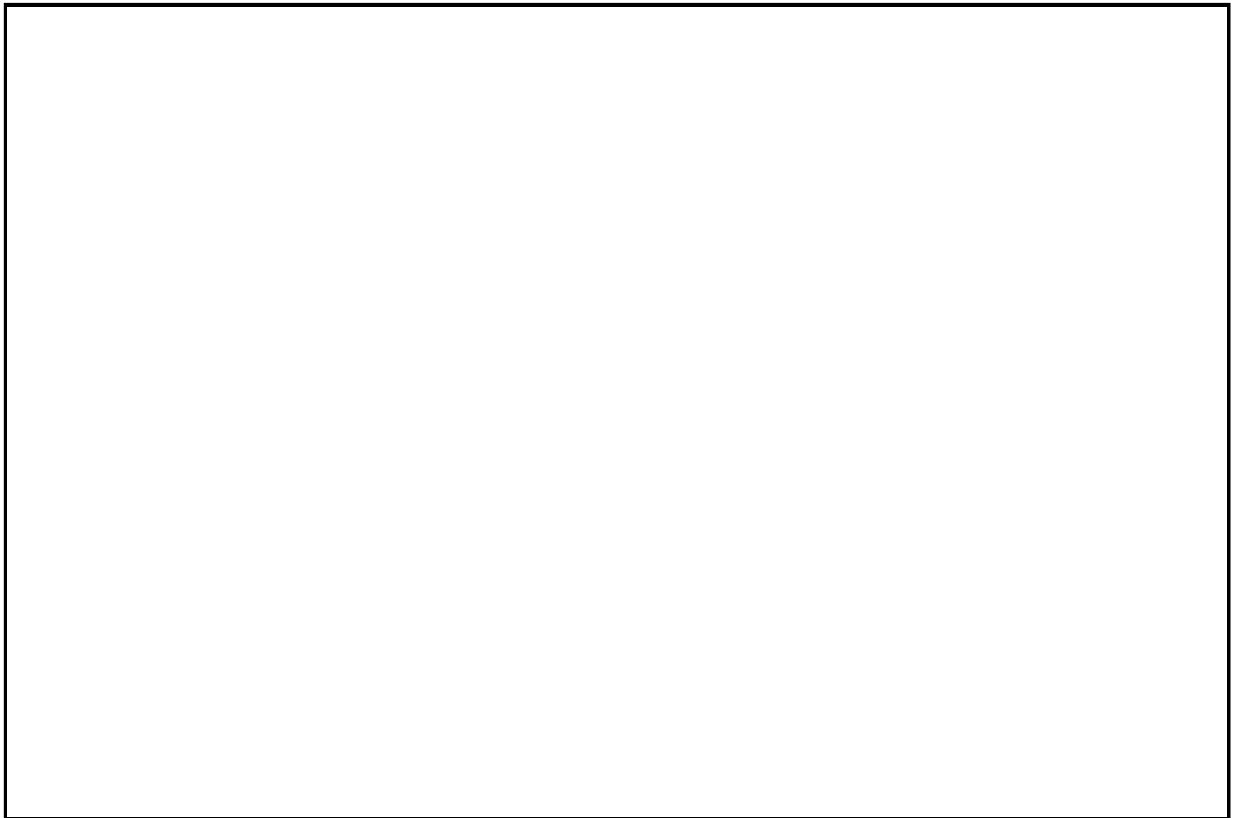
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|--------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 復水補給水系 | MUWC-R-102 | R/B | R-3F-4 | 36 | 111 |



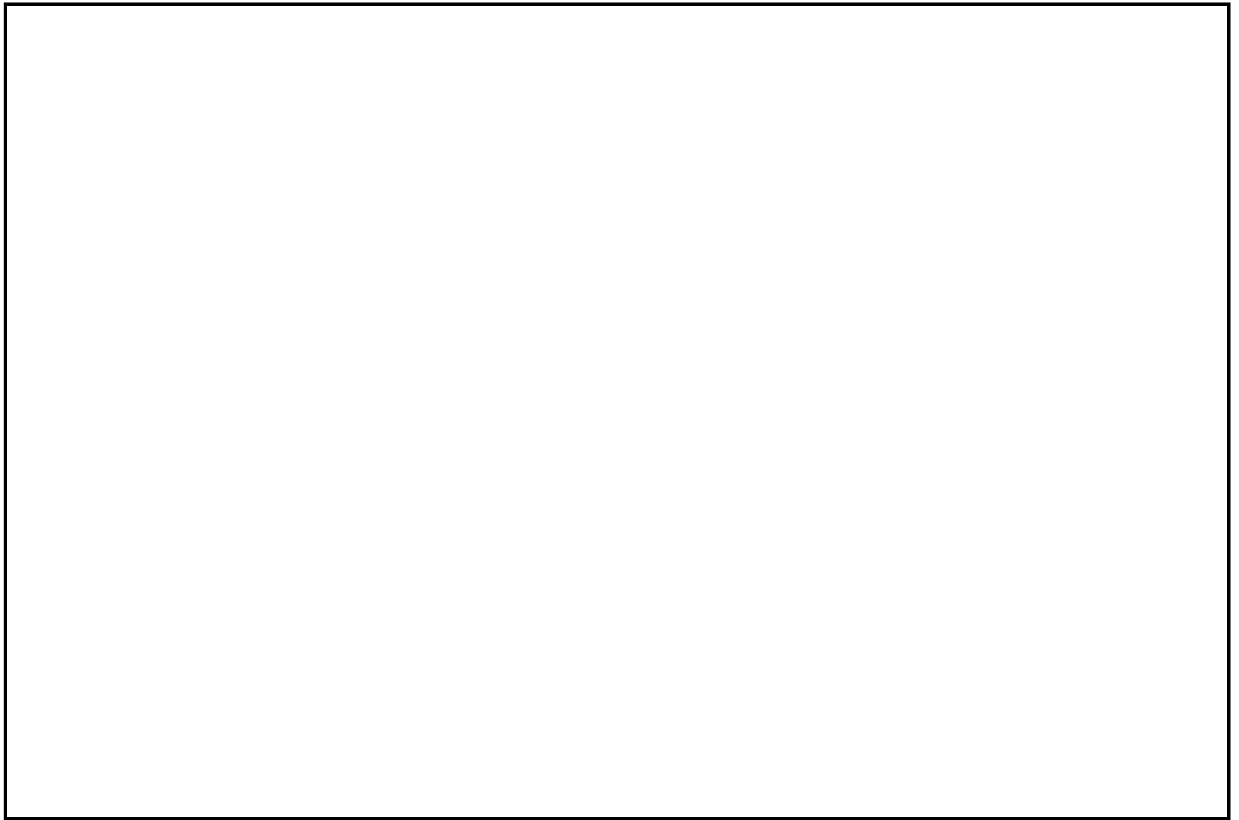
第 5.3-28 図 配管図 (1/13)



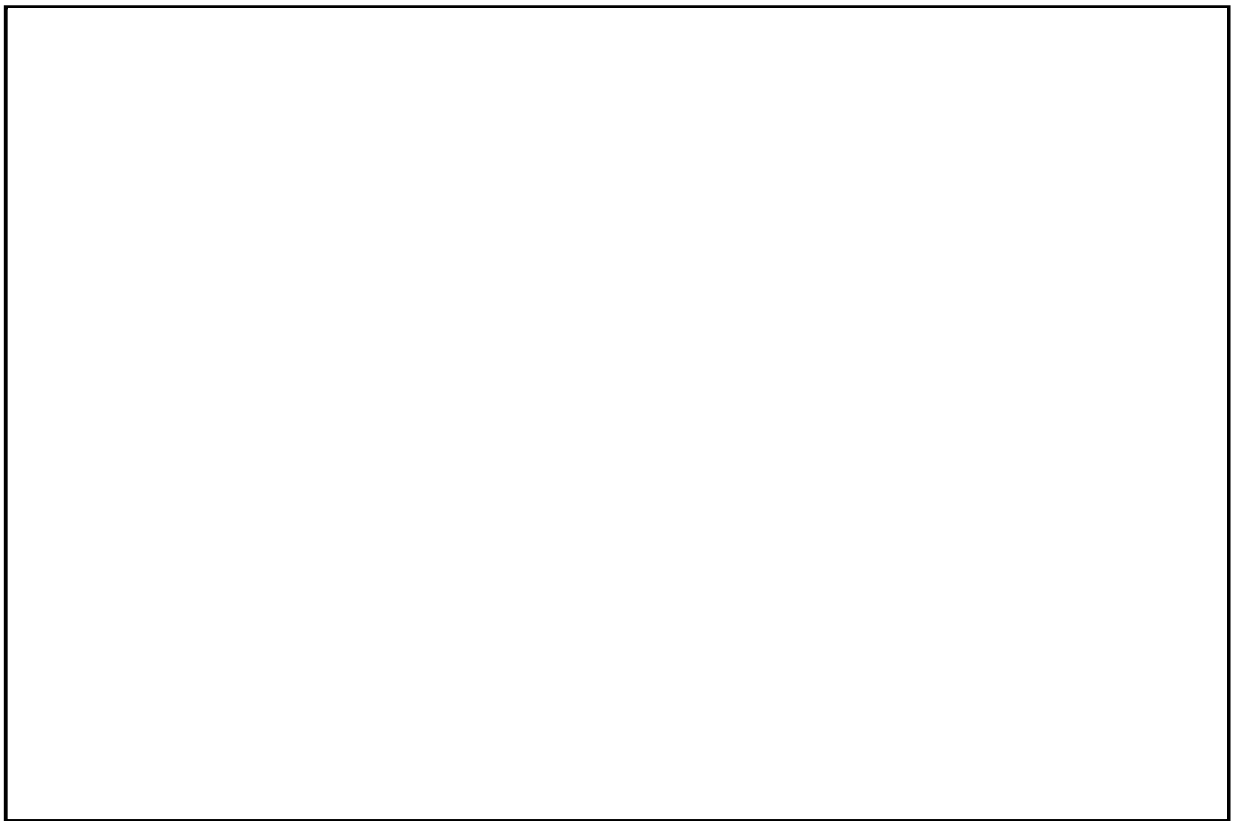
第 5.3-28 図 配管図 (2/13)



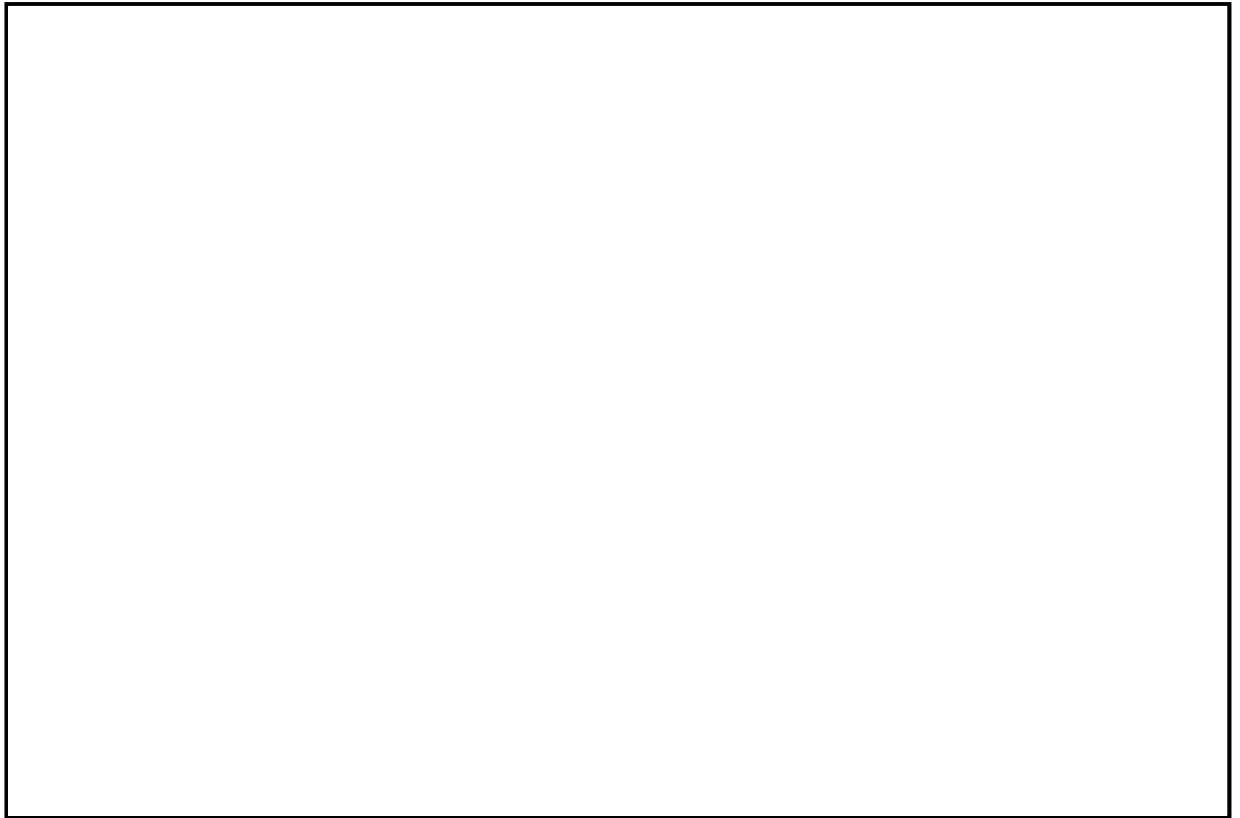
第 5.3-28 図 配管図 (3/13)



第 5.3-28 図 配管図(4/13)



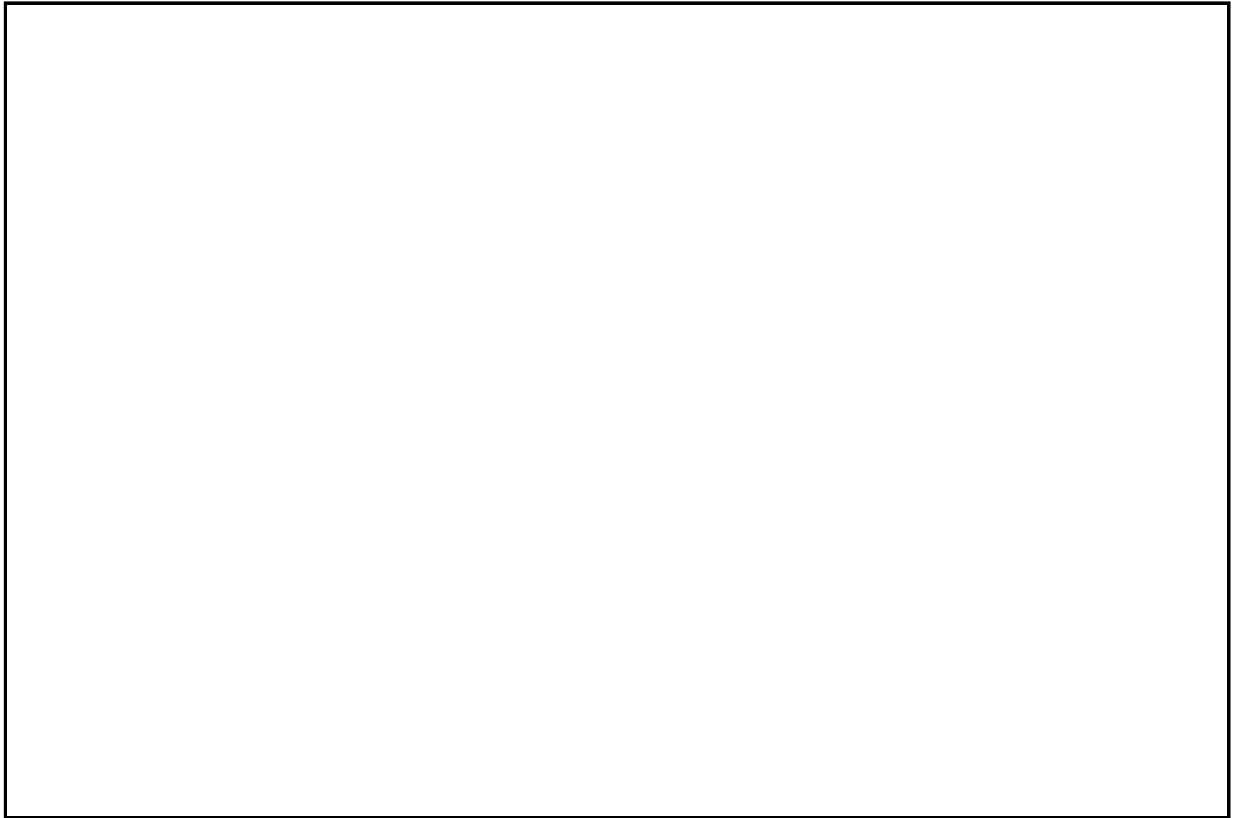
第 5.3-28 図 配管図(5/13)



第 5.3-28 図 配管図(6/13)



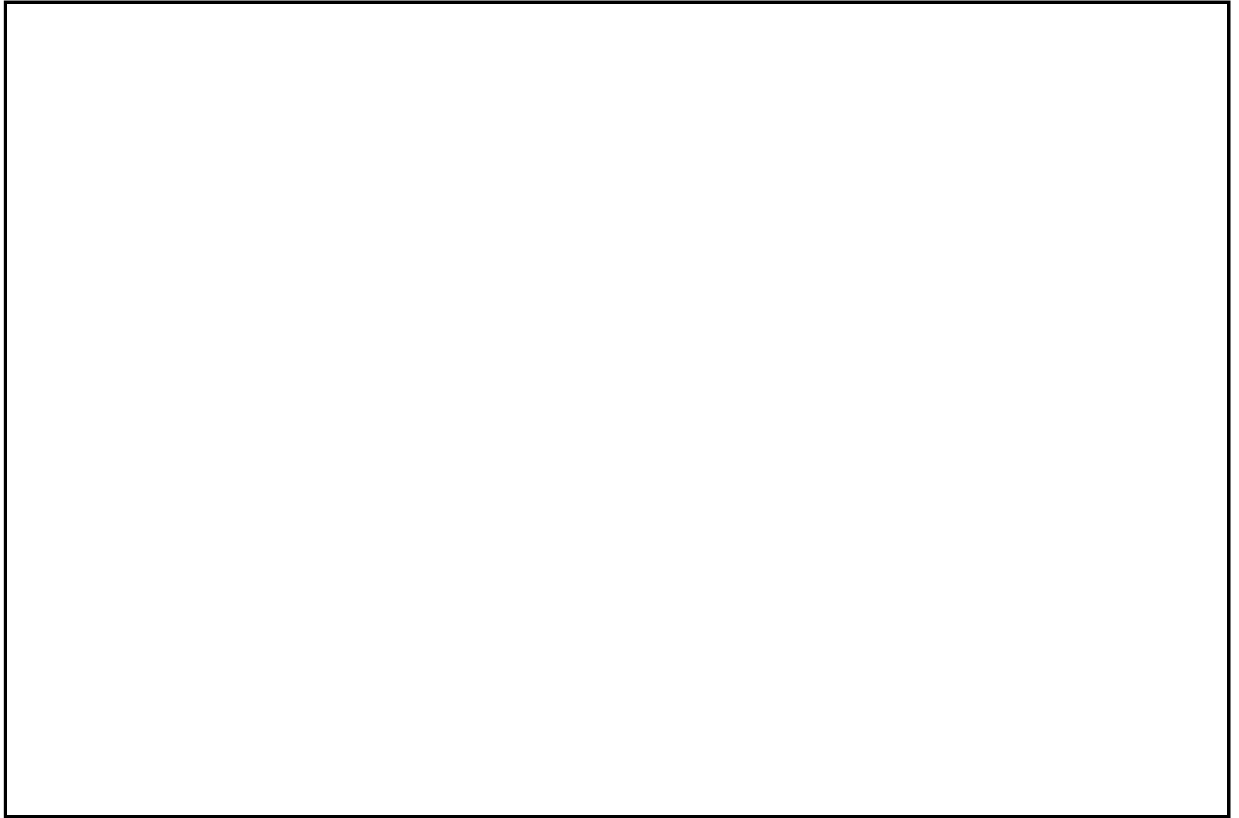
第 5.3-28 図 配管図(7/13)



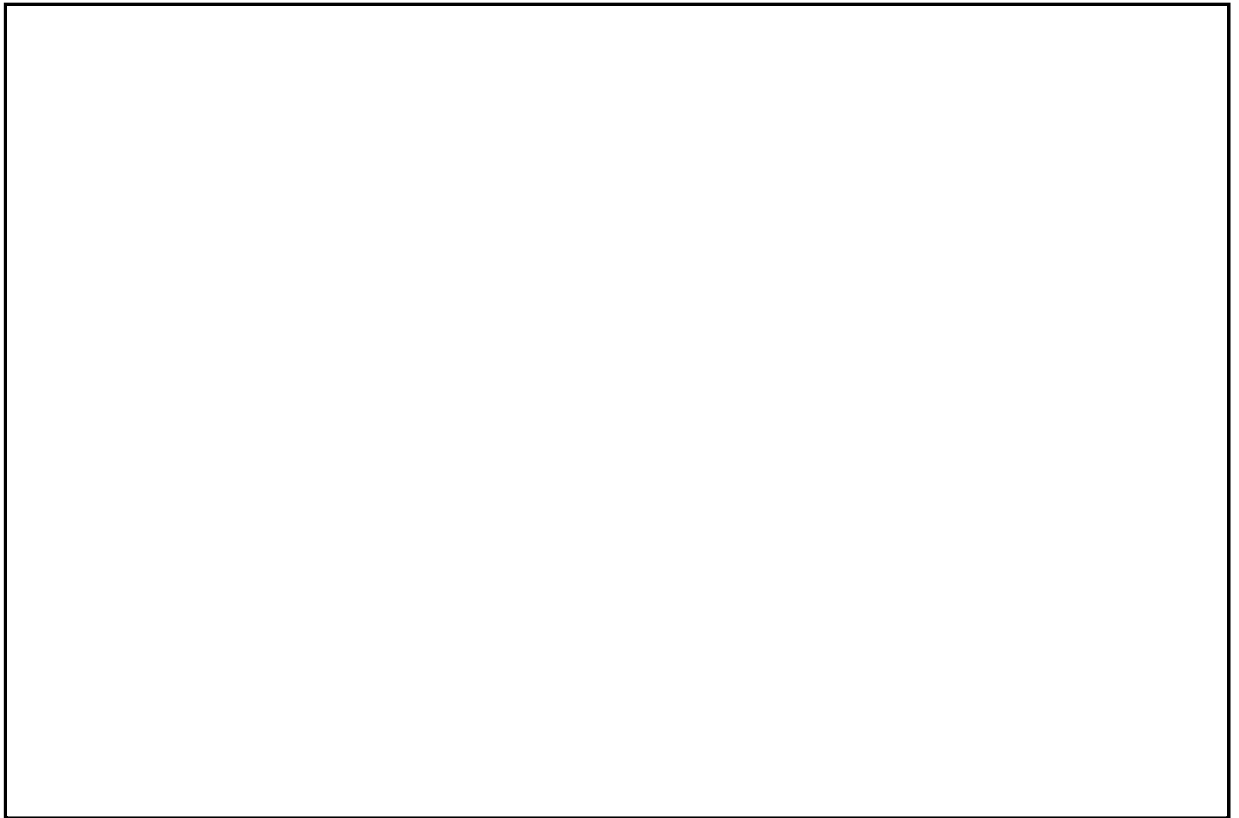
第 5.3-28 図 配管図(8/13)



第 5.3-28 図 配管図(9/13)



第 5.3-28 図 配管図(10/13)



第 5.3-28 図 配管図(11/13)



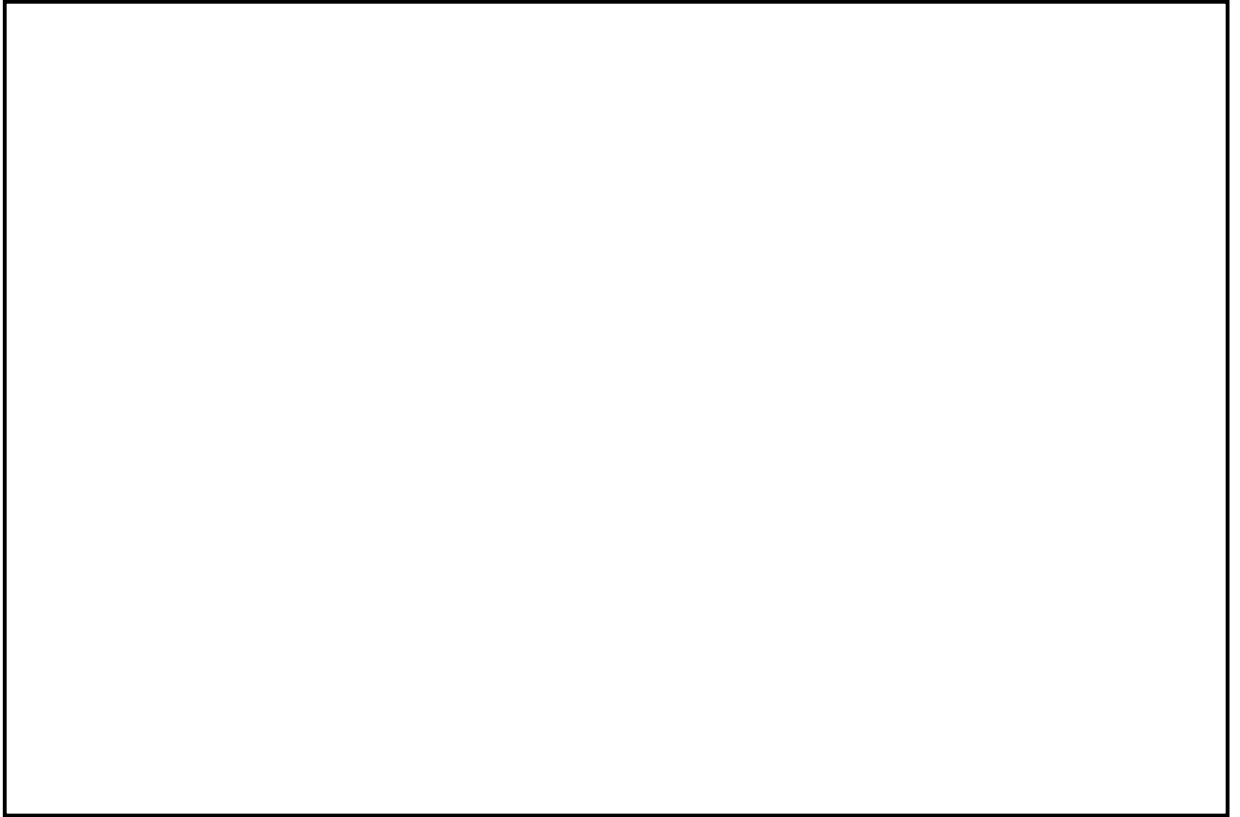
第 5.3-28 図 配管図(12/13)



第 5.3-28 図 配管図(13/13)

第 5.3-28 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

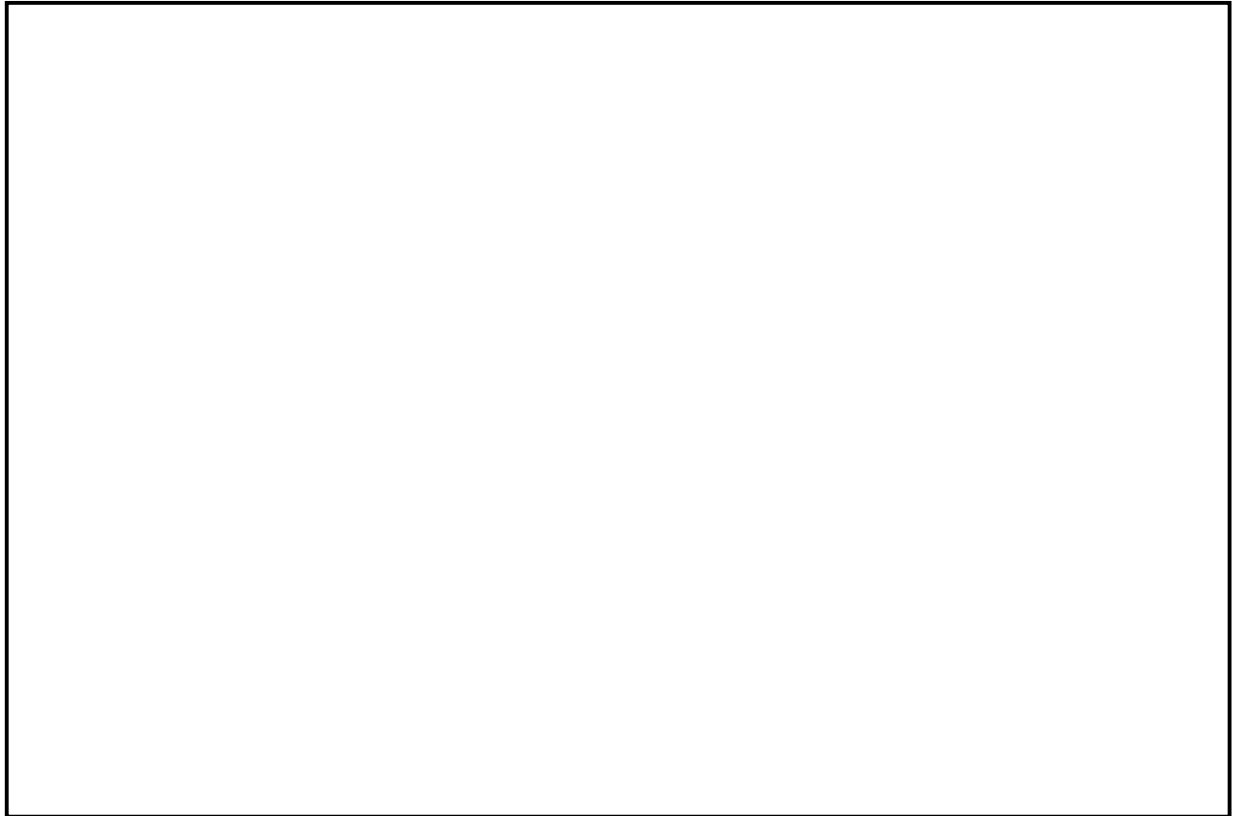
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------------|---------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却海水系 | RSW-H-3 | T/B | T-1F-4① | 65 | 108 |



第 5.3-29 図 配管図(1/1)

第 5.3-29 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------------|----------|-----|---------|---------------|------------------------|
| 原子炉補機冷却海水系 | RSW-H-11 | T/B | T-1F-4① | 65 | 108 |



第 5.3-30 図 配管図(1/1)

第 5.3-30 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------------------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | HECW-C-H03 | C/B | C-2F-3 | 81 | 100 |
| | | | C-1F-7 | | |
| | | | C-B1-6 | | |



第 5.3-31 図 配管図(1/2)



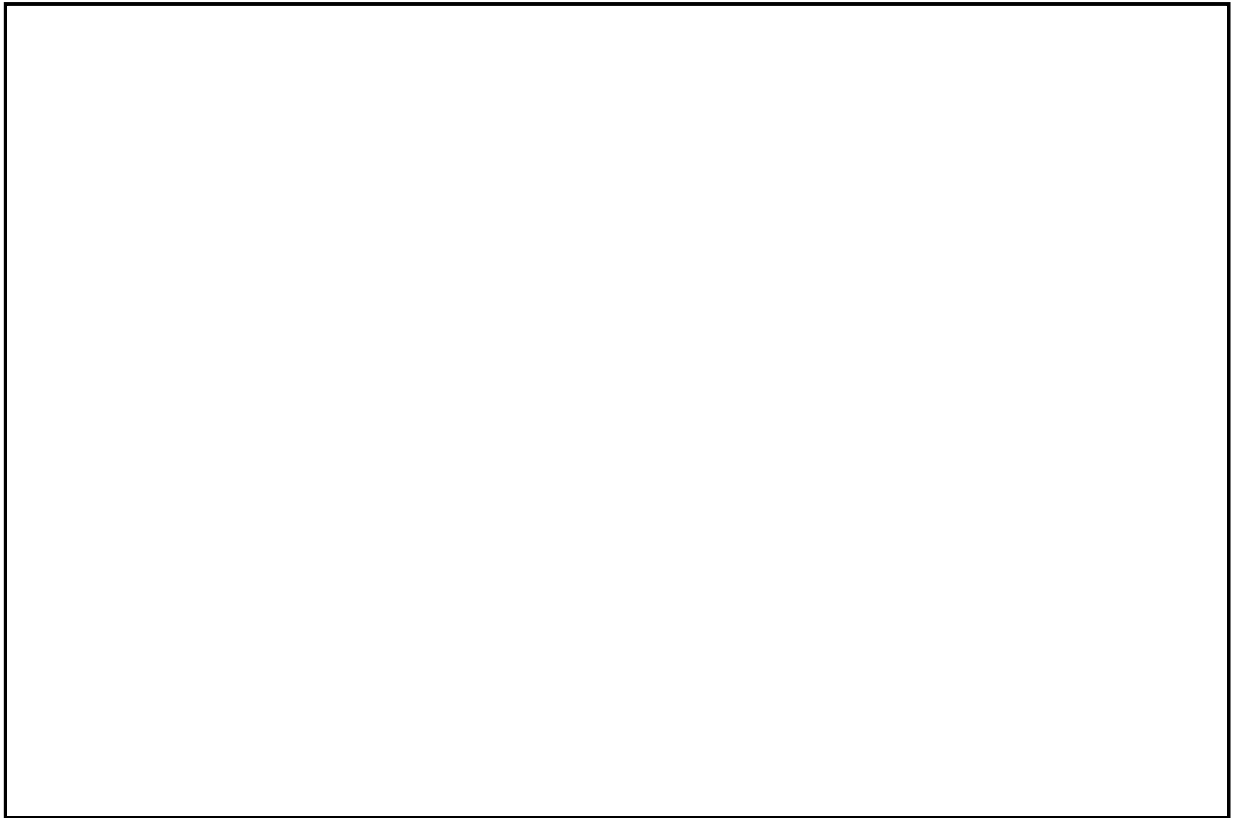
第 5.3-31 図 配管図(2/2)

第 5.3-31 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

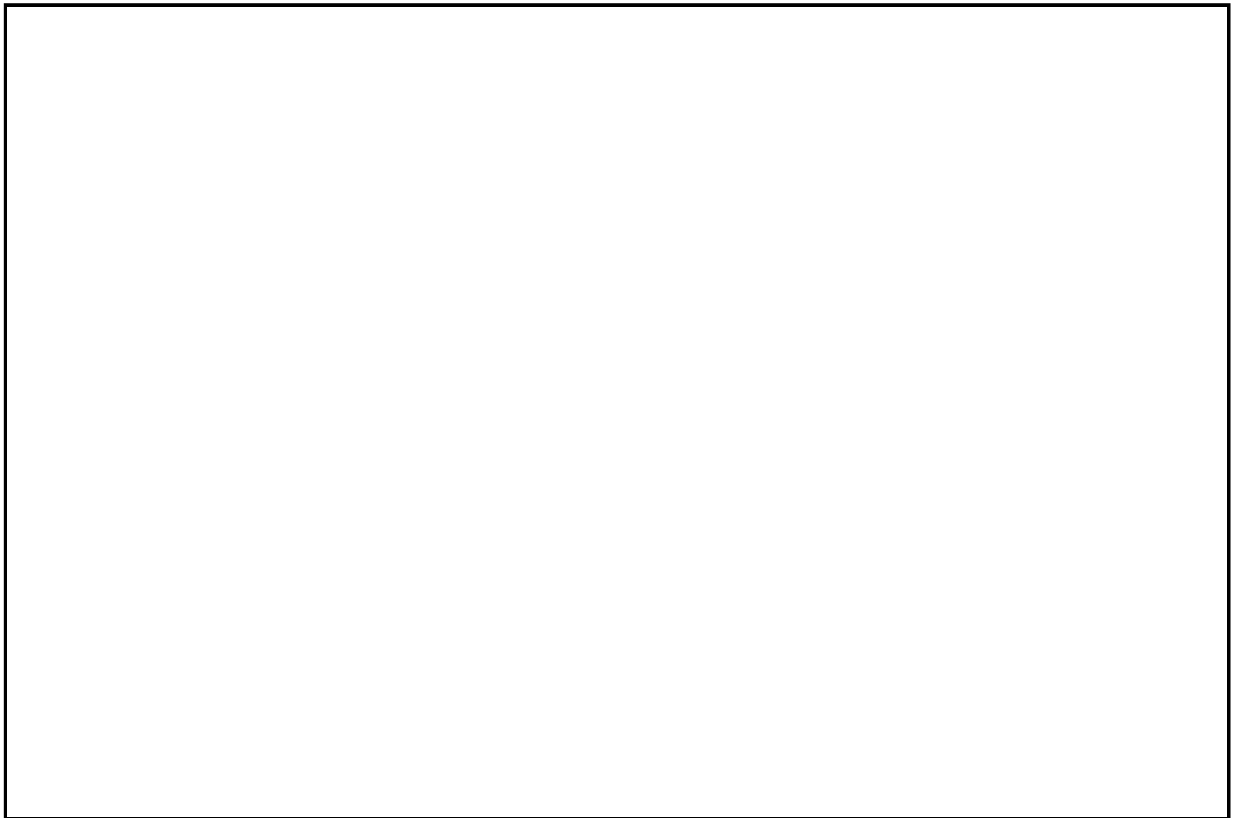
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------------------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | HECW-C-H04 | C/B | C-2F-3 | 75 | 100 |
| | | | C-1F-7 | | |
| | | | C-B1-6 | | |



第 5.3-32 図 配管図(1/3)



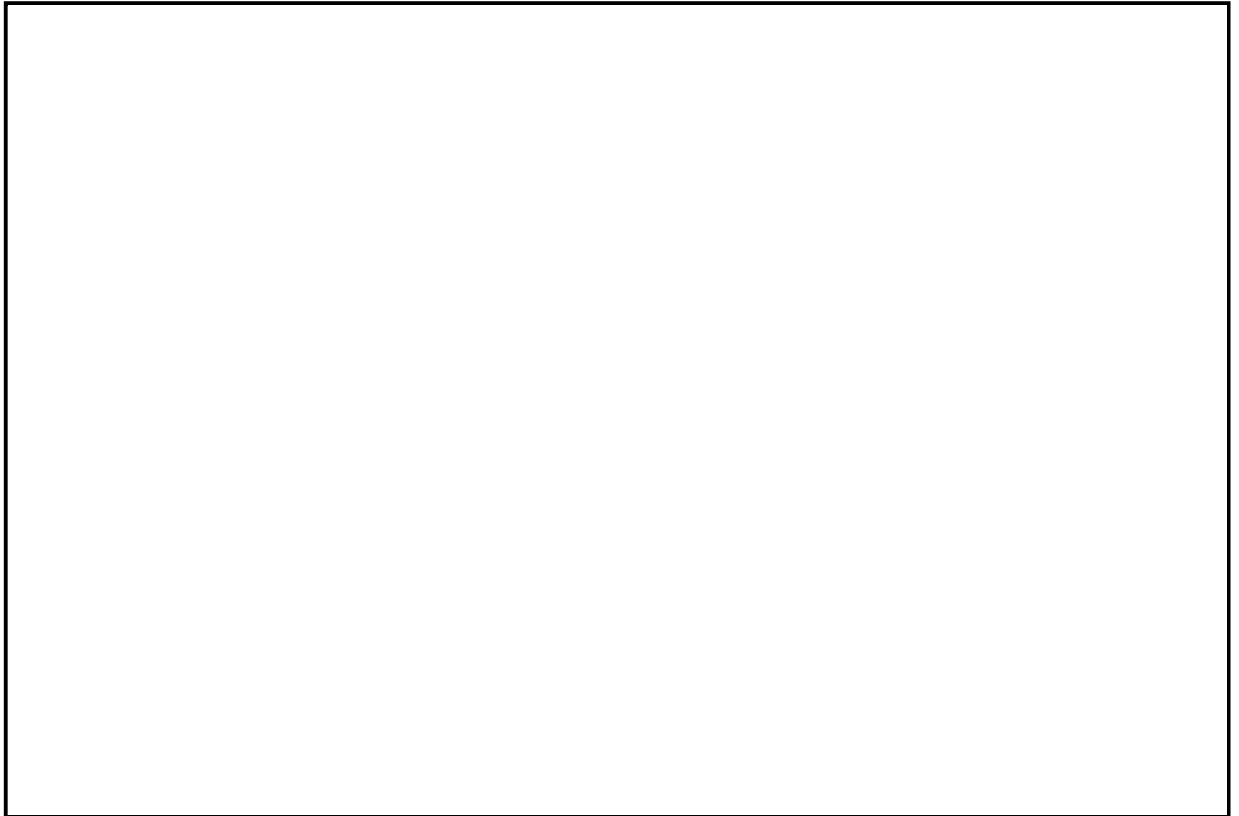
第 5.3-32 図 配管図(2/3)



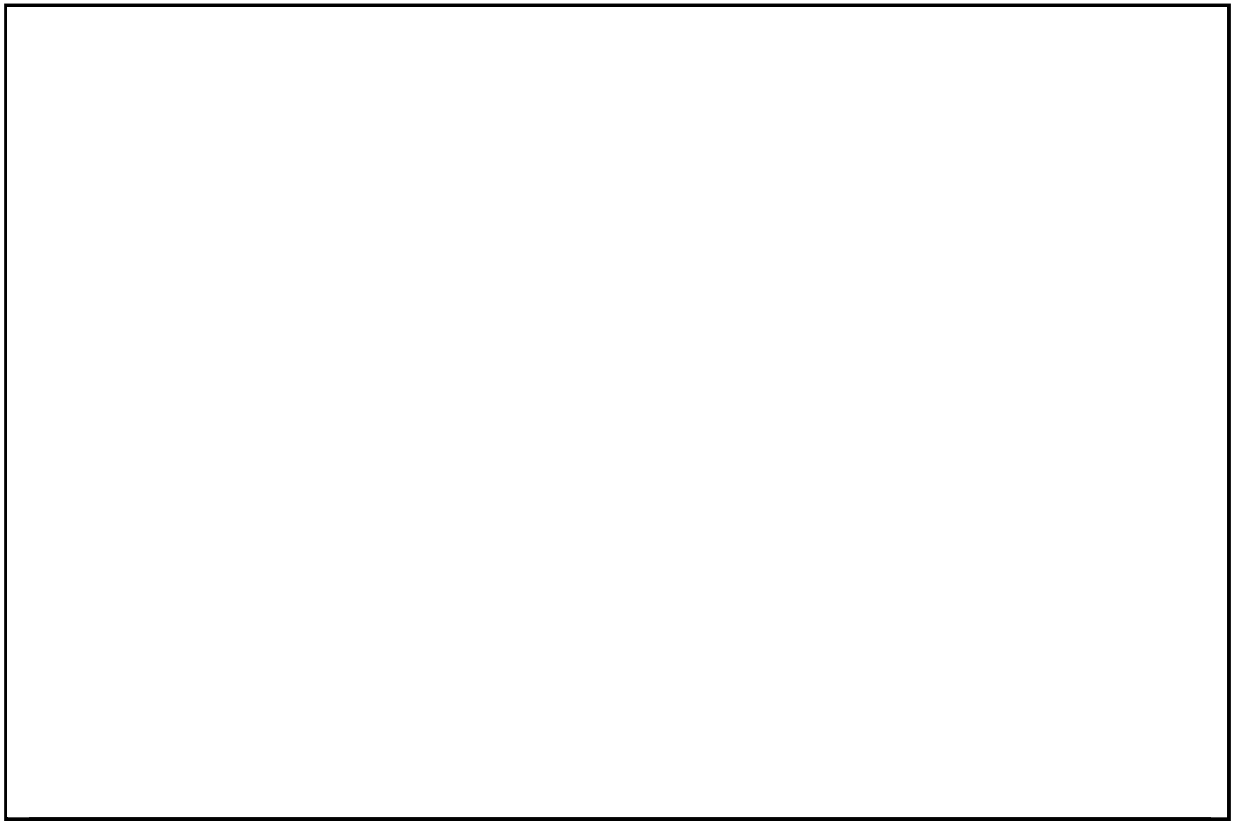
第 5.3-32 図 配管図(3/3)

第 5.3-32 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

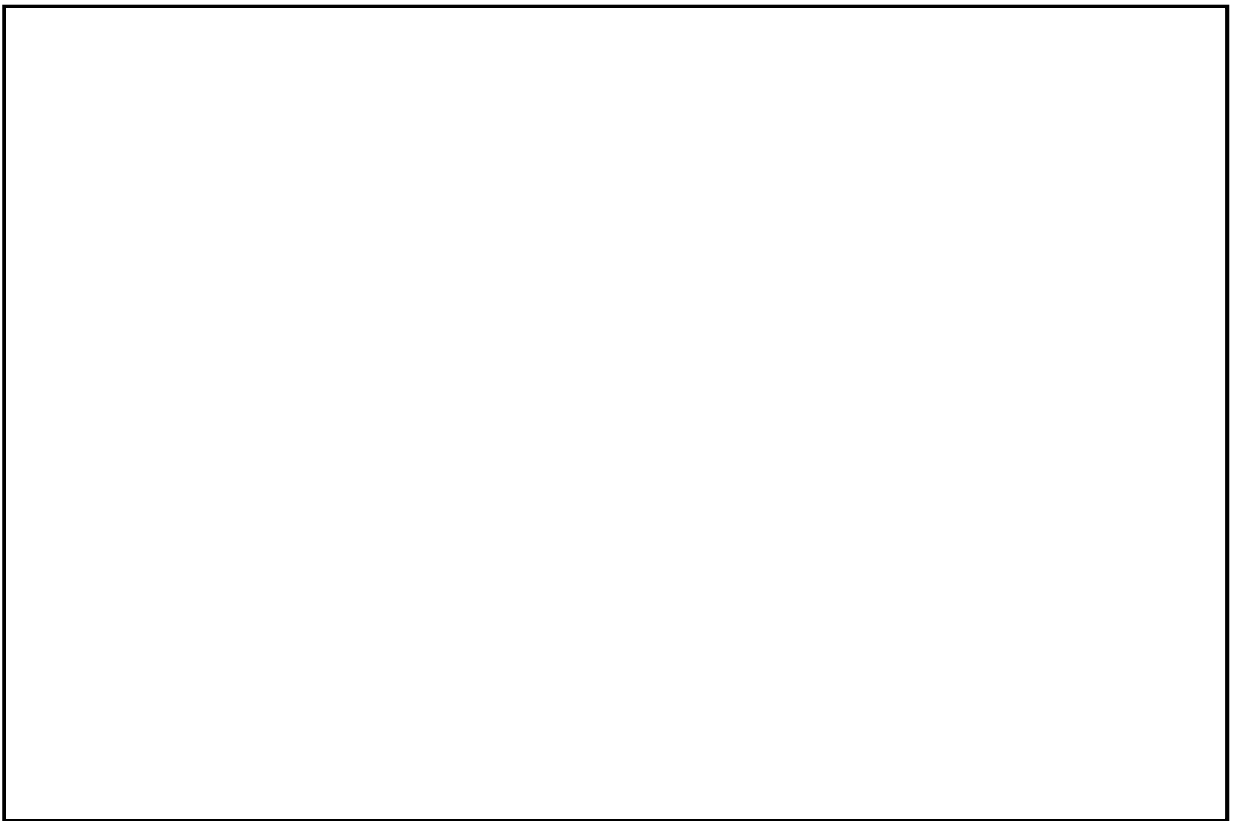
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------------------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | HECW-C-H10 | C/B | C-2F-3 | 89 | 100 |
| | | | C-B1-6 | | |



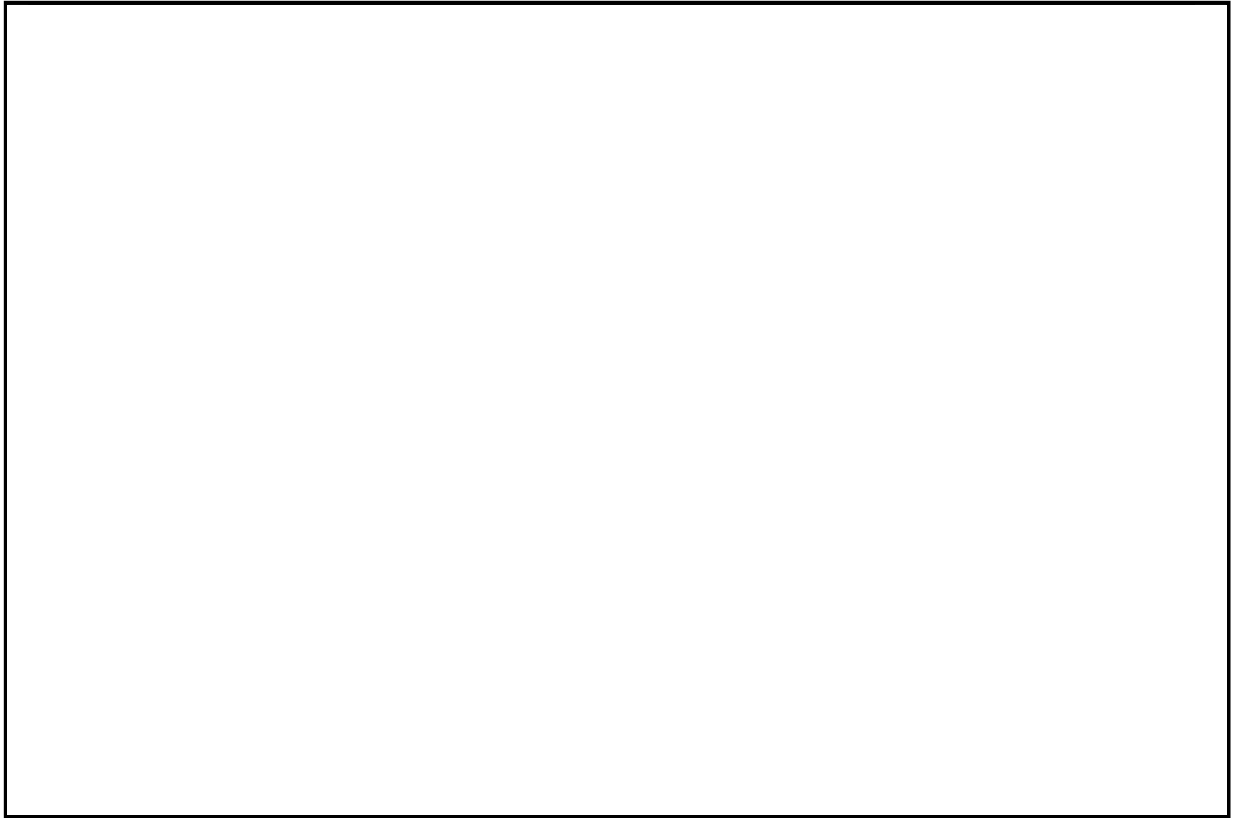
第 5.3-33 図 配管図(1/4)



第 5.3-33 図 配管図(2/4)



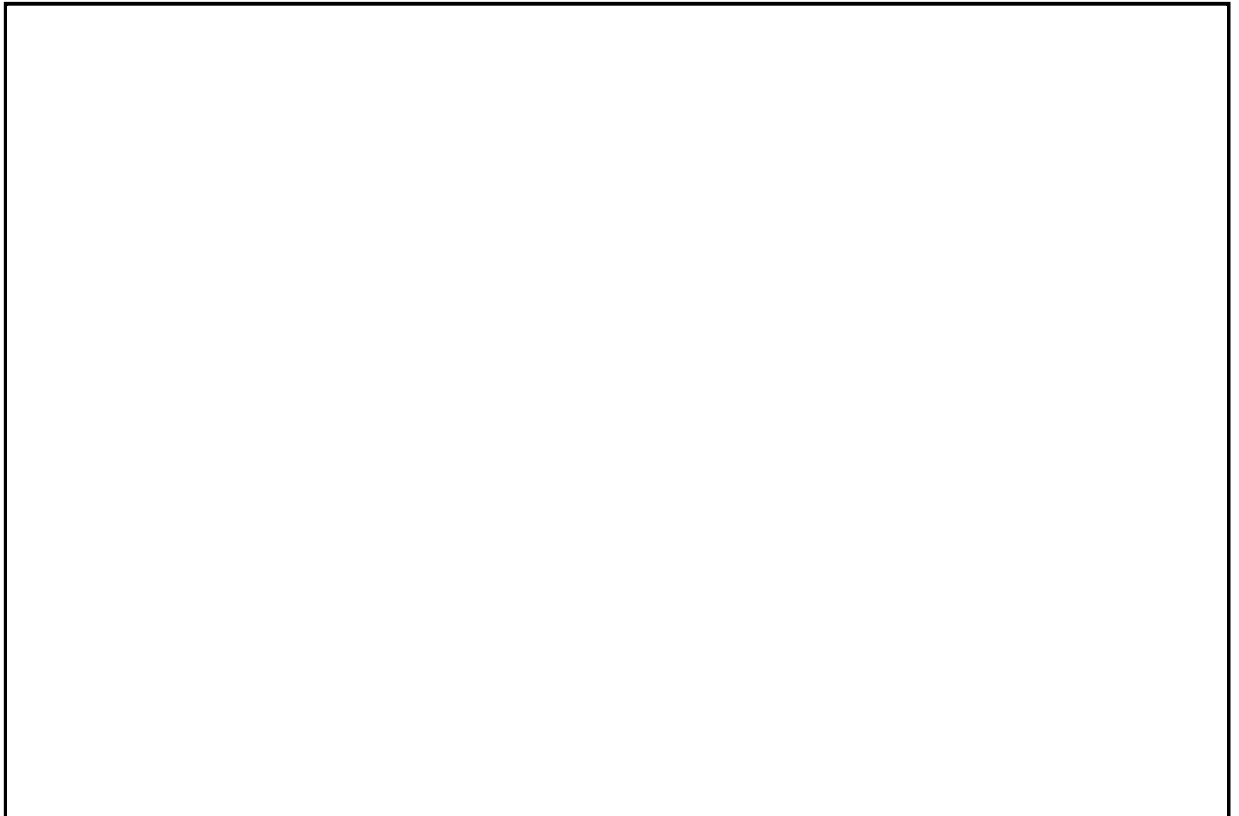
第 5.3-33 図 配管図(3/4)



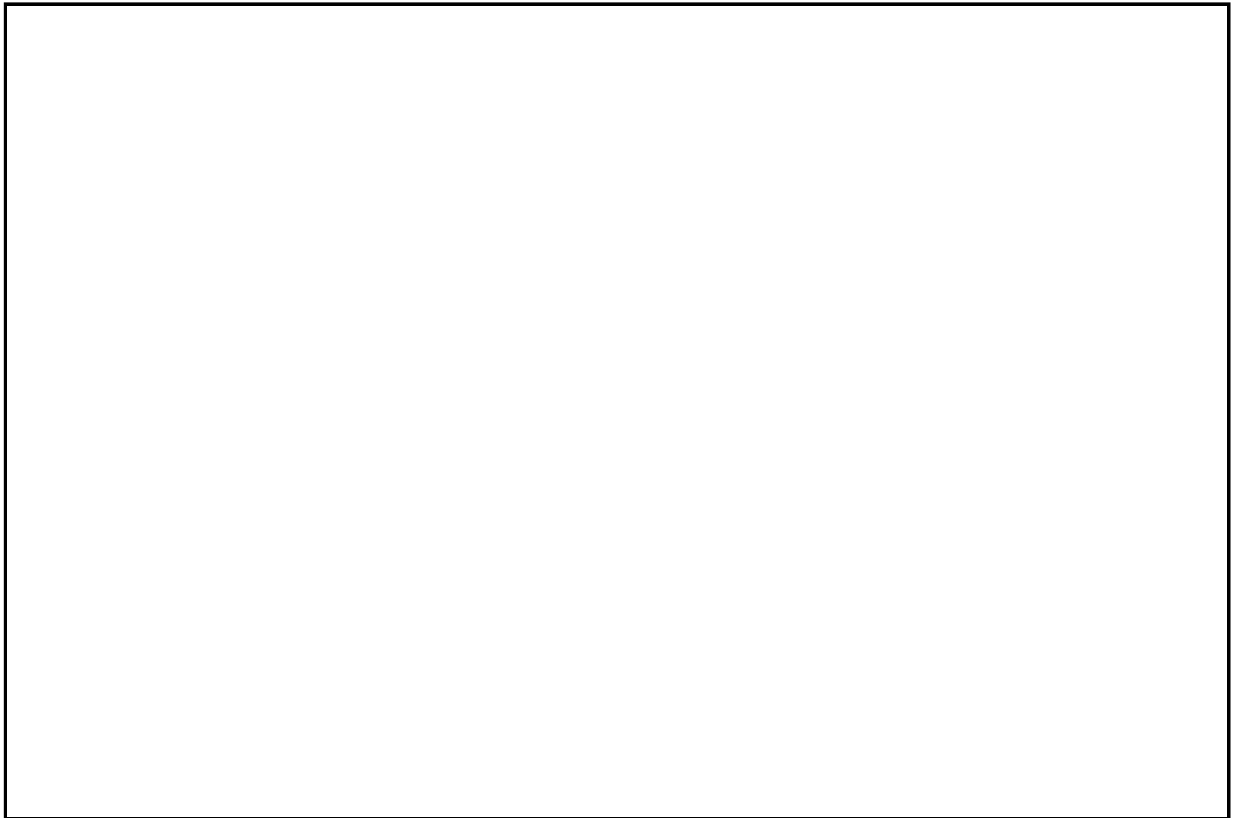
第 5.3-33 図 配管図(4/4)

第 5.3-33 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------------------|------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | HECW-C-H11 | C/B | C-2F-3 | 52 | 100 |
| | | | C-B1-6 | | |



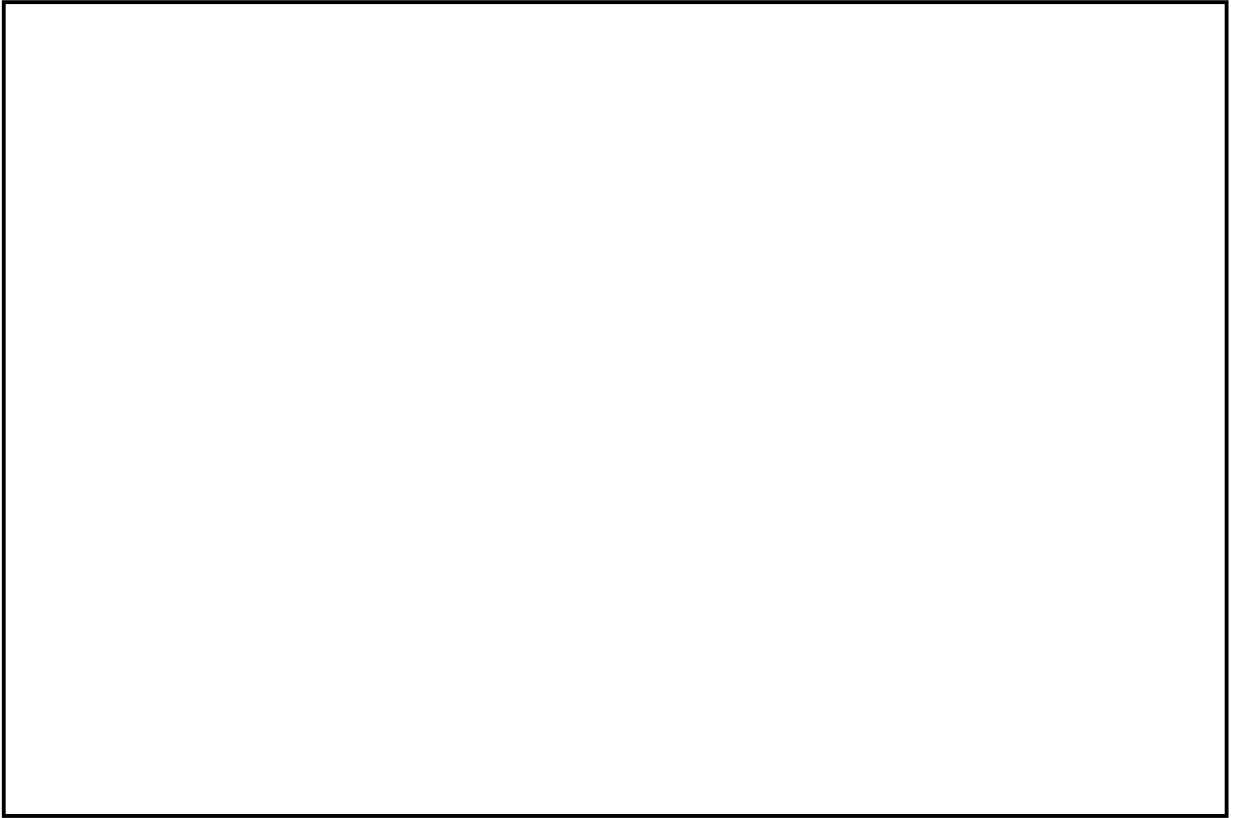
第 5.3-34 図 配管図(1/4)



第 5.3-34 図 配管図(2/4)



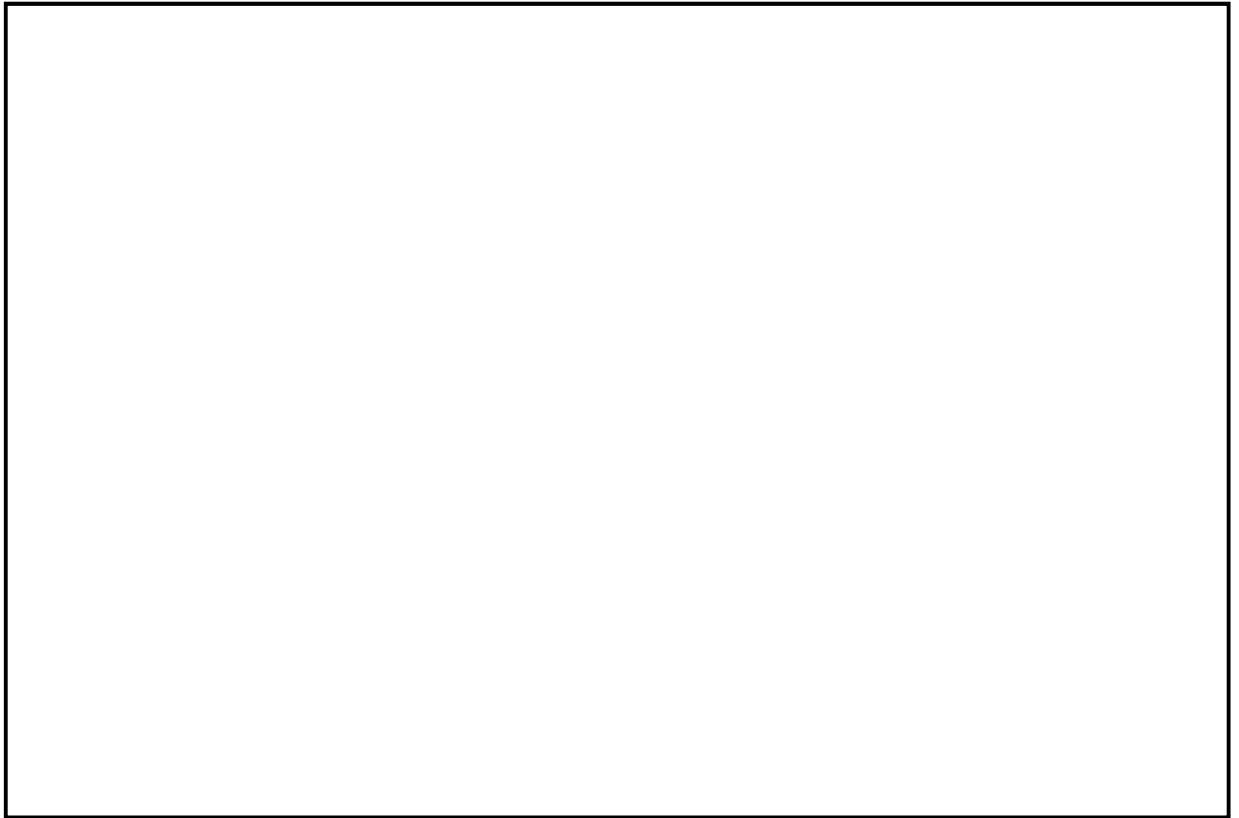
第 5.3-34 図 配管図(3/4)



第 5.3-34 図 配管図(4/4)

第 5.3-34 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------------------|-------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | HECW-C-X050 | C/B | C-B2-3 | 26 | 111 |



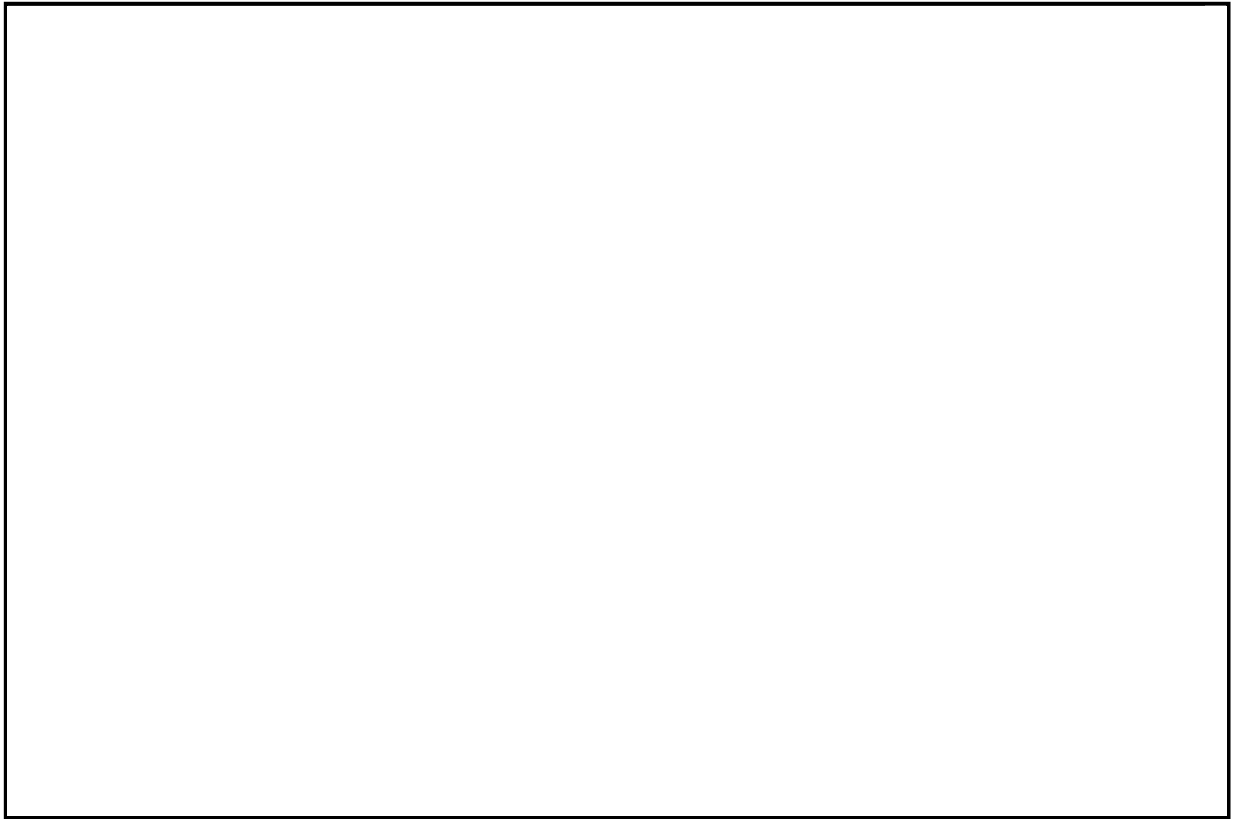
第 5.3-35 図 配管図(1/2)



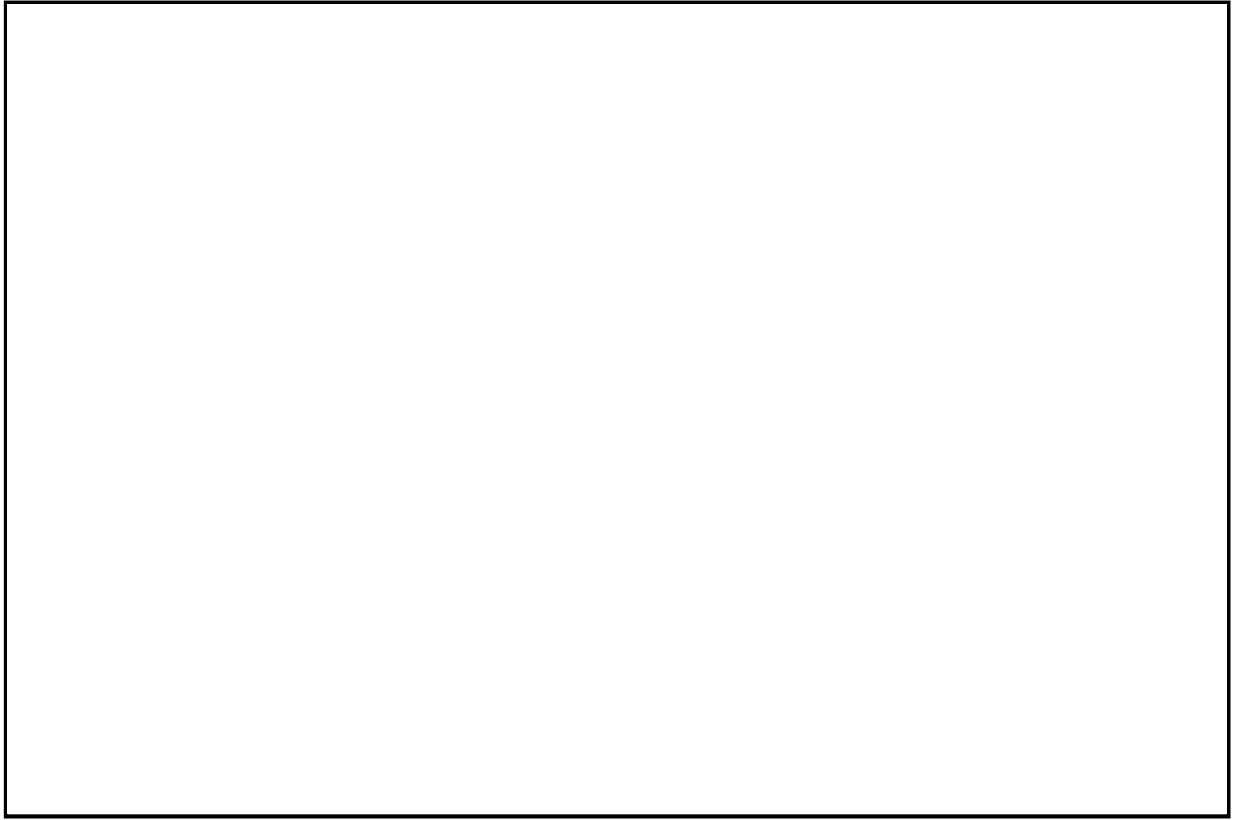
第 5.3-35 図 配管図(2/2)

第 5.3-36 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|-------------------|-------------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 換気空調補機 非常用冷却水系 | HECW-C-X151 | C/B | C-B2-3 | 29 | 111 |



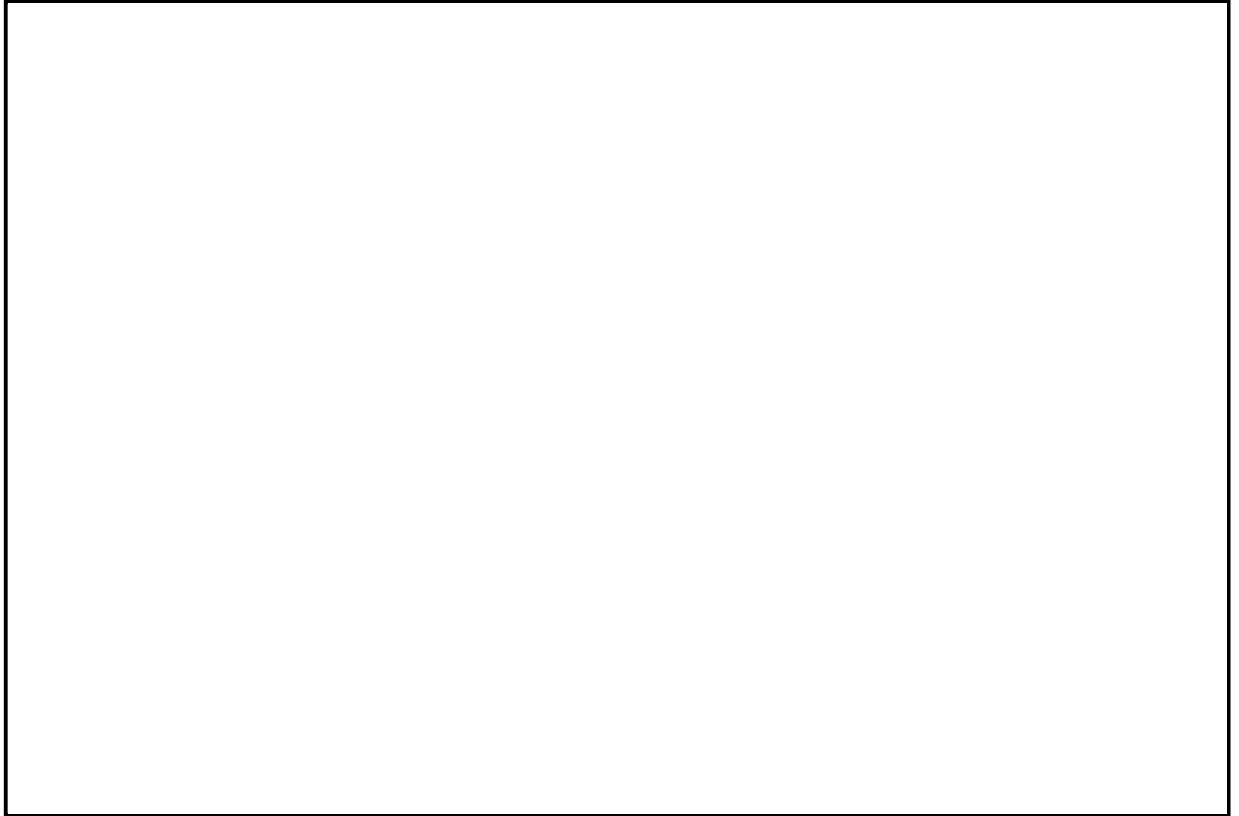
第 5.3-37 図 配管図(1/2)



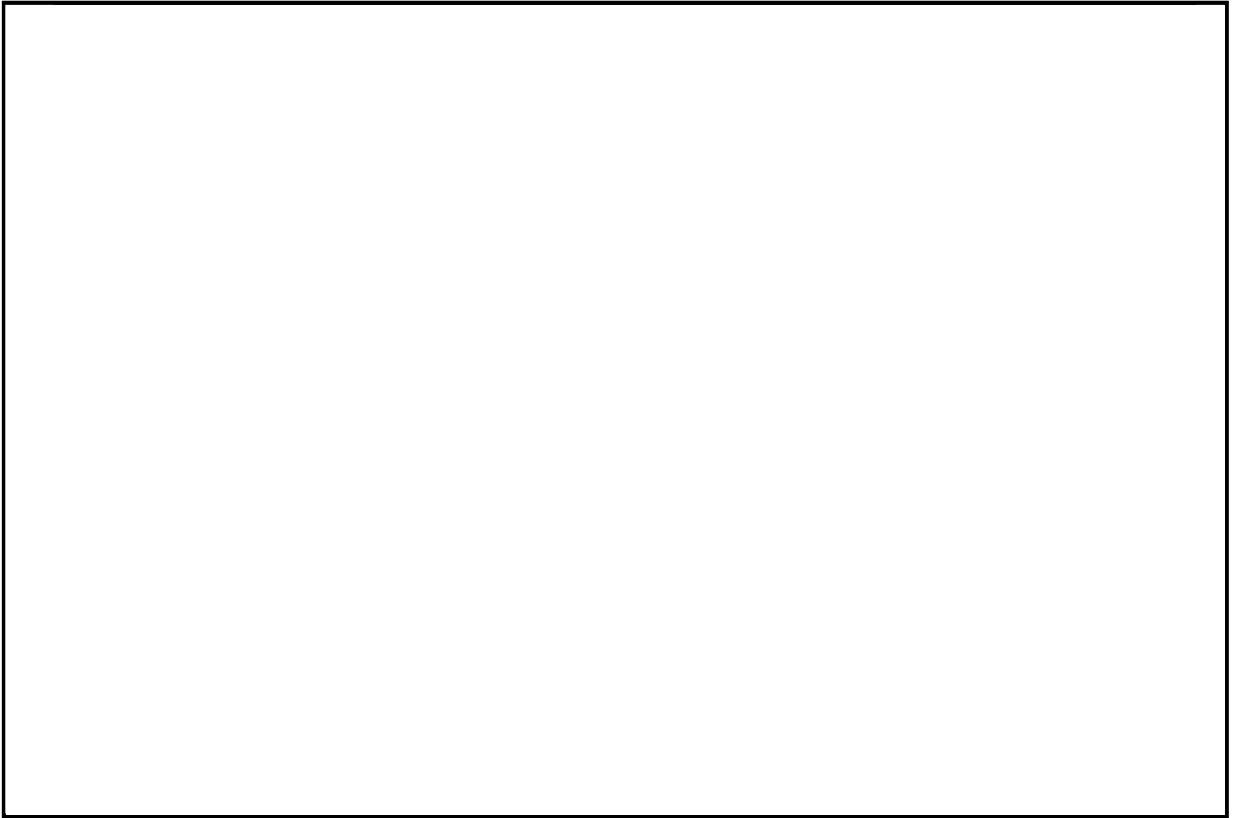
第 5.3-37 図 配管図(2/2)

第 5.3-38 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

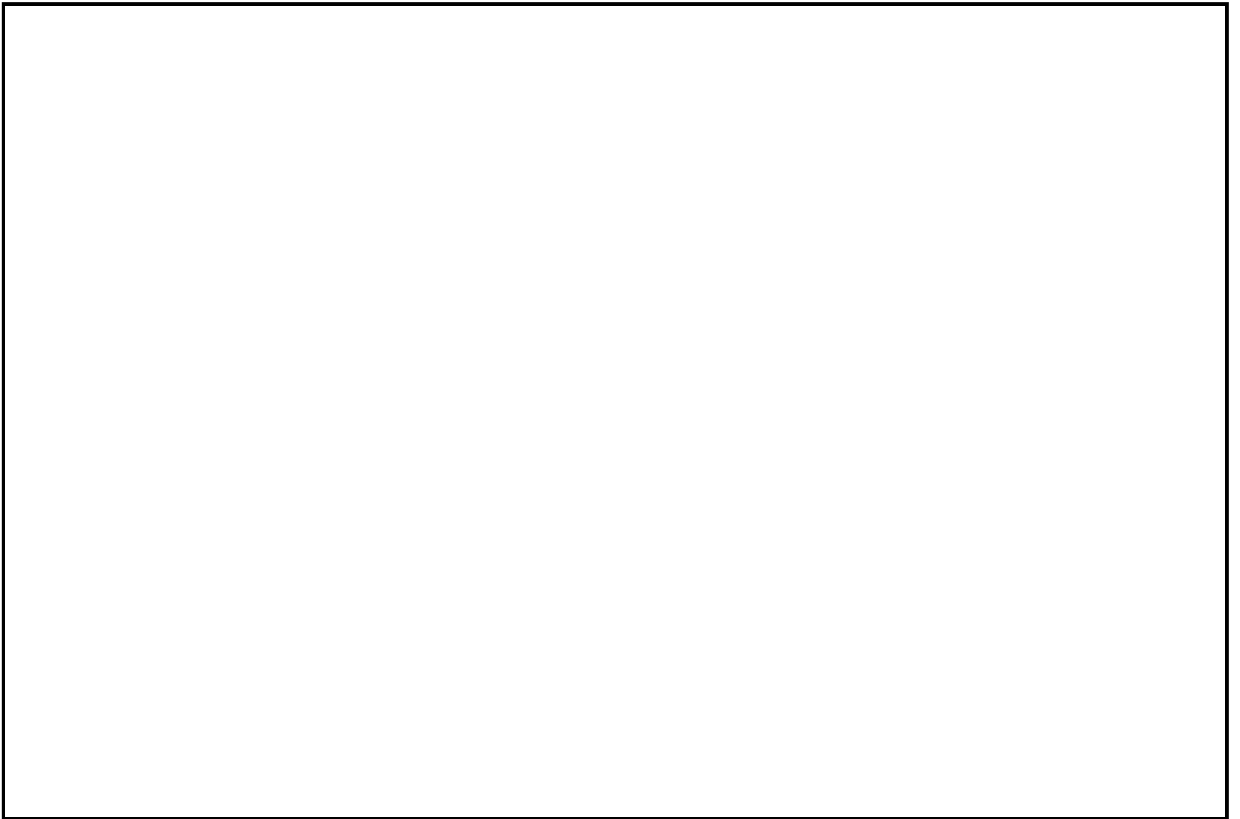
| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------|---------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 消火系 | FP-C-1 | C/B | C-2F-3 | 44 | 100 |
| | | | C-1F-7 | | |



第 5.3-39 図 配管図(1/4)



第 5.3-39 図 配管図(2/4)



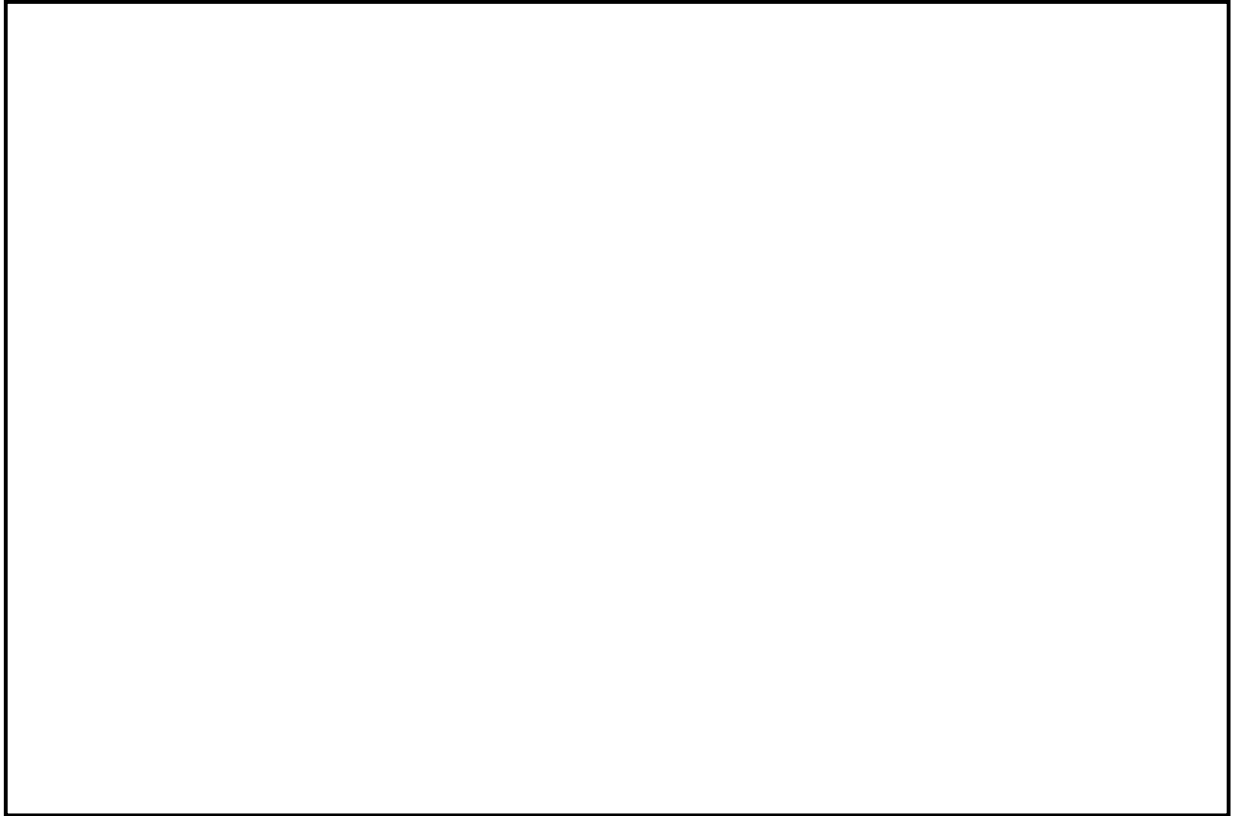
第 5.3-39 図 配管図(3/4)



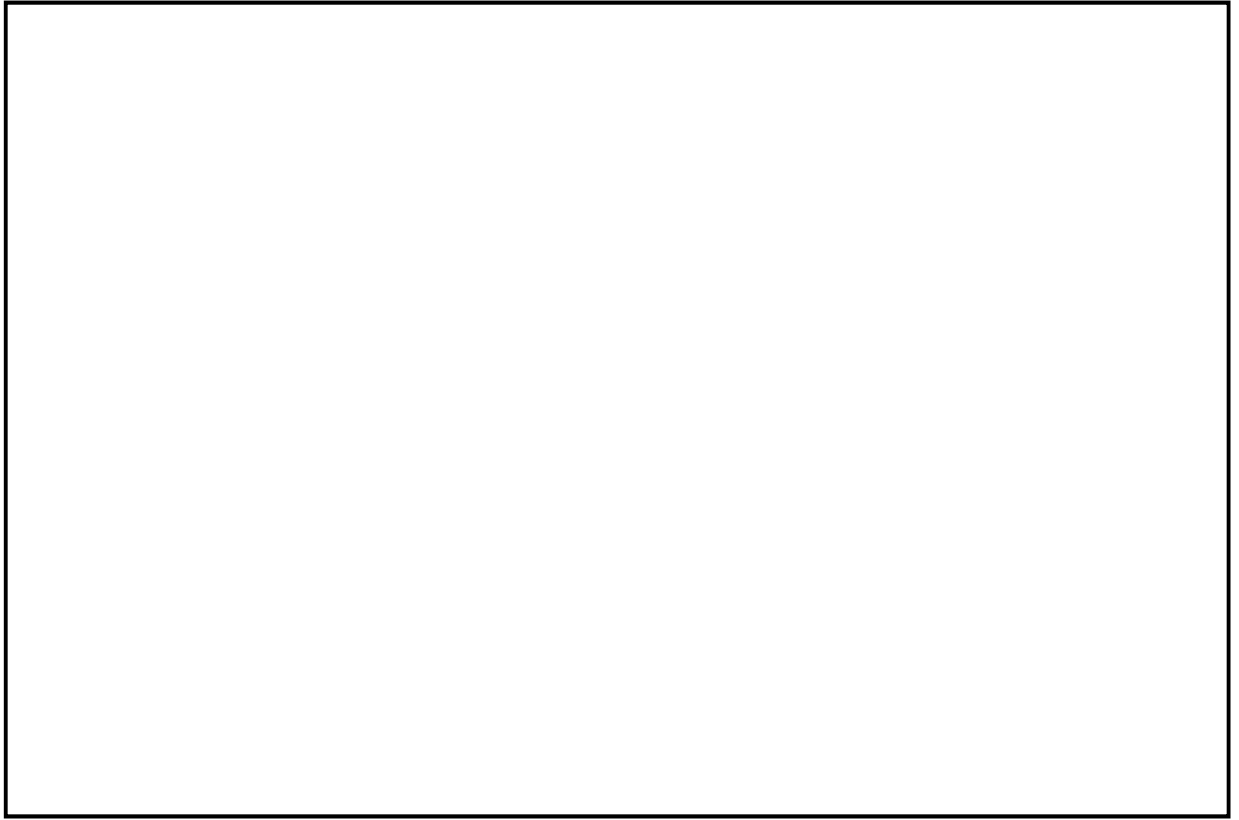
第 5.3-39 図 配管図(4/4)

第 5.3-39 表 3 力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------|----------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 消火系 | FP-025R2 | C/B | C-1F-7 | 25 | 100 |



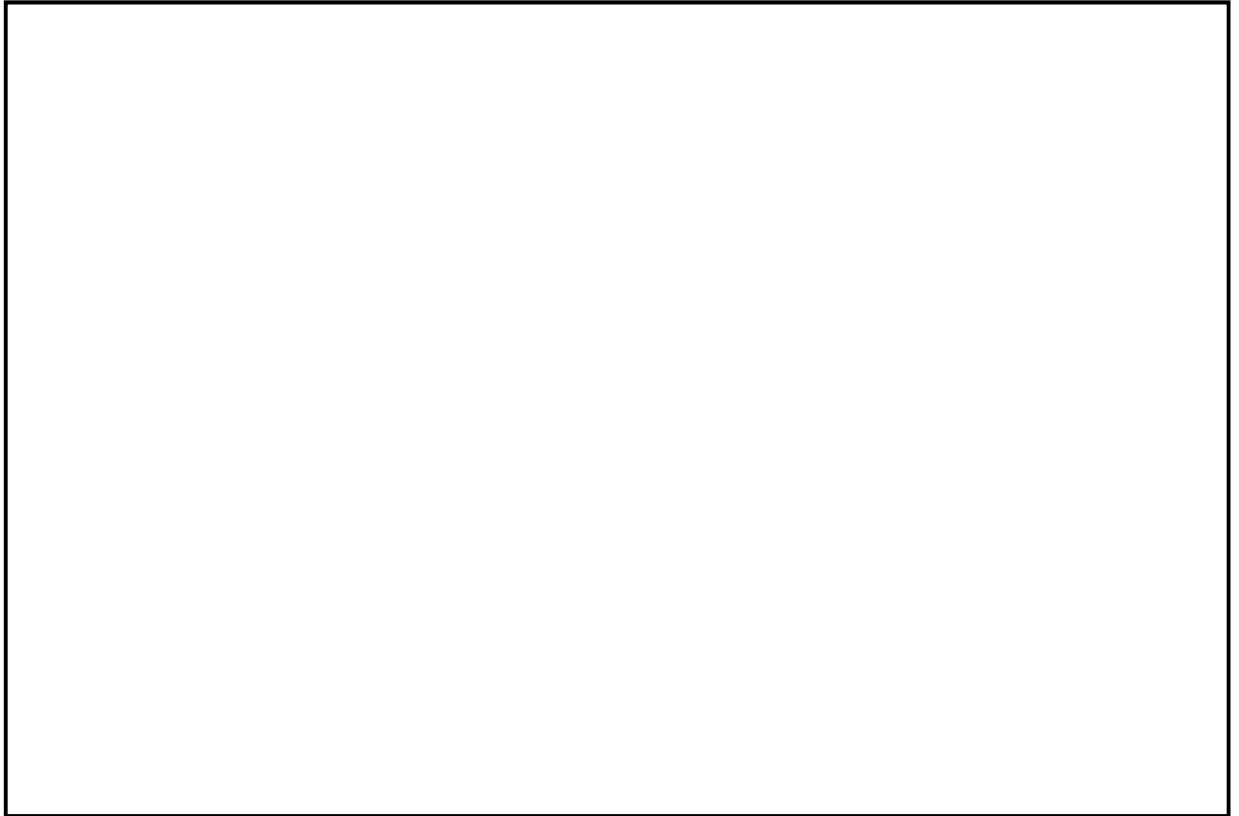
第 5.3-40 図 配管図(1/2)



第 5.3-40 図 配管図(2/2)

第 5.3-40 表 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）

| 系統名称 | 評価モデル番号 | 建屋 | 区画名称 | 発生応力 (MPa) | 許容値 $0.4 S_a$ (MPa) |
|------|---------|-----|--------|---------------|------------------------|
| 飲料水系 | Y41-002 | C/B | C-2F-3 | 55 | 100 |



第 5.3-41 図 配管図(1/1)

5.4 想定破損における減肉の考慮について

1. 概要

配管破損の想定にあたっては、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「評価ガイド」と言う。）の附属書A「流体を内包する配管に破損による溢水の詳細評価手法について」を参照して破損形状を特定している。

評価ガイドでは、「2.2 減肉等による破損」の想定にあたっては、「注2）設計や管理と破損の想定について」のただし書きとして、「減肉対策として当該部分の肉厚の測定を非破壊検査によって定期的実施している等、当該部位の材料のき裂状況や減肉状況を定期的に直接把握している場合は、破損による漏えいを確実に防止できることから、破損を想定しなくてもよい。」とある。

ここで、柏崎刈羽原子力発電所第7号機において、上記の規定に基づき、内部溢水の影響評価上、破損を想定しないこととする低エネルギー配管については、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。以下に、減肉の有無の確認方法と結果を示す。

2. 確認方法

2.1 対象とする配管減肉事象

低エネルギー配管の配管減肉事象としては、流れ加速型腐食（FAC）及び全面腐食が考えられるが、低温域ではFACの感受性は低いことから、対象とする配管減肉事象は全面腐食とする。

2.2 測定箇所

(1) 代表箇所の肉厚測定

低エネルギー配管の全面腐食は、「高溶存酸素」「低 pH」「高塩分濃度」の環境が重畳する系統が最も厳しくなる。また、全面腐食の腐食速度は、環境条件が同一であれば配管の口径、肉厚、形状に依存しない。これらの観点から、代表箇所の選定条件を以下のとおり抽出した。

- ・配管材料として主に使用されているステンレス鋼、炭素鋼のうち腐食速度が最も大きい炭素鋼配管を選定する。
- ・肉厚変化が想定破損応力へ及ぼす影響を考慮し、減肉した場合に発生する応力への影響が大きくなる小口径（薄肉）配管を選定する。
- ・減肉量が小さい全面腐食の傾向を把握するため、形状変化の影響を受けにくい直管部を選定する。

上記より、低エネルギー配管で最も水質条件が厳しく、炭素鋼配管を使用している「消火系」のうち、小口径配管（50A以下）の直管部を代表部位として選定した。

(2) 網羅的観点による肉厚測定

上記代表箇所の肉厚測定により、低エネルギー配管の腐食影響評価が可能と考えられる。しかし、低エネルギー配管の肉厚測定実績が少ないため、以下の部位についても肉厚測定を実施し、網羅的に傾向把握を行い、知的拡充を図る。

- ・「消火系」の曲管やティー管等の形状変化部位の測定。
- ・「消火系」の比較対象として、腐食環境面から相対的にやや緩やかである「復水補給水系」の直管部の測定。
- ・「消火系」の大口径配管（65A以上）の測定。

3. 確認結果

代表箇所肉厚測定にて選定した配管を確認した結果を第5.4-1表に、網羅的観点による肉厚測定にて選定した配管を確認した結果を第5.4-2表に示す。

確認結果に示すとおり測定値は、公称値のマイナス公差内であることから、明らかな減肉は確認されず配管強度への影響はない。

第5.4-1表 低エネルギー配管の肉厚測定結果

| 名称 | 部位 | 口径 | 公称肉厚 | 公差 | マイナス公差を考慮した肉厚 | 測定結果 |
|-----|-----|-----|-------|------------------|---------------|-------|
| 消火系 | 直管部 | 40A | 3.7mm | +0.6mm -0.5mm | 3.2mm | 3.2mm |

第5.4-2表 低エネルギー配管の肉厚測定結果

| 名称 | 部位 | 口径 | 公称肉厚 | 公差 | マイナス公差を考慮した肉厚 | 測定結果 |
|--------|------|-----|-------|------------------|---------------|-------|
| 消火系 | エルボ部 | 40A | 3.7mm | +0.6mm -0.5mm | 3.2mm | 3.3mm |
| 復水補給水系 | 直管部 | 25A | 5.2mm | ±12.5% | 4.5mm | 5.1mm |
| 消火系 | 直管部 | 65A | 4.5mm | +15% -12.5% | 3.9mm | 4.8mm |

4. 今後の管理

低エネルギー配管の肉厚測定は、その実績が少なく減肉率等の知見がないため、今回測定した部位については、継続的な肉厚測定により減肉の進展を確認することとする。

なお、今後の肉厚測定の結果により、必要に応じて測定箇所の追加等を計画し、更なる知見拡充に努めていくこととする。

以上のことより、上記の保全活動を今後も継続することで、低エネルギー配管に有意な減肉が生じていないことが確認できることから、強度等への影響は小さく、破損による漏えいを確実に防止できるものと判断している。

6.1 消火水の放水による溢水に対する評価の概要について

1. 概要

評価ガイドを踏まえ、発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水については、発電用原子炉施設内に設置される消火設備等からの放水を溢水源として設定する。消火栓以外の設備としては、スプリンクラや格納容器スプレイ冷却系があるが、防護すべき設備が設置されている建屋には、スプリンクラは設置しない設計とする。格納容器スプレイ冷却系は、単一故障による誤作動が発生しないように設計されていることから、誤作動による溢水は想定しない。以上のことから、消火水の放水による溢水として、消火栓からの溢水を想定する。発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）を想定し、防護すべき設備に対する影響を評価した。

2. 溢水量の設定

消火水の放水による溢水については、消火栓からの単位時間当たりの放水量と放水時間から溢水量を設定する。

消火栓からの放水時間については一律3時間を設定する。

溢水量の算定に用いる放水量は、消防法規上で定める屋内消火栓設備の必要水量（130 l/min以上）を満たす系統設計仕様の水量（150 l/min）に保守性を考慮して、その放水量の2倍を評価に用いる。具体的には、以下の通り設定する。

- ・ 流出流量 = $150 \text{ (l/min)} \times 2 \text{ (倍)} = 300 \text{ (l/min)}$
= $18 \text{ (m}^3\text{/h)}$
- ・ 溢水量 = $18 \text{ (m}^3\text{/h)} \times 3 \text{ 時間} = 54 \text{ (m}^3\text{)}$

3. 溢水伝播の考え方

溢水伝播の考え方については、基本的に添付資料V-1-1-9-3 溢水評価条件の設定に記載する考えに基づき評価する。

(1) 伝播経路の設定

消火水の放水による溢水評価では、溢水発生区画から他区画への伝播経路に止水処置が存在する場合は、火災の影響によりその止水機能が喪失するものと想定する。ただし、防火対策等により止水機能が喪失しないと確認したものに関しては、その止水機能に期待できることとして評価する。

(2) 溢水防護区画内での放水

a. 溢水防護区画内に消火栓がある場合

溢水防護区画内の溢水高さが高くなるように、区画境界に扉や堰がある場合は、溢水を区画外に流出させないように評価を行う。

b. 溢水防護区画外に消火栓がある場合

溢水防護区画外の消火栓を用いて消火活動を行う場合は、区画境界の扉を開放して消火活動を行うことから、開放する扉からの伝播を考慮する。

(3) 溢水防護区画外での放水

溢水防護区画外での放水については、堰や扉を考慮せず、溢水を溢水防護区画内に流入させるように伝播経路を設定して評価を行う。ただし、水圧に対する強度、水密性を有していることが確認されている扉や堰については、その効果を考慮して評価する。

4. 消火活動における消火水の放水時の溢水影響評価について

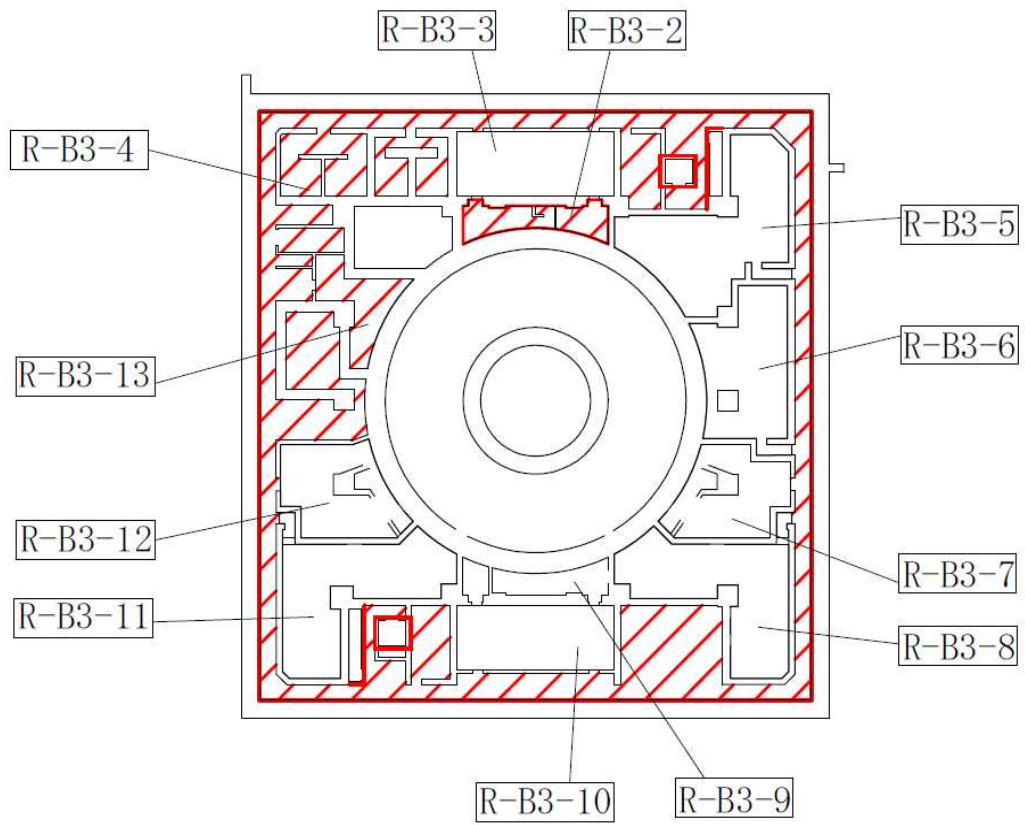
4.1 火災による防護すべき設備への影響

火災が発生した区画に存在する防護すべき設備は、保守的に火災に伴う放水の影響により機能喪失していると想定する。ただし、火災発生個所からの離隔距離が十分大きい場合や、放水により同時に影響を受けないような対策がとられている場合は当該設備の機能に期待する。

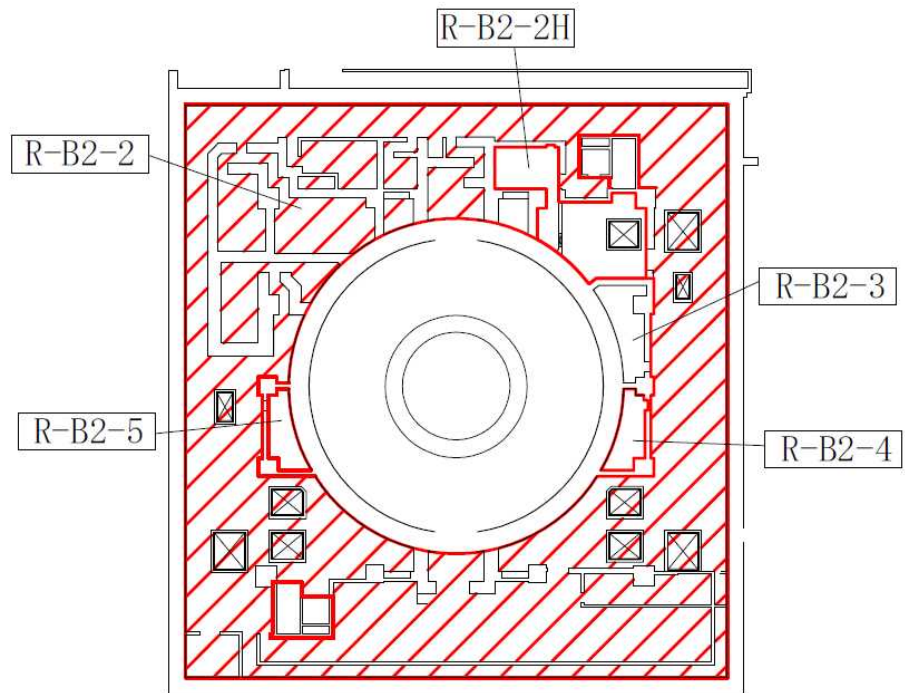
消火栓からの放水を実施するエリアを第 6.1-1 図に示す。

4.2 消火水の放水による被水影響評価

消火活動による放水に伴う被水は事象として想定しうるが、没水影響評価においても同事象を考慮した評価を実施していることから、消火水による被水影響評価は没水影響評価に包含される。また上層階からの溢水の伝播による被水も没水影響評価にて同時に考慮しているため、没水影響評価に包含される。

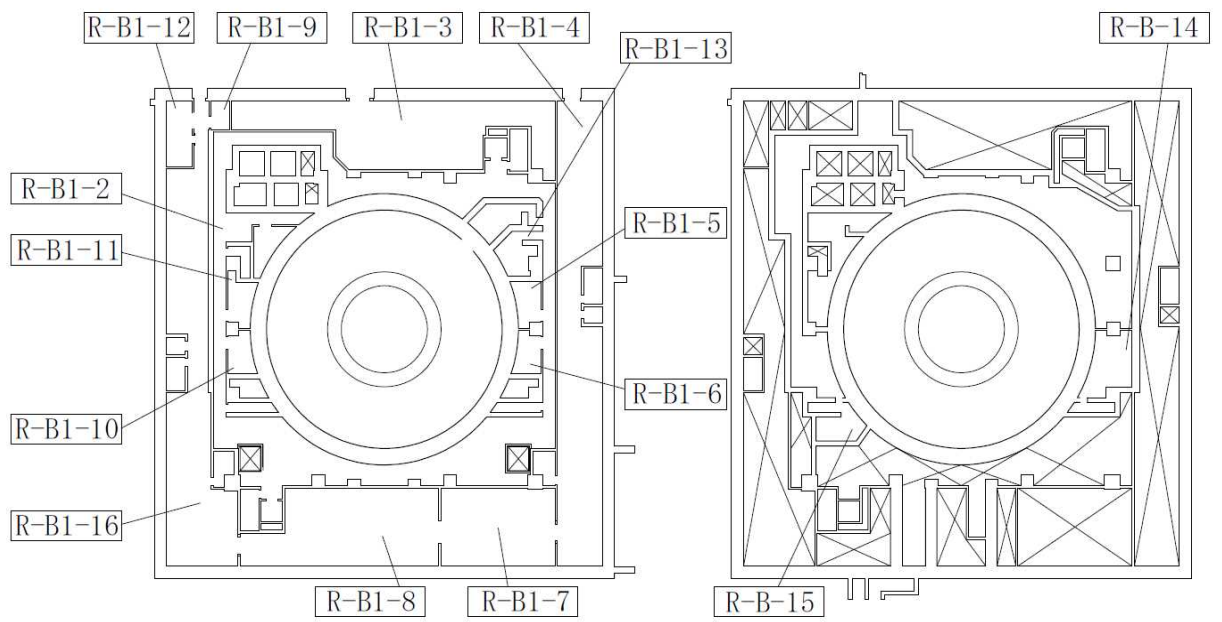


原子炉建屋 T. M. S. L. -8200



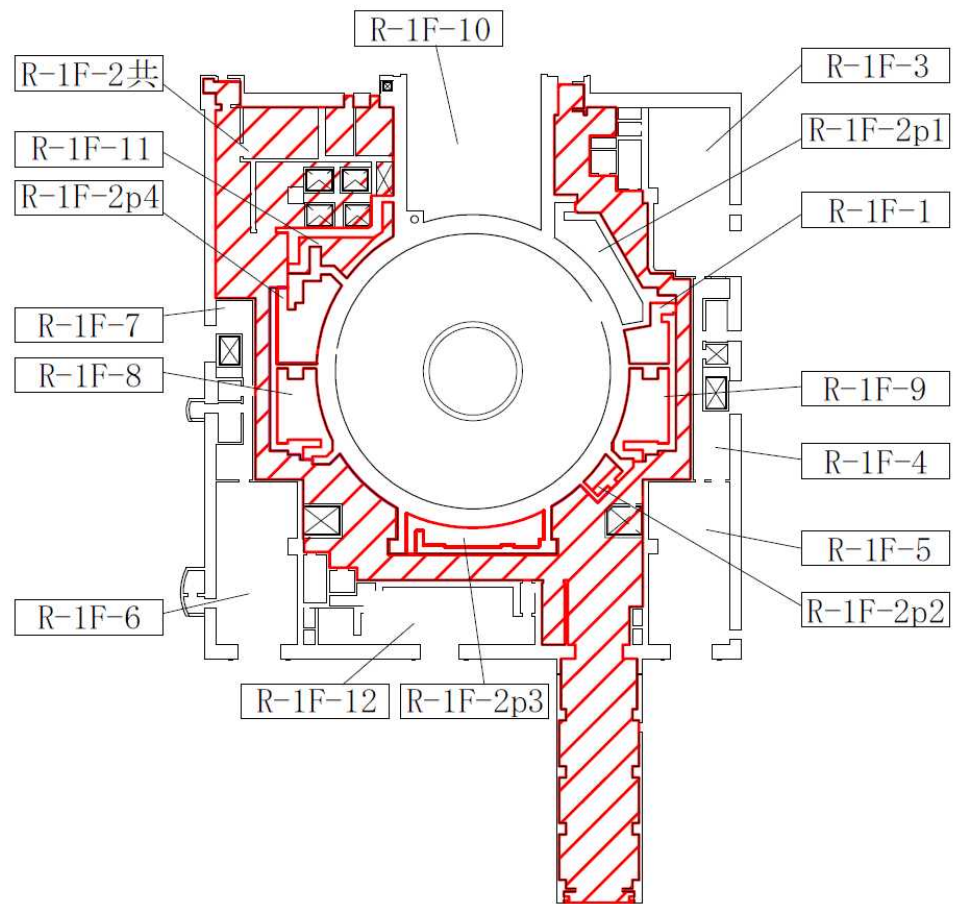
原子炉建屋 T. M. S. L. -1700

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア



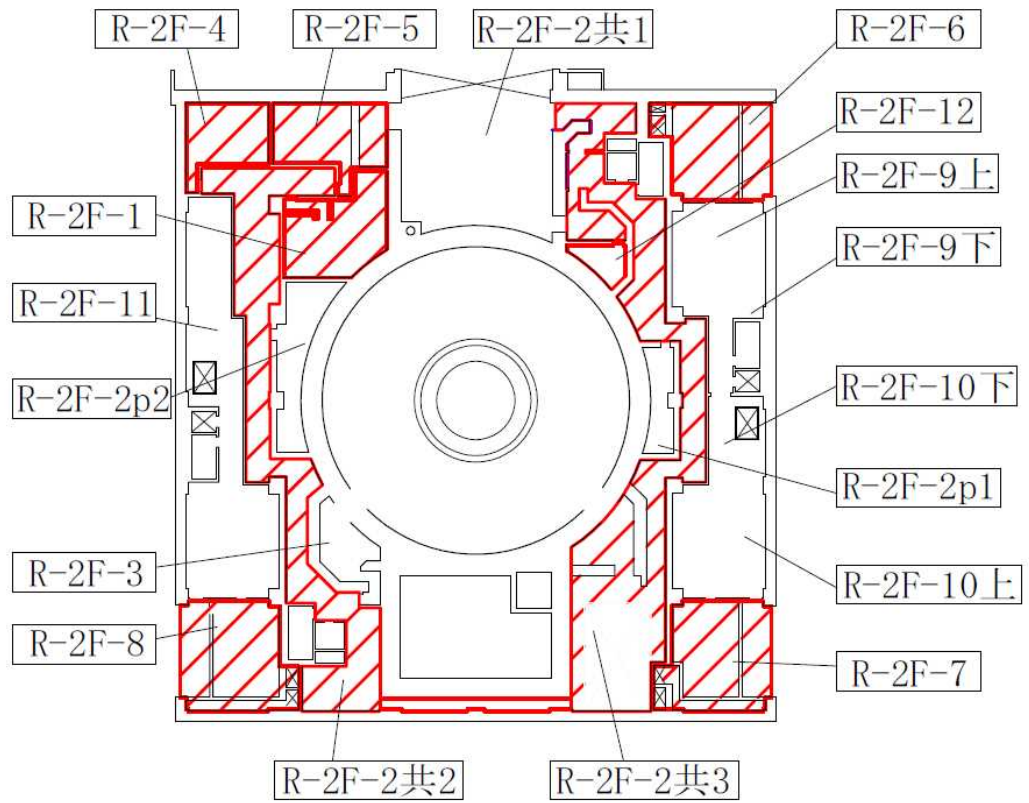
原子炉建屋 T. M. S. L. 4800

原子炉建屋 T. M. S. L. 8500

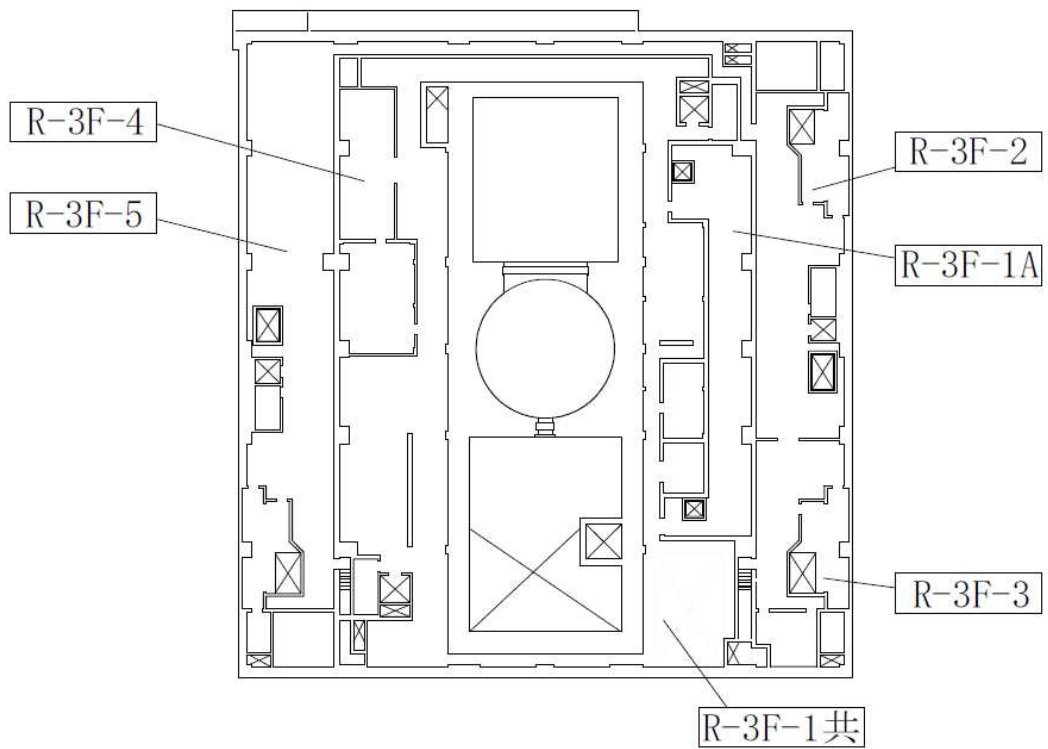


原子炉建屋 T. M. S. L. 12300

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア

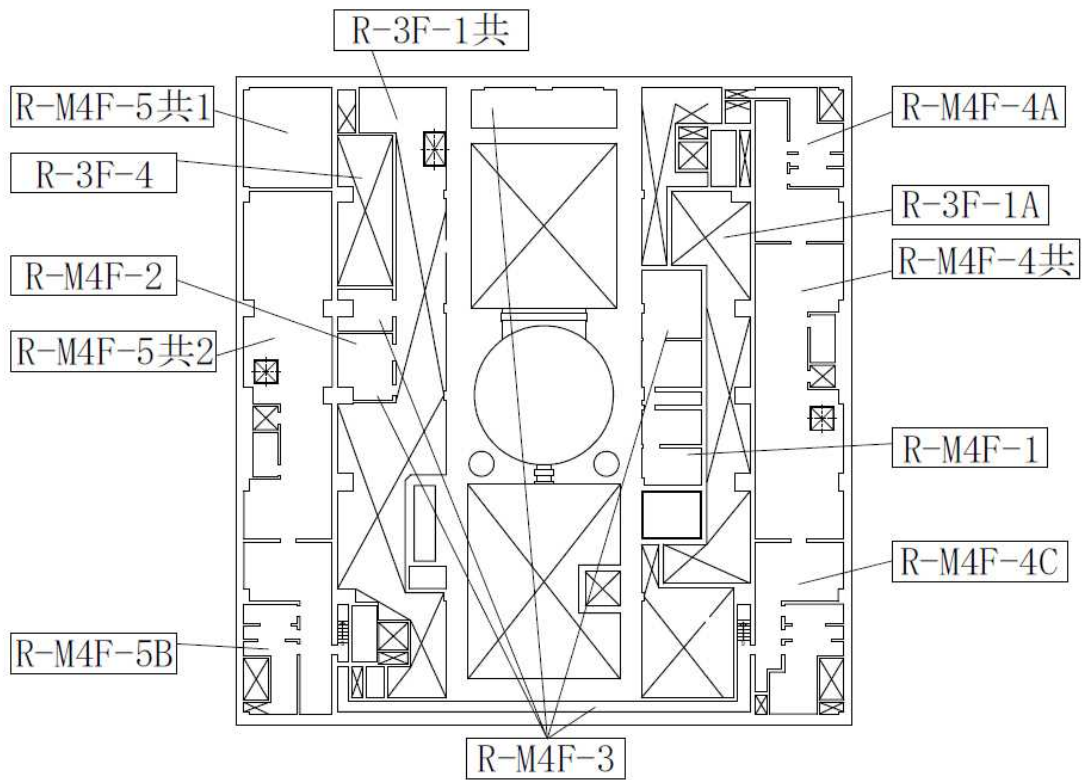


原子炉建屋 T. M. S. L. 18100

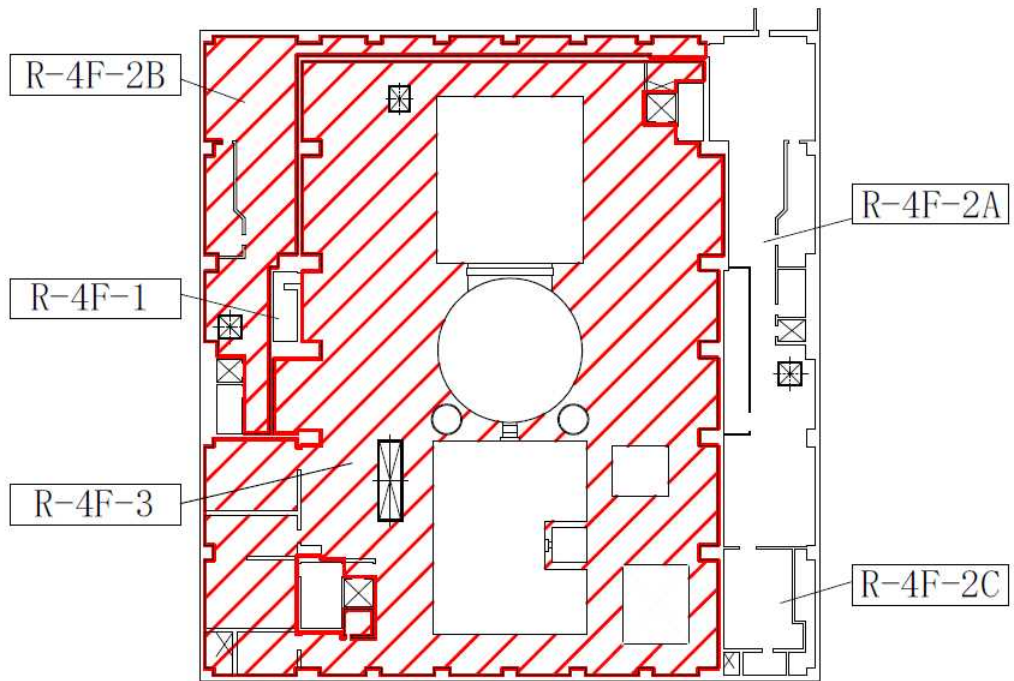


原子炉建屋 T. M. S. L. 23500

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア

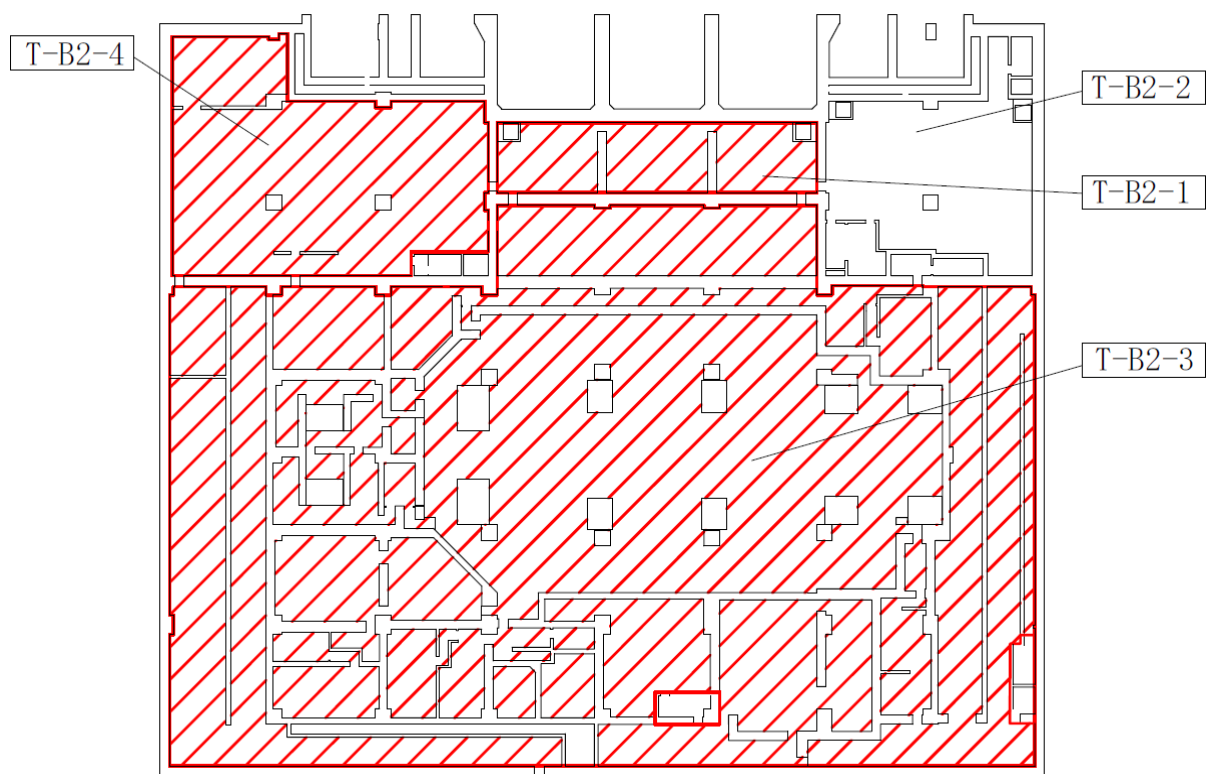


原子炉建屋 T. M. S. L. 27200

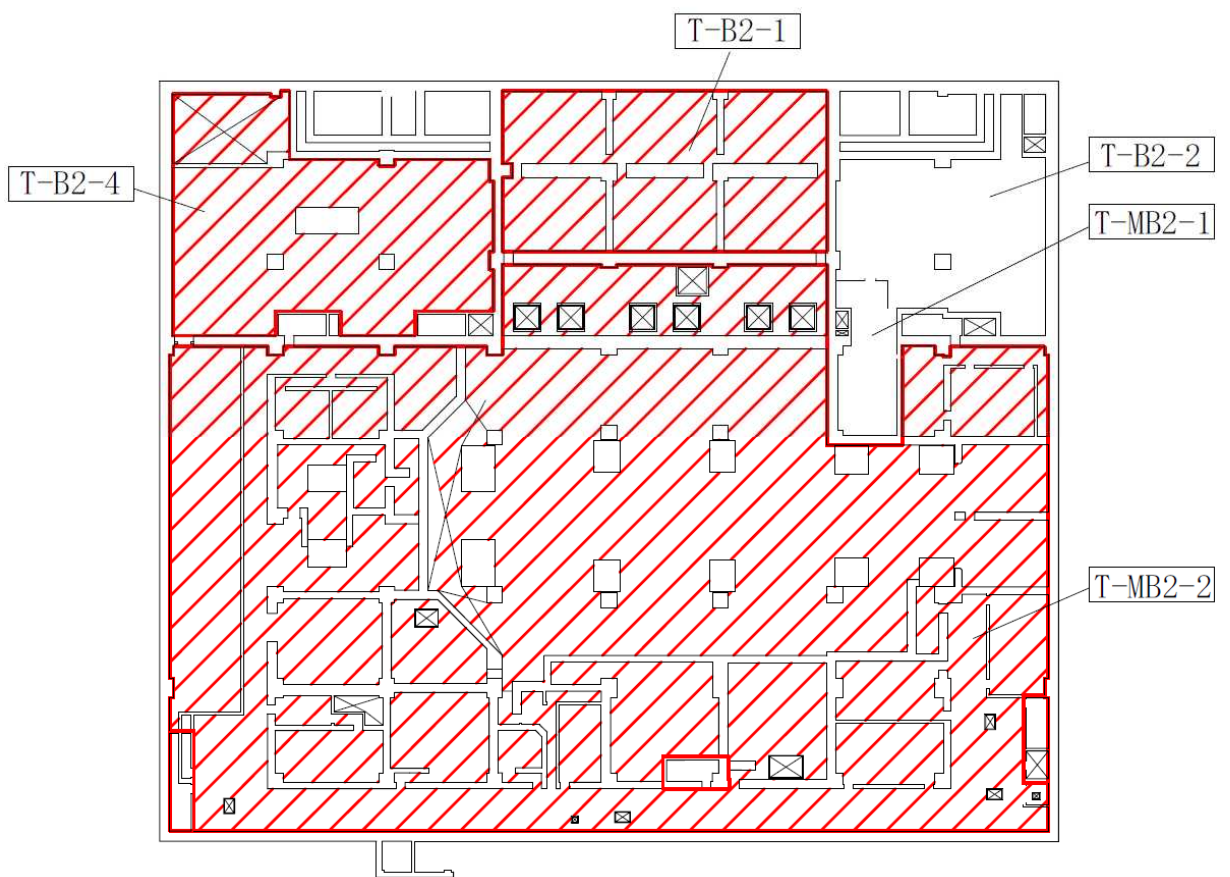


原子炉建屋 T. M. S. L. 31700

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア

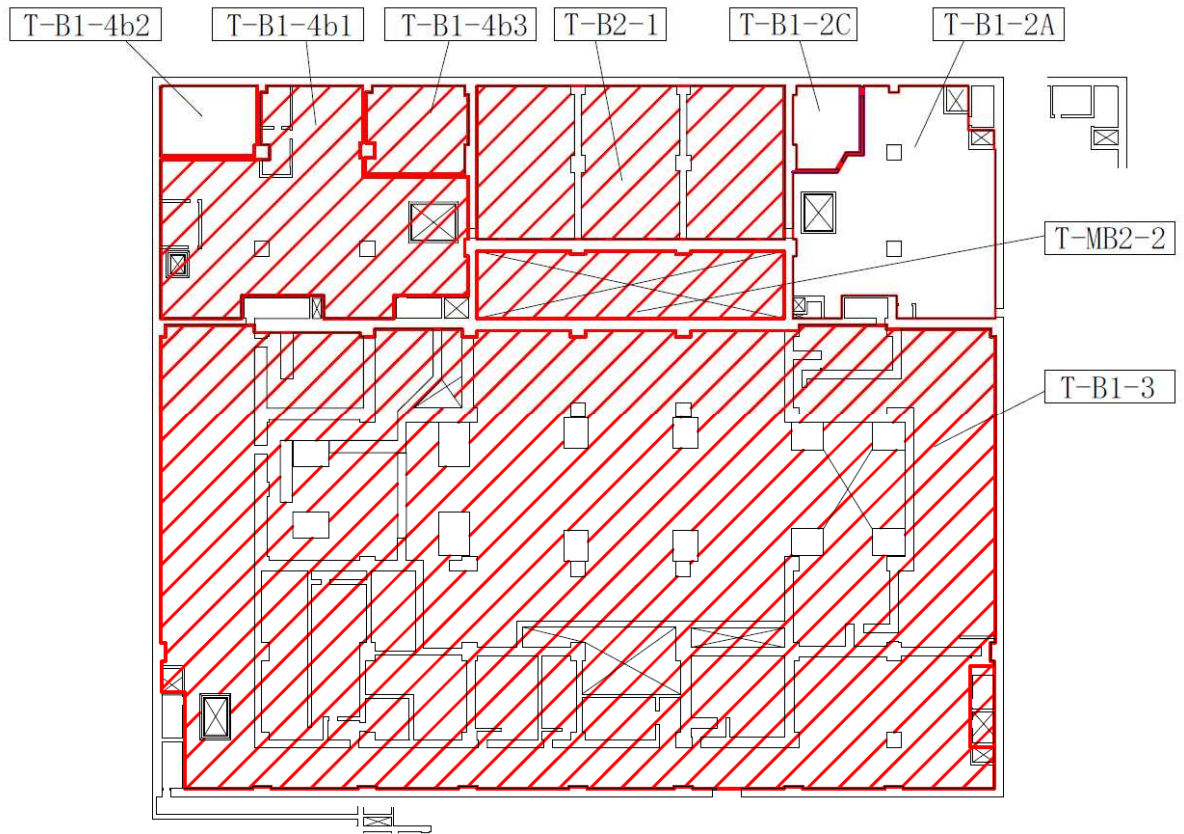


タービン建屋 T. M. S. L. -5100

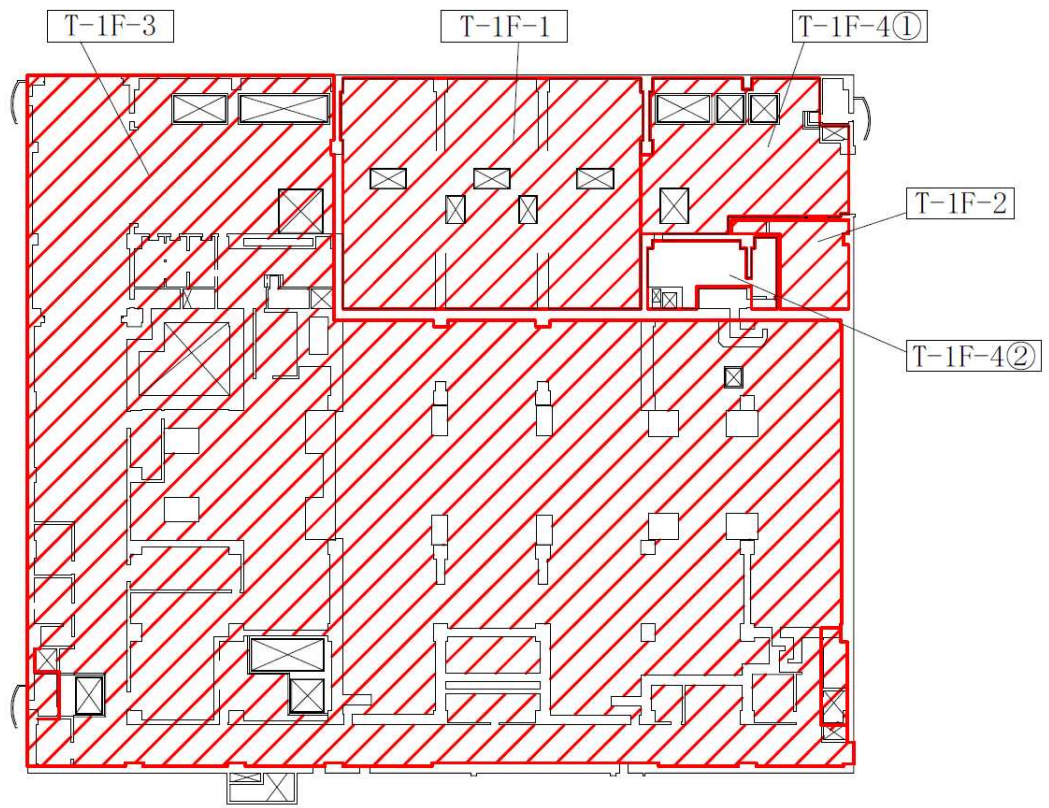


タービン建屋 T. M. S. L. -1100

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア

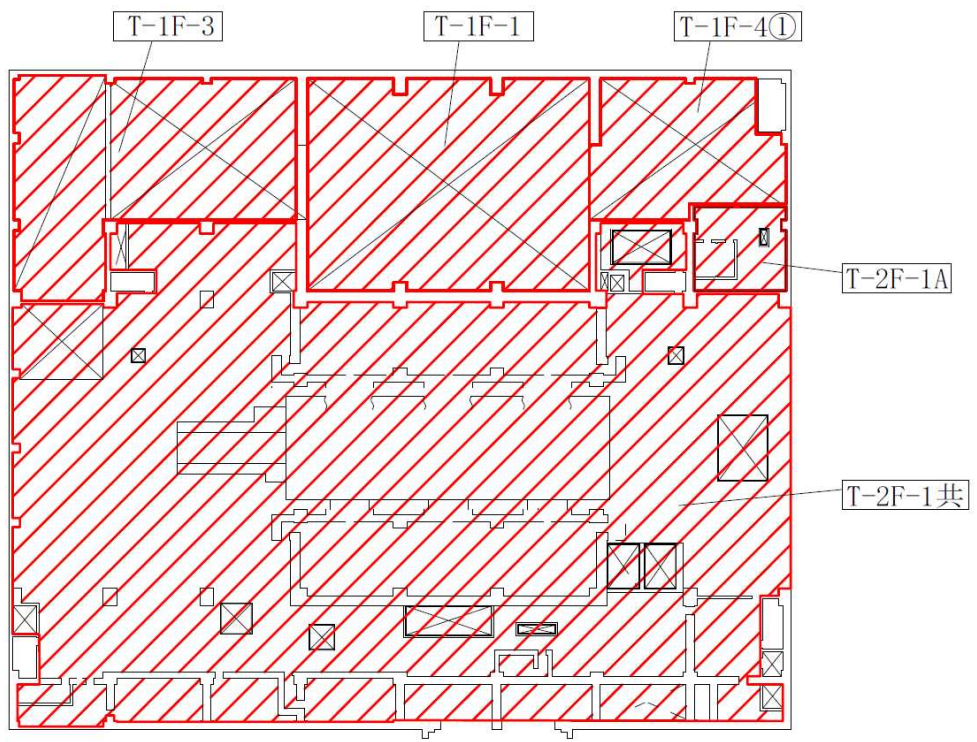


タービン建屋 T. M. S. L. 4900

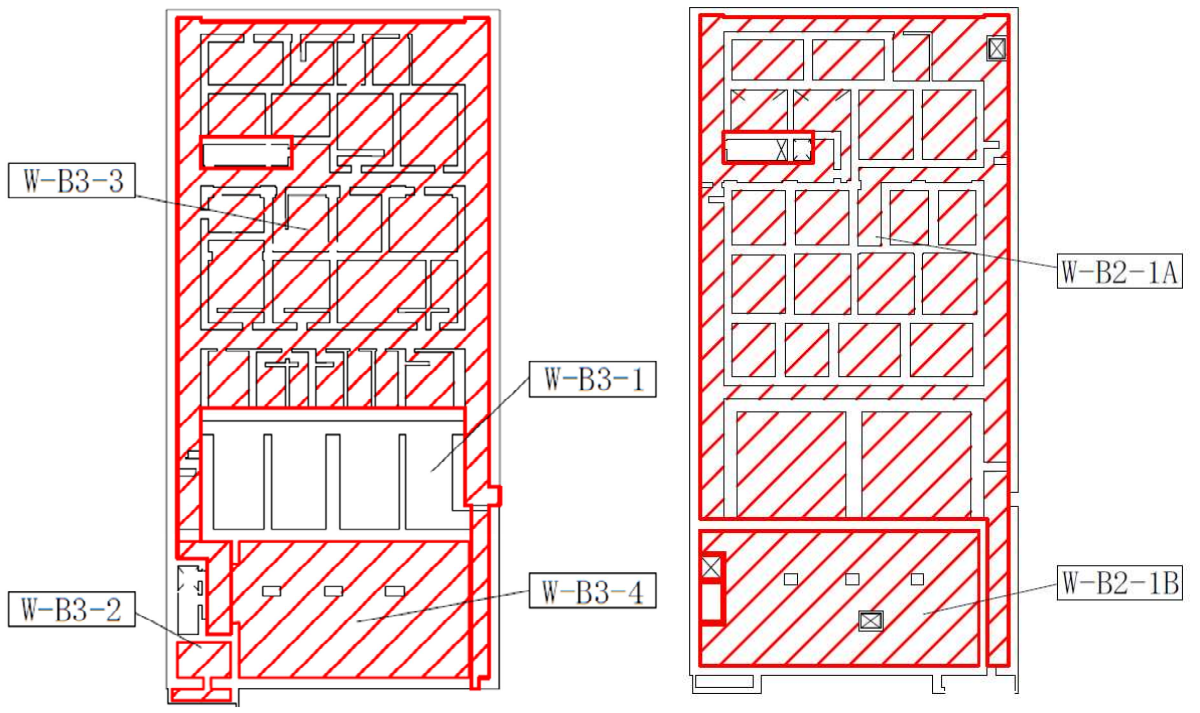


タービン建屋 T. M. S. L. 12300

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア



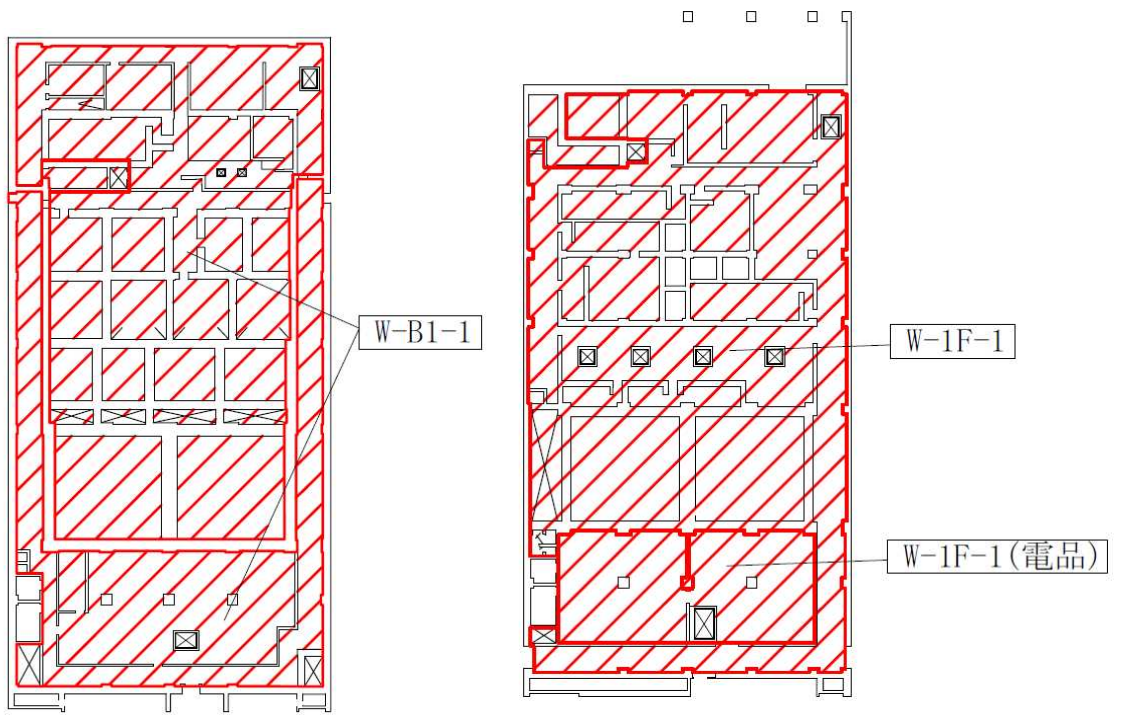
タービン建屋 T. M. S. L. 20400



廃棄物処理建屋 T. M. S. L. -6100

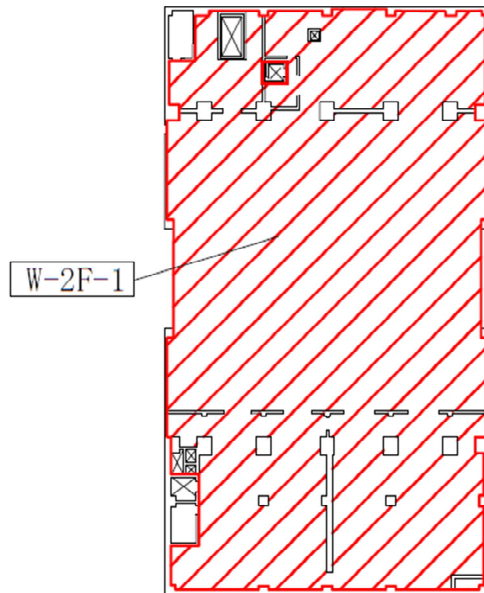
廃棄物処理建屋 T. M. S. L. -1100

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア



廃棄物処理建屋 T. M. S. L. 6500

廃棄物処理建屋 T. M. S. L. 12300



廃棄物処理建屋 T. M. S. L. 20400

第 6.1-1 図 消火栓からの放水による影響を評価するエリア

6.2 消火水の放水による溢水に対する評価例

1. 概要

柏崎刈羽原子力発電所7号機における消火活動に伴い発生する消火水の放水による溢水評価の評価例を示す。

2. 消火水の放水による没水影響評価

消火活動における消火水の放水時の代表的な評価例を以下に示す。

【評価例①】

○消火活動を行う区画（評価エリアの隣接区画）

| 区画 | 消火時間 | 溢水量 | 滞留面積 |
|--------|------|------------------|------------------|
| R-2F-7 | 3h | 54m ³ | 50m ² |

○消火活動を行う区画内に設置される防護すべき設備

| 区画 | 防護すべき設備 | 区分 |
|--------|---|----|
| R-2F-7 | 非常用ディーゼル発電設備非常用送風機(U41-C223A), 非常用ディーゼル発電設備非常用送風機(U41-C223B) | C |

消火活動を行う区画内に設置される機器については、消火活動による被水により、機能喪失するものとする。

上記区画にて消火活動を行った場合の伝播評価を第6.2-1表に、伝播を想定するイメージを第6.2-1図に、消火水の放水による溢水影響評価結果を第6.2-2表に示す。

第 6.2-1 表 消火水の放水による溢水影響評価

| 評価実施区画から 伝播する区画 | 溢水水位 | 異区分に関 連する設備 の有無 | 評価 結果 | 備考 |
|--------------------|-------------------|-----------------------|----------|------------------------------------|
| R-2F-2 共 3 | 0.34 [*] | 有 | ○ | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-2F-9 下 | 0.51 | 有 | | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-2F-10 上 | 0.77 | 無 | | |
| R-2F-10 下 | 0.62 | 無 | | |
| R-1F-2 共 | 0.18 [*] | 有 | | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-1F-2p2 | 0.13 | 無 | | |
| R-1F-3 | 0.07 | 有 | | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-1F-4 | 0.35 [*] | 有 | | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-1F-5 | 0.73 | 無 | | |
| R-1F-11 | 0.13 | 無 | | |
| R-B1-2 | 0.09 [*] | 有 | | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-B1-4 | 0.28 | 無 | | |
| R-B1-16 | 0.29 | 無 | | |
| R-B2-2 | 0.10 [*] | 有 | | 区分 A 又は B に関連する設備の機能喪失高さが水位を上回っている |
| R-B3-4 | 0.10 | 無 | | |

※：ゆらぎ (0.05m) を考慮した水位。

第 6.2-2 表 消火水の放水による溢水影響評価結果

第2.6-1表 消火水による没水影響評価結果まとめ

| |
|---------------------------|
| 評価種別； 消火 |
| 溢水発生区画； R-2F-7 |
| 溢水源； 消火活動 |
| 溢水量 (m ³)； 54 |

| | |
|---------|---|
| 総合判定 | ○ |
| 評価方法 ※1 | B |

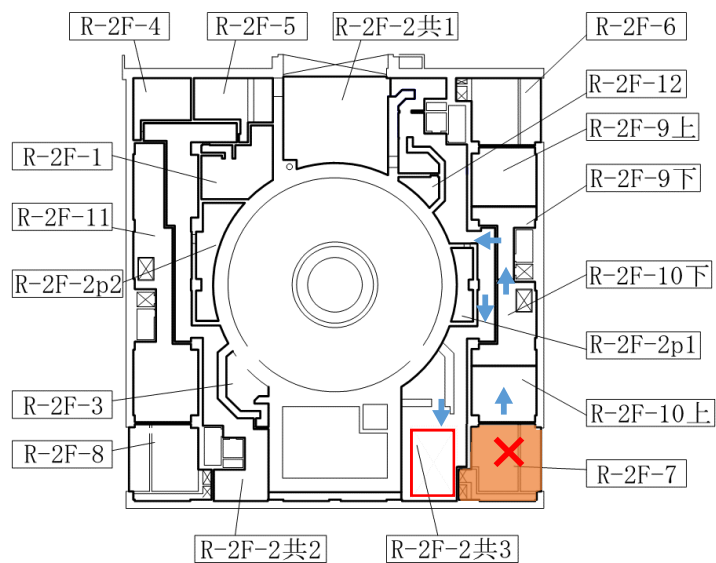
| |
|-----|
| 備考： |
|-----|

| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|-----|----------|-----|---------|-----|--------------|---------|-------------|--------|-----|---------|-------|----------|---------------------------|-----|-----|-------------------|-----|-------------------|----------------------|------|-----------------|-----|------------|-----|-----|--|
| 分類 | a. 止める | | | | | | b. c. 冷やす | | | | | | | d. 閉じ込める | | | | | | | | | | | | | | |
| 安全機能 | 緊急停止機能 | | 未臨界維持機能 | | | | 原子炉隔離時高圧注水機能 | | 低圧注水/冷温停止機能 | | | 圧力逃がし機能 | | 格納容器除熱機能 | | | | | | 隔離機能 | 放射性物質閉じ込め機能 (濃度低減機能) | | 格納容器内の可燃性ガス制御機能 | | | | | |
| 機能判定 | ○ | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| 系統機器 | 水圧制御ユニット | | 水圧制御ユニット | | ほう酸水注入系 | | 原子炉隔離時冷却系 | 高圧炉心注水系 | | 残留熱除去系 | | | 自動減圧系 | 逃がし安全弁 | 残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) | | | 格納容器スプレイ冷却系 (D/W) | | 格納容器スプレイ冷却系 (W/W) | | 隔離機能 | 非常用ガス処理系 | | 可燃性ガス濃度制御系 | | | |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | - | (A) | (B) | (C) | (B) | (C) | (B) | (C) | PCIS | (A) | (B) | (A) | (B) | |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

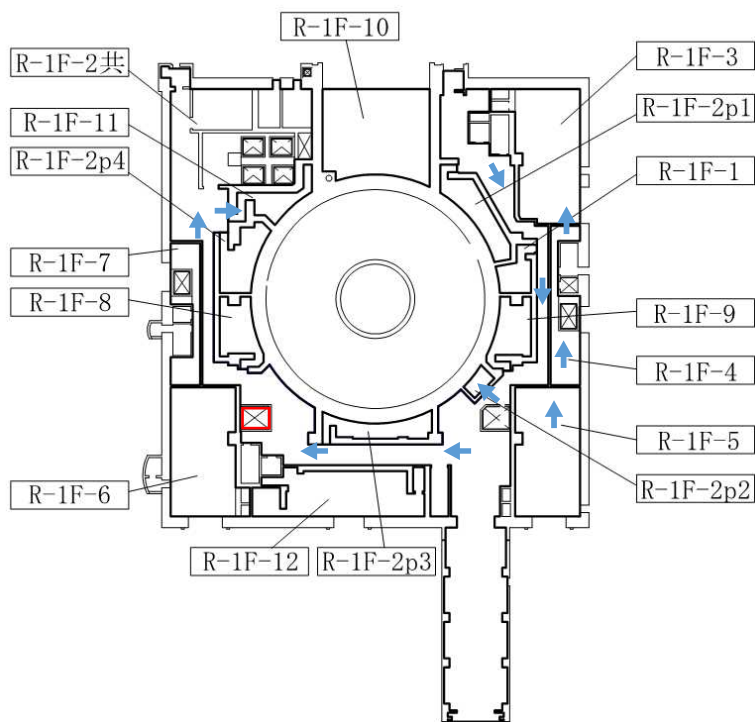
| 原子炉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|-----|-----|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----------------|-----|--------------|-----|------------|-----|-------|
| 分類 | g. サポート系 | | | | | | | | | | | | | |
| 安全機能 | 補機冷却水機能/冷却用海水供給機能 | | | 非常用電源機能 | | | | 原子炉制御室非常用換気空調機能 | | 直接関連系 | | 事故時状態把握 | | |
| 機能判定 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 系統機器 | 原子炉補機冷却水系/原子炉補機冷却海水系 | | | 非常用交流電源/直流電源/計測制御用直流電源/非常用電気品区域換気空調系 | | | | 中央制御室換気空調系 | | 換気空調補機非常用冷却系 | | 格納容器雰囲気モニタ | | 事故時計装 |
| 区分 | (A) | (B) | (C) | (A) | (B) | (C) | (D) | (A) | (B) | (A) | (B) | (A) | (B) | - |
| 判定 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 使用済み燃料プール | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|-----|--------|-----|-----|----------------|--------|-----|-----|-------|
| 分類 | e. プール冷却 | | | | | f. プールへの給水 | | | | e. f. |
| 安全機能 | 冷却機能 | | | | | 注水機能 | | | | 監視機能 |
| 機能判定 | ○ | | | | | ○ | | | | ○ |
| 系統機器 | 燃料プール冷却浄化系 | | 残留熱除去系 | | | サブプレッションプール浄化系 | 残留熱除去系 | | | 監視機能 |
| 区分 | (A) | (B) | (A) | (B) | (C) | SPCU | (A) | (B) | (C) | - |
| 判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | ○ |

※1
A：基本評価
B：詳細評価 (火災防護対策の効果やファンネルによる排水等を考慮)



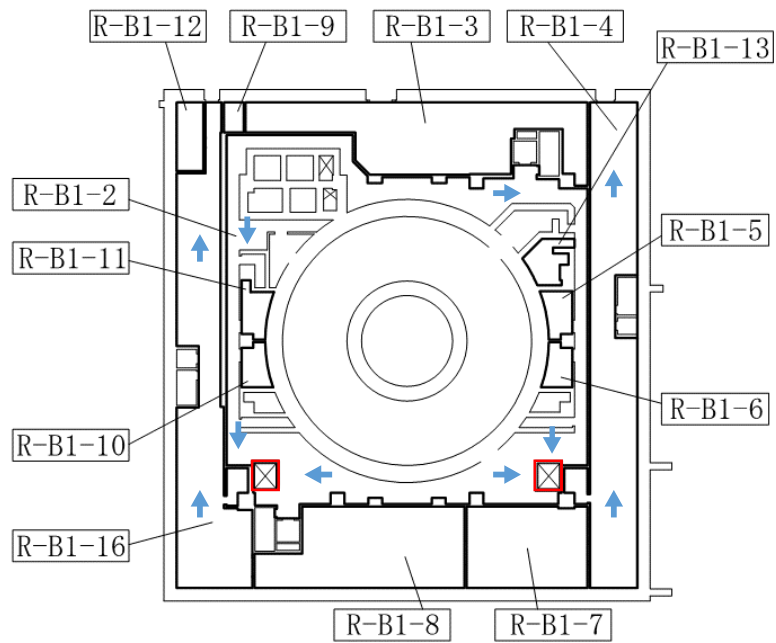
原子炉建屋 T.M.S.L. 18100



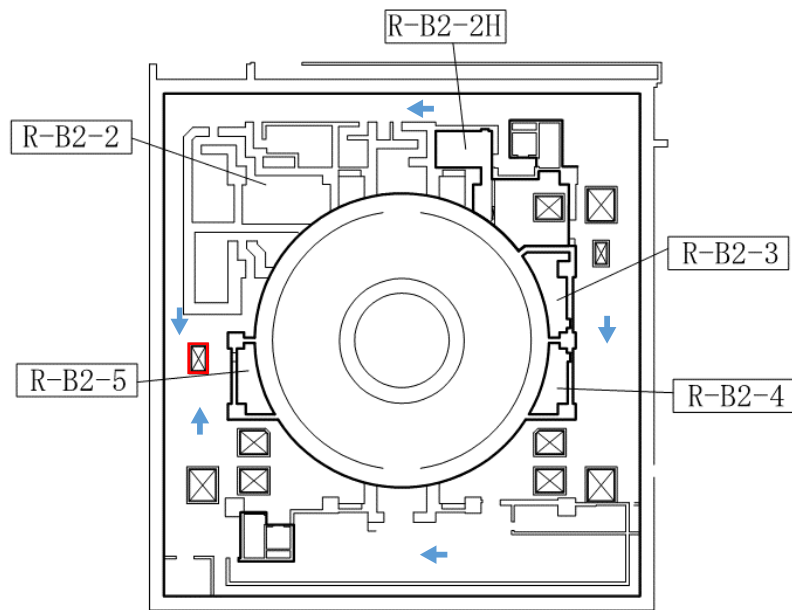
原子炉建屋 T.M.S.L. 12300

- : 溢水経路
- : 溢水評価において期待する流下経路
- : 消火水の放水実施区画

第 6.2-1 図 消火水の放水による伝播イメージ



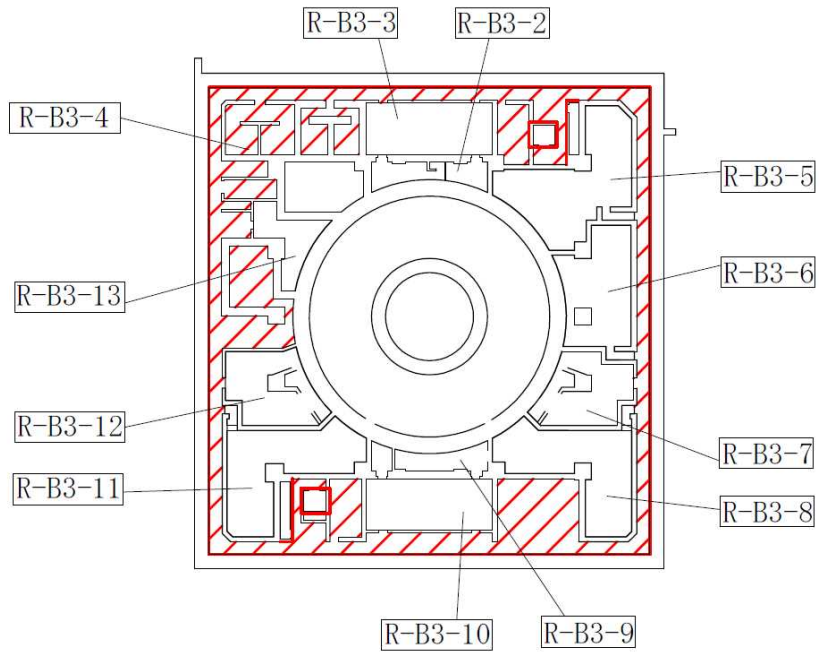
原子炉建屋 T.M.S.L. 4800



原子炉建屋 T.M.S.L. -1700

- : 溢水経路
- ☒ : 溢水評価において期待する流下経路
- : 消火水の放水実施区画

第 6.2-1 図 消火水の放水による伝播イメージ



原子炉建屋 T.M.S.L. -1700

- : 溢水経路
- : 溢水評価において期待する流下経路
- : 消火水の放水実施区画
- /// : 最終的に滞留する区画

第 6.2-1 図 消火水の放水による伝播イメージ

7.1 地震に起因する溢水源について

原子炉建屋（原子炉格納容器除く）、コントロール建屋及びタービン建屋（海水熱交換器区域）内に敷設されている流体を内包する機器（配管、容器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じるとされる機器（耐震 B, C クラス機器）について溢水を想定する。

ただし、B, C クラス機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては、溢水源として考慮しない。

地震に起因する溢水時の溢水源を第 7.1-1 表、第 7.2-2 表に示す。

第 7.1-1 表 7号機地震時に溢水源とする機器としない機器（ポンプ，容器等）

| 設置エリア | | | 機器情報 | | Sクラス : ○ Sクラス以外 : × | 溢水源としない (耐震性を確認) : ○ 溢水源とする : × |
|-------|------|-----------------------------|------------|---------------------------|------------------------|---------------------------------------|
| 建屋 | フロア | 区画 No. | 溢水源 の系統 | 機器名称 | | |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-3 R-B3-10 | CRD | 水圧制御ユニット | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | HNCW | CRD HCU (A), (B)室冷却加熱コイル | × | × |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | CUW | 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器 (A), (B) | × | × |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | CUW RCW | 原子炉冷却材浄化系ポンプ (A), (B) | × | × |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | RCW | CRD ポンプ油冷却器 (A), (B) | × | × |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | CRD | 制御棒駆動水ポンプ (A), (B) | × | ○ |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | CRD | 制御棒駆動水加熱器 | × | ○ |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-4 | CRD | サクションフィルタ (A), (B) | × | ○ |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-5 R-B3-8 R-B3-11 | RCW | RHR ポンプ (A) ~ (C) 室空調機 | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-5 R-B3-8 R-B3-11 | RHR RCW | 残留熱除去系熱交換器 (A) ~ (C) | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-5 R-B3-8 R-B3-11 | RHR | 残留熱除去系封水ポンプ (A) ~ (C) | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-5 R-B3-8 R-B3-11 | RHR RCW | 残留熱除去系ポンプ (A) ~ (C) | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-6 | RCW | RCIC ポンプ室空調機 | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-6 | RCIC | 真空タンク | ○ | - |
| 原子炉建屋 | 地下3階 | R-B3-6 | RCIC | バロメトリックコンデンサ | ○ | - |